



操作・設定編

**WJ-NX510K、WJ-NX410K
WJ-NX310シリーズ**

目次

はじめに	1
取扱説明書について	1
略称について	1
本機の設定、操作について	2
使用時の制約事項	2
ご使用の前にお読みください	6
動作検知機能について	6
録画画像の時刻表示について	6
マウス操作について	7
再生時に表示される黒画について	7
録画動作について	7
イベントの種別について	8
[本体設定]	9
本体設定について	9
基本設定	10
日時や言語に関する設定を行う [日時・Language]	10
カメラに関する設定を行う [カメラ]	14
録画やイベントに関する設定を行う [録画・イベント]	58
詳細設定	86
モニターの設定を行う [モニター]	86
ネットワーク接続に関する設定を行う [ネットワーク]	98
ユーザー管理に関する設定を行う [ユーザー管理]	116
メンテナンスに関する設定を行う [メンテナンス]	127
HDDを管理する [HDD管理]	150
セキュリティの設定を行う [セキュリティ]	162
拡張機能の設定を行う [拡張機能]	170
その他	171
設定項目一覧 (設定メニュー)	171
エラー履歴・ネットワークログについて	201

[本体操作]	213
操作の前に	213
運用画面について	213
基本的な操作のしかた	219
起動時のログイン操作について	220
見る	222
カメラのライブ画像を見る	222
カメラを操作する	241
イベント機能	249
イベント機能について	249
録画	253
録画する	253
再生	255
再生する	255
頭出し再生する	260
検索して再生する	267
便利な機能	279
コピーする	279
コピーデータを本体で再生する	288
操作項目一覧	291
[ネットワーク設定]	295
ネットワーク設定を行う	295
本機のネットワーク設定を行う	295
PCのネットワーク設定を行う	295
本機のネットワークセキュリティについて	302
本機に装備されているセキュリティ機能	302
セキュリティ強化のために	302
[ブラウザー操作]	304
操作の前に	304
操作画面を表示する	304
操作画面について	306
見る	315

カメラのライブ画像を見る	315
カメラを操作する	317
イベント機能	319
イベント機能について	319
再生	321
再生する	321
日時を指定して再生する	324
検索して再生する（録画イベントサーチ）	325
便利な機能	329
コピーする	329
コピーした画像リストを確認する	333
再生画像をダウンロードする	337
コピー・ダウンロードした画像をPCで再生する	340
[ブラウザ設定]	346
設定する	346
基本的な操作のしかた	346
各種設定を行う	347
ソフトウェアの更新を行う	356
その他	358
メール通知について	358
アラームメールについて	358
障害メールについて	358
追補	361
NASバックアップ機能	361
フェイルオーバー機能	369
故障かな!?	376
用語集	383
変更履歴	386

はじめに

取扱説明書について

本書は、WJ-NX510K、WJ-NX410K、WJ-NX310シリーズ（WJ-NX310/4、WJ-NX310/8、WJ-NX310/16、WJ-NX310/32）のファームウェアバージョンVer. 1.20に対応した取扱説明書です。

本書の画面などの説明は、特に断りがなければWJ-NX310/8を例として記載しています。

- 本書および画面中の弊社およびパナソニック製カメラの詳細については、販売店にお問い合わせください。
- 本書に記載されている各機種最大のカメラ台数は以下のとおりです。
WJ-NX310シリーズ 最大32台*
WJ-NX410K 最大64台*
WJ-NX510K 最大128台*
*カメラ拡張キット（別売り）使用時
- 本書に記載されている「カメラn」の「n」は各機種の最大カメラ台数を表します。
- 本書に記載されている「<管理番号：Cxxxx>」は、以下の弊社サポートウェブサイト内で該当する情報を検索する際に使用する番号です。

https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/learning-and-support/knowledge-base/technical-information

本書では、機種による機能および画面などの違いを以下のように表記しています。

【NX310】：NX310シリーズのみに対応している機能、画面。

【NX410/NX510】：NX410KおよびNX510Kのみに対応している機能、画面。

略称について

本書では以下の略称を使用しています。

Microsoft Windows 10 日本語版をWindows 10 と表記しています。

ネットワークカメラをカメラと表記しています。

本機の設定、操作について

- 本機の操作は、本機後面のUSBポートに接続したマウス（付属品）およびソフトキーボードから行います。マウスやソフトキーボード操作のしかたは取扱説明書 設置編の「基本的な操作のしかた」をお読みください。
- 本機にカメラを登録すると、本機の録画設定に応じてカメラの設定を自動的に行います。本機にカメラが接続されていない状態でカメラの登録や設定の変更を行ったり、本機に登録しているカメラの映像や音声に関する設定を直接変更したりすると、本機の設定と不整合が生じたり、各種機能が正常に動作しなかったりする可能性があります。そのような場合、以下の操作でカメラを再設定することができます。

☞ [システムに関する設定や操作を行う【システム管理】](#)

- 本機の設定と一部の操作は、パーソナルコンピューター（以下、PC）のウェブブラウザからも行うことができます。ウェブブラウザから設定できる項目は「設定項目一覧（設定メニュー）」を、操作できる項目は「操作項目一覧」をお読みください。操作のしかたは、「[ブラウザ操作]」をお読みください。

☞ [設定項目一覧（設定メニュー）](#)

☞ [操作項目一覧](#)

☞ [\[ブラウザ操作\]](#)

使用時の制約事項

本機には、各機能において以下のような制約事項があります。内容を確認の上、使用してください。カメラ個別の制約事項は、弊社サポートウェブサイトに掲載しています。

モニター接続時

- メインモニターに映像を表示中にサブモニターを接続すると、メインモニターが数秒間黒画になります。逆の場合も同様です。

4K対応モニター使用時

- 1画面表示時は、60 fpsの映像を30 fpsに間引いて表示します。

カメラのライブ画像表示時

- カメラのライブ画像表示中に以下の操作をすると、操作後の数秒間*は黒画表示され

ることがあります。

- ・ ライブ画像を表示したとき（カメラの切り換えなど）
- ・ 画面分割数を切り換えたとき
- メインモニターやサブモニターでカメラの切り換えや画面分割数の切り換え、シーケンス表示などを行うと、カメラによっては、もう一方のモニターに表示されているカメラ画像内の文字サイズが変わって見えることがあります。
- 録画のフレームレートが25 ips ~ 60 ipsに設定されたカメラのライブ画像をモニターに表示すると、被写体によってはなめらかに表示されない場合があります。
- 設定変更後は、カメラのライブ画像が表示されるまで10秒程度かかる場合があります。

録画画像再生時

- 画像の再生中に以下の操作をすると、数秒間*だけ再生時間が飛んで表示されることがあります。
 - ・ カメラを切り換えたとき
 - ・ 画面分割数を切り換えたとき（再生の一時停止中に表示を切り換えると、停止中の画像ではなく数秒前、もしくは数秒後の画像が拡大表示されることがあります。）
 - ・ 画像の再生中に、再度、再生ボタンをクリックした場合
 - ・ 一時停止中にコマ送り再生した際の最初の1コマ目
- 再生中に以下の操作をすると、数秒間隔*で再生されます。画像再生中の操作については、以下をお読みください。
 - ☞ [再生操作パネルについて](#)
 - ☞ [再生操作について](#)
 - ・ 逆再生
 - ・ 高速再生／高速逆再生
 - ・ 逆コマ送り再生
- 日時検索をすると、指定した時刻の数秒前*、もしくは数秒後*から再生したり、次の録画データの先頭から再生されたりすることがあります。
- 最新再生を行うと、最新の録画日時の約30秒前から数秒間*ずれて再生することがあります。また、録画画像のデータ量によって、再生開始後、数十秒で一時停止することがあります。
- フレームレートが25 ips ~ 60 ipsに設定された録画画像は、なめらかに再生されない場合があります。
- 解像度が異なる箇所をまたいで再生すると、画面更新が停止する場合があります。一度再生を停止してから、ふたたび再生操作を行ってください。
- 本機の負荷が大きくて再生を継続できない場合や、録画画像が表示できなかつたり、

録画画像が無かったりした場合は、再生が停止し、ライブ画像表示に戻ります。

- モニターを接続したり抜いたりすると、再生が停止し、ライブ画像表示に戻ります。

録画時

- 録画開始の命令（イベント発生やスケジュール録画など）の発生時刻と、実際に録画される時刻（録画イベントリストの時刻）が数秒間*ずれることがあります。
- プレ録画を設定している場合、設定した時間どおりに録画できないことがあります。
- イベント録画や緊急録画時にフレームレートを切り換える設定をしている場合、リフレッシュ間隔によっては、レートの切り換わりに数秒かかることがあります。
- カメラによっては、録画のフレームレートを25 ips ~ 60 ipsに設定すると、音声途切れたり、録画のフレームレートが低下する場合があります。
- スマートコーディング（GOP制御）を設定するとプレ録画やSDメモリーバックアップ機能が正しく動作しません。それらの機能を使用する場合、スマートコーディング（GOP制御）はOffに設定してください。
- 本機に登録しているカメラのストリームが、カメラ側でSD録画の録画ストリームに設定されていると、イベント録画や緊急録画時にフレームレートを切り換えることができません。

AIプライバシーガード録画使用時

- AIプライバシーガード録画を使用するには、対象のカメラに機能拡張ソフトウェア WV-XAE201Wがインストールされていて、設定が済んでいる必要があります。また、対象のカメラにおいて、AIプライバシーガード設定の「対象ストリーム」は「ストリーム(2)&ストリーム(4)」に設定する必要があります。
- AIプライバシーガード録画は、カメラ2台分の登録枠が必要です。
- AIプライバシーガード録画は、録画・モニターライブ1画面表示・ブラウザ表示にストリーム2を、モニターライブ多画面表示にストリーム4を使用します。ストリーム4のフレームレートは10 ipsになります。
- AIプライバシーガード録画は、対になるカメラの録画設定およびスケジュール設定に従って動作します。
- アラームの録画対象カメラが、対になるどちらか一方であっても、両方のカメラで録画します。
- AIプライバシーガード録画はSDメモリーバックアップ録画が対象外です。
- 「本機の各機能でカメラのストリーム2を使用しない」および「モニターに1画表示する時のライブ画像をストリーム2で表示する」の「ストリーム2」は「ストリーム3」と「ストリーム4」のことを指します。

- カメラによって、AIプライバシーガード設定時のフレームレートの上限が異なります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

コピー時

録画画像をコピーする際、指定した開始日時より数秒前*の画像からコピーされることがあります。

USBメモリー／外部記憶装置使用時

USBメモリーなどのメディアを挿入後、メディアを認識するまで時間がかかることがあります。また、メディアの容量が大きいと認識に時間がかかります。

ウェブブラウザ使用時

- 再生画像をダウンロードする際、指定した始点日時より数秒前*の画像からダウンロードされることがあります。
- 1回の再生画像のダウンロードでダウンロードできるデータサイズは約2GBです。指定した日時範囲のデータサイズがそれ以上の場合、ダウンロードは途中で終了します。
- 再生画像をMP4形式でダウンロードする場合、指定した日時範囲内に録画されていない箇所があったり、録画の設定が変わっている箇所があると、その箇所までダウンロードして終了します。
- HTTPS 接続時、「この接続ではプライバシーが保護されません」などのエラー画面が表示されますが、HTTPS 通信は可能です。
- アラートなどのポップアップダイアログが表示されると、ライブ映像や再生映像の更新が一時的に停止します。ポップアップダイアログを閉じると映像が更新されます。
- サブモニター使用時は、再生の最大接続数が1台になります。

SDメモリーバックアップ時

- スピードクラスClass10対応以外のSDメモリーカードを使用する場合、本機で設定したとおりに録画できない場合があります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。
- カメラの配信量制御設定を初期値以外に変更すると、SDメモリーバックアップが動作しない場合があります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

ビューワーソフト使用時

- 高解像度、高フレームレートの画像を再生する場合、再生速度が遅くなることがあります。

i-PRO Mobile APP 使用時

- サブモニター使用時は、モバイル再生の最大接続数が1台になります。

* 時間は、カメラ側のリフレッシュ間隔設定によります（設定範囲：0.2 ～ 5 秒）。本機は、カメラ登録時にカメラのリフレッシュ間隔を1秒に設定します。リフレッシュ間隔の設定についてはカメラの取扱説明書をお読みください。

ご使用の前にお読みください

動作検知機能について

カメラの動作検知（VMD：Video Motion Detection）機能は設定エリア内の輝度変化を元に画像内の動きを検知します。

以下のような場合、動作を検知しにくい、検知しない、または誤って検知する場合があります。

- 背景と動いている被写体に輝度（明るさ）の差がない。
- 夜間など、画像の輝度が低い。
- 被写体の動きが遅い。
- 被写体が小さい。
- 屋外、窓際など外光の状態が変わりやすい。
- 日光・車のヘッドライトなどの外光が入る。
- 蛍光灯がちらつく。
- 被写体に奥行きがある。

動作検知の設定を行う際は、カメラの設置状況・予想される被写体の動きにあったエリア設定、感度設定を行った後、昼間と夜間に検知状況を確認してください。また、検知しない場合や誤って検知する場合は、別途センサーを使用してください。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

録画画像の時刻表示について

本機の録画画像で表示される時間が飛んで表示されることがありますが、故障ではありません。

また、再生している画像と本機で表示する時刻がずれることがありますが、故障ではありません。

ません。

マウス操作について

本機で多くの処理が同時に行われているとき、本機に接続したマウスでの操作の反応が、一時的に遅くなったり、マウスカーソルが複数表示されることがありますが、故障ではありません。

再生時に表示される黒画について

以下の場合、再生中に黒画が表示される場合がありますが、故障ではありません。

- 再生中、再生一時停止中にカメラを切り換えたり、画面分割数を切り換えたりしたとき
- スキップ／逆スキップをしたとき
- 早送り／早戻しをしたとき
- 多画面表示時に、最新再生を行ったとき※
- 多画面表示中に、カメラの選択を変更したとき
- 再生中、早送り／早戻し再生中、コマ送り／逆コマ送り時に録画イベントリストをまたぐとき
- 再生動作をスムーズに行えない場合（本機にアラームが連続して入力したり、再生と同時にコピーを行ったりした場合など）

※データ量によって不特定のカメラ画像が黒画になります。

録画動作について

本機はカメラを接続して、HDDに録画することができます。

本機は以下の録画を行うことができます。

スケジュール録画：指定した曜日・時間帯に録画を自動で行います。

イベント録画：各種イベント（端子アラーム／カメラサイトアラーム／コマンドアラーム）が発生したときに録画を自動で行います。

緊急録画：本機の緊急録画入力端子に接続した外部スイッチを使用して、緊急時に優先的に録画／録音することができます。



[重要]

- 以下の場合には、約3秒間録画は行われませんが、故障ではありません。
 - ・録画中に設定を変更して設定メニューを終了したとき

イベントの種別について

ウェブブラウザ画面のリスト表示などで表示される録画イベント種別は以下のようになります。

SCH : スケジュール録画

EMR : 緊急録画

SD : SDメモリーバックアップ

以下はイベント録画の詳細種別です。

COM : コマンドアラーム

TRM : 端子アラーム

CAM : カメラサイトアラーム

PRE : プレ録画

SW1 ~ SW16 : 機能拡張ソフトウェアアラーム

※ 機能拡張ソフトウェアから送られるカメラサイトアラームは、機能拡張ソフトウェアアラームとしてイベント録画されます。

[本体設定]

本体設定について

本機の本体設定（マウス操作によるメインモニター上での設定）には、[簡単設定]-らくらくスタート、[基本設定]、[詳細設定]があります。

[簡単設定]-らくらくスタートは日付設定やカメラ登録、録画の設定など、本機を使用するために必要な最小限の設定を行います。[簡単設定]-らくらくスタートについては、別紙「[らくらくスタート]について」をお読みください。

[基本設定]は日時表示に関する設定や録画動作など、[簡単設定]-らくらくスタートで設定する以外の基本的な設定を行います。

[詳細設定]はモニターの設定や、ユーザー管理、メンテナンスに関する設定、HDDの管理、拡張機能の設定など詳細な設定を行います。



[重要]

- [簡単設定]、[基本設定]のどちらでもカメラの登録はできます。必要最小限の設定で運用する場合は別紙「[らくらくスタート]について」をお読みください。
- [簡単設定]でカメラを登録する場合は、接続するカメラ台数を各機種の最大カメラ台数以内にしてください。スイッチングハブなどを用いてカメラが最大カメラ台数を超えて接続されている場合は、以下をお読みください。
☞ [カメラを検出して登録する \[カメラ検出\]](#)
- [簡単設定]で登録できるのは、本機が対応している弊社およびパナソニック製カメラのみです。対応カメラについては、以下の弊社サポートウェブサイトを参照してください。
https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/documentation-database
- 弊社およびパナソニック製以外のカメラをONVIF接続で使用する場合は、[簡単設定]-らくらくスタートのみで運用を開始することはできません。

日時の設定、固定IPアドレスの設定、ユーザー名/パスワードの設定などをあらかじめカメラ側で行ってから、[基本設定] - [カメラ] - [カメラ登録] のカメラ検出や登録情報の変更でカメラを本機に登録してください。

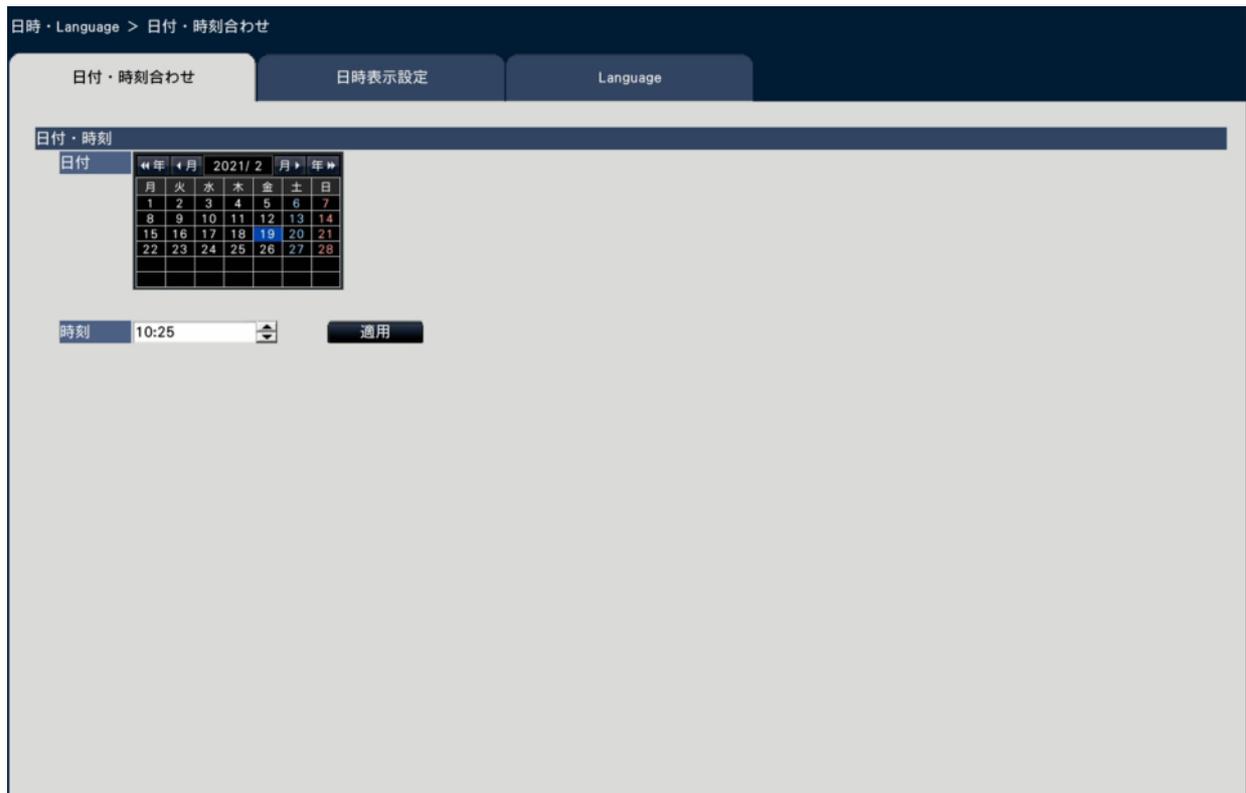
基本設定

日時や言語に関する設定を行う [日時・Language]

日時・Language ページは、[日付・時刻合わせ] タブ、[日時表示設定] タブ、[Language] タブで、構成されています。

日付と時刻を設定する [日付・時刻合わせ]

現在の日付と時刻を設定します。



■ 日付・時刻

[日付]

現在の日付を設定します。カレンダーから年月日を選択します。

[<<年] [年>>] ボタン：年を切り換えます。

[<月] [月>] ボタン：月を切り換えます。

[時刻]

現在の時刻を設定します。



[重要]

- 日付、時刻を設定したら、[適用] ボタンをクリックします。→00秒に設定されます。

日時の表示形式を設定する [日時表示設定]

日時の表示形式やタイムゾーンを設定します。

日時・Language > 日時表示設定

日付・時刻合わせ 日時表示設定 Language

表示形式

日付	yyyy/mm/dd
時刻	24 時間

タイムゾーン

タイムゾーン選択	GMT+9 : 00
サマータイム	Out

■ 表示形式

日付と時刻の表示形式を設定します。



[メモ]

- [カメラ設定] タブの「日時表示」は、ここで設定した表示形式に従います。
👉 [日時表示を設定する](#) [日時表示]

[日付]

日付の表示形式を選択します。(表示例：2022年3月1日の場合)

yyyy/mm/dd : 2022/03/01

Mmm/dd/yyyy : Mar/01/2022

dd/Mmm/yyyy : 01/Mar/2022

mm/dd/yyyy : 03/01/2022

dd/mm/yyyy : 01/03/2022

初期設定 : yyyy/mm/dd

[時刻]

時刻の表示形式を選択します。(表示例：午後3時00分00秒の場合)

24時間 : 15 : 00 : 00

12時間 : 03 : 00 : 00PM

初期設定 : 24時間

■タイムゾーン

タイムゾーンを設定します。

[タイムゾーン選択]

使用している地域に応じたタイムゾーンを選択します。日本で使用する場合は、「GMT+9:00」から変更する必要はありません。

GMT-12:00 ~ GMT+13:00

初期設定 : GMT+9:00



[重要]

- タイムゾーンを変更した後に、日時を指定したり履歴から選択したりして、再生を行うと、変更前の録画画像の再生開始時刻やタイムライン表示などが、変更したタイムゾーンの時差分ずれます。

[サマータイム]

サマータイムの切り換え方法を選択します。日本で使用する場合は、「Out」から変更する必要はありません。

Out : サマータイムは動作しません。

Auto : あらかじめ設定したサマータイムの開始/終了日時に従って、自動でサマータイムに切り換えます。

初期設定 : Out

【開始/終了日時】

サマータイムの開始/終了日時のルールを設定します。「サマータイム」にてAutoを選択すると表示されます。

サマータイムの開始(In)と終了(Out)の日時を指定する方法として「曜日で指定」または「日付で指定」を選択します。



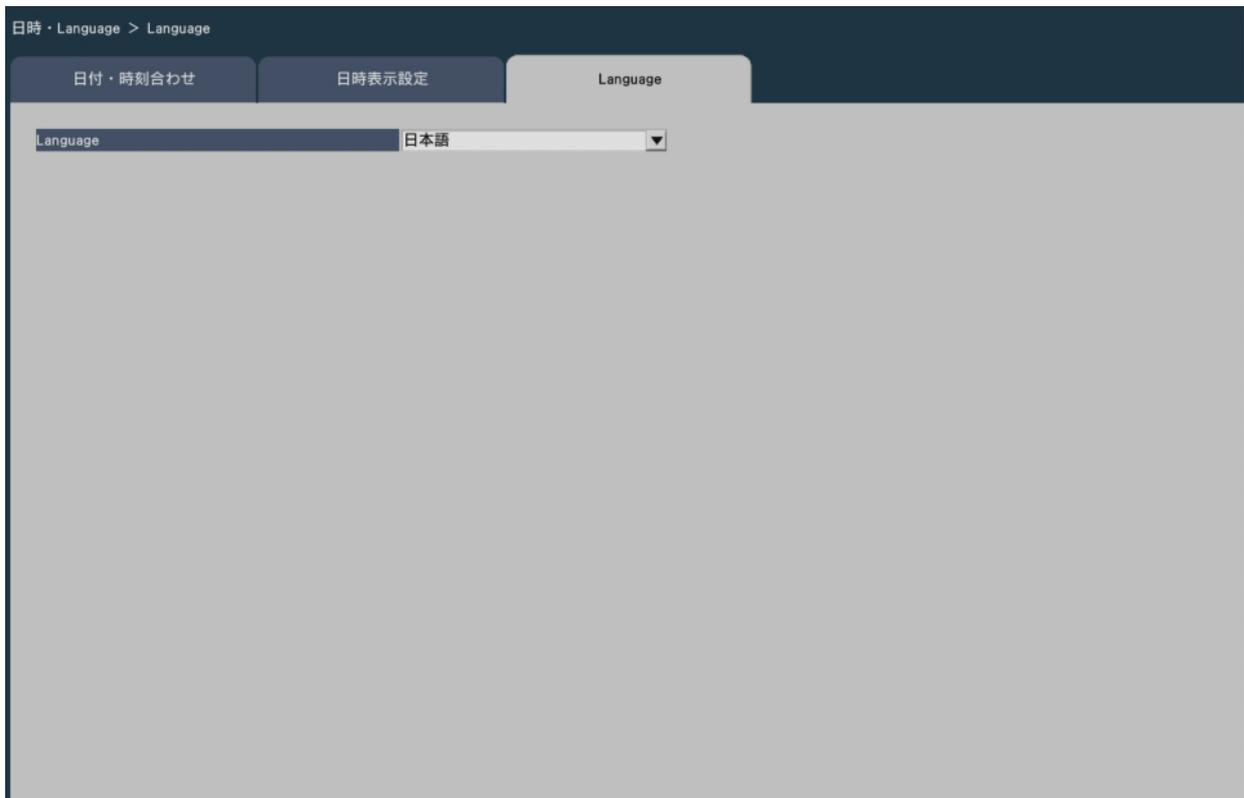
[重要]

- 開始 (In) と終了 (Out) の間隔を1時間以内に設定することはできません。

表示言語を設定する [Language]

メインモニター、およびPCのウェブブラウザに表示する言語を選択します。日本語表示で使用する場合は、「日本語」から変更する必要はありません。

[Language]



日本語 / English / Français / Español / Deutsch / Italiano / Português / ไทย /
Tiếng Việt / 簡体中文 / 繁體中文
初期設定：日本語

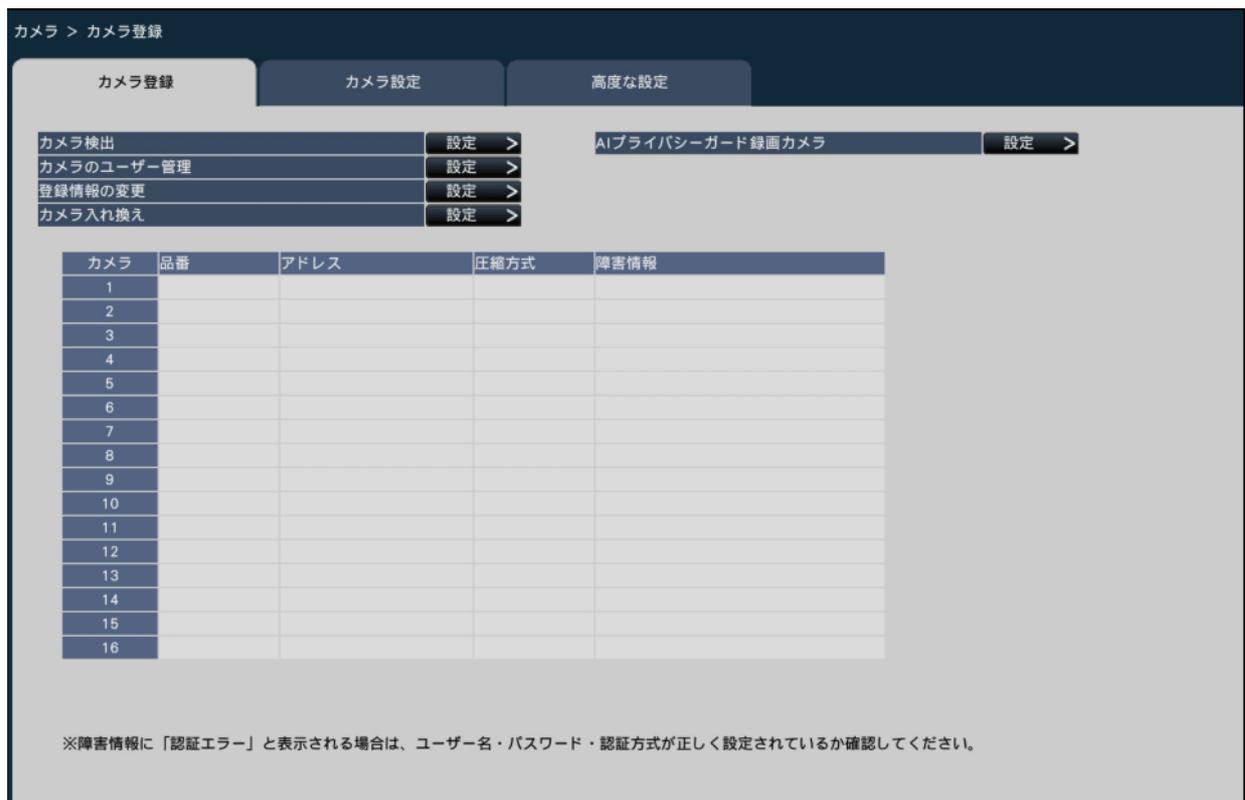
カメラに関する設定を行う [カメラ]

カメラページは、[カメラ登録] タブ、[カメラ設定] タブ、[高度な設定] タブで構成されています。

カメラを登録する [カメラ登録]

カメラのネットワーク設定（アドレスやポート番号）、メインモニターでの表示位置の変更などを行います。

初回設定時は、「らくらくスタート」で検出・設定したカメラの情報が表示されます。



【カメラ検出】

ネットワークに接続されているカメラを検出して登録します。

👉 [カメラを検出して登録する](#) 【カメラ検出】

【カメラのユーザー管理】

カメラのユーザー名/パスワードをカメラに設定します。

👉 [カメラのパスワードを変更する](#) 【カメラのユーザー管理】

【登録情報の変更】

「品番」、「オプション」、「アドレス」、「圧縮方式」、「認証方式」を変更します。

【設定>】 ボタンをクリックすると、登録情報の変更画面が表示され、設定を変更できます。

👉 [登録情報を変更する](#) 【登録情報の変更】

また、カメラとの通信で何らかの障害が発生している場合、「障害情報」に以下のように表示されます。

接続エラー：カメラと通信していません。

認証エラー：カメラのユーザー認証に失敗しました。

カメラエラー：カメラからの応答が正しくありません。

証明書エラー：カメラのセキュリティ証明書が信頼された証明機関から発行されたものではありません。



[メモ]

- 障害情報が表示された場合は、カメラとの接続やカメラ側の設定を確認してください。解決しない場合は、同梱の [らくらくスタート] について（紙チラシ）をお読みいただき、再度カメラ登録を行ってください。
- 品番が「RTSP」または「RTSP(FE)」のカメラは、障害情報が表示されません。

[カメラ入れ換え]

カメラ番号を入れ換えることができます。[設定>] ボタンをクリックすると、カメラ入れ換え画面が表示され、設定を変更できます。

👉 [カメラ番号を入れ換える \[カメラ入れ換え\]](#)

[AIプライバシーガード録画カメラ]

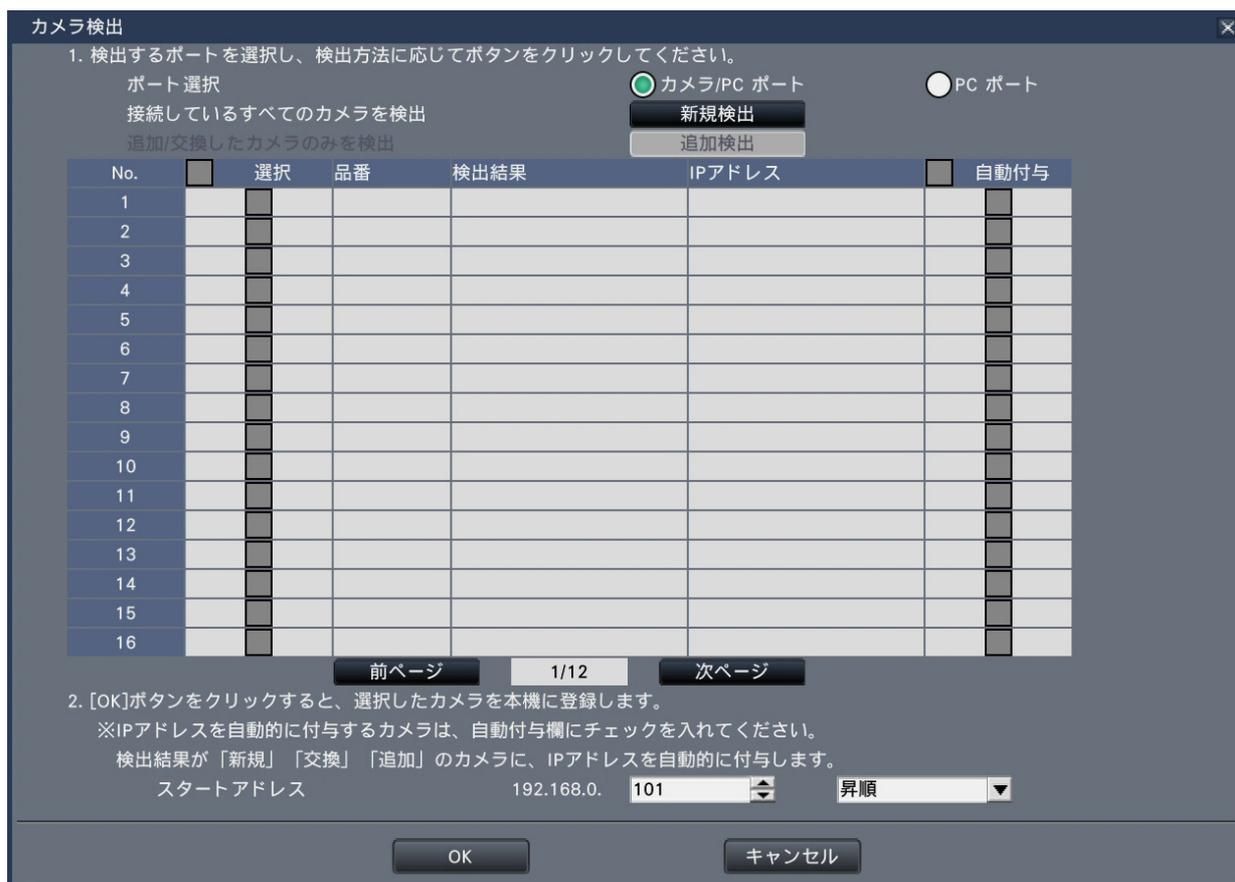
AIプライバシーガード録画するカメラを選択できます。

👉 [AIプライバシーガード録画するカメラを選択する \[AIプライバシーガード録画カメラ\]](#)

カメラを検出して登録する [カメラ検出]

[カメラ登録] タブで「カメラ検出」の [設定>] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。

設定変更後、[OK] ボタンをクリックすると、設定が保存され [カメラ登録] タブに戻ります。



[メモ]

●事前にカメラをネットワークに接続してください。カメラは最大192台まで検出することができますが、機種ごとの最大登録カメラ台数分しか登録することができません。

[ポート選択]

検出したいカメラが接続されているポートを選択します。

[新規検出] ボタン

現在の設定情報を破棄し、接続しているすべてのカメラを検出します。画面上にカメラ品番、検出結果、IPアドレスが表示されます。

[追加検出] ボタン

追加や交換したカメラのみを検出します。画面上にカメラ品番、検出結果、IPアドレスが表示されます。

[No.]

カメラ台数で、検出したカメラが表示されます。検出されるカメラは最大192台になります。

【選択】

チェックを入れたカメラを登録します。空き番号は詰めて登録されます。

【品番】

本機が対応している弊社およびパナソニック製カメラを使用している場合、そのカメラの品番が表示されます。対応カメラについては、弊社サポートウェブサイトを参照してください。

【検出結果】

新規：初めて本機にカメラを接続した場合に表示されます。

交換：本機に接続していたカメラを交換した場合に表示されます。

追加：本機にカメラを追加して接続した場合に表示されます。

登録済み：すでに登録済みのカメラの場合に表示されます。

消失：登録済みのカメラが検出されなかった場合に表示されます。

空欄：カメラが検出されていません。

【IPアドレス】

検出したカメラで設定されているIPアドレスを表示します。

【自動付与】

チェックを入れたカメラのIPアドレスを自動的に設定します。

【スタートアドレス】

自動的にIPアドレスを設定するときの開始アドレスと順番を指定します。



【メモ】

- カメラ登録は、ルーターを経由した異なるネットワークのカメラでは行えません。
- セキュリティ強化のため、カメラの機種によっては、電源投入後20分経過するとIPアドレスを変更できなくなります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。
- 検出したカメラのDHCP設定が「On」の場合、本機はカメラのDHCP設定を強制的に「Off」に変更し、IPアドレスを自動付与します。
- 本機でカメラのIPアドレスを自動付与しない場合は、本機と通信可能な固定IPアドレスをカメラに設定してください。
- カメラのIPアドレスを自動付与にした場合、[OK] ボタンをクリックしたときにカメラに対してIPアドレスの設定を行います。このとき、本機のデ

フォルトゲートウェイが、カメラのデフォルトゲートウェイに設定されます。

👉 [ネットワークの基本設定を行う \[基本\]](#)

- [キャンセル] ボタンをクリックすると、検出結果を反映せずに [カメラ登録] タブに戻ります。

カメラのパスワードを変更する [カメラのユーザー管理]

[カメラ登録] タブで「カメラのユーザー管理」の [設定>] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。

カメラ > カメラ登録 > カメラのユーザー管理

カメラ登録 カメラ設定 高度な設定

カメラのユーザー管理

設定内容 カメラに管理者を登録する パスワードを変更する

[カメラに送信] ボタンをクリックすると、選択したカメラに設定が反映され、結果が表示されます。

ユーザー名(1~32文字)

パスワード(8~32文字)

パスワード確認

※他社製カメラの設定はできません。

カメラ選択

カメラ	選択	品番	結果
1	<input type="checkbox"/>		
2	<input type="checkbox"/>		
3	<input type="checkbox"/>		
4	<input type="checkbox"/>		
5	<input type="checkbox"/>		
6	<input type="checkbox"/>		
7	<input type="checkbox"/>		
8	<input type="checkbox"/>		
9	<input type="checkbox"/>		
10	<input type="checkbox"/>		
11	<input type="checkbox"/>		
12	<input type="checkbox"/>		
13	<input type="checkbox"/>		
14	<input type="checkbox"/>		
15	<input type="checkbox"/>		
16	<input type="checkbox"/>		

カメラに送信 戻る

[設定内容]

設定する項目を選択します。

カメラに管理者を登録する：管理者が未登録のカメラにユーザー名とパスワードを登録します。ユーザー名/パスワードを入力します。



[メモ]

- すでにユーザー名/パスワードが登録されているカメラはユーザー名/パスワードを登録できません。

パスワードを変更する：本機に登録しているカメラユーザーのパスワードのみを変更しま

す。パスワードを入力します。

■カメラ選択

設定を送信するカメラを選択します。設定したユーザー名やパスワードを送信するカメラにチェックを入れます。(設定内容が、カメラに管理者を登録する場合、すでに管理者が登録されているカメラは選択できません)

[カメラに送信] ボタン

設定をカメラに送信します。送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

[戻る] ボタン

設定が終了したら、クリックします。[カメラ登録] タブに戻ります。



[メモ]

- 本機から設定できるのは弊社およびパナソニック製のカメラです。
- ユーザー名、パスワードはカメラの仕様に従ってカメラの管理者権限のものを入力してください。(カメラの取扱説明書を参照してください)
- 入力したユーザー名やパスワードは、カメラに対する設定が成功した場合に、対象カメラの登録情報として設定されます。
- ユーザー名とパスワードを設定した場合は、最後に必ず [設定終了] ボタンをクリックしてください。

登録情報を変更する [登録情報の変更]

[カメラ登録] タブで「登録情報の変更」の [設定>] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。設定変更後、[OK] ボタンをクリックすると、設定が保存され [カメラ登録] タブに戻ります。

登録情報の変更

登録情報を変更し、[OK]ボタンをクリックしてください。

カメラ	品番	オプション	アドレス	圧縮方式	認証方式	ユーザー名	パスワード	ポート番号
1					Digest			00080
2					Digest			00080
3					Digest			00080
4					Digest			00080
5					Digest			00080
6					Digest			00080
7					Digest			00080
8					Digest			00080
9					Digest			00080
10					Digest			00080
11					Digest			00080
12					Digest			00080
13					Digest			00080
14					Digest			00080
15					Digest			00080
16					Digest			00080

登録情報を削除するには、削除するカメラのアドレスを空欄にするか、
削除するカメラ番号を選択して、[削除]ボタンをクリックしてください。

削除番号選択

上記ページのカメラに対し、自動で品番を取得します。

自動品番取得

[カメラ]

機種ごとの最大登録カメラ台数まで接続できます。

[品番]

本機に登録済みのカメラの品番が表示されます。(空欄：カメラ未登録)

[▼] ボタンをクリックすると、カメラの品番またはカメラ区分から選択することができます。カメラ区分については、以下の弊社サポートウェブサイトを参照してください。

https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/documentation-database

通常は変更する必要はありません。

カメラ区分で「RTSP」を選択すると、URLを指定してRTSPでカメラに接続することができます。

接続方法については、弊社サポートウェブサイトの対応カメラ情報を参照してください。

[オプション]

カメラの搭載機能の違いによって固有の機能を持つカメラに対して、カメラの動作モードを指定します。



[メモ]

- 全方位カメラのオプションを変更すると、設置方法は各モードの初期値に設定されます。各モードの初期値は、以下の弊社サポートウェブサイトを参照してください。

https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/documentation-database

[アドレス]

本機に登録済みのアドレスが表示されます。ソフトキーボードでアドレスを変更できます。入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)含む）255文字以内に行ってください。



[メモ]

- ホスト名を入力した場合、「http://」の記述は不要です。

[圧縮方式]

画像の圧縮方式を選択します。

H.265(1) / H.265(3) / H.265(4) / H.264(1) / H.264(3) / H.264(4) / MJPEG



[メモ]

- カメラのストリームの用途別割当例

① 圧縮方式がH.264のカメラの録画・ライブ1画面表示・ブラウザ表示 : H.264(1)

② 圧縮方式がH.264のカメラのライブ多画面示 : H.264(2)

③ 圧縮方式がH.264またはH.265のカメラの録画・ライブ1画面表示（メインモニター）・ブラウザ表示 : H.264(1), H.264(3), H.264(4), H.265(1), H.265(3), H.265(4)

④ 圧縮方式がH.264またはH.265のカメラのライブ多画面表示（メインモニター）・ライブ表示（サブモニター） : H.264(2), H.265(2)

- 「本機各機能でカメラのストリーム2を使用しない」を有効にするとH.264(2)やH.265(2)を使用しません。

☞ [高度な設定を行う](#) **[高度な設定]**

- 圧縮方式を「MJPEG」に設定すると、ライブ画配信や録画のフレームレート設定が「5 ips」に自動的に変更されます。

☞ [録画の設定を行う](#) **[録画設定]**

- 圧縮方式を「H.264(n)」または「H.265(n)」に設定すると、画質設定で

「XF」が設定できるようになります。

 [録画の設定を行う](#) [録画設定]

- 圧縮方式を変更すると、カメラの機種によってはカメラが再起動することがあります。カメラ再起動中は通信エラーとして検出されますが、故障ではありません。

[認証方式]

カメラにアクセスするときのユーザー認証で利用する認証方式を設定します。

Digest : ダイジェスト認証を使用します。

Digest or Basic : ダイジェスト認証またはベーシック認証を使用します。

初期設定 : Digest

[ユーザー名]

カメラにアクセスし、ログインするためのユーザー名をソフトキーボードから入力します (半角英数字32文字以内)。アクセスレベルが「管理者」のユーザー名を登録してください。

[パスワード]

登録した「ユーザー名」のパスワードをソフトキーボードから入力します。(半角英数字32文字以内)

[ポート番号]

カメラが使用するポート番号を1～65535の範囲で設定します。

初期設定 : 80



[メモ]

- ポート番号は右詰めで入力してください。(例：ポート番号が80の場合、00080と設定。)ここでは、設定値の左の「0」は表記していません。

[削除番号選択]

登録情報の削除や接続していたカメラを外すときは、カメラ番号を選択し、[削除] ボタンをクリックするか、該当するカメラのアドレスを消してください。

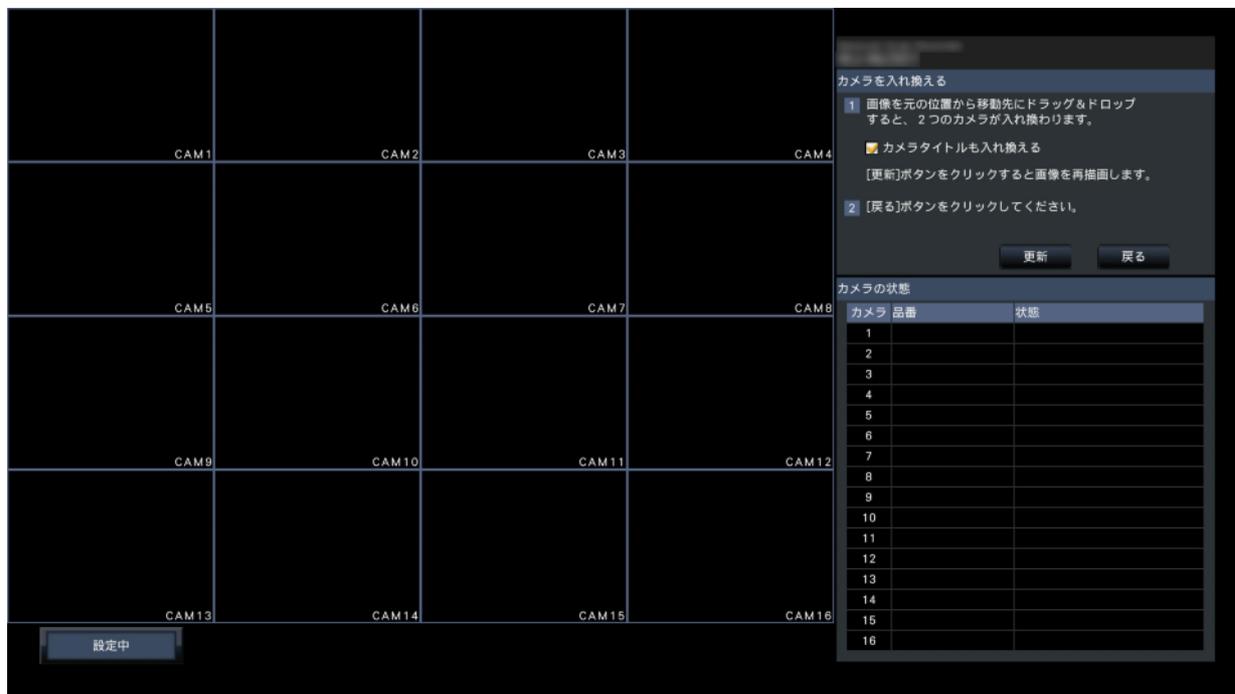
[自動品番取得]

[実行] ボタンをクリックすると、本機に登録しているカメラから品番を取得し、品番情報を更新します。

取得した品番が登録されている品番と異なる場合は、解像度が初期設定に変更されるので、再度 [録画・イベント] - [録画設定] で解像度を設定し直してください。

カメラ番号を入れ換える [カメラ入れ換え]

[カメラ登録] タブで「カメラ入れ換え」の [設定>] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



画面上には、登録したカメラが、左上から右に1、2、3、…の順で表示されます。

入れ換えたいカメラ画像をマウスでドラッグし、移動したい位置でドロップすると、カメラ番号が入れ換わります。

カメラタイトルも入れ換える場合は、「カメラタイトルも入れ換える」にチェックを入れてください。

[更新] ボタン

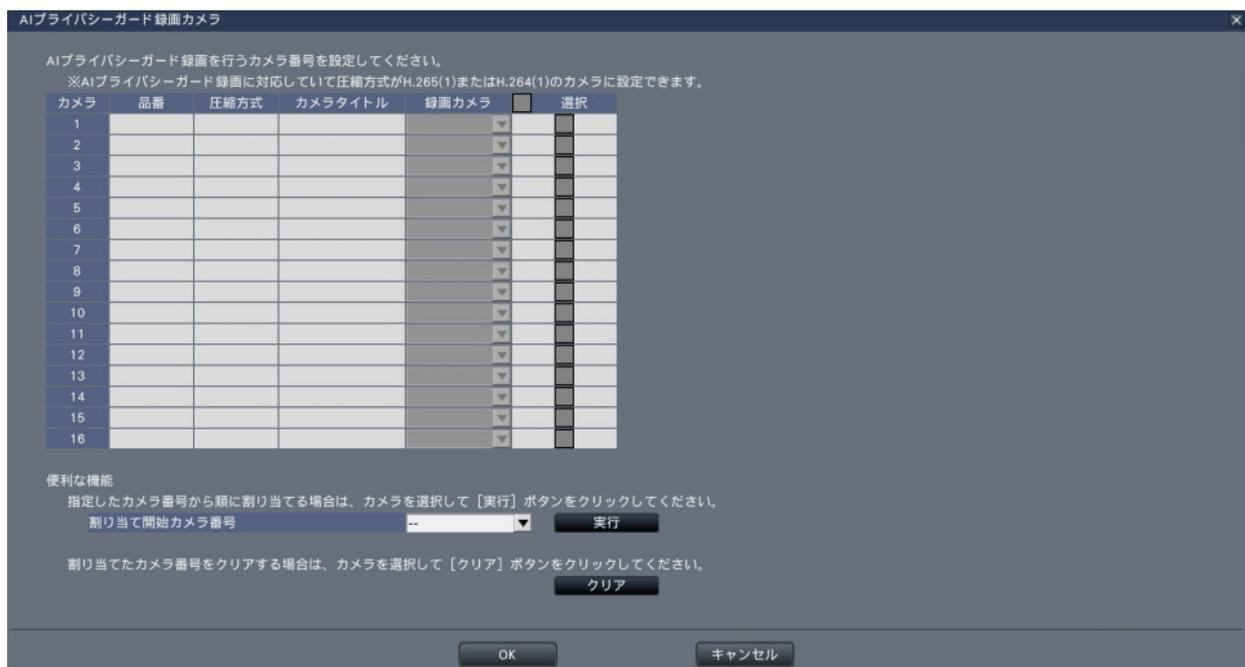
入れ換え後のカメラの最新画像を取得します。

[戻る] ボタン

設定を保存して [カメラ登録] タブに戻ります。

AIプライバシーガード録画するカメラを選択する [AIプライバシーガード録画カメラ]

[カメラ登録] タブで [AIプライバシーガード録画カメラ] の [設定>] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



[録画カメラ]

登録しているカメラに対し、AIプライバシーガード画像を録画するカメラを選択します。AIプライバシーガード録画に対応している、圧縮方式がH.265(1)またはH.264(1)に設定されているカメラのみ、録画カメラを選択できます。

[選択]

便利な機能で操作するカメラを選択します。

■ 便利な機能

AIプライバシーガード録画を行うカメラの設定を一括で行います。

[割り当て開始カメラ番号]

カメラ番号を順に割り当てるときの開始カメラ番号を指定します。[実行] ボタンをクリックすると、選択したカメラに対し、指定したカメラ番号から昇順に、使用していないカメラ番号を割り当てます。



[メモ]

- 録画カメラで選択したカメラ番号は、本機のすべての設定画面において、AIプライバシーガード録画用の表示に変わります。
- カメラを選択して [クリア] ボタンをクリックすると、割り当てたカメラ番号はクリアされます。

カメラの設定を行う [カメラ設定]

カメラ画像内の日時表示や文字表示、カメラのリフレッシュ間隔、動作検知アラーム、光量制御モードなどの設定をカメラに送信します。それぞれの設定項目の [設定>] ボタンをクリックして、設定画面を表示します。



[メモ]

- 本機から設定できるのは弊社およびパナソニック製の一部のカメラです。対応カメラについては、弊社サポートウェブサイトを参照してください。また、カメラによっては対応していない機能があります。カメラごとの詳細仕様については、カメラの取扱説明書をお読みください。
- カメラの現在の設定内容を本機で確認することはできません。

日時表示を設定する [日時表示]

カメラごとに日時の表示位置を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。

[カメラ設定] タブで「日時表示」の [設定>] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



■ 設定項目

[表示]

日時表示するかどうかを選択します。表示する設定にした場合は、カメラ画像内に日時が表示されるほか、録画画像にも日時が録画されます。

この設定をカメラに送信する場合は、チェックを入れ、項目を選択します。

On : 日時表示します。

Off : 日時表示しません。



[メモ]

●表示形式は、以下をお読みください。

👉 [日時の表示形式を設定する \[日時表示設定\]](#)

[位置]

画像上の日時の表示位置を選択します。

この設定をカメラに送信する場合は、チェックを入れ、表示位置を選択します。

左上 / 左下 / 右上 / 右下

■カメラ選択

日時表示の設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

【カメラに送信】ボタン

日時表示の設定をカメラに送信します。

送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

【戻る】ボタン

設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。

画像内の文字表示を設定する [画像内文字表示]

カメラごとに表示させる文字と表示するかどうかを選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。

[カメラ設定] タブで「画像内文字表示」の [設定>] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。

カメラ > カメラ設定 > 画像内文字表示

カメラ登録 カメラ設定 高度な設定

画像内文字表示

カメラに送信する項目にチェックを入れ、設定を選択してください。
[カメラに送信] ボタンをクリックすると、選択したカメラに設定が反映され、結果が表示されます。

設定項目

表示 On

画像内文字 編集 >

カメラ選択

カメラ	選択	画像内文字	結果
1	<input type="checkbox"/>		
2	<input type="checkbox"/>		
3	<input type="checkbox"/>		
4	<input type="checkbox"/>		
5	<input type="checkbox"/>		
6	<input type="checkbox"/>		
7	<input type="checkbox"/>		
8	<input type="checkbox"/>		
9	<input type="checkbox"/>		
10	<input type="checkbox"/>		
11	<input type="checkbox"/>		
12	<input type="checkbox"/>		
13	<input type="checkbox"/>		
14	<input type="checkbox"/>		
15	<input type="checkbox"/>		
16	<input type="checkbox"/>		

カメラに送信 戻る

■ 設定項目

[表示]

カメラ画像内にタイトル文字を表示するかどうかを選択します。表示する設定にした場合は、カメラ画像内に文字が表示されるほか、録画画像にも文字が録画されます。

この設定をカメラに送信する場合は、チェックを入れ、項目を選択します。

On : 文字表示します。

Off : 文字表示しません。

[画像内文字]

画像内文字情報をカメラに送信する場合は、チェックを入れ、画像内に表示する文字を編集します。[編集>] ボタンをクリックすると、以下の文字編集の画面が表示されます。



- [画像内文字]
画像内で表示する文字列をソフトキーボードから入力します（半角16文字まで）。
入力可能文字 : 0 ~ 9、A ~ Z（大文字）、半角記号 (! # \$ % () * + , - . / ; = ?)
- [カメラタイトル]
モニターページの [メインモニター] タブで登録したカメラタイトルが表示されます。
[👁️ メインモニターの設定を行う \[メインモニター\]](#)
- [コピー] ボタン

モニターページの [メインモニター] タブで登録したカメラタイトルを画像内文字として使用することができます。クリックすると、カメラタイトルが「画像内文字」にコピーされます。

- [戻る] ボタン

設定が終了したら、クリックします。画面が閉じます。

■カメラ選択

画像内文字表示の設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

[カメラに送信] ボタン

画像内文字表示の設定をカメラに送信します。

送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

[戻る] ボタン

設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。

ランプ点灯状態を設定する [ランプ表示]

カメラごとに、リンクランプ、アクセスランプ、状態表示ランプなどのランプの点灯/消灯方法を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

[カメラ設定] タブで「ランプ表示」の [設定>] ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。



【ランプ表示】

点灯：すべてのランプが状態に応じて点灯します。

点灯（アクセス時）：画像閲覧時に状態表示ランプのみが点灯します。

消灯：すべてのランプを消灯します。

■カメラ選択

ランプ表示の設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

【カメラに送信】 ボタン

ランプ表示の設定をカメラに送信します。

送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

【戻る】 ボタン

設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。

カメラの画像配信モードを設定する【配信モード】

カメラごとに配信モードの設定を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。

「カメラ設定」タブで「配信モード」の「設定>」ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。



■ 設定項目

【配信モード】

H.264/H.265画像の配信モードを以下から設定します。

フレームレート指定：H.264/H.265画像を「フレームレート」で設定したフレームレートで配信します。

アドバンスド可変ビットレート：H.264画像を「フレームレート」で設定したフレームレートで配信します。このとき、「制御期間（可変ビットレート時）」で設定した期間での配信量の平均が、本機が指定したビットレートになるように配信します。配信モードの設定はストリーム1、ストリーム2のチェックを入れたストリームに対してのみ行います。

可変ビットレート：H.264/H.265画像を「画質」で設定した画質レベルを維持しながら、「フレームレート」で設定したフレームレートで配信します。画質は固定となり、記録容量は「画質」設定や被写体の状況に応じて変化します。



[メモ]

- カメラ登録画面にてカメラ入れ換えを行ったり、カメラの交換が検出されたりした場合は、再度配信モードの設定を行ってください。

【最大ビットレート（バースト時）】

配信モードが「アドバンスド可変ビットレート」の時に、H.264ビットレートが、「1クライアントあたりのビットレート」をどれだけ超えることを許容するか、以下から選択します。

高、中、低

【制御期間（可変ビットレート時）】

配信モードが「アドバンスド可変ビットレート」の時に、録画するH.264のビットレートを制御する期間を以下から選択します。

1時間、6時間、24時間、1週間

【優先設定】

配信モードが「フレームレート指定」の時に、「フレームレート」と「画質」のどちらを優先するか設定します。

フレームレート優先：フレームレートを優先します。被写体によっては画質が変動する場合があります。

画質優先：画質の変動を抑えます。被写体によってはフレームレートが低下する場合があります。

【スマートコーディング（GOP制御）】

配信モードが「可変ビットレート」の時に、GOP制御を使用するかどうか設定します。

Off：GOP制御を使用しない

On (Advanced)：画像内に動きが少ない場合のデータ量を少なくすることができます。

■カメラ選択

配信モードの設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。



[メモ]

- AIプライバシーガード録画を行うカメラは、両方のストリームに設定されます。

【カメラに送信】 ボタン

配信モードの設定をカメラに送信します。

送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

【戻る】 ボタン

設定が終了したら、クリックします。【カメラ設定】 タブに戻ります。

リフレッシュ間隔を設定する【リフレッシュ間隔】

カメラごとに画像のリフレッシュ間隔を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。

【カメラ設定】 タブで「リフレッシュ間隔」の【設定>】 ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。



【リフレッシュ間隔】

画像表示の更新間隔を選択します。ネットワーク環境でエラーが多い場合は、リフレッシュ間隔を短くすると画像の乱れが少なくなります。ただし、画像の更新速度が低下することがあります。

0.2秒 / 0.5秒 / 1秒 / 2秒 / 3秒



[メモ]

- カメラ登録画面にてカメラ入れ換えを行ったり、カメラの交換が検出されたりした場合は、再度リフレッシュ間隔の設定を行ってください。

■カメラ選択

リフレッシュ間隔の設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。



[メモ]

- AIプライバシーガード録画を行うカメラは、両方のストリームに設定されます。

【カメラに送信】 ボタン

リフレッシュ間隔の設定をカメラに送信します。

送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

【戻る】 ボタン

設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。



[重要]

- カメラのリフレッシュ間隔を変更する設定をカメラに送信すると、カメラからの画像配信が一時的に停止し、その間は録画されません。

カメラの設置方法を設定する【設置方法（上下反転）】

カメラごとに設置方法を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。

[カメラ設定] タブで「設置方法（上下反転）」の【設定>】ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。



【設置方法（上下反転）】

- 卓上設置（On）：卓上に設置する場合に設定します。
- 天井設置（Off）：天井に設置する場合に設定します。
- 壁設置：壁に設置する場合に設定します。

■カメラ選択

設置方法の設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

【カメラに送信】ボタン

設置方法の設定をカメラに送信します。

送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

【戻る】ボタン

設定が終了したら、クリックします。【カメラ設定】タブに戻ります。



[メモ]

- カメラ画像を上下反転させるには、天井設置を選択してください。
- 全方位カメラを登録すると、天井設置で設定されています。壁設置する場合は、壁設置を選択してください。

カメラの画像回転を設定する [画像回転]

カメラごとに画像回転を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。

[カメラ設定] タブで「画像回転」の [設定>] ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。

カメラ > カメラ設定 > 画像回転

カメラ登録 カメラ設定 高度な設定

画像回転

設定を選択してください。
[カメラに送信] ボタンをクリックすると、選択したカメラに設定が反映され、結果が表示されます。

画像回転 90°

※「録画・イベント」 - 「録画設定」の「解像度」に合わせて設定値を選択してください。

カメラ選択

カメラ	選択	品番	結果
1	<input type="checkbox"/>		
2	<input type="checkbox"/>		
3	<input type="checkbox"/>		
4	<input type="checkbox"/>		
5	<input type="checkbox"/>		
6	<input type="checkbox"/>		
7	<input type="checkbox"/>		
8	<input type="checkbox"/>		
9	<input type="checkbox"/>		
10	<input type="checkbox"/>		
11	<input type="checkbox"/>		
12	<input type="checkbox"/>		
13	<input type="checkbox"/>		
14	<input type="checkbox"/>		
15	<input type="checkbox"/>		
16	<input type="checkbox"/>		

カメラに送信 戻る

[画像回転]

- 0° (Off) : 画像を回転しません。
- 90° : 画像を90度回転します。
- 180° (上下反転) : 画像を上下反転します。
- 270° : 画像を270度回転します。

■カメラ選択

画像回転の設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

【カメラに送信】 ボタン

画像回転の設定をカメラに送信します。

送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

【戻る】 ボタン

設定が終了したら、クリックします。【カメラ設定】 タブに戻ります。

パン・チルトフリップを設定する【パン・チルトフリップ】

カメラごとにパン・チルトフリップ機能を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。

【カメラ設定】 タブで「パン・チルトフリップ」の【設定>】 ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。

カメラ > カメラ設定 > パン・チルトフリップ

カメラ登録 カメラ設定 高度な設定

パン・チルトフリップ

設定を選択してください。
【カメラに送信】 ボタンをクリックすると、選択したカメラに設定が反映され、結果が表示されます。

パン・チルトフリップ On

カメラ選択

カメラ	<input type="checkbox"/>	選択	品番	結果
1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
6	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
7	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
8	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
9	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
10	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
11	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
12	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
13	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
14	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
15	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
16	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

カメラに送信 戻る

【パン・チルトフリップ】

疑似的な360度エンドレス旋回機能を働かせるかどうかを選択します。

On : パン・チルトフリップ機能を働かせます。

Off : パン・チルトフリップ機能は働きません。

■カメラ選択

パン・チルトフリップの設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

【カメラに送信】ボタン

パン・チルトフリップの設定をカメラに送信します。

送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

【戻る】ボタン

設定が終了したら、クリックします。【カメラ設定】タブに戻ります。

セルフリターンを設定する【セルフリターン】

カメラごとにセルフリターン機能を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。

カメラ > カメラ設定 > セルフリターン

カメラ登録 カメラ設定 高度な設定

セルフリターン

カメラに送信する項目にチェックを入れ、設定を選択してください。
【カメラに送信】ボタンをクリックすると、選択したカメラに設定が反映され、結果が表示されます。

設定項目

<input checked="" type="checkbox"/>	セルフリターン	ホームポジション
<input type="checkbox"/>	セルフリターン時間	1分

カメラ選択

カメラ	選択	品番	結果
1	<input type="checkbox"/>		
2	<input type="checkbox"/>		
3	<input type="checkbox"/>		
4	<input type="checkbox"/>		
5	<input type="checkbox"/>		
6	<input type="checkbox"/>		
7	<input type="checkbox"/>		
8	<input type="checkbox"/>		
9	<input type="checkbox"/>		
10	<input type="checkbox"/>		
11	<input type="checkbox"/>		
12	<input type="checkbox"/>		
13	<input type="checkbox"/>		
14	<input type="checkbox"/>		
15	<input type="checkbox"/>		
16	<input type="checkbox"/>		

カメラに送信 戻る

【セルフリターン】

手動での操作終了後に、「セルフリターン時間」で設定した時間が経過すると、カメラの動作を選択したいいずれかのモードへ自動的に戻すことができます。

Off : セルフリターンを行いません。

ホームポジション：設定した時間が経過すると、ホームポジションに戻ります。

自動追従／追尾：設定した時間が経過するとホームポジションに戻り、自動追従（自動追尾）動作を開始します。そのあとは、一定時間経過後、ホームポジションに戻って自動追従（自動追尾）開始という操作を繰り返します。

オートパン：設定した時間が経過すると、オートパン動作を開始します。

プリセットシーケンス：設定した時間が経過すると、シーケンス動作を開始します。

パトロール：設定した時間が経過すると、パトロール動作を開始します。

[セルフリターン時間]

手動操作終了後に、「セルフリターン」で設定した動作へ戻るまでの時間を以下から選択します。

10秒／ 20秒／ 30秒／ 1分／ 2分／ 3分／ 5分／ 10分／ 20分／ 30分／ 60分

■カメラ選択

セルフリターンの設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

[カメラに送信] ボタン

セルフリターンの設定をカメラに送信します。

送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

[戻る] ボタン

設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。

スーパーダイナミックを設定する

[スーパーダイナミック（ワイドダイナミックレンジ）]

カメラごとにスーパーダイナミック機能を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。

[カメラ設定] タブで「スーパーダイナミック（ワイドダイナミックレンジ）」の [設定>] ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。



【スーパーダイナミック (ワイドダイナミックレンジ)】

スーパーダイナミック機能を働かせるかどうかを選択します。

On (High) : スーパーダイナミック機能を働かせます。On (High) では、コントラストを重視して階調を補正します。

On : スーパーダイナミック機能を働かせます。Onでは、感度を重視して階調を補正します。

Off : スーパーダイナミック機能を停止します。

■カメラ選択

スーパーダイナミックの設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

【カメラに送信】 ボタン

スーパーダイナミックの設定をカメラに送信します。

送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

【戻る】 ボタン

設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。

カメラの暗部補正機能を設定する [暗部補正]

カメラごとに暗部補正機能を有効にするかどうかを選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。

[カメラ設定] タブで「暗部補正」の [設定>] ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。



[暗部補正]

暗部補正機能を使用すると、画像の暗い部分をデジタル画像処理によってより明るくすることができます。

- On : 暗部補正機能を有効にします。
- Off : 暗部補正機能を停止します。
- リセット : 暗部補正を初期設定に戻します。
- 数値 : 画像の暗い部分の明るさを調整します。

■カメラ選択

暗部補正の設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

【カメラに送信】 ボタン

暗部補正の設定をカメラに送信します。

送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

【戻る】 ボタン

設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。



【重要】

- 「暗部補正」を「On」に設定すると暗い部分のノイズが増えることがあり、また暗い部分と明るい部分の境界付近が、他の暗い部分・明るい部分よりも暗く、または明るく表示されることがあります。

カメラの逆光補正機能を設定する【逆光補正（BLC）】

カメラごとに逆光補正（BLC）機能を有効にするかどうかを選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。[カメラ設定] タブで「逆光補正（BLC）」の【設定＞】ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。

カメラ > カメラ設定 > 逆光補正(BLC)

カメラ登録 カメラ設定 高度な設定

逆光補正(BLC)

設定を選択してください。
【カメラに送信】 ボタンをクリックすると、選択したカメラに設定が反映され、結果が表示されます。

逆光補正(BLC) On

カメラ選択

カメラ	<input type="checkbox"/>	選択	品番	結果
1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
6	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
7	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
8	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
9	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
10	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
11	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
12	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
13	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
14	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
15	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
16	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

カメラに送信 戻る

【逆光補正 (BLC)】

「スーパーダイナミック」を「On」に設定した場合は設定できません。

逆光補正機能は、画像のより明るい部分をマスクエリアとして設定することで逆光を補正します。

On : マスクエリアが自動で設定されます。

Off : マスクエリアは自動で設定されません。マスクエリアを手動で設定する必要があります。

■カメラ選択

逆光補正の設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

【カメラに送信】 ボタン

逆光補正の設定をカメラに送信します。

送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

【戻る】 ボタン

設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。

光量制御を設定する [光量制御モード]

カメラごとに光量制御する方法を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。

[カメラ設定] タブで「光量制御モード」の [設定>] ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。



[光量制御モード]

屋外撮影：明るさ（照度）によって電子シャッターと自動絞りを併用して光量を制御します。

フリッカレス（50 Hz）：蛍光灯によるフリッカー（ちらつき）を自動補正します。
（50 Hz地域）

フリッカレス（60 Hz）：同上（60 Hz地域）

ELC：電子シャッターを使用して光量を制御します。

■カメラ選択

光量制御モードの設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

[カメラに送信] ボタン

光量制御モードの設定をカメラに送信します。

送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

[戻る] ボタン

設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。



[メモ]

- 「屋外撮影」を選択すると、蛍光灯下ではフリッカーが発生することがあります。

カメラのオートスローシャッターを設定する

【オートスローシャッター（最長露光時間）】

カメラごとにオートスローシャッターの設定を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。

【カメラ設定】タブで「オートスローシャッター（最長露光時間）」の【設定>】ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。

カメラ > カメラ設定 > オートスローシャッター(最長露光時間)

カメラ登録 カメラ設定 高度な設定

オートスローシャッター(最長露光時間)

設定を選択してください。
【カメラに送信】ボタンをクリックすると、選択したカメラに設定が反映され、結果が表示されます。

オートスローシャッター(最長露光時間) 最大 4/30s

カメラ選択

カメラ	<input type="checkbox"/>	選択	品番	結果
1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
6	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
7	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
8	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
9	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
10	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
11	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
12	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
13	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
14	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
15	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
16	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

カメラに送信 戻る

【オートスローシャッター（最長露光時間）】

オートスローシャッターは、センサーの蓄積時間を調整して電子感度アップを行います。設定できる値は以下のとおりです。

Off (1/30 s) / 最大2/30 s / 最大4/30 s / 最大6/30 s / 最大10/30 s / 最大16/30 s

■カメラ選択

オートスローシャッターの設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容

を送信するカメラにチェックを入れます。

【カメラに送信】ボタン

オートスローシャッターの設定をカメラに送信します。

送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

【戻る】ボタン

設定が終了したら、クリックします。【カメラ設定】タブに戻ります。



【重要】

- オートスローシャッターを設定すると、フレームレートが下がります。また、画像内にノイズおよび白い点（傷）が見える場合があります。



【メモ】

- 「最大16/30 s」に設定すると、16倍までの間で自動的に電子感度を上げます。
- カメラ側で「ゲイン」が「Off」に設定されている場合は設定できません。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

カメラの白黒画像切り換えを設定する【白黒切換／簡易白黒切換】

カメラごとに白黒切換の設定を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。

【カメラ設定】タブで「白黒切換／簡易白黒切換」の【設定＞】ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。



【白黒切換／簡易白黒切換】

白黒画像とカラー画像の切り換え方法を以下から選択します。

Off：常にカラー画像で撮影されます。

On：常に白黒画像で撮影されます。

On (IR Light On)：常に白黒画像で撮影されます。夜間時、近赤外線照明を使用する場合に設定します。

Auto1 (Normal) /Auto：画像の明るさ（照度）により、カラー画像と白黒画像が自動的に切り換わります。光源が明るい場合はカラーモード、光源が暗い場合は白黒モードに切り換わります。

Auto2 (IR Light)：夜間時、近赤外線の光源を使用する場合に設定します。

Auto3 (SCC)：光源が暗い場合でもカラー画像を維持したい場合に設定します。Super Chroma Compensation (SCC) 機能によりAuto1 (Normal) よりも低照度までカラー画像を維持します。



【メモ】

- 簡易白黒切換機能しか持たないカメラに対してもOn、Auto2、Auto3が選択できますが、動作はしません。

■カメラ選択

白黒切換／簡易白黒切換の設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

【カメラに送信】ボタン

白黒切換／簡易白黒切換の設定をカメラに送信します。送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

【戻る】ボタン

設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。

カメラのインテリジェントオートを設定する【インテリジェントオート】

カメラごとにインテリジェントオートを選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。

[カメラ設定] タブで「インテリジェントオート」の[設定>] ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。

カメラ > カメラ設定 > インテリジェントオート

カメラ登録 カメラ設定 高度な設定

インテリジェントオート
設定を選択してください。
[カメラに送信] ボタンをクリックすると、選択したカメラに設定が反映され、結果が表示されます。

インテリジェントオート Off

カメラ選択

カメラ	選択	品番	結果
1	<input type="checkbox"/>		
2	<input type="checkbox"/>		
3	<input type="checkbox"/>		
4	<input type="checkbox"/>		
5	<input type="checkbox"/>		
6	<input type="checkbox"/>		
7	<input type="checkbox"/>		
8	<input type="checkbox"/>		
9	<input type="checkbox"/>		
10	<input type="checkbox"/>		
11	<input type="checkbox"/>		
12	<input type="checkbox"/>		
13	<input type="checkbox"/>		
14	<input type="checkbox"/>		
15	<input type="checkbox"/>		
16	<input type="checkbox"/>		

カメラに送信 戻る

【インテリジェントオート】

インテリジェントオート機能を働かせるかどうかを設定します。インテリジェントオートとは、シーン（逆光、屋外、夜景など）、人物の顔、動きのある被写体などを判別し、カメラが自動的に絞り、ゲイン、シャッター速度、コントラストを調整することで、人物の顔や動きのある被写体などを見やすくする機能です。

On：インテリジェントオート機能を働かせます。

Off：インテリジェントオート機能は働きません。

■カメラ選択

インテリジェントオートの設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

【カメラに送信】 ボタン

インテリジェントオートの設定をカメラに送信します。

送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

【戻る】 ボタン

設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。

動作検知アラームを設定する【動作検知アラーム】

カメラごとに動作検知アラーム機能を選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。

[カメラ設定] タブで「動作検知アラーム」の [設定>] ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。

カメラ > カメラ設定 > 動作検知アラーム

カメラ登録 カメラ設定 高度な設定

動作検知アラーム

設定を選択してください。
 [カメラに送信] ボタンをクリックすると、選択したカメラに設定が反映され、結果が表示されます。
 ※動作検知エリアは全エリアに設定されます。

設定項目

動作検知アラーム On

検出感度 1(低い)

カメラ選択

カメラ	<input type="checkbox"/>	選択	品番	結果
1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
6	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
7	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
8	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
9	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
10	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
11	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
12	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
13	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
14	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
15	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
16	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

カメラに送信 戻る

【動作検知アラーム】

画像内の変化（動作）が検知されるとアラームを出力する動作検知（VMD : Video Motion Detection）アラーム機能を使用するかしないかを選択します。動作検知アラームについては、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。

On : アラームを検出します。

Off : アラームを検出しません。

【検出感度】

この設定をカメラに送信する場合は、チェックを入れ、項目を選択します。

1（低い）～ 15（高い）

■カメラ選択

動作検知アラームの設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

【カメラに送信】 ボタン

動作検知アラームの設定をカメラに送信します。

送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

ます。

【戻る】 ボタン

設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。

動作検知アラームをカメラ別に設定する [動作検知アラーム (カメラ別詳細設定)]

カメラごとに、動作検知エリアや検出感度をカメラに送信してカメラの設定を変更します。

[カメラ設定] タブで動作検知アラームの「カメラ別詳細設定」の [設定>] ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。



【メモ】

- 本メニューは、選択したカメラから設定情報を収集し、設定画面上に反映します。
- 全方位カメラは魚眼モードのみ設定可能です。
- 録画の解像度設定によっては、サブモニターのライブ画像が一時的に表示されなくなる場合があります。

動作検知アラーム(カメラ別詳細設定)

動作検知エリアを設定する
画像上で、四角形の左上と右下にあたる位置をクリックし、エリアを指定してください。

エリアはエリア番号の1番から順に設定されます。

[削除] ボタンをクリックすると、設定エリアが削除されます。
[カメラに送信] ボタンをクリックすると、選択したカメラに設定が反映され、結果が表示されます。

カメラ選択

ポジション選択

品番

障害情報

エリア	1	2	3	4
状態	無効 <input type="text"/>	無効 <input type="text"/>	無効 <input type="text"/>	無効 <input type="text"/>
検出感度	8 <input type="text"/>	8 <input type="text"/>	8 <input type="text"/>	8 <input type="text"/>
削除	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="削除"/>

結果：

[カメラ選択]

動作検知アラームを設定するカメラを選択します。

[ポジション選択]

選択したカメラがプリセット機能を有するカメラの場合、プリセットポジションを選択します。

[品番] [障害情報]

以下をお読みください。

 [カメラを登録する \[カメラ登録\]](#)

[動作検知エリアを設定する]

画像上で、エリアとなる四角形の左上と右下にあたる位置をクリックすると、指定した場所がエリア1に設定され、枠が表示されます。エリアはエリア番号の1番から順に設定されます。動作検知エリアを削除する場合は、削除するエリアの「削除」ボタンをクリックします。



[メモ]

- エリア枠の位置によっては、設定送信後に少し補正される場合があります。
- エリア枠のサイズが小さいと、エリア番号が正しく表示されません。

[状態]

動作検知エリアを無効にする場合は、該当するエリアの「状態」を「無効」に変更します。

[検出感度]

エリア内の動きを検出するときの感度を設定します。

1 (低い) ~ 15 (高い)

[カメラに送信] ボタン

動作検知アラームの設定をカメラに送信します。

送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。障害情報が「-」表示以外の場合はカメラに送信できません。

[戻る] ボタン

設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。

スケジュールを設定する [スケジュール1 ~スケジュール4]

カメラごとに動作モードやスケジュールを選択し、カメラに送信してカメラの設定を変更します。

[カメラ設定] タブで「スケジュール1」～「スケジュール4」の [設定>] ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。

カメラ > カメラ設定 > スケジュール1

カメラ登録 カメラ設定 高度な設定

スケジュール1

カメラに送信する項目にチェックを入れ、設定を選択してください。
 [カメラに送信] ボタンをクリックすると、選択したカメラに設定が反映され、結果が表示されます。

設定項目

動作モード 動作検知許可

スケジュール 月 火 水 木 金 土 日

24h 00:00 ~ 00:00

カメラ選択

カメラ	選択	品番	結果
1	<input type="checkbox"/>		
2	<input type="checkbox"/>		
3	<input type="checkbox"/>		
4	<input type="checkbox"/>		
5	<input type="checkbox"/>		
6	<input type="checkbox"/>		
7	<input type="checkbox"/>		
8	<input type="checkbox"/>		
9	<input type="checkbox"/>		
10	<input type="checkbox"/>		
11	<input type="checkbox"/>		
12	<input type="checkbox"/>		
13	<input type="checkbox"/>		
14	<input type="checkbox"/>		
15	<input type="checkbox"/>		
16	<input type="checkbox"/>		

カメラに送信 戻る

[動作モード]

スケジュールの動作を選択します。

Off : スケジュール動作を行いません。

アラーム入力許可 (端子1,2,3) : スケジュール設定されている間、端子のアラーム入力を許可します。

アラーム入力許可 (端子1) : スケジュール設定されている間、端子1のアラーム入力を許可します。

アラーム入力許可 (端子2) : スケジュール設定されている間、端子2のアラーム入力を許可します。

アラーム入力許可 (端子3) : スケジュール設定されている間、端子3のアラーム入力を許可します。

動作検知許可 : スケジュール設定されている間、動作検知を許可します。

プリセットポジション:1 ~プリセットポジション:8 : スケジュール設定された時間に

なると、あらかじめ登録されているプリセット ポジションから選択したポジションに移動します。

【スケジュール】

スケジュールを設定する曜日ボックスにチェックを入れます。時間帯を指定するときは開始時刻と終了時刻を設定します。時間帯を設定しないときは「24h」にチェックを入れます。

■カメラ選択

スケジュールの設定を送信するカメラを選択します。設定項目で選択した内容を送信するカメラにチェックを入れます。

【カメラに送信】 ボタン

スケジュールの設定をカメラに送信します。

送信が完了し、カメラに設定されると、結果欄に「OK」と表示されます。「認証エラー」などが表示された場合は、カメラの接続や設定に失敗している可能性があります。

【戻る】 ボタン

設定が終了したら、クリックします。[カメラ設定] タブに戻ります。

高度な設定を行う【高度な設定】

カメラの接続方式を設定します。

【高度な設定】 タブで「接続方式」の [設定>] ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。



■ 接続方式



【接続方式】

カメラごとに接続方式を設定します。

RTP : RTPで接続します。

RTSP : RTSPで接続します。ローカルのカメラ接続等に使用します。

インターネットモード : インターネットモードで接続します。遠隔のカメラと接続する場合等に使用します。



【メモ】

- 弊社およびパナソニック製カメラで、圧縮種別がH.264/H.265の場合に設定が有効になります。

【戻る】 ボタン

設定を終了したらクリックします。[高度な設定] タブに戻ります。

■その他の設定

【本機の各機能でカメラのストリーム2を使用しない】

チェックを入れると、メインモニターやサブモニターの多画面ライブ表示も録画設定で選択したストリームを表示します。



【メモ】

- 録画設定によってモニターのライブ画像が表示されない場合があります。

【本機の各機能でカメラの設定を自動的に変更しない】

本機は、本機の録画設定に応じてカメラの設定を自動的に行いますが、チェックを入れると、カメラの設定を行いません。本機の設定とカメラの設定に不整合が生じると、各種機能が正常に動作しない可能性がありますので、通常は本設定を変更しないでください。



【重要】

- 本設定によって、本機をお使いの環境に何らかの障害や損害が発生したとしても、責任を負いかねます。

録画やイベントに関する設定を行う【録画・イベント】

録画・イベントページは、[録画設定] タブ、[イベント設定] タブ、[高度な設定] タブ

で構成されています。

録画の設定を行う【録画設定】

スケジュールによる録画を設定します。録画する曜日や時間帯、録画のフレームレートや画質を設定します。

録画・イベント > 録画設定

録画設定 イベント設定 高度な設定

スケジュール設定 [スケジュール1]

録画する曜日

月	火	水	木	金	土	日
<input checked="" type="checkbox"/>						

録画する時間帯

[タイムテーブル1]

時間帯	0	6	12	18	24	スケジュール録画	イベント録画	メール	アラーム通知
1. 00:00 ~ 24:00	[Red bar]					<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. --:-- ~ --:--	[White bar]					<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. --:-- ~ --:--	[White bar]					<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. --:-- ~ --:--	[White bar]					<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. --:-- ~ --:--	[White bar]					<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. --:-- ~ --:--	[White bar]					<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※項目に「*」が表示されている場合は、詳細設定で変更されています。
 ※タイムバー上で開始時刻と終了時刻をクリックして時間帯を設定します。
 ※設定した時間帯を右クリックすると、消去できます。

録画設定 (全カメラ同一設定)

フレームレート: 10 ips

画質: FQ

推奨録画日数 (参考値): 日

※カメラを接続した状態で設定保存した場合のみ正しい日数表示になります。
 ※イベント録画や緊急録画によるHDD使用量は含みません。
 ※品番が「i-PRO(Unknown)」 「ONVIF」など、未対応または他社製カメラをお使いの場合、推奨録画日数は表示されません。

■ スケジュール設定

事前に設定したスケジュールに従い録画を行います。曜日と時間帯を設定します。

【録画する曜日】

録画したい曜日を選択します。録画する曜日にはチェックを入れます。

【録画する時間帯】

「タイムテーブル1」に6つの時間帯を設定できます。タイムバーは1目盛り15分で、24時間を表しています。開始時刻と終了時刻を設定するには、タイムバー上の任意の時刻をクリックしてください。設定された時間帯は、タイムバーが赤くなります。



[メモ]

- タイムテーブル1には初期設定で24時間のスケジュール録画とイベント録画が設定されています。設定済みの時間帯を取り消すには、その時間帯を右クリックします。
- 録画時間帯は、タイムバー上で開始時刻から終了時刻までをマウスでドラッグして設定することもできます。
- 6つの時間帯の間で、時間が重なる設定はできません。他のタイムバー上ですでに設定された時刻を設定しようとする、重なる時間の直前または直後の時刻が設定されます。
- 同じタイムテーブル内では、スケジュール録画よりイベント録画が優先されます。

[スケジュール録画]

設定したタイムバーに従ってスケジュール録画したい場合はチェックを入れます。

[イベント録画]

設定したタイムバーに従ってイベント録画したい場合はチェックを入れます。設定していない時間帯は、アラームが発生しても録画を行いません。

[メール]

イベント発生時、アラームメールを送信する場合はチェックを入れます。イベント録画にチェックが入っていないと設定できません。

送信先の設定は以下をお読みください。

☞ [メール通知に関する設定を行う](#) [メール]

[アラーム通知]

イベント発生時、独自アラームプロトコルまたはHTTPを使って、発生したイベントの情報をPCへ自動的に通知する場合はチェックを入れます。イベント録画にチェックが入っていないと設定できません。

通知先の設定は以下をお読みください。

☞ [アラームの独自通知設定を行う](#) [独自アラーム]

☞ [HTTPアラーム通知設定を行う](#) [HTTPアラーム]



[重要]

- スケジュール1～16のいずれかでアラームを通知する設定になっていると、アラームを通知する設定になっていないスケジュールを割り当てているカメラにおいても、カメラサイトアラーム入力に対する通知はおこなわれます。

[👉カメラサイトアラームの設定を行う \[カメラサイトアラーム詳細設定\]](#)

[詳細設定>] ボタン

スケジュール詳細設定ページを表示します。6つのスケジュール録画と共に、6つのイベント録画を設定できます。また、スケジュール設定も16パターンまで設定できます。

[👉スケジュール録画の詳細を設定する](#)

■録画設定（全カメラ同一設定）

録画のフレームレート、画質を設定します。すべてのカメラが同一の設定になります。

[フレームレート]

録画のフレームレートを選択します。

1 ips / 3 ips / 5 ips / 10 ips / 15 ips / 30 ips

初期設定：10 ips



[重要]

- 圧縮方式が [MJPEG] のカメラは、「10 ips / 15 ips / 30 ips」を選択できません。
- 圧縮方式が [MJPEG] のカメラを含む場合、フレームレート設定のスライダーにて「10 ips / 15 ips / 30 ips」を設定しても、[MJPEG] のカメラは「5 ips」に設定されます。現在の設定値は、録画設定（全カメラ同一設定）の [詳細設定>] にて確認できます。

[画質]

録画の画質を選択します。

NQ (Normal) : 標準画質

FQ (Fine) : 高画質

SF (Super Fine) : 最高画質

XF (Extra Fine) : 超高画質

初期設定：FQ



[重要]

- 圧縮方式が [MJPEG] のカメラは、「XF」を設定できません。
- 圧縮方式が [MJPEG] のカメラを含む場合、画質設定のスライダーにて「XF」を設定しても、[MJPEG] のカメラは「SF」に設定されます。現在の設定値は、録画設定（全カメラ同一設定）の [詳細設定>] にて確認できます。

【推定録画日数（参考値）】

HDDに録画可能な日数を計算し、表示します。



【メモ】

- 推定録画日数は、カメラを正常に認識している状態で設定保存した場合のみ、正しい日数表示になります。
- 推定録画日数は、月曜日から録画を開始した場合を想定して計算します。スペシャルデー設定は考慮されません。
- イベント録画・緊急録画によるHDD使用量は含みません。
- 他社製カメラをお使いの場合は、推定録画日数は表示されません。
- 設定項目の前に「*」が表示されている場合は、その項目が録画詳細設定ページで変更されていることを表します。
- 高解像度、高画質で録画する設定にした場合、設定したレートで録画できないことがあります。他社製のカメラが含まれておらず、指定レートで録画できない可能性がある設定になっている場合には、確認画面が表示されます。
- データ自動消去がOff以外に設定されている場合は、その設定日数が併記されます。

[👉システムに関する設定や操作を行う【システム管理】](#)

【詳細設定＞】ボタン

録画詳細設定ページ（カメラ別）を表示します。カメラごとに録画設定を行うことができます。

[👉【録画詳細設定】](#)

スケジュール録画の詳細を設定する

最大16パターンのスケジュールを設定することができます。それぞれのスケジュールでは、スケジュール録画やイベント録画の時間帯を最大6つまで設定できます。

「スケジュール設定」で【詳細設定＞】ボタンをクリックすると、スケジュール詳細設定ページが表示されます。



■録画する曜日

曜日ごとにどのタイムテーブルに従って動作するかを選択します。「●」は選択状態、「○」は非選択状態を表します。

タイムテーブル1：タイムテーブル1に従い録画します。

タイムテーブル2：タイムテーブル2に従い録画します。

Off：スケジュール録画もイベント録画も行いません。

初期設定：タイムテーブル1

■イベント録画

アラーム発生時のイベント録画時間とアラーム発生前のプレ録画時間を設定します。

【イベント録画時間】

アラーム発生時の録画時間を設定します。

2秒 / 5秒 / 10秒 / 20秒 / 30秒 / 1分 / 2分 / 3分 / 5分 / 10分 / 15分

Manual：アラーム信号が入力されている間だけ録画を行います。(最低8秒間)

Ext.：アラーム動作を解除するまで録画し続けます。

初期設定：30秒

【プレ録画時間】

アラーム発生前にプレ録画時間を設定します。

0秒 / 5秒 / 10秒 / 15秒

初期設定：0秒



【メモ】

- 設定した時間より長い時間録画されることがあります。
- カメラのビットレート設定が4Mbpsの場合、15秒のプレ録画が可能です。4Mbpsを超えるような高解像度、高画質、高レートで録画する場合は、設定した時間より短くなる可能性があります。
- 「0秒」に設定するとプレ録画されません。
- 音声付きで録画する設定の場合、プレ録画の先頭に音声録音されないことがあります。

■ 録画する時間帯

2つのタイムテーブルを設定できます。

【スケジュール録画】

以下をお読みください。

[録画の設定を行う](#) [【録画設定】](#)

【イベント録画】

以下をお読みください。

[録画の設定を行う](#) [【録画設定】](#)

【メール】

以下をお読みください。

[録画の設定を行う](#) [【録画設定】](#)

【アラーム通知】

以下をお読みください。

[録画の設定を行う](#) [【録画設定】](#)

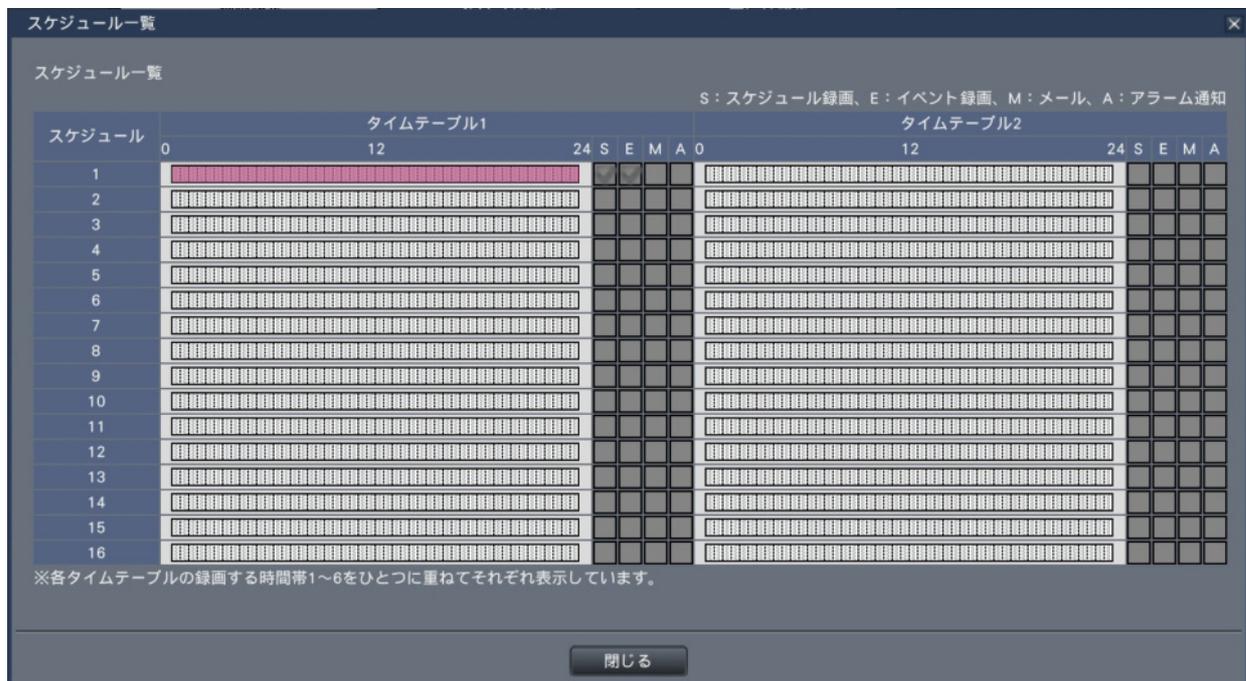
【前ページ】 / 【次ページ】

設定するスケジュール設定を切り換えます。

【スケジュール一覧を表示する】

スケジュール1からスケジュール16の各タイムテーブルとスケジュール録画やイベント録

画などの設定を表示します。[表示] ボタンをクリックするとスケジュール一覧が表示されます。



各タイムテーブルの時間帯1～6はひとつに重ねて表示されます。

[戻る] ボタン

設定を終了したらクリックします。[録画設定] タブに戻ります。

[録画詳細設定]

カメラごとに、解像度やフレームレート、画質などを設定できます。

「録画設定 (全カメラ同一設定)」で [詳細設定>] ボタンをクリックすると、録画詳細設定ページが表示されます。



[品番]

接続しているカメラの品番が表示されます。

(空欄：カメラ未登録)

[圧縮方式]

カメラ登録時に設定した圧縮方式が表示されます。

[解像度]

録画する画像の解像度を選択します。

アスペクト比 4:3

VGA (640×480) / SVGA (800×600) / SXVGA (1280×960) / UXGA (1600×1200) / QXGA (2048×1536) / 5M (2560×1920) / 7M (3072×2304)

アスペクト比 16:9

HVGAW (640×360) / HD (1280×720) / FHD (1920×1080) / WQHD (2560×1440) / 4M (2688×1520) / 5M (3072×1728) / 6M (3328×1872) / 4KUHD (3840×2160)

アスペクト比 1:1

1.4M (1200×1200) / 1.6M (1280×1280) / 2M (1440×1440) / 4M (2048×2048) / 5M (2192×2192) / 8M (2816×2816) / 9M (2992×2992)

アスペクト比 9:16 (縦長)

0.2M (360×640) / 1M (720×1280) / 2M (1080×1920) / 4M (1440×2560) /
4M (1520×2688) / 5M (1728×3072) / 6M (1872×3328) / 8M (2160×3840)

アスペクト比が縦長の解像度を設定すると画像が90°回転します。画像を270°回転したい場合は、「カメラの画像回転を設定する [画像回転]」で270°を選択してください。

 [カメラの画像回転を設定する \[画像回転\]](#)



[重要]

- カメラの品番および圧縮方式によって、選択できる解像度が異なります。



[メモ]

- 高解像度、高画質で録画する設定にした場合、設定したレートで録画できないことがあります。
- 解像度を変更すると、カメラの機種によってはカメラが再起動することがあります。カメラ再起動中は通信エラーとして検出されますが、故障ではありません。

[レート] (フレームレート)

以下をお読みください。

 [録画の設定を行う \[録画設定\]](#)



[メモ]

- カメラの品番、圧縮方式、解像度の設定によっては、12.5 ips / 25 ips / 50 ips / 60 ipsを選択できるようになります。
- 1920×1080 p/60 Hz (1920×1080 p/50 Hz) に対応したモニターを使用すると、60 ips (50 ips)の画像を1画面で表示できます。

[画質]

以下をお読みください。

 [録画の設定を行う \[録画設定\]](#)

[録音]

録画と同時に音声を録音するかを選択します。

On(AAC-LC) : 録音します。

Off : 録音しません。

初期設定 : Off

【スケジュール】

どのスケジュール設定に従って録画するかを選択します。

スケジュール1：スケジュール1の設定に従って録画します。

⋮

スケジュール16：スケジュール16の設定に従って録画します。

初期設定：スケジュール1

【イベント録画】

イベント録画のフレームレートを選択します。

1 ips / 3 ips / 5 ips / 10 ips / 12.5 ips / 15 ips / 25 ips / 30 ips / (基本と同じ)

初期設定：基本と同じ

【緊急録画】

緊急録画のフレームレートを設定します。

1 ips / 3 ips / 5 ips / 10 ips / 12.5 ips / 15 ips / 25 ips / 30 ips / (基本と同じ)

初期設定：基本と同じ



【メモ】

- 基本設定のレートが50 ipsまたは60 ipsの場合、イベント録画と緊急録画の設定は自動的に基本設定のレートと同じ値となり、「基本と同じ」と表示されます。このとき、イベント録画と緊急録画の設定は変更できません。
- 同じカメラの基本設定、イベント録画、緊急録画のいずれかで12.5 ipsまたは25 ipsが設定されていると、5 ips / 10 ips / 15 ips に設定した録画画像のレートはそれぞれ4.2 ips / 8.3 ips / 12.5 ips になります。
- SDメモリーバックアップやカメラのSD録画機能を使用する場合は、イベント録画と緊急録画のフレームレートを「基本と同じ」に設定してください。

【推定録画日数】

以下をお読みください。

 [録画の設定を行う](#) [録画設定]

【戻る】 ボタン

設定を終了したらクリックします。[録画設定] タブに戻ります。

イベントの設定を行う [イベント設定]

アラーム出力時間やブザーの鳴動時間など、イベントに関する設定を行います。



■ アラーム動作

アラーム出力時間や自動復帰時間などを設定します。

【出力時間】

アラーム発生時に本機の後面端子から出力するアラーム信号の出力時間を選択します。

「0秒」に設定するとアラーム信号を出力しません。

0秒 / 2秒 / 5秒 / 10秒 / 20秒 / 30秒 / 1分

Ext. : アラーム動作を解除するまでアラーム出力し続けます。アラーム動作の解除方法については、以下をお読みください。

[🔗 アラーム動作を解除する](#)

Rec. : イベント録画中、アラーム信号を出力し続けます。

初期設定 : 2秒

【ブザー鳴動時間】

アラーム発生時の本機のブザー鳴動時間を設定します。「0秒」に設定するとブザーは鳴りません。

0秒 / 2秒 / 5秒 / 10秒 / 20秒 / 30秒 / 1分

Ext. : アラーム動作を解除するまでブザー鳴動し続けます。アラーム動作の解除方法については、以下をお読みください。

アラーム動作を解除する

Rec. : イベント録画中、ブザー鳴動し続けます。

初期設定 : 2秒

[自動復帰時間]

アラーム動作を自動的に復帰させる時間を選択します。

2秒 / 5秒 / 10秒 / 20秒 / 30秒 / 1分 / 3分 / 5分

Ext. : アラーム動作を自動的に復帰させません。アラーム動作の解除方法については、
以下をお読みください。

アラーム動作を解除する

初期設定 : Ext.



[メモ]

- 「出力時間」「ブザー鳴動時間」が「自動復帰時間」より長く設定されている場合は、「自動復帰時間」の設定に従います。

[メッセージ表示]

アラーム発生時にネットワーク経由でPC画面上にメッセージを表示するかどうかを選択します。

On : メッセージを表示します。

Off : メッセージを表示しません。

初期設定 : On

[メインモニター連動動作]

メインモニターが操作画面表示中、または全画面表示中の場合、アラーム発生に連動して1画面表示に切り換えるかを選択します。

On : 連動動作します。

On (アラーム確認/復帰) : 連動動作します。

Off : 連動動作しません。

初期設定 : Off



[メモ]

- 「On (アラーム確認/復帰)」に設定すると、連動動作中に別のアラームが発生しても画面は切り換わらず、同じカメラ画像が表示され続けます。アラーム/コントロール端子のアラーム復帰入力で別のカメラに切り換わります。連動動作中に複数のアラームが発生すると発生した順番にカメラ番号が記憶されます。

- イベント別詳細設定で録画カメラに割り当てられているカメラを1画で表示します。
- 「再生中」「設定メニュー表示中」は連動動作しません。
- 自動復帰時間が経過すると、元の画面に戻ります（連動動作中にマウスが操作されると、元の画面には戻りません）。

【イベント種別選択】

【メインモニター連動動作】で「On」または「On（アラーム確認/復帰）」を選択した場合に表示されます。連動動作するイベント種別を選択します。

【画面表示】

【メインモニター連動動作】で「On」または「On（アラーム確認/復帰）」を選択した場合に表示されます。連動動作をどの画面で表示するかを選択します。

操作画面表示：操作画面で表示します。

全画面表示：全画面で表示します。

初期設定：操作画面表示

【表示カメラ】

【メインモニター連動動作】で「On」または「On（アラーム確認/復帰）」を選択した場合に表示されます。AIプライバシーガード録画使用時に、プライバシーガードがかかっていないカメラ（録画カメラ）を表示するか、かかっているカメラ（AIプライバシーガード録画カメラ）を表示するかを選択します。

初期設定：録画カメラ

■ イベント別詳細設定

各アラーム（端子アラーム、カメラサイトアラーム、コマンドアラーム）の詳細設定を行います。各項目の【詳細設定>】ボタンをクリックすると、詳細設定ページが表示されます。

端子アラームの設定を行う【端子アラーム詳細設定】

本機のアラーム入力端子に防犯ドアセンサーなどの外部機器からアラーム信号が入力されたときの録画の設定を行います。

本機後面のアラーム入力端子ごとに、録画に必要な設定を行います。



【NX310】



【NX410/NX510】

■端子アラーム詳細設定

【動作モード】

アラーム信号が入力されたときの動作を選択します。

録画+アラーム動作：すべてのイベント動作を設定に従って行います。

録画のみ：録画とイベントログへの記録、カメラのプリセット動作のみ行います。

Off：イベントログへの記録のみ行います。

初期設定：録画+アラーム動作

【アラーム履歴】

アラーム履歴を保存するかどうかを選択します。

保存する：履歴を保存します。

保存しない：履歴を保存しません。

初期設定：保存する

【端子別設定】

アラーム入力端子について各設定を行います。

【メモ】



- 【NX310】設定画面の「端子10」～「端子13」は本機後面パネルのアラームコントロール端子の汎用入出力1～汎用入出力4に該当します。使用する場合は、汎用入出力端子設定で「アラーム入力」に設定してください。

☞ [システムに関する設定や操作を行う](#) [システム管理]

【録画カメラ】

録画するカメラを選択します。「Off」に設定すると録画を行いません。

カメラ1 : カメラ1で録画を行います。

↓

カメラn : カメラnで録画を行います。

全カメラ : 登録されているすべてのカメラで録画を行います。

初期設定 : 端子番号と同じ番号のカメラ



[メモ]

●登録カメラ台数が多い場合、録画カメラで全カメラを設定しているとカメラによってアラーム録画の開始が遅くなる場合があります。プレ録画の使用をおすすめします。

[プリセット]

アラーム信号入力時に動作させるカメラプリセットポジション (001 ~ 256) を選択します。「---」に設定するとプリセットポジション移動を行いません。

[端子出力]

アラーム信号入力時に、本機後面のアラーム出力端子からアラーム信号を出力するかどうかを選択します。

【NX310】

On : アラーム出力端子からアラーム信号を出力します。

Off : アラーム信号を出力しません。

初期設定 : On

【NX410/NX510】

出力1 / 出力2 / 出力3 / 出力4 : 指定したアラーム出力端子からアラーム信号を出力します。

Off : アラーム信号を出力しません。

初期設定 : 出力1

[端子入力]

端子ごとにアラーム信号の入力方法を選択します。

N.O. (Normally Open) : ショート時に信号が入力されます。

N.C. (Normally Close) : オープン時に信号が入力されます。

初期設定 : N.O.

[名称]

端子アラームの名称をソフトウェアキーボードで入力します（16文字まで）。



[メモ]

- アラーム履歴やメール通知の本文が、設定した名称で表示されます。

[戻る] ボタン

設定を終了したらクリックします。[イベント設定] タブに戻ります。



[メモ]

- カメラのプリセットポジションについては、以下をお読みください。
👉 [カメラコントロールパネル](#)

カメラサイトアラームの設定を行う [カメラサイトアラーム詳細設定]

カメラの独自アラーム信号を受信して動作するカメラサイトアラーム入力時の動作を設定します。

カメラ	録画カメラ	プリセット	端子出力
1	カメラ1	---	On
2	カメラ2	---	On
3	カメラ3	---	On
4	カメラ4	---	On
5	カメラ5	---	On
6	カメラ6	---	On
7	カメラ7	---	On
8	カメラ8	---	On
9	カメラ9	---	On
10	カメラ10	---	On
11	カメラ11	---	On
12	カメラ12	---	On
13	カメラ13	---	On
14	カメラ14	---	On
15	カメラ15	---	On
16	カメラ16	---	On

「カメラサイトアラーム詳細設定」の「動作モード」「アラーム履歴」、「カメラ別設定」

の「録画カメラ」「プリセット」「端子出力」については、以下をお読みください。

[👉端子アラームの設定を行う \[端子アラーム詳細設定\]](#)

[戻る] ボタン

設定を終了したらクリックします。[イベント設定] タブに戻ります。



[メモ]

●カメラ側で設定するアラーム無検知時間よりイベント録画時間が短いと、連続して発生するアラームに対するイベント録画が行われない場合があります。

[👉録画やイベントに関する設定を行う \[録画・イベント\]](#)

コマンドアラームの設定を行う [コマンドアラーム詳細設定]

ネットワークを経由して、PCなどからコマンドを受信して動作するコマンドアラーム入力時の動作について設定します。

CMD No.	録画カメラ	プリセット	端子出力	名称
1	カメラ1	---	On	CMD1
2	カメラ2	---	On	CMD2
3	カメラ3	---	On	CMD3
4	カメラ4	---	On	CMD4
5	カメラ5	---	On	CMD5
6	カメラ6	---	On	CMD6
7	カメラ7	---	On	CMD7
8	カメラ8	---	On	CMD8
9	カメラ9	---	On	CMD9
10	カメラ10	---	On	CMD10
11	カメラ11	---	On	CMD11
12	カメラ12	---	On	CMD12
13	カメラ13	---	On	CMD13
14	カメラ14	---	On	CMD14
15	カメラ15	---	On	CMD15
16	カメラ16	---	On	CMD16

「コマンドアラーム詳細設定」の「動作モード」「アラーム履歴」、「コマンド番号別設定」の「録画カメラ」「プリセット」「端子出力」「名称」については、以下をお読みください。

[👉端子アラームの設定を行う \[端子アラーム詳細設定\]](#)

【戻る】 ボタン

設定を終了したらクリックします。[イベント設定] タブに戻ります。

録画・イベントの高度な設定を行う【高度な設定】

ここでは、録画に関する特殊な設定を行います。録画動作、アラームマスク時間、サイトアラーム受信ポート番号を設定します。

録画・イベント > 高度な設定

録画設定 イベント設定 高度な設定

録画動作 On
※Offに設定すると、すべての録画を強制的に停止します。

アラームマスク期間 2 秒

サイトアラーム受信ポート番号 01818

機能拡張ソフトウェアアラーム 設定 >

緊急録画設定 設定 >

外部録画設定 設定 >

SDメモリーバックアップ 設定 >

スマートコーディング(GOP制御) 設定 >

スペシャルデー 設定 >

その他の設定 設定 >

【録画動作】

すべての録画動作を停止するかどうかを設定します。主に、電源を切る前にHDDへのアクセスを停止させるために「Off」に設定します。

On : 録画動作を行います。

Off : すべての録画動作を停止します。

初期設定 : On



【重要】

- 「Off」に設定した場合は、運用再開時には必ず設定を「On」に戻してください。

【アラームマスク時間】

同じカメラで同じ種類のイベント（端子アラーム、カメラサイトアラーム、コマンドアラーム）が連続して発生しても、イベント動作を行わないようにする期間を設定します。

2秒 / 3秒 / 5秒 / 10秒

初期設定：2秒

【サイトアラーム受信ポート番号】

カメラのサイトアラームを受信するポート番号を選択します。

初期設定：1818

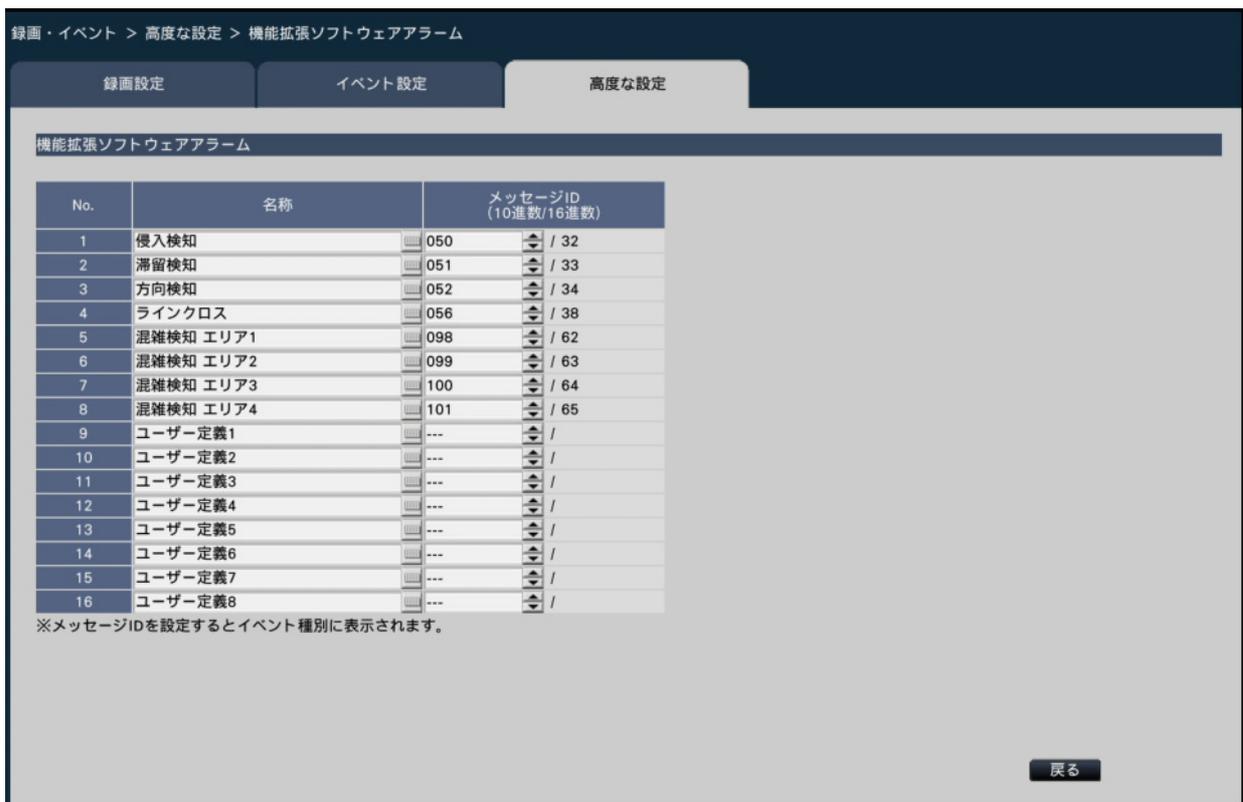


【メモ】

- ポート番号は右詰めで入力してください。（例：ポート番号が80の場合、00080と設定）。ここでは、設定値の左の「0」は表記していません。
- 以下の番号とHTTPポート番号、HTTPSポート番号、ポートフォワーディングのポート番号を設定することはできません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、79、80、105、110、123、161、162、443、546、547、995、10001、10002、10003、10004、10005、10006、10007、50000 ~ 50255

【機能拡張ソフトウェアアラーム】

機能拡張ソフトウェアアラームの名称とメッセージIDを設定します。



機能拡張ソフトウェアアラーム1～8を使用するには、対象のカメラにWV-XAE200WUX/XAE200WやWV-XAE207WUX/XAE207Wがインストールされていて、設定が済んでいる必要があります。

【名称】

機能拡張ソフトウェアアラーム1～16の名称をソフトウェアキーボードから入力します（16文字まで）。



【メモ】

- アラーム履歴やイベント情報表示、イベント種別選択、録画イベントは、設定した名称で表示されます。
 - ☞ タイムラインから指定して再生する
 - ☞ 検索して再生する（録画イベントサーチ）
- 空欄で設定を保存すると、初期設定の名称に戻ります。

【メッセージID】

機能拡張ソフトウェアアラーム1～16として受信するアラームのメッセージIDを10進数（000～255）で選択します。



[メモ]

- メッセージIDを設定すると、イベント種別選択や録画イベントに、設定したアラームの名称が表示されます。

☞ [タイムラインから指定して再生する](#)

☞ [検索して再生する（録画イベントサーチ）](#)

- 機能拡張ソフトウェアのメッセージIDや詳細情報は、以下のURLを参照してください。

https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/learning-and-support/knowledge-base/technical-information

<管理番号 : C0328>

[緊急録画設定]

緊急録画に関する設定を行います。

録画・イベント > 高度な設定 > 緊急録画設定

録画設定 イベント設定 高度な設定

緊急録画設定

録画時間	30 秒
緊急録音	Off

※「録画・イベント」 - 「録画設定」の「録音設定」がOffのカメラに対し、緊急録画時のみ録音する設定です。
※他社製カメラは対象外です。

戻る

[録画時間]

緊急録画を行うときの録画時間を選択します。

30秒 / 1分 / 3分 / 5分 / 10分 / 15分 / 30分

Manual : 接続した外部スイッチを押し続けている間だけ録画を行います。また、最低8秒間は録画を行います。

Ext. : アラーム動作を解除するまで録画し続けます。アラーム動作の解除方法については、以下をお読みください。

 [アラーム動作を解除する](#)

初期設定 : 30秒

[緊急録音]

録音設定していないカメラの音声を、緊急録画時のみ録音するかを設定します。

On(AAC-LC) : 緊急録画時のみ録音します。

Off : 緊急録画時も録音しません。

初期設定 : Off



[メモ]

- 音声非対応のカメラは、Off以外に設定しても録音しません。
- 緊急録画の開始タイミングによっては、緊急録画直前まで録画していたデータの最後に音声録音される場合があります。
- 緊急録音を設定しても、緊急録画時にカメラのライブ音声は出力されません。録音のみ行われます。

[外部録画設定]

外部録画のスケジュールを選択します。

録画・イベント > 高度な設定 > 外部録画設定

録画設定 イベント設定 高度な設定

外部録画設定

カメラ	品番	圧縮方式	基本設定	外部録画設定
			スケジュール	スケジュール ▼
1			スケジュール1	Off ▼
2			スケジュール1	Off ▼
3			スケジュール1	Off ▼
4			スケジュール1	Off ▼
5			スケジュール1	Off ▼
6			スケジュール1	Off ▼
7			スケジュール1	Off ▼
8			スケジュール1	Off ▼
9			スケジュール1	Off ▼
10			スケジュール1	Off ▼
11			スケジュール1	Off ▼
12			スケジュール1	Off ▼
13			スケジュール1	Off ▼
14			スケジュール1	Off ▼
15			スケジュール1	Off ▼
16			スケジュール1	Off ▼

戻る

[外部録画設定]にて、カメラ毎に外部録画で動作させたいスケジュール設定を選択します。

Off / スケジュール1 / ~ / スケジュール16

初期設定 : Off



[メモ]

●登録カメラ台数が多い場合、外部録画入力によるスケジュールの切り換わりが遅くなることがあります。

[SDメモリーバックアップ]

録画中に通信が途切れた場合に、カメラのSDメモリーカードに画像を保存するかを設定します。



On : SDメモリーバックアップ機能を使用します。

Off : SDメモリーバックアップ機能を使用しません。

初期設定 : Off



[重要]

●SDメモリーバックアップ機能は、有線ネットワーク接続で使用することを推奨します。

SDメモリーバックアップについて

SDメモリーバックアップとは、本機に設定されているスケジュールの録画設定時間帯にカメラとの通信ができなくなった場合、カメラに搭載されているSDメモリーカードに画像を保存させる機能です。

SDメモリーバックアップは、カメラがSDメモリー録画に対応した機種で、かつ圧縮方式がH.264/H.265に設定された場合のみ設定できます。

SDメモリー録画は登録しているカメラの圧縮方式で行われます。



[メモ]

- カメラ側でSDメモリーカードを「使用しない」に設定した場合やSDメモリーカードが挿入されていない場合（挿入不良を含む）、1日に数回エラーメッセージが表示され、その際に約20秒間録画されることがあります。
- SDメモリーバックアップ機能を使用する場合、カメラ側でSDメモリーカードの運用モードを「上書きあり」に、ストリームの配信方式を「ユニキャスト」に設定してください。

SDメモリーカードに保存された画像の取得

SDメモリーカードに保存された画像を本機に取得し、HDDに録画します。

SDメモリーカードからの画像の取得は以下の毎時15分に自動的に行われます。

(0:15、1:15、…23:15)

SDメモリーデータ取得中かどうかを「状態表示部」で確認することができます。



[重要]

- 本機能は画像データのみHDDに保存されます。音声データや動作検知サーチ用の情報は保存されません。
- カメラと本機が通信できない状態で、スケジュールに設定された録画開始時刻になった場合、SDメモリーバックアップは行われません。
- 同一のカメラに対し、複数のネットワークディスクレコーダーのSDメモリーバックアップ機能をOnにしないでください。
- 取得したSDメモリーデータの録画時刻は、カメラ側の時刻になります。NTP機能やカメラ時刻自動同期機能などを使用して、カメラの時刻と本機の時刻を合わせてください。時刻が合っていない場合、SDメモリーバックアップができない場合があります。
- SDメモリーバックアップ機能をOnに設定した後、SDメモリーバックアップのデータ取得を手動で実施してください。翌日以降、毎時15分に自動的にデータ取得が実施されます。

☞ [システムに関する設定や操作を行う](#) [システム管理]



[メモ]

- スケジュールのタイムテーブル間の時間や画像の総容量によっては、すべての画像を一度で自動取得できない場合があります。取得できなかった画像は、次回取得時に合わせて取得できます。
- 以下の状態の場合、画像の取得は実行されません。
再生中 / HTTPダウンロード中 / 緊急録画中
- SDメモリーデータ取得中に以下の動作が発生した場合、取得は中断されます。
SDメモリーデータ取得中のカメラとの通信障害が発生 / [詳細設定] の HDD管理ページに入る

[スマートコーディング (GOP制御)]

カメラのスマートコーディング (GOP制御) 機能を使用する場合に選択します。

録画・イベント > 高度な設定 > スマートコーディング(GOP制御)

録画設定 イベント設定 高度な設定

スマートコーディング(GOP制御)

カメラ	品番	圧縮方式	カメラ設定	
			スマートコーディング	
1			Off	▼
2			Off	▼
3			Off	▼
4			Off	▼
5			Off	▼
6			Off	▼
7			Off	▼
8			Off	▼
9			Off	▼
10			Off	▼
11			Off	▼
12			Off	▼
13			Off	▼
14			Off	▼
15			Off	▼
16			Off	▼

※スマートコーディングに対応していて圧縮方式がH.265(1)のカメラに設定できます。
※スマートコーディングを設定するとプレ録画は動作しません。

戻る

On (Advanced) : 使用します。

Off : 使用しません。

本機能については、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。

[スペシャルデー]

特定日として個別に別の曜日のスケジュールを割り当てます。

たとえば、「1月1日」を「日曜日」に設定すると、1月1日が何曜日であっても日曜日とし

て録画を行います。

[設定>] ボタンをクリックすると、以下のスペシャルデーの画面が表示されます。

録画・イベント > 高度な設定 > スペシャルデー

録画設定 イベント設定 高度な設定

スペシャルデー

No.	月	日	曜日	No.	月	日	曜日
1	--	--	--	16	--	--	--
2	--	--	--	17	--	--	--
3	--	--	--	18	--	--	--
4	--	--	--	19	--	--	--
5	--	--	--	20	--	--	--
6	--	--	--	21	--	--	--
7	--	--	--	22	--	--	--
8	--	--	--	23	--	--	--
9	--	--	--	24	--	--	--
10	--	--	--	25	--	--	--
11	--	--	--	26	--	--	--
12	--	--	--	27	--	--	--
13	--	--	--	28	--	--	--
14	--	--	--	29	--	--	--
15	--	--	--	30	--	--	--

戻る

【月】【日】

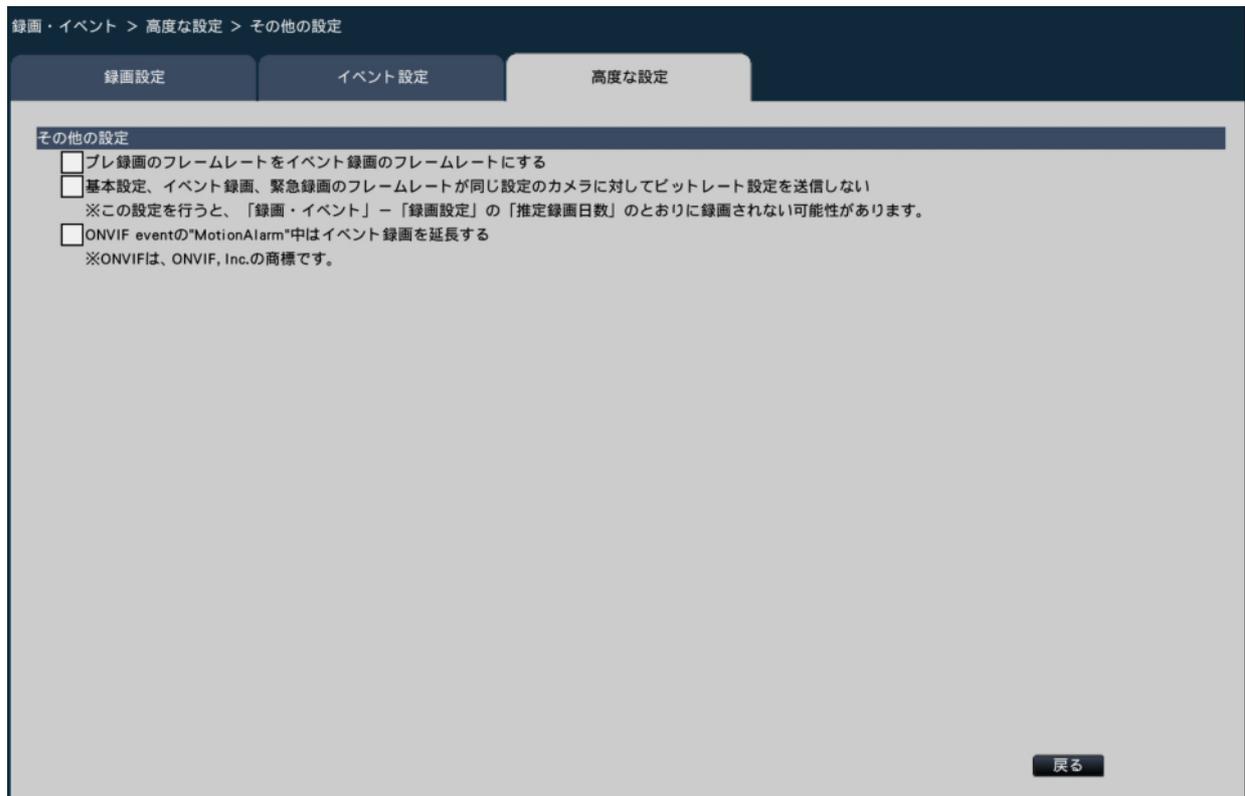
特定日として設定したい日付を選択します。

【曜日】

動作させたいスケジュールの曜日を選択します。

初期設定：なし

■ その他の設定



【プレ録画のフレームレートをイベント録画のフレームレートにする】

チェックを入れると、プレ録画のフレームレートが、イベント録画のフレームレートになります。チェックを外すと、基本設定（スケジュール録画）のフレームレートになります。この設定は弊社およびパナソニック製カメラに対してのみ有効です。

【基本設定、イベント録画、緊急録画のフレームレートが同じ設定のカメラに対してビットレート設定を送信しない】

チェックを入れると各録画のフレームレート設定が同じ場合は、カメラにビットレート設定を行わなくなります。この設定は弊社およびパナソニック製カメラに対してのみ有効です。

【ONVIF eventの"MotionAlarm"中はイベント録画を延長する】

チェックを入れると、カメラから通知されるONVIF eventの"MotionAlarm"で開始したイベント録画は、カメラから終了通知が来ない限り、イベント録画時間で設定した時間分延長します。

👉 [スケジュール録画の詳細を設定する](#)



[メモ]

- ネットワーク環境の影響で通信が一時的に途切れ、終了通知を受け取れなかった場合は、アラーム動作を解除するまで録画し続けますのでご注意ください。
- カメラサイトアラーム詳細設定で、一台のカメラを複数のカメラの「録画カメラ」に設定している場合は、正しく動作しない場合があります。
👉 [カメラサイトアラームの設定を行う](#) [[カメラサイトアラーム詳細設定](#)]

詳細設定

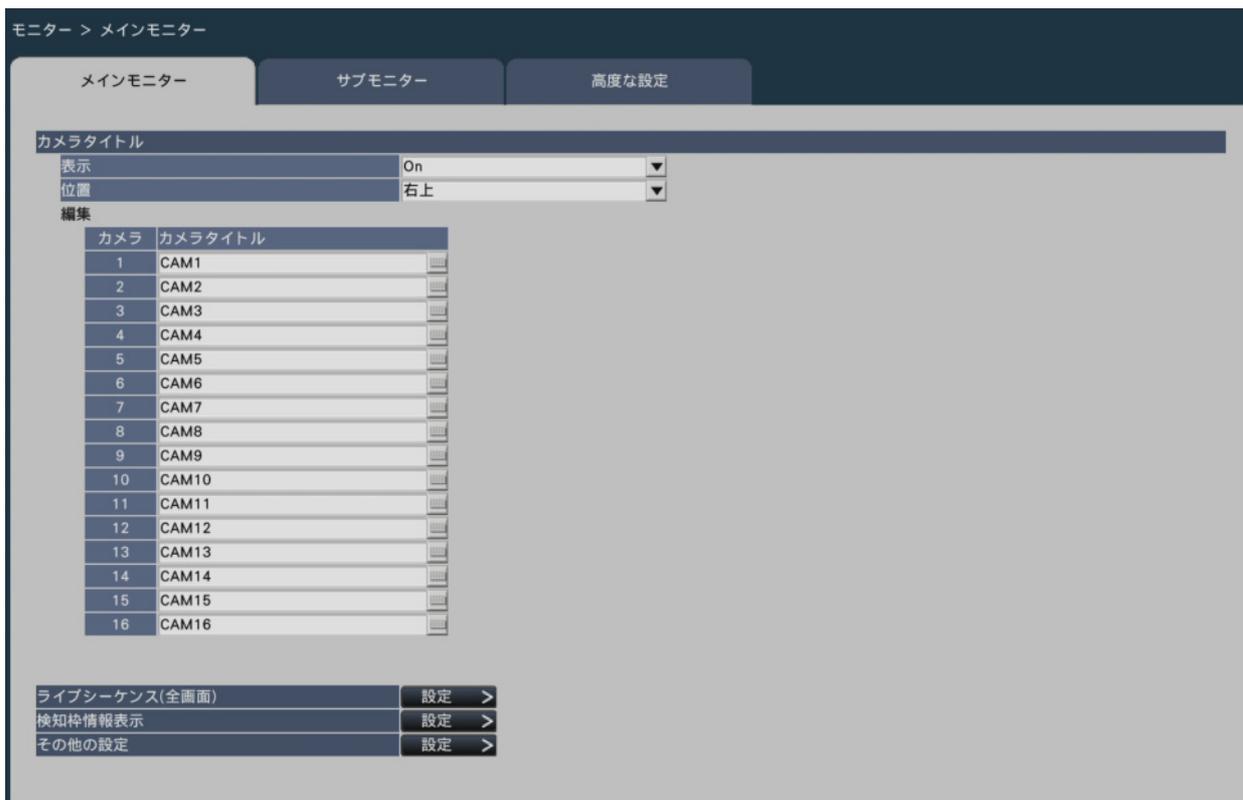
モニターの設定を行う [モニター]

設定メニュー [詳細設定] のモニターページでは、本機に接続しているメインモニターやサブモニターの表示に関する設定を行います。

多画面表示の設定や、ライブ画像のシーケンス表示など画像の切り換えに関する設定もこのモニターページで行います。モニターページは、[メインモニター] タブ、[サブモニター] タブ、[高度な設定] タブで構成されています。

メインモニターの設定を行う [メインモニター]

カメラタイトルの表示位置など、メインモニターの表示に関する設定を行います。



■カメラタイトル

[表示]

カメラタイトルをメインモニターに表示するかどうかを設定します。

On : カメラタイトルを表示します。

Off : カメラタイトルを表示しません。

初期設定 : On

[位置]

画像上のカメラタイトルの表示位置を選択します。

左上/左下/右上/右下

初期設定 : 右上

[カメラタイトル]

カメラごとに表示するカメラタイトルをソフトキーボードから入力します (16文字まで)。



[メモ]

- カメラに設定する日時表示や画像内文字表示と同時に使用する場合は、表示が重ならないように位置の設定をしてください。

[カメラに関する設定を行う \[カメラ\]](#)

- ここで設定するカメラタイトルは、録画画像には録画されません。

■ライブシーケンス（全画面）

メインモニターでの全画面表示のシーケンスを設定します。

[設定>] ボタンをクリックすると、以下のライブシーケンス（全画面）の画面が表示されます。



【動作モード】

シーケンスの画面パターンを選択します。

1画ライブシーケンス / 4画ライブシーケンス / 9画ライブシーケンス / 16画ライブシーケンス

初期設定：1画ライブシーケンス

【アスペクト比を維持する】

映像の表示エリアに対して表示される映像のアスペクト比が異なる場合、表示エリアに対して縦横の比率を自動的に変更するかどうかを選択します。

チェックあり：アスペクト比を維持します。（自動的に比率を変更しない）

チェックなし：アスペクト比を維持しません。（自動的に比率を変更する）

初期設定：チェックなし

【切換間隔】

カメラ画像を切り換える間隔を設定します。

3秒 / 5秒 / 10秒

初期設定：5秒



【メモ】

- カメラによって画像が表示されるまで時間がかかることがあり、切換間隔が短いと画像が表示される前に切り換わります。そのような場合は、切換間隔を長くしてください。
- シーケンス表示するカメラの選択によっては、カメラ画像の切り換え間隔が延びる場合があります。

【カメラ選択】

シーケンス表示するカメラを選択します。

表示するカメラにチェックを入れます。選択されたカメラ画像が番号順に表示されます。



【メモ】

- 4画ライブシーケンス、9画ライブシーケンスまたは16画ライブシーケンス表示時は、選択したカメラを先頭から詰めて表示します。
- 選択カメラの台数が分割画面数以内の場合は、カメラを切り換えずにそのまま表示し続けます。

【戻る】 ボタン

設定を終了したらクリックします。[メインモニター] タブに戻ります。

■ 検知枠情報表示



【重要】

- 本機は、AI動体検知（WV-XAE200WUX, WV-XAE300WUX）とAI混雑検知（WV-XAE207WUX, WV-XAE300WUX）の検知枠情報を表示します。



【メモ】

- 以下の場合、検知枠情報は表示されません。
 - ・魚眼画像の補正表示中
 - ・デジタルズーム使用中
 - ・ライブシーケンス表示中
 - ・情報表示画面や確認画面が表示されているとき

- ・SDメモリーバックアップ機能による録画画像再生
- AI動体検知アプリケーションの付加情報種別「検知オブジェクト情報あり（AI枠情報）」には対応していません。
- 混雑検知は、カメラに映っている人数が40人を超えた場合、検出できない人物があります。詳細は、機能拡張ソフトウェア（AI混雑検知アプリケーション）の取扱説明書をお読みください。



【枠表示】

検知枠を表示するかどうかを設定します。アラーム確定前後の検知枠を表示するか、確定後のみの検知枠を表示するかを選択できます。

On：検知枠を表示します。

Off：検知枠を表示しません。

初期設定：Off

確定前後に設定すると、アラームの種類によって以下のように検知枠を表示します。

AI-VMDアラーム：確定前の検知枠（青枠）と確定後の検知枠（赤枠）

混雑検知アラーム：確定前の検知枠（青枠、水色枠）と確定後の検知枠（赤枠）

- ・青枠：検知エリアに入っている人物
- ・水色枠：どの検知エリアにも入っていない人物

- ・赤枠：アラームが発生した検知エリア内にいる人物

確定後のみに設定すると、アラーム確定後の検知枠（赤枠）を表示します。

【軌跡表示】

軌跡を表示するかどうかを設定します。

On：軌跡を表示します。

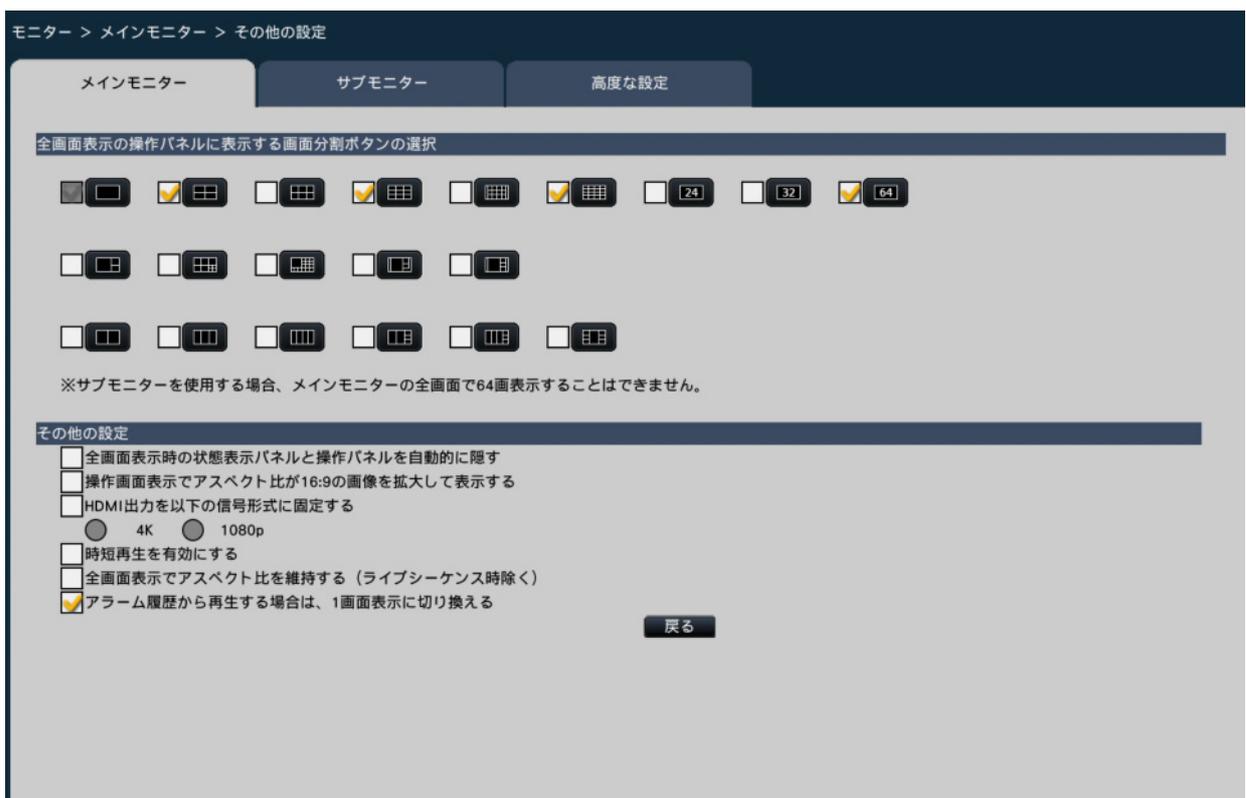
Off：軌跡を表示しません。

初期設定：Off

検出した動体の軌跡を緑色の線で表示します。混雑検知は軌跡を表示しません。

■ その他の設定

[設定>] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



※これはNX410の画面です。

【全画面表示の操作パネルに表示する画面分割ボタンの選択】

チェックを入れたボタンは、全画面表示の操作パネル上に表示されます。



[メモ]

- 【NX410/NX510】サブモニターを使用する場合、メインモニターの全画面で64画表示はできません。

■その他の設定

[全画面表示時の状態表示パネルと操作パネルを自動的に隠す]

チェックを入れると、マウスカーソルの表示／非表示に連動して全画面表示の各パネルが表示／非表示します。

[操作画面表示でアスペクト比が16:9の画像を拡大して表示する]

チェックを入れると、操作画面表示時でアスペクト比が16:9の画像を画像表示部のサイズに合わせ縦方向に引き伸ばして表示します。



[メモ]

- この設定で画像を拡大して表示すると、カメラ画像内でのカメラ操作や動作検知サーチが指定した座標やエリアのとおりには動作しないことがあります。

[HDMI出力を以下の信号形式に固定する]

チェックを入れるとHDMI出力の信号形式を固定します。信号形式は4Kおよび1080pを選択できます。



[メモ]

- 4K出力はp/30Hz（4K/30p）です。お使いのモニターによってはエラー表示されることがありますが、問題なくご使用いただけます。
- モニター表示が黒画となり、設定変更を戻せなくなりますので、4Kモニターを接続していない場合は、「4K」を選択しないでください。

[時短再生を有効にする]

チェックを入れると、時短再生機能が有効になり、再生時の録画画像に動きがない間は最大4倍速で再生できるようになります。（本体操作の再生のみ）

👉[タイムラインから指定して再生する](#)



[重要]

- 動作検知情報付加機能に対応したカメラが必要です。本機能については、カメラの取扱説明書をお読みください。

【全画面表示でアスペクト比を維持する（ライブシーケンス時除く）】

ライブシーケンスを除いた各全画面表示の画面分割において、映像の表示エリアに対して表示される映像のアスペクト比が異なる場合、表示エリアに対して縦横の比率を自動的に変更するかどうかを選択します。

チェックあり：アスペクト比を維持します。（自動的に比率を変更しない）

チェックなし：アスペクト比を維持しません。（自動的に比率を変更する）

初期設定：チェックなし

【アラーム履歴から再生する場合は、1画面表示に切り換える】

メインモニターのアラーム履歴パネルで再生したい日時 of 行を選択して再生するときに、1画面表示に切り換えるかを選択します。

チェックあり：1画面表示に切り換えます。

チェックなし：1画面表示に切り換えません。

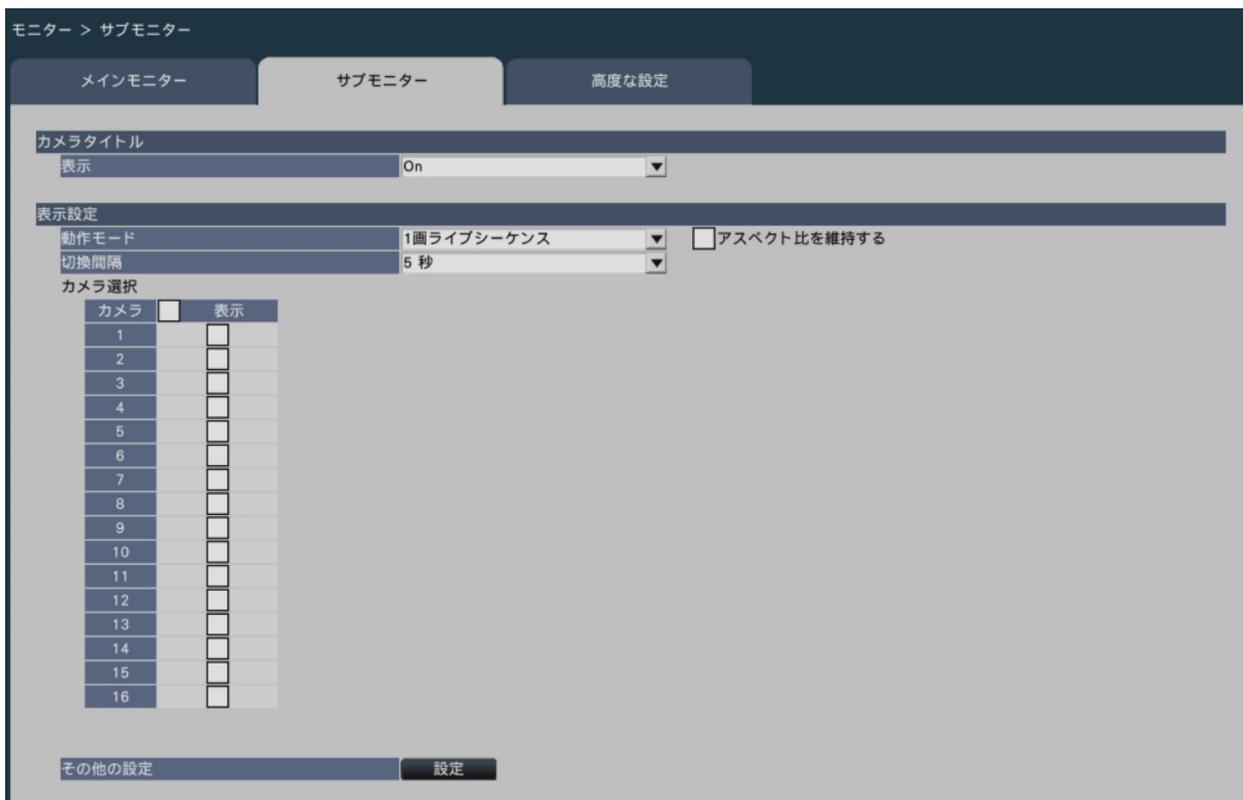
初期設定：チェックあり

【戻る】 ボタン

設定が終了したらクリックします。[メインモニター] タブに戻ります。

サブモニターの設定を行う【サブモニター】

サブモニターに表示するカメラ画像の選択や、画像の切り換えの間隔などを設定します。



■カメラタイトル

[表示]

カメラタイトルをサブモニターに表示するかどうかを設定します。

On : カメラタイトルを表示します。

Off : カメラタイトルを表示しません。

初期設定 : On

■表示設定

カメラ画像のシーケンス動作（画像の切り換え）を設定します。

[動作モード]

カメラ画像の表示方法を設定します。

1画ライブシーケンス : 1画面でカメラ画像を切り換えて表示します。

4画ライブシーケンス : 4分割画面を切り換えて表示します。

9画ライブシーケンス : 9分割画面を切り換えて表示します。

16画ライブシーケンス : 16分割画面を切り換えて表示します。

24分割画面 : 24分割画面を固定して表示します。

32分割画面 : 32分割画面を固定して表示します。

アラーム端子連動 : 【NX310】 端子アラームの端子番号 1 ~ 9 の入力信号に従って、表

示カメラをそれぞれカメラ1～9に切り換えて、1画面で表示します。
汎用入出力端子設定で「アラーム入力」に設定している場合、汎用入出力1～4はそれぞれカメラ10～13に切り換わります。

【NX410/NX510】端子アラームの端子番号1～32の入力信号に従って、表示カメラをそれぞれカメラ1～32に切り換えて、1画面で表示します。

[アスペクト比を維持する]

映像の表示エリアに対して表示される映像のアスペクト比が異なる場合、表示エリアに対して縦横の比率を自動的に変更するかどうかを選択します。

チェックあり：アスペクト比を維持します。(自動的に比率を変更しない)

チェックなし：アスペクト比を維持しません。(自動的に比率を変更する)

初期設定：チェックなし

[切換間隔]

カメラ画像を切り換える間隔を設定します。

3秒 / 5秒 / 10秒

初期設定：5秒



[メモ]

●制御信号の入力方法(N.O.、N.C.)は端子アラーム詳細設定の「端子入力」の設定に従います。

⇒ [録画やイベントに関する設定を行う](#) [録画・イベント]

●カメラによって画像が表示されるまで時間がかかることがあり、切換間隔が短いと画像が表示される前に切り換わります。そのような場合は、切換間隔を長くしてください。

[カメラ選択]

表示するカメラを選択します。

表示するカメラにチェックを入れます。選択されたカメラ画像が番号順に表示されます。



[メモ]

●多画面表示時は、選択したカメラを先頭から詰めて表示します。

●ライブシーケンスを選択していても、選択カメラの台数が分割画面数以内の場合は、カメラを切り換えずにそのまま表示し続けます。

■ その他の設定

[設定>] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



[シークレットビュー]

シークレットビュー機能は、メインモニターで1画面表示しているカメラ画像または多画面表示時に選択しているカメラ画像をサブモニターで黒画表示する機能です。シークレットビューを使用するかどうかを設定します。

On : シークレットビューを使用します。

Off : シークレットビューを使用しません。

初期設定 : Off



[メモ]

- 1画ライブシーケンス動作時は、シークレットビューの画像はスキップ（非表示）となります。
- メインモニターで画像が切り換えられると、サブモニターの画像が一瞬黒画になることがあります。

■その他の設定

[HDMI出力を以下の信号形式に固定する]

以下をお読みください。

[👉メインモニターの設定を行う \[メインモニター\]](#)

モニターに関するその他の設定を行う [高度な設定]

モニターの音声出力設定などを行います。



[音声出力カメラ選択]

本機から出力する音声を固定します。固定する場合は出力する音声のカメラを選択します。

表示カメラ：固定しません（表示しているカメラの音声を出力）

カメラ1～カメラn：固定します（選択カメラの音声を常時出力）

初期設定：表示カメラ



[メモ]

- モニターから音声を出力する場合は、録画詳細設定の [録音] を「Off」以外に設定してください。

[録画やイベントに関する設定を行う \[録画・イベント\]](#)

■その他の設定

[サブモニター（HDMI）の電源オフを検出する]

チェックを入れると、サブモニターを使用する設定の場合、サブモニターが接続されていないか、電源がオフになっていたりとすると、エラー動作で知らせます。



[メモ]

- モニターによっては、モニターの電源スイッチをOffにしても検出できない場合があります。

【モニターに1画面表示する時のライブ画像をストリーム2で表示する】

チェックを入れると、1画面表示時のライブ画像をストリーム2で表示します。



[メモ]

- カメラの機種や撮像モードによって、ライブ画像のフレームレートが変わります。

【全画面表示で画面下部に黒帯が表示される分割画面の画像表示部を縦方向に拡大する】

チェックを入れると、全画面表示で画面の下側に黒帯が表示される画面分割パターンは、黒帯を無くし、画像表示部全体を縦方向に引き伸ばして表示します。

ネットワーク接続に関する設定を行う【ネットワーク】

設定メニュー [詳細設定] のネットワークページでは、本機のネットワークに関する設定を行います。

ネットワークページは [基本] タブ、[メール] タブ、[独自アラーム] タブ、[HTTPアラーム] タブ、[NTP/SNMP] タブで構成されています。

ネットワークの基本設定を行う【基本】

ネットワーク接続に関する基本的な設定を行います。

ネットワーク > 基本

基本 メール 独自アラーム HTTPアラーム NTP/SNMP

ネットワーク設定

	カメラ/PC ポート	PC ポート
接続モード	固定IP	固定IP
IPアドレス	192.168.000.250	000.000.000.000
サブネットマスク	255.255.255.000	000.000.000.000
デフォルトゲートウェイ	192.168.000.001	

DNS設定

DNS	Off
プライマリサーバーアドレス	
セカンダリサーバーアドレス	
ドメイン名	

DDNS設定

DDNS	Off
------	-----

その他の設定 詳細設定 >



[メモ]

- アドレスの各オクテットやポート番号は、右詰めで入力してください。
(例：ポート番号が80の場合、00080と設定)。ここでは、設定値の左の「0」は表記していません。

■ネットワーク設定

本機のネットワーク設定を行います。

【接続モード】

IPアドレスの設定方法を選択します。

固定IP：IPアドレスを [IPアドレス] に入力して設定します。

自動設定 (DHCP)：DHCP機能を使用してIPアドレスを設定します。

初期設定：固定IP

自動設定 (DHCP) で、DHCPサーバーからIPアドレスを取得できない場合は、本機のIPアドレスを [IPアドレス] で設定されているアドレスに設定します。DHCPサーバーからIPアドレスを取得できると、取得したIPアドレスを [IPアドレス] に設定します。

自動設定 (DHCP) に設定できるのはどちらか一方のポートのみです。

[IPアドレス]

本機のIPアドレスが表示されます。

アドレスの各オクテットを選択し、[▲] ボタン / [▼] ボタンをクリックすると、アドレスを変更できます。

初期設定 : 192.168.0.250 [カメラ/PCポート]
0.0.0.0 [PCポート]

[サブネットマスク]

本機を接続するネットワークの規則に従ってサブネットマスクを選択します。入力方法はIPアドレスと同じです。

初期設定 : 255.255.255.0 [カメラ/PCポート]
0.0.0.0 [PCポート]

[デフォルトゲートウェイ]

本機を接続するネットワークの規則に従ってデフォルトゲートウェイのアドレスを選択します。入力方法はIPアドレスと同じです。

初期設定 : 192.168.0.1

■ DNS設定

DNS (Domain Name System) に関する設定を行います。

[DNS]

DNSを使用するかどうかを設定します。

Off : DNSを使用しません。

Manual : DNSを使用し、ホスト名から対応するIPアドレスを検索できるようにします。

Auto : DNSを使用します。DNSサーバーアドレスを自動検出します。接続モードが「自動設定 (DHCP)」のときのみ設定できます。

初期設定 : Off

[プライマリーサーバーアドレス]

[セカンダリーサーバーアドレス]

DNSを使用する場合、プライマリー DNSサーバーとセカンダリー DNSサーバーのIPアドレスを選択します。

入力方法はIPアドレスと同じです。

初期設定 : 0.0.0.0

【ドメイン名】

本機のドメイン名を入力します。ドメイン名の先頭文字は英字にしてください。

入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)を含む）3文字以上63文字以内に入力してください。

初期設定：localdomain

■ DDNS設定

【DDNS】

DDNSを使用するかどうか、使用するDDNSサービスを選択します。

Off：DDNSを使用しません

ダイナミックDNS Update：ダイナミックDNS Update（RFC2136準拠）を使用します。

初期設定：Off

ダイナミックDNS Updateを使用する場合

ネットワーク > 基本

	カメラ/PC ポート	PC ポート
接続モード	固定IP	固定IP
IPアドレス	192.168.000.250	000.000.000.000
サブネットマスク	255.255.255.000	000.000.000.000
デフォルトゲートウェイ	192.168.000.001	

DNS設定

DNS	Off
プライマリサーバーアドレス	
セカンダリサーバーアドレス	
ドメイン名	

DDNS設定

DDNS	ダイナミックDNS Update
ホスト名	NWDR
アクセス間隔	1 時間

その他の設定 [詳細設定 >](#)



[重要]

- ダイナミックDNS UpdateはPCポートを使用してください。また、接続モードは固定IPに設定してください。
- 他社DDNSサービスを利用する前に、ルーターにポートフォワーディング設定をする必要があります。

- 他社DDNSサービスに関する動作保証は一切行っていません。したがって、他社DDNSサービスの利用により、本機をお使いの環境に何らかの障害や損害が発生したとしても、責任を負いかねます。
他社DDNSサービスの選定・設定に関しては、当該サービスの提供事業者にお問い合わせください。

[ホスト名]

ダイナミックDNS Updateサービスで使用するホスト名を入力します。

入力可能文字数：0～250文字

(ホスト名).(ドメイン名)形式で入力

初期設定：NWDR



[メモ]

- 使用できるホスト名については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

[アクセス間隔]

ダイナミックDNS Updateサービスサーバーに対してIPアドレスとホスト名を確認する間隔を以下から選択します。

10分／20分／30分／40分／50分／1時間／6時間／24時間

初期設定：1時間

■その他の設定

[詳細設定>] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



※これはNX410の画面です。

■ ネットワーク設定 [メンテナンスポート]

【NX410/NX510】本機のメンテナンスポートに対するネットワーク設定を行います。

[IPアドレス]

【NX410/NX510】初期設定：192.168.2.250

[サブネットマスク]

【NX410/NX510】初期設定：255.255.255.0

■ その他の設定

[HTTPポート番号]

本機が画像を配信するとき使用するHTTPポート番号を設定します。

通常は変更する必要はありません。

1 ～ 65535

初期設定：80



[メモ]

- ネットワーク設定によっては、HTTPポート番号を変更した際、通信ができなくなる設定になっている場合があります。この場合、各ネットワークの管理者にお問い合わせください。
- 以下の番号とHTTPSポート番号、サイトアラーム受信ポート番号、ポートフォワーディングのポート番号を設定することはできません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、79、105、110、123、161、162、443、546、547、995、10001、10002、10003、10004、10005、10006、10007、50000 ~ 50255

[IP簡単設定有効期間]

専用ソフトウェアからネットワーク設定の操作を有効にする時間を、本機が起動してから20分間／無制限のどちらかに設定します。

20分間：専用ソフトウェアで本機のIPアドレスを変更する操作を、本機起動後20分間のみ有効にします。

無制限：専用ソフトウェアで本機のIPアドレスを変更する操作を常時有効にします。

初期設定：20分間

■ポートフォワーディング

ポートフォワーディングを設定するには、[設定>] ボタンをクリックしてください。



[重要]

- 「本機とカメラ間のセキュリティ」で接続方法がHTTPSに設定されているカメラはポートフォワーディングを使用することができません。

[ポートフォワーディング]

ポートフォワーディングを有効にするかを設定します。

On : ポートフォワーディングを設定します。

Off : ポートフォワーディングを設定しません。

初期設定 : On

[ポート設定]

ポートフォワーディングを設定した場合、各カメラのポート番号を1～65535の範囲で設定します。

初期設定 : 【NX310】 カメラ1 : 60001 ~ カメラ32 : 60032

【NX410】 カメラ1 : 60001 ~ カメラ64 : 60064

【NX510】 カメラ1 : 60001 ~ カメラ128 : 60128



[メモ]

- 以下の番号とHTTPポート番号、HTTPSポート番号、サイトアラーム受信ポート番号、他のポートフォワーディングのポート番号に設定されている番号を設定することはできません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、79、105、110、123、161、162、443、546、547、995、10001、10002、10003、10004、10005、10006、10007、50000～50255

■スタティックルート

スタティックルートを設定するには、[設定>] ボタンをクリックしてください。

No.	ネットワーク設定	
1	スタティックルート	Off
	アドレス	000.000.000.000
	サブネットマスク	000.000.000.000
	ゲートウェイ	000.000.000.000
2	スタティックルート	Off
	アドレス	000.000.000.000
	サブネットマスク	000.000.000.000
	ゲートウェイ	000.000.000.000
3	スタティックルート	Off
	アドレス	000.000.000.000
	サブネットマスク	000.000.000.000
	ゲートウェイ	000.000.000.000
4	スタティックルート	Off
	アドレス	000.000.000.000
	サブネットマスク	000.000.000.000
	ゲートウェイ	000.000.000.000



[メモ]

- スタティックルートを使用する場合は、接続モードを「固定IP」に設定してください。

【スタティックルート】

スタティックルートを設定します。本設定は、本機のネットワーク接続環境を十分に理解したうえで設定してください。

On : スタティックルートを有効にします。

Off : スタティックルートを無効にします。

初期設定 : Off

【アドレス】

宛先のアドレスを設定します。[▲] ボタン / [▼] ボタンをクリックすると、アドレスを変更できます。

【サブネットマスク】

宛先のサブネットマスクを設定します。入力方法はアドレスと同じです。

【ゲートウェイ】

宛先のゲートウェイを設定します。入力方法はアドレスと同じです。

【戻る】 ボタン

設定を終了したら、クリックしてください。

メール通知に関する設定を行う【メール】

アラームメール通知、障害メール通知機能を使用するための設定を行います。

[📧 アラームメールについて](#)

ネットワーク > メール

基本 **メール** 独自アラーム HTTPアラーム NTP/SNMP

メール設定

SMTPサーバーアドレス	<input type="text"/>
SMTPポート番号	00025
POPサーバーアドレス	<input type="text"/>
認証方法	なし
ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
送信元メールアドレス	NWDR
セキュリティ	Off
送信先メールアドレス	
通知先1	<input type="text"/>
通知先2	<input type="text"/>
通知先3	<input type="text"/>
通知先4	<input type="text"/>

	障害	アラーム
通知先1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
通知先2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
通知先3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
通知先4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

【SMTPサーバーアドレス】

電子メールを送信するSMTPサーバーのIPアドレスまたはSMTPサーバー名を入力します。SMTPサーバー名は、設定メニュー [詳細設定] - [ネットワーク] - [基本] タブの「DNS」を「Manual」にしたときのみ使用できます。入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)含む）255文字以内になしてください。

【SMTPポート番号】

SMTPサーバーのポート番号を入力します。

1 ~ 65535

初期設定 : 25

【POPサーバーアドレス】

POP before SMTP認証で使用するPOPサーバーのIPアドレスまたはPOPサーバー名を入力します。POPサーバー名は、設定メニュー [詳細設定] - [ネットワーク] - [基本] タブの「DNS」を「Manual」にしたときのみ使用できます。入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)含む）255文字以内になしてください。

【認証方法】

メールを送信するときの認証方法を選択します。

なし / POP before SMTP / SMTP

初期設定：なし

【認証方法-ユーザー名】

認証に使用するユーザー名を入力します。入力はメモに記載の半角英数字 / 記号（「"」「&」を除く）32文字以内になしてください。

【認証方法-パスワード】

上記「ユーザー名」に対応し認証に使用するパスワードを設定します。入力はメモに記載の半角英数字 / 記号（「"」「&」を除く）32文字以内になしてください。画面上は「*」で表示されます。



【メモ】

- 入力できる文字について

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n
o p q r s t u v w x y z 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! # \$ % ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [¥
^ _ ` { | } ~

【送信元メールアドレス】

送信元メールアドレスを入力します。入力したアドレスがメール受信者のFrom（差出人）欄に表示されます。入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)、@、_を含む）127文字以内になしてください。

初期設定：NWDR

【セキュリティ】

アラームメールや障害メールをSSL暗号化して送信します。「Off」以外に設定すると、認証方法は「SMTP」に設定されます。認証用のユーザー名、パスワードを設定してください。

Off / SMTP over SSL / STARTTLS

初期設定：Off

【送信先メールアドレス-通知先1～通知先4】

アラームメール、障害メールの送信先メールアドレスを設定します。入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)、@、_を含む）255文字以内になしてください。

☞ [アラームメールについて](#)

また、送信したいメール種別（障害 / アラーム）にチェックを入れます。

送信先は4件まで設定できます。

アラームの独自通知設定を行う【独自アラーム】

イベントやエラー発生時、その情報をPCに通知するための設定を行います。

発生したイベントやエラー情報を受信し表示するには通知先のPCに専用ソフトウェア（別売り）がインストールされている必要があります。

専用ソフトウェアについては、弊社サポートウェブサイトを参照してください。

ネットワーク > 独自アラーム

基本 メール 独自アラーム HTTPアラーム NTP/SNMP

独自アラーム設定

ポート番号 (本機→PC)	01818
リトライ回数	2
送信先アドレス	
通知先1	
通知先2	
通知先3	
通知先4	
通知先5	
通知先6	
通知先7	
通知先8	

【ポート番号 (本機→PC)】

送信先のPCのポート番号を入力します。通常は初期設定から変更する必要はありません。

初期設定：1818

【リトライ回数】

PCに送信できなかった場合にリトライする回数を設定します。

0 ~ 8 (回) (1回単位で設定可)

初期設定：2



【メモ】

- PCに送信できないことがある場合は、リトライ回数を増やして設定してください。

【送信先アドレス－通知先1～通知先8】

送信先のPCのアドレスを設定します。通知先1～8にIPアドレスまたはホスト名を入力します。ホスト名は、設定メニュー [詳細設定] - [ネットワーク] - [基本] タブの「DNS」を「Manual」または「Auto」にしたときのみ使用できます。

送信先として8件まで設定できます。

入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)を含む）255文字以内にしてください。

HTTPアラーム通知設定を行う [HTTPアラーム]

イベントやエラー発生時、その情報をHTTPでPCに通知するための設定を行います。

通知先	URL	ユーザー名	パスワード	通知データ	アラーム	緊急録画入力	カメラ/機器異常	HDD/録画異常	ネットワーク異常
通知先1	http://			/	<input checked="" type="checkbox"/>				
通知先2	http://			/	<input checked="" type="checkbox"/>				
通知先3	http://			/	<input checked="" type="checkbox"/>				
通知先4	http://			/	<input checked="" type="checkbox"/>				
通知先5	http://			/	<input checked="" type="checkbox"/>				

【通知先1】～【通知先5】

HTTPアラーム通知するHTTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を設定します。通知先は5件まで設定できます。

入力可能文字数：0～255文字

入力可能文字：半角英数字、半角記号

初期設定：http://

入力例：http://IPアドレス:ポート番号、または、http://ホスト名:ポート番号

https://IPアドレス:ポート番号、または、https://ホスト名:ポート番号

[ユーザー名]

HTTPサーバーにアクセスするユーザー名を入力します。

入力可能文字数：0 ～ 63文字

入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」

初期設定：空欄

[パスワード]

HTTPサーバーにアクセスするパスワードを入力します。

入力可能文字数：0 ～ 63文字

入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」

初期設定：空欄



[メモ]

- HTTPサーバーの認証要求により、Basic認証またはDigest認証を行います。

[通知データ]

[通知先 1] ～ [通知先 5] に設定したHTTPサーバーの後ろに付加する通知内容を入力します。

入力可能文字数：0 ～ 255文字

入力可能文字：半角英数字、半角記号

初期設定：/

「アラーム」「緊急録画入力」「カメラ/機器異常」「HDD/録画異常」「ネットワーク異常」の各チェックボックスにチェックを入れると、それぞれのイベントや異常が発生したときに、HTTPアラーム通知を行います。



[メモ]

- HTTPアラーム機能を有効にすると、HTTPサーバーへのアラーム通知時に、ネットワーク上でHTTPサーバーの認証情報（ユーザー名、パスワード）が漏えいする可能性があります。
- 「通知データ」は、必ずスラッシュ (/) から入力してください。
- 「通知データ」を空白にして [確定] ボタンを押しても、「/」が設定されます。
 - ・例：通知先に「http://192.168.0.100」、「通知データ」に「/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01」と設定した場合、「http://192.168.0.100/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01」というHTTPアラーム通知が行なわれ

ます。

ネットワーク時刻合わせやSNMPに関する設定を行う [NTP/SNMP]

NTP (Network Time Protocol) サーバーとSNMP設定を行います。

ネットワーク > NTP/SNMP

基本 メール 独自アラーム HTTPアラーム NTP/SNMP

NTP設定

レコーダー時刻自動調整 (NTP) Off

プライマリサーバーアドレス

セカンダリサーバーアドレス

SNMP設定

SNMPバージョン Off

SNMPv1/v2

コミュニティ名

サブネット外からのアクセスを禁止する

SNMPv3

ユーザー名(1~32文字)

認証方式 SHA1

暗号化方式 DES AES

パスワード(8~20文字)

機器名

機器の物理的位置

連絡先

■ NTP設定

[レコーダー時刻自動調整 (NTP)]

NTPサーバーを基準に時刻合わせするかどうかを設定します。

On : 自動時刻合わせをします。

Off : 自動時刻合わせをしません。

初期設定 : Off



[重要]

- 本機の時計精度における記録画像の時刻ずれにより、運用上問題になる場合があります。システム運用においてより正確な時刻設定が必要な場合は、NTPサーバーを使ったNTP自動時刻合わせを使用してください。

[プライマリーサーバーアドレス]

[セカンダリーサーバーアドレス]

NTPサーバーを使って時刻合わせを行う場合、NTPサーバーのアドレスまたはNTPサーバー名を入力します。

NTPサーバー名は、設定メニュー [詳細設定] - [ネットワーク] - [基本] タブの「DNS」を「Manual」または「Auto」にしたときのみ使用できます。

入力は半角英数字（ハイフン(-)、ピリオド(.)含む）255文字以内になしてください。



[メモ]

- サーバー名を入力した場合、「http://」の記述は不要です。



[重要]

- 本機をカメラに対するNTPサーバーとして動作させることができます。その場合、カメラ側のポート番号は「123」を設定してください。カメラの設定については、接続するカメラの取扱説明書をお読みください。

■SNMP設定

SNMPマネージャーと接続して、本機の状態を確認する場合などに設定します。

[SNMPバージョン]

使用するSNMPバージョンを選択します。SNMPv3を使用することで通信データを暗号化することができ、通信の安全性を高めることができます。

Off : SNMPを使用しません。

SNMPv1/v2 : SNMPv1/v2が有効になります。

SNMPv3 : SNMPv3が有効になります。

SNMPv1/v2/v3 : SNMPv1/v2/v3が有効になります。

初期設定 : Off

[SNMPv1/v2 - コミュニティー名]

SNMP認証に使用する名前を入力します（32文字以内）。

入力不可文字 : 全角、半角記号「"」

[SNMPv1/v2 - サブネット外からのアクセスを禁止する]

SNMPv1/v2で、サブネット外からのアクセスを禁止するかどうかを設定します。

チェックあり : サブネット外からのアクセスを禁止します。

チェックなし : サブネット外からのアクセスを許可します。

初期設定：チェックあり



[重要]

- セキュリティを確保するため、SNMPv1/v2を使用する場合は、サブネット外からのアクセスを禁止する運用を推奨します。

[SNMPv3 - ユーザー名]

SNMPv3のユーザー名を設定します。

入力文字数：1～32文字

入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」「:」「;」「¥」

[SNMPv3 - 認証方式]

SNMPv3の認証方式を表示します。



[重要]

- [認証方式] をMD5に設定した状態で、ソフトウェアバージョン1.40以降にバージョンアップを行った場合、認証方式はMD5で動作します。[認証方式] をSHA1に変更し、設定を保存してください。

[SNMPv3 - 暗号化方式]

SNMPv3の暗号化方式をDES/AESから選択します。

初期設定：DES

[SNMPv3 - パスワード]

SNMPv3のパスワードを設定します。

英字（大文字）、英字（小文字）、数字、記号のうち3種類以上を使用してください。また、ユーザー名を含まないように設定してください。

入力文字数：認証方式がMD5の場合：8～16文字

認証方式がSHA1の場合：8～20文字

入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」

[機器名]

本機をSNMPシステムで管理するための名前を入力します（255文字以内）。

入力不可文字：全角、半角記号「"」

例：No1

[機器の物理的位置]

本機の設置場所を入力します（255文字以内）。

入力不可文字：全角、半角記号「」

例：2F

[連絡先]

本機管理者の連絡先（メールアドレスなど）を入力します（255文字以内）。

入力不可文字：全角、半角記号「」

ユーザー管理に関する設定を行う [ユーザー管理]

設定メニュー [詳細設定] のユーザー管理ページでは、本機を操作する際のユーザー認証の有無や管理者情報の登録、操作レベルの設定などを行います。

ユーザー管理ページは [基本] タブ、[ユーザー登録] タブ、[管理者設定] タブ、[ホスト登録] タブで構成されています。

ユーザー管理の基本設定を行う [基本]

本機をマウス操作する際のログイン設定や、ネットワーク操作のユーザー認証、ユーザーレベル各種の設定を行います。

操作項目	管理者 マネージャー	オペレーター	ビューワー	ログアウト時
ライブ操作 (表示カメラ切換)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
カメラ制御	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
サーチ・再生	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
コピー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アラーム復帰	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エラー復帰	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
設定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カメラ画像表示	設定 >			

■ 本体操作

本機に電源を入れたときなどに、自動的にログインを行うための設定を行います。

【オートログイン】

自動的にログインするかどうかを設定します。

On : 自動的にログインします。

Off : 自動的にログインしません。ログアウト状態から本機の実行を行う際は、ログイン操作が必要になります。

初期設定 : On

【オートログインユーザー】

「オートログイン」を「On」にした場合、ここで登録されたユーザーがオートログインできます。本機にユーザー登録されているユーザーの中からオートログインユーザーを設定します。

初期設定 : (管理者)

【簡易ログイン】

ログイン操作の際にログインユーザー名を入力するか選択するかを設定します。

On : 表示されたユーザー名から選択します。

Off : ユーザー名の入力が必要です。

初期設定 : Off

【オートログアウト】

ライブ画像表示中、操作しない状態になってから自動的にログアウトするまでの時間を設定します。

Off : 自動的にログアウトしません。

1分後 / 3分後 / 5分後 / 30分後

初期設定 : Off



【メモ】

- 「オートログイン」が「On」に設定されている場合、「オートログアウト」を「Off」以外に設定しても自動的にログアウトしません。ログアウト操作を行うと、オートログインユーザーで自動的にログインします。

[👉 ログアウトする](#)

- 不正操作を防止するために「オートログアウト」を「Off」以外に設定して運用することをお勧めします。

■ネットワーク操作

PCから本機を操作する際、ユーザー認証を行うかどうかを設定します。

[ユーザー認証]

ユーザー認証を行うかどうかを設定します。

On : ユーザー認証操作後にログインします。

Off : ユーザー認証なしでログインします。

初期設定 : On

[ホスト認証]

ホスト認証を行うかどうかを設定します。

On : ホスト認証後にログインします。

Off : ホスト認証なしでログインします。

初期設定 : Off

■ユーザーレベル設定

各ユーザーレベル（管理者/マネージャー/オペレーター/ビューワー）でできるようにしたい操作を選択しチェックを入れます。操作出来ないように設定する場合は、空欄のままにします。管理者/マネージャーの設定は変更できません。また、ログアウト時にはライブ操作（画像の切り換え）のみ操作できるよう設定できます。



[メモ]

- ユーザーレベル設定の変更ができるのは「管理者/マネージャー」でログインしたときだけです。
- 各ユーザーレベルでできる操作は、初期設定では次のようになっています。
管理者/マネージャー：本機やカメラの設定などすべての操作ができる本機の管理者
オペレーター：本機の設定の一部、アラーム復帰などができる権限の高いオペレーター
ビューワー：監視や再生のみ行う一般のオペレーター
※管理者とマネージャーは、すべての操作が可能です。管理者の方がマネージャーより優先度が高く、同時に同じ操作を行った場合は、管理者の操作が優先されます。
- チェックの入っていない操作（制限されている操作）をそのレベルのユーザーが実行しようとした場合、ログイン画面を表示して、操作可能なレベルのユーザーがログインするよう促すことがあります。

設定対象の操作について

ユーザーごとに操作の可否を設定できるのは、以下の操作です。

操作	説明
ライブ操作(表示カメラ切換)	メインモニターに表示するカメラを変更できます。
カメラ制御	パン/チルトなどカメラの制御が行えます。
サーチ・再生	録画した画像の再生や動作検知サーチができます。
コピー	録画された画像をUSBなどのメディアにコピーできます。
アラーム復帰	アラーム動作を解除できます。
エラー復帰	エラー動作を解除できます。
設定	設定メニューを表示して、設定内容を変更できます。
カメラ画像表示	各カメラの画像を表示できます。カメラ画像表示の設定をするには、[設定>] ボタンをクリックしてください。  ユーザー管理の基本設定を行う [基本]

※ 「設定」は管理者/マネージャーのみが操作可能とすることをお勧めします。

※ 「設定」操作をできるように設定しても、管理者以外は変更できない項目があります。

※ カメラ画像を表示しないように設定しているユーザーレベルがある場合は、同じユーザーレベルの「コピー」を操作不可にすることをお勧めします。

カメラごとのユーザーレベルを設定する

各ユーザーレベル（オペレーター、ビューワー、ログアウト時）で画像表示できるカメラを選択し、チェックを入れます。

表示しないように設定する場合は、チェックを外して空欄にします。管理者/マネージャーの設定は変更できません。

ユーザー管理 > 基本 > カメラ画像表示

基本 ユーザー登録 管理者設定 ホスト登録

カメラ画像表示

カメラ	管理者 マネージャー	<input checked="" type="checkbox"/> オペレーター	<input checked="" type="checkbox"/> ビューワー	<input checked="" type="checkbox"/> ログアウト時
1*	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
7	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
8	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
9	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
10	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
11	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
12	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
13	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
14	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
15	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
16	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

※カメラ番号の「*」表示は、AIプライバシーガード録画が設定されたカメラを示しています。
AIプライバシーガード録画が設定されたカメラのチェックをすべて外す

実行

戻る

[戻る] ボタン

設定を終了したらクリックします。[基本] タブに戻ります。



[メモ]

- AIプライバシーガード録画カメラを設定している場合、画面上の [実行] ボタンをクリックすると、AIプライバシーガードがかからないカメラのチェックをすべて外すことができます。

ユーザー情報を登録/変更/削除する [ユーザー登録]

ユーザー名やパスワードの新規登録/変更/削除を行います。

ユーザー管理 > ユーザー登録

基本 ユーザー登録 管理者設定 ホスト登録

新規ユーザー情報の登録

ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
	※8文字以上32文字以下
レベル	オペレーター
スタートモニター	4分割画面
カメラパーティショニング	共通設定

設定 >
登録

登録済みユーザー情報の変更/削除

ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
レベル	<input type="text"/>
スタートモニター	<input type="text"/>
カメラパーティショニング	<input type="text"/>

設定 >
変更 削除

■新規ユーザー情報の登録

ユーザー名やパスワード、操作レベルなど、本機を使用するユーザー情報を登録します。登録できるユーザー数は32ユーザーまでです。

[ユーザー名]

ソフトキーボードからユーザー名を入力します。ユーザー名は半角英数字と記号（「"」「&」「:」「;」「¥」「,」を除く）で1文字以上32文字以内で設定してください。

[パスワード]

ソフトキーボードからパスワードを入力します。パスワードは半角英数字と記号（「"」「&」を除く）で8文字以上32文字以内で設定してください。また、英字（大文字）、英字（小文字）、数字、記号のうち3種類以上を使用し、ユーザー名がパスワードに含まれないようにしてください。登録したパスワードは、内容にかかわらず「*****」と表示されます。



[重要]

- 他のレコーダーや機器のパスワードを使い回さないでください。
- 1つのユーザーID（ユーザー名）を複数の人で使い回さないでください。

【レベル】

操作レベルを選択します。

操作できる機能は以下をお読みください。

👉 [ユーザー管理の基本設定を行う \[基本\]](#)

マネージャー／オペレーター／ビューワー

※管理者とマネージャーは同じレベルですが、優先度は管理者の方が高くなります。

初期設定：オペレーター

【スタートモニター】

ログイン直後に表示するライブ画像の表示画面を選択します。

機種によってパラメータが異なります。詳細は以下をお読みください。

👉 [詳細設定](#)

初期設定：4分割画面(1)



【メモ】

●9分割画面／16分割画面／各種全画面を設定していると、PCのウェブブラウザでログインしたとき、カメラ1のライブ画像が表示されます。

【カメラパーティショニング】

カメラごとの制御範囲をどの設定に従うかを選択します。

共通設定：「ユーザー管理＞基本」の「ユーザーレベル設定」に従います。

個別設定：ユーザーごとに設定した、カメラパーティショニング設定に従います。

カメラパーティショニングを個別に設定する場合は、[設定＞] ボタンをクリックしてください。

カメラパーティショニングを個別に設定する

指定のユーザーに対し、カメラごとの画像表示やカメラ操作の可否を設定します。



表示/操作：ライブ・録画画像の表示やカメラ操作ができます。

表示：ライブ・録画画像の表示はできますが、カメラ操作はできません。

Off：ライブ・録画画像の表示やカメラ操作はできません。



[メモ]

- 指定のユーザーの操作レベルに、[基本] タブの「ユーザーレベル設定」で、「カメラ制御」に制限があると、「表示/操作」を設定しても、カメラ操作はできません。
- AIプライバシーガード録画カメラを設定している場合、画面上の [実行] ボタンをクリックすると、AIプライバシーガードがかからないカメラの設定をすべてOffにできます。

[登録] ボタン

設定されたユーザー情報を新規登録します。

■登録済みユーザー情報の変更/削除

すでに登録したユーザー情報を変更または削除します。[ユーザー名] で変更または削除するユーザーを選択してください。変更する項目については、新規登録の場合と同じです。

[変更] ボタン

選択したユーザーの情報を変更します。

【削除】 ボタン

選択したユーザーを削除します。

管理者情報を変更する【管理者設定】

管理者のパスワードやスタートモニターなど、管理者情報を変更します。

ユーザー管理 > 管理者設定

基本 ユーザー登録 管理者設定 ホスト登録

管理者情報の変更

管理者名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/> ※8文字以上32文字以下
パスワード(再入力)	<input type="password"/>
レベル	管理者
スタートモニター	4分割画面

変更

【管理者名】

管理者名をソフトキーボードから入力します。管理者名は半角英数字と記号（「"」「&」「:」「;」「¥」「,」を除く）で1文字以上32文字以内で設定してください。

【パスワード】

管理者用のパスワードをソフトキーボードから設定します。パスワードは半角英数字と記号（「"」「&」を除く）で8文字以上32文字以内で設定してください。また、英字（大文字）、英字（小文字）、数字、記号のうち3種類以上を使用し、ユーザー名がパスワードに含まれないようにしてください。

登録したパスワードは、内容にかかわらず「*****」と表示されます。



[重要]

- 他のレコーダーや機器のパスワードを使い回さないでください。
- 1つのユーザーID（管理者名）を複数の人で使い回さないでください。
- 管理者名、パスワードを忘れた場合は本体の初期化（修理扱い）が必要です。

[パスワード（再入力）]

確認のため、「パスワード」で入力したパスワードを再度入力します。

[レベル]

操作レベルを表示します。管理者は「管理者」に設定されており、変更できません。

[スタートモニター]

ログイン直後に表示するライブ画像の表示画面を選択します。

👉[ユーザー情報を登録／変更／削除する](#) [ユーザー登録]

[変更] ボタン

変更した管理者情報を登録します。

ホスト情報を登録／変更／削除する [ホスト登録]

ネットワークを経由して本機にアクセスできるPC（ホスト）のホスト情報の新規登録／変更／削除を行います。

ユーザー管理 > ホスト登録

基本 ユーザー登録 管理者設定 **ホスト登録**

新規ホスト情報の登録

ホストIPアドレス ※「*」は全ての数字を表す特殊文字として使用できます。

レベル マネージャー

スタートモニター カメラ1

登録

登録済みホスト情報の変更/削除

ホストIPアドレス

レベル

スタートモニター

変更 削除

■新規ホスト情報の登録

ホストIPアドレスや操作レベルなど、本機を使用するホスト情報を登録します。
登録できるホスト数は32個までです。

【ホストIPアドレス】

IPアドレスをIPv4の形式で入力します。

- 半角数字0 ~ 255 で入力します。
- 「*」はすべての数字を表す特殊文字として使用できます。
- 「****」は登録できません。

【レベル】

操作レベルを選択します。

設定内容については以下をお読みください

[👉ユーザー情報を登録/変更/削除する](#)

初期設定：マネージャー

【スタートモニター】

ウェブブラウザでログイン直後に表示するライブ画像の表示画面を選択します。
機種によってパラメータが異なります。詳細は以下をお読みください。

🔍 [詳細設定](#)

初期設定 : カメラ1

【登録】 ボタン

設定されたホスト情報を新規登録します。

■登録済みホスト情報の変更/削除

すでに登録したホスト情報を変更または削除します。

【ホストIPアドレス】で変更または削除するホストを選択してください。変更する項目については、新規登録の場合と同じです。

【変更】 ボタン

選択したユーザーの情報を変更します。

【削除】 ボタン

選択したユーザーを削除します。

メンテナンスに関する設定を行う【メンテナンス】

設定メニュー【詳細設定】のメンテナンスページでは、本機のバージョン情報やシステム情報の表示、HDDに関する設定などを行います。また、設定メニューでの設定内容の初期化、各種ログの確認、ライセンスの登録などもこのメンテナンスページで行います。メンテナンスページは【システム情報】タブ、【HDD情報】タブ、【システム管理】タブで構成されています。

バージョンなどシステム情報を確認する【システム情報】

■システム情報

本機のバージョン情報（ソフトウェア、ハードウェア）、シリアル番号、ネットワーク情報（MACアドレス、IPアドレス、通信速度）、本体内部の温度情報、最高温度記録などが表示されます。

メンテナンス > システム情報

システム情報 HDD情報 システム管理

システム情報

ソフトウェアバージョン	
ハードウェアバージョン	
シリアル番号	

ネットワークポート

	カメラ/PC ポート	PC ポート
MACアドレス		
IPアドレス	192.168.0.250
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1	
通信速度	Auto (1000M-Full)	Auto (-)

ネットワークポート [メンテナンスポート]

MACアドレス	
IPアドレス	192.168.2.250
通信速度	Auto (-)

DNS

プライマリーサーバーアドレス	
セカンダリーサーバーアドレス	
ドメイン名	

本体内部現在温度 33°C(91° F)
 最高温度記録 36°C(96° F) [2024/03/11 00:15]

システム機器情報

増設ユニット (EXT) 情報	表示 >
カメラのSDカード情報	表示 >

オンラインユーザー情報

ログインユーザー数	0
-----------	---

※これはNX410の画面です。



[メモ]

- メンテナンスページ表示中は、システム情報は更新されません。
- 通信速度欄の () 内には実際の通信速度が表示されます。
- 本体内部現在温度は、内部部品の温度上昇により、本製品の周囲温度より高い温度になります。内部部品の温度上昇幅は、機器の負荷により異なります。
- 周囲温度が同じ環境下でも、機種により表示される温度が異なります。
- 機器の故障や不安全を防ぐために、内部の部品 (HDD、CPUなど) が規定外の温度になると温度異常を検知して、エラー動作を行います。

■システム機器情報

[増設ユニット (EXT) 情報] [NX410/NX510]

増設ユニットのバージョン情報や温度情報、復旧進捗情報が表示されます。[表示>] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



[メモ]

- ミラーリング復旧中やRAID復旧中は復旧進捗情報が表示されます。

[カメラのSDカード情報]

SDメモリーバックアップを設定しているカメラのSDカード情報、および、SDメモリーバックアップの進捗状況が表示されます。[表示>] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。

メンテナンス > システム情報 > カメラのSDカード情報

システム情報 HDD情報 システム管理

SDカード情報

カメラ	ソフトウェア	SDカード品番	稼働時間	上書回数	バックアップ進捗情報
1	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-
11	-	-	-	-	-
12	-	-	-	-	-
13	-	-	-	-	-
14	-	-	-	-	-
15	-	-	-	-	-
16	-	-	-	-	-

戻る

[ソフトウェア] カメラのソフトウェアバージョンを表示します。

[SDカード品番] カメラで使用しているSDメモリーカードの品番を表示します。

[稼働時間] カメラで使用しているSDメモリーカードの稼働時間を表示します。

[上書回数] カメラで使用しているSDメモリーカードの上書き回数を表示します。

[バックアップ進捗情報] SDメモリーバックアップの進捗状況を表示します。

日時表示：カメラのSDメモリーカードから取得中の画像の日時

-：カメラのSDメモリーカードに取得すべき画像データがない



[メモ]

- カメラによっては、SDカード情報が取得できない場合があります。

■オンラインユーザー情報

[ログインユーザー数]

本機にネットワーク経由でログインしているユーザー数を表示します。

ディスク情報を確認する [HDD情報]

本機や増設ユニットのHDD容量、稼働時間、録画画像の日時範囲などを表示します。

メンテナンス > HDD情報

システム情報 **HDD情報** システム管理

HDD情報 - シングルモード -

		容量	稼働時間	ステータス	録画画像の日時範囲	録画期間グループ
本体 (MAIN)	HDD1	4001 GB	7 時間	正常 1	2023/09/05 09:06 => 2023/09/05 11:34	グループ1
	HDD2					グループ2
	HDD3					グループ1
	HDD4					グループ1
	HDD5					グループ1
	HDD6					グループ1
	HDD7					グループ1
	HDD8					グループ1
	HDD9					グループ1
増設1 (EXT1)	HDD1					グループ1
	HDD2					グループ1
	HDD3					グループ1
	HDD4					グループ1
	HDD5					グループ1
	HDD6					グループ1
	HDD7					グループ1
	HDD8					グループ1
	HDD9					グループ1

前ページ 1/3 次ページ

推定上書き周期 - 日

カメラの録画期間グループ確認 表示 >

HDD残容量 表示 >

HDDメンテナンス 設定 >

※これはNX410のシングルモード時の画面です。



[メモ]

- メンテナンスページ表示中は、HDD情報は更新されません。
- ミラーリング復旧中はHDD運用モード表示の横に復旧進捗情報が表示されます。
- 録画期間グループが設定されている場合、録画期間グループに関する項目が表示されます。
- 本機の負荷が大きい場合、ミラーリング復旧中に再生すると数秒間画像が録画されないことがあります。
- 【NX410/NX510】ミラーリングモード時は、HDD9の情報は表示されません。

[HDD運用モード]

画面の表、左上の「HDD情報」の右横に、HDD運用モードを表示します。

詳細は以下をお読みください。

[👉 HDD運用モードの設定について](#)

[容量]

HDDの容量を表示します。

[稼働時間]

HDDの稼働時間を表示します。

[ステータス]

本機のHDDの状態を表示します。

正常：正常に動作しているHDD（数字は使用する順番を表します）

再生専用：再生専用のHDD（録画はされません）

切り離し：HDDでエラーが発生し、運用から切り離されたHDD

エラー：フォーマット中にエラーが発生したHDD

空欄：HDD未接続

追加：フォーマットをしないと使用できないHDD

[録画画像の日時範囲]

HDDに録画されている日時の範囲を表示します。



[メモ]

- 【NX310】ミラーリング復旧中も、復旧対象のHDDに日時の範囲が表示されますが、復旧が完了しないと復旧元のHDDと同じ内容にはなりません。
- 【NX410/NX510】ミラーリングモード/RAID5モード/RAID6モード動作時、[稼働時間] はHDDごとに表示されますが、[容量] / [ステータス] / [録画画像の日時範囲] は複数のHDDごとまとめて表示されます。

[推定上書き周期]

現在までの録画実績（最も古い録画データの日時、現在日時、HDD容量）に基づいて、HDDの上書き周期を算出し、目安表示します。



[メモ]

- 上書き録画中は最も古い録画データ日時と最も新しい録画データ日時から上書き周期を算出します。
- 録画実績が多いほど上書き周期の算出精度が高まります。
- 録画条件を変更した場合や、データ自動消去でデータが消去された場合などは、正しい上書き周期が表示されません。
- 録画期間グループ設定時には、推定上書き周期が表示されません。

【カメラの録画期間グループ確認】

録画期間グループが設定されている場合、録画期間グループを確認する画面を表示します。

[表示] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。

[HDD運用モードの設定について](#)

メンテナンス > HDD情報 > カメラの録画期間グループ確認

システム情報 HDD情報 システム管理

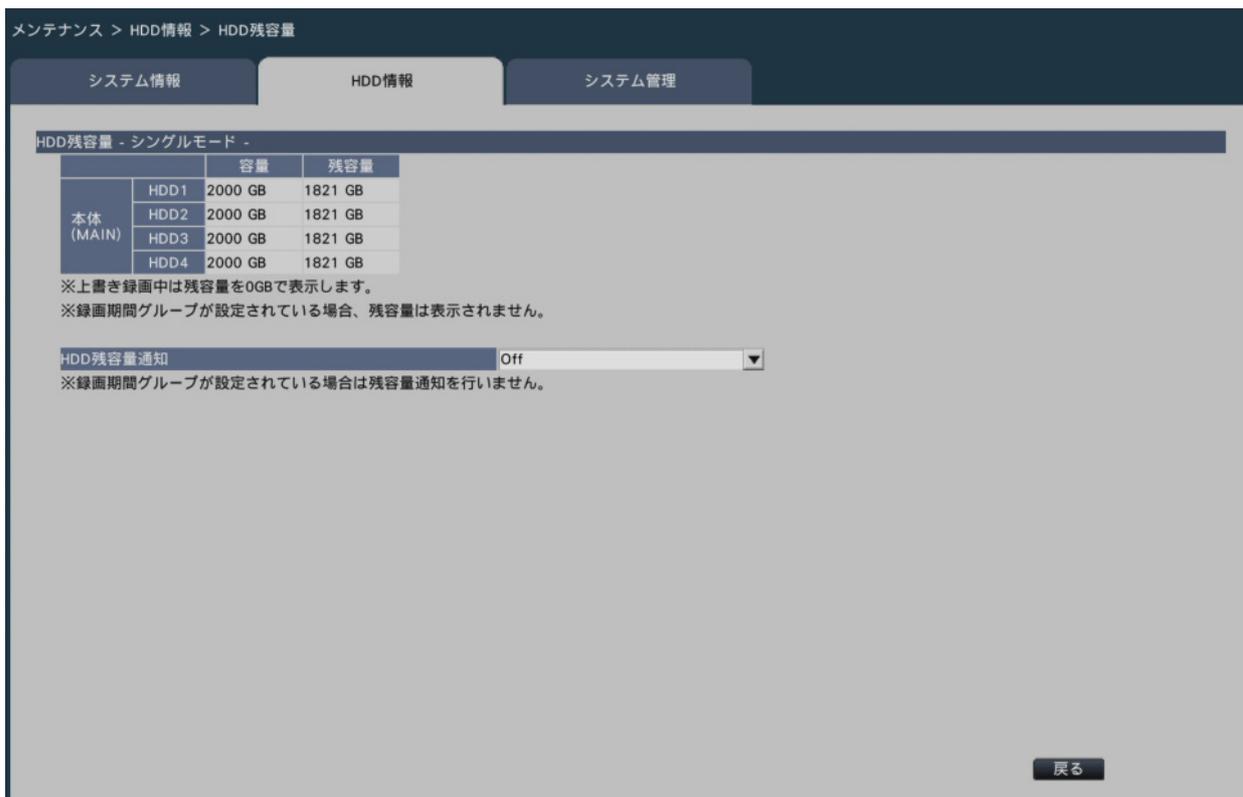
カメラの録画期間グループ確認

カメラ	品番	録画期間グループ
1		グループ1
2		グループ1
3		グループ1
4		グループ1
5		グループ1
6		グループ1
7		グループ1
8		グループ1
9		グループ2
10		グループ2
11		グループ2
12		グループ2
13		グループ2
14		グループ2
15		グループ2
16		グループ2

戻る

【HDD残容量】

HDDの残容量を表示します。また、HDDの残容量が減少したときの通知タイミングを設定します。HDD残容量を表示するには、[表示] ボタンをクリックしてください。



[容量]

HDDの容量を表示します。

[残容量]

HDDの残容量を表示します。



[メモ]

- 表示されるHDDの残容量は、データを管理するために必要な容量を除いています。このため、HDDの容量は少なく表示されます。
- すべての領域にデータを録画したHDDは残容量が0GBで表示されます。

[HDD残容量通知]

HDDの総容量に対する残容量が減少したときの通知タイミングを設定します。メール通知と独自通知を行います。

Off : 残容量通知を行いません。

1% ~ 10% : 残容量が設定値を下回るタイミングで通知します。

初期設定 : Off

■HDDメンテナンス

HDDビューワー用パスワードの設定や、HDDのフォーマット・取り外しを行います。

HDDメンテナンスを行うには、[設定>] ボタンをクリックしてください。

メンテナンス > HDD情報 > HDDメンテナンス

システム情報 HDD情報 システム管理

HDDメンテナンス - シングルモード -

		容量	稼働時間	ステータス	録画画像の日時範囲
本体 (MAIN)	HDD1	2000 GB	1 時間	正常 1	
	HDD2	2000 GB	1 時間	正常 2	
	HDD3	2000 GB	1 時間	正常 3	
	HDD4	2000 GB	1 時間	正常 4	

HDDビューワー用パスワード設定 Off

パスワード(8~32文字)

パスワード確認

HDDビューワーの保存(USBメディアへ) 実行 >

HDDのフォーマット 開始

※本機能は管理者のみ実行可能です。
※本機能を開始すると、コピーやダウンロード、NASバックアップは停止します。

HDDの取り外し MAIN HDD2 開始

※本機能は管理者のみ実行可能です。
※本機能を開始すると、コピーやダウンロード、NASバックアップは停止します。

戻る

[HDDビューワー用パスワード設定]

本機に搭載されたHDDにパスワードを設定するかどうかを設定します。Onに設定すると、HDDの取り外し操作時に、パスワードをHDDに設定します。HDDビューワーでパスワードが設定されているHDDを使用するには、パスワード入力が必要になります。

On : HDDにパスワードを付与します。

Off : HDDにパスワードを付与しません。

初期設定 : Off



[重要]

- 以下のHDDの取り外し操作を行わずにHDDを取り外すと、HDDにパスワードが設定されません。

👉 [ディスク情報を確認する \[HDD情報\]](#)

👉 [HDDの取り外しと組み込みについて](#)

[パスワード]

HDDビューワー用パスワードをソフトキーボードから設定します。パスワードは半角英数字と記号(「!」「&」を除く)で8文字以上32文字以内で設定してください。また、英字(大文字)、英字(小文字)、数字、記号のうち3種類以上を使用してください。設定した

パスワードは、内容にかかわらず「*****」と表示されます。



[重要]

- 取り外したHDDのパスワードを忘れた場合は、HDDビューワーで再生することができません。

[パスワード確認]

確認のため、「パスワード」で入力したパスワードを再度入力します。

[登録] ボタン

設定されたパスワードを登録します。

[HDDビューワーの保存 (USBメディアへ)]

HDDビューワーをUSBメディア (外部記憶装置) に保存します。[実行] ボタンをクリックして表示された確認画面から保存します。HDDビューワーは圧縮ファイル (NX_HDD_Viewer.zip) としてUSBメディアのドライブ直下に保存されます。展開してご使用ください。

HDDビューワーの取扱説明書は、以下の弊社サポートウェブサイトに掲載しています。

https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/documentation-database

[HDDのフォーマット]

初期化するHDDを選択して [開始] ボタンをクリックするとHDDを初期化します。



[重要]

- HDDを初期化すると、初期化したHDDに記録されていた録画画像はすべて消去されます。
- 選択できるのは、ステータスが「再生専用」または「追加」のHDDのみです。
- フォーマット開始後は、コピーやダウンロード、NASバックアップは停止します。

[HDDの取り外し]

取り外すHDDを選択して [開始] ボタンをクリックすると、HDDビューワー用パスワードの確認画面が表示されます。入力値と設定値が一致すると、HDDを取り外します。



[重要]

- 録画中のHDDは選択できません。HDDスタンバイ制御モードがOnの場合は、録画順番が録画中HDDの次のHDDも選択できません。(HDD運用モードがミラーリングモードの場合、2台で録画中のHDDはどちらか一方を取

り外すことができます。)

- 取り外し開始後は、コピーやダウンロード、NASバックアップは停止します。

システムに関する設定や操作を行う [システム管理]

障害発生時の動作設定やHDD内のデータの自動消去の設定、ログの表示などを行います。また、ライセンスの登録、設定の初期化、ソフトウェアのバージョンアップなど、一般的なメンテナンス作業をここでを行います。



【NX310】



【NX410/NX510】

■システム設定

[障害出力時間]

本機に障害（HDD異常、カメラ異常、機器異常、録画異常、ネットワーク異常）が発生したときに外部に異常を知らせる信号を出力する時間を設定します。「0秒」に設定すると信号を出力しません。

0秒 / 2秒 / 5秒 / 10秒 / 20秒 / 30秒 / 1分

Ext. : 障害復帰操作をするまで信号を出力し続けます。

初期設定 : 2秒



[メモ]

- 障害復帰操作については、以下をお読みください。

☞ [エラー動作を解除する](#)

[障害ブザー鳴動時間]

本機に障害が発生したとき、ブザーを鳴らす時間を選択します。「0秒」に設定するとブザーを鳴らしません。

0秒 / 2秒 / 5秒 / 10秒 / 20秒 / 30秒 / 1分

Ext. : 障害ブザー鳴動停止の操作をするまでブザー鳴動し続けます。

初期設定 : 2秒



[メモ]

●ブザー鳴動の停止方法については、以下をお読みください。

☞ [ブザーを停止する](#)

[停電処理開始時間]【NX410/NX510】

本機に停電検出信号が入力されてから停電処理を開始するまでの時間を設定します。

10秒 / 20秒 / 30秒 / 1分 / 2分 / 3分 / 4分 / 5分

初期設定 : 10秒

[HDDスタンバイ制御モード]

録画中および録画待機中以外のHDDを一時的に休止させてHDD稼働時間をカウントしないモード（HDDスタンバイ制御モード）を設定します。

On : HDDスタンバイ制御モードで動作します。

Off : 通常モードで動作します。

初期設定 : Off



[メモ]

●シングルモード時は、HDDが3台以上で構成している場合に有効です。

●ミラーリング（RAID1）モード時は、HDDが6台以上で構成している場合に有効です。

●RAID5 / RAID6モード時は、3ユニット以上で構成している場合に有効です。

●HDDスタンバイ制御モードで動作中は、休止しているHDD内のデータの再生を開始するのに時間がかかることがあります。

●HDDスタンバイ制御モードで動作中は、録画画像があっても日時操作パネルのカレンダーに日付が白色で表示されません。

☞ [日時を指定して再生する](#)

●HDDスタンバイ制御モードで動作中は、録画イベントサーチの件数は表示されません。

☞ [検索して再生する（録画イベントサーチ）](#)

[HDD稼働時間警告]

HDDの稼働時間が設定値に達すると、警告動作を行うよう設定します。「Off」に設定すると、警告動作を行いません。

Off / 10000時間 / 20000時間 / 30000時間 / 40000時間 / 50000時間

初期設定：20000時間

[データ自動消去]

本機のHDD内のデータを録画されてから経過した日数により自動的に消去するように設定します。

Off / 1日 / 2日 / 3日 / 4日 / 5日 / 6日 / 7日 / 8日 / 9日 / 10日 / 14日 / 30日 / 45日 / 60日 / 90日 / 120日 / 150日 / 180日 / 184日 / 365日 / 366日 / 730日 / 731日

初期設定：Off（データを自動消去しません）



[メモ]

- データ自動消去は0時5分に行われます。この時刻に電源が入っていないと自動消去は行われません。
- 録画期間グループが設定されている場合、データ自動消去は行われません。

[カメラ時刻自動同期]

カメラ登録時や設定変更時、本機を起動したときや運用中に日付が変わるときに、カメラ側の時刻を本機の時刻に合わせます。

On：時刻を合わせます。

Off：時刻を合わせません。

初期設定：On



[メモ]

- ネットワークページの [NTP/SNMP] タブで「レコーダー時刻自動調整 (NTP)」をOffからOnに変更すると、調整前の時刻がカメラに設定されます。時刻を合わせる場合は、「その他の機能」の「カメラの日時を本機に合わせる」を実行してください。

【汎用入出力端子設定】【NX310】

汎用入出力端子設定	
汎用1	未設定
汎用2	未設定
汎用3	未設定
汎用4	未設定

※アラーム入りに設定した場合は、端子アラーム詳細設定で録画カメラを設定してください。

戻る

【汎用1】～【汎用4】

汎用入出力端子の用途を設定します。汎用入出力端子を使用しない場合は「未設定」に設定します。

未設定／アラーム入力

初期設定：未設定

【ウェブブラウザ表示モード】

ウェブブラウザの背景色を設定します。

ライト／ダーク

初期設定：ライト

【ウェブブラウザ再生解像度】

録画画像をウェブブラウザに再エンコード配信するときの解像度を設定します。

VGA(640x480)

HD(1280x720)

FHD(1920x1080)

初期設定：VGA(640x480)

**にはユーザー名またはIPアドレスが表示されます。

操作ログについて

特定の本機の操作をした際の日時と操作内容を一覧で表示します。

履歴は500件まで記録されます。

500件を超えると、古い履歴から上書きされます。

CONFIG LOGIN / CONFIG LOGOUT : HDD管理へログイン/ ログアウト

UPDATED SETTINGS : 設定を変更したとき

POWER ON : 本機を起動したとき

POWER ON (UPDATED) : ソフトウェアの更新後に再起動したとき

BEFORE TIME CHANGE MANUALLY : システム日時を変更する直前

AFTER TIME CHANGE MANUALLY : システム日時を変更した直後

BEFORE TIME CHANGE BY NTP : NTPによってシステム日時が変更される直前

AFTER TIME CHANGE BY NTP : NTPによってシステム日時が変更された直後

HDD FORMAT : HDDをフォーマットしたとき

RESET ALL SETTINGS : 設定初期化が実施されたとき

POWER ON (MAINTENANCE) : 設定メニューの操作で再起動したとき

RESET HIGHEST TEMPERATURE : 最高温度情報をクリアしたとき

POWER OFF : 本機の電源をOffしたとき



[メモ]

- 起動中に電源がOffされるとPOWER OFFは残りません。

ネットワークログについて

ネットワーク障害の発生日時と障害内容を一覧で表示します。

履歴は100件まで記録されます。100件を超えると、古い履歴から上書きされます。ログの詳細については以下をお読みください。

[🔗 ネットワークログについて](#)

■保守・サービス用機能

本機の運用や拡張機能のためのライセンス登録を行ったり、メンテナンスに必要な操作や設定を行ったりします。

[ライセンス登録 (本機、カメラ拡張、など)]

本機を使用するには、キー管理システムより解除キー番号を取得して登録する必要があります。

[設定>] ボタンをクリックするとライセンス登録画面が表示されます。

👉 [システムに関する設定や操作を行う](#) [システム管理]

【ライセンス登録（セキュリティ）】

セキュア拡張のライセンスを登録することで、データ暗号機能が使用できます。

[設定>] ボタンをクリックするとライセンス登録画面が表示されます。



【重要】

- セキュア拡張のライセンスを登録すると、ウェブブラウザで録画画像を再生することができません。

【設定データの保存（USBメディアへ）】

設定メニューの設定内容をUSBメディア（外部記憶装置）に保存します。[実行] ボタンをクリックして表示された確認画面から保存します。

【設定データの読み込み（USBメディアから）】

USBメディア（外部記憶装置）に保存されている設定メニューの設定内容を本機に読み込みます。[実行>] ボタンをクリックして表示された確認画面から読み込みます。



【重要】

- 設定データの読み込みを行った後は、必ず設定保存ボタンをクリックし、一度メニューを抜けてください。

【設定値の復元】

本機に保存されている過去の設定内容を復元します。直近の起動時の設定と過去3日分の設定を保存します。起動時の設定値は復元日時表示に「(ON)」が付加されています。過去3日分の設定値は、毎日午前2時10分時点の設定値を保存します。その時点で、直近の設定値から変更されていなければ保存されません。

復元したい設定の日時を選択し、[実行>] ボタンをクリックして表示された確認画面から実行します。



【重要】

- 設定値の復元を行った後は、必ず設定保存ボタンをクリックし、一度メニューを抜けてください。

【ソフトウェアの更新】

USBメディア（外部記憶装置）に保存されている本機ソフトウェアを読み込み、バージョンアップします。[実行>] ボタンをクリックして表示された確認画面から更新処理を開始します。

ソフトウェアの更新は管理者のみが実行できます。



【メモ】

- 【NX410/NX510】更新するソフトウェアによっては、バージョンアップに最大で約30分かかる場合があります。起動画面が表示されたままになります。
- バージョンアップ中は、機器の電源を切らないでください。
- USBメディアの容量、記録内容により使用できるまでの時間が変わります。USBメディアが認識されない場合は、一度抜いて10秒以上待ってから、再度操作し直してください。
- 複数のUSBメディアを接続した状態で操作しないでください。
- exFATまたはFAT（FAT16）、FAT32形式でフォーマットされたUSBメディアを使用してください。
- 本機で認識したUSBメディアは本機でフォーマットできます。フォーマット方法については以下をお読みください。
[☞USBメディアをフォーマットする](#)
- パスワード認証付き外部記憶装置や、専用ドライバを必要とするもの、暗号化機能を使用するUSBメディアは使用できません。
- ソフトウェアの更新については、お買い上げの販売店（設置工事店）にお問い合わせください。

【その他の機能】

特殊な保守・サービス用機能の画面が表示されます。

[☞システムに関する設定や操作を行う【システム管理】](#)

【設定の初期化】

設定メニューの設定内容を初期化します。[実行>] ボタンをクリックして表示された確認画面から初期化を実行します。



【メモ】

- 以下の設定項目は初期化、読み込み、復元されません。
 - ・HTTPポート番号
 - ・ネットワーク設定
 - ・DNS設定

- ・ライセンス関連の各種番号
- ・HDD運用モード
- ・録画期間グループ
- ・本機とPC間のセキュリティ

本機やカメラのライセンスを登録する【ライセンス登録】

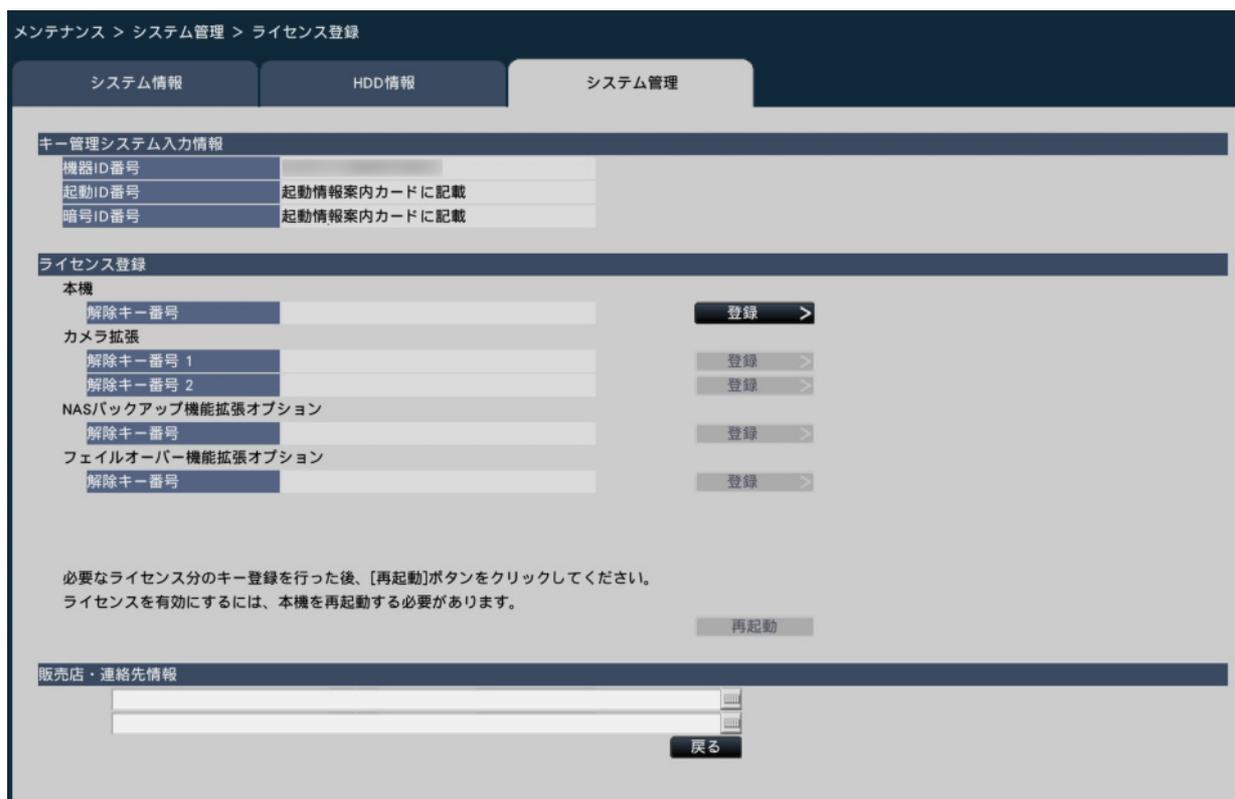
本機を運用するためのライセンス登録のほか、カメラを追加するためのライセンスを登録します。

なお、ライセンス登録には、キー管理システムから取得した解除キー番号が必要です。本機の解除キー番号の取得方法は、付属の「起動情報案内カード」をお読みください。また、カメラ拡張の解除キー番号の取得方法は、カメラ拡張キット（別売り）の「起動情報案内カード」をお読みください。



[重要]

- 以下の場合には必ず最後に【再起動】ボタンをクリックし、本機を再起動させてください。本機が再起動しないと各ライセンスが有効になりません。
 - ・本機の解除キー番号を登録したとき
 - ・カメラ拡張の解除キー番号を登録したとき
 - ・NASバックアップ機能の解除キー番号を登録したとき
 - ・フェイルオーバー機能の解除キー番号を登録したとき



■ キー管理システム入力情報

解除キー番号を取得するためのID番号です。本機に付属の「起動情報案内カード」には、キー管理システムへのアクセス方法が記載されています。

■ ライセンス登録

本機を運用するための解除キー番号を登録します。

【本機－解除キー番号】

キー管理システムから取得した解除キー番号を入力します。入力欄右の「登録」ボタンをクリックすると、ライセンス登録画面が表示されます。本機を初めて起動したときは、必ず解除キー番号を登録してください。

【カメラ拡張－解除キー番号1、2】

カメラを追加する場合、カメラ拡張キットの解除キー番号を入力します。解除キー番号を登録すると、以下のようにカメラ接続台数は増えます。入力欄右の「登録」ボタンをクリックすると、ライセンス登録画面が表示されます。

	WJ-NXE32JW	WJ-NXE33JW	WJ-NXE42JW	WJ-NXE52JW	WJ-NXE53JW
解除キー番号	16	16	32	64	64
なし					

解除キー番号1	24	32	64	96	128
解除キー番号2	32	—	—	128	—

【NASバックアップ機能拡張オプション-解除キー番号】

NASバックアップ機能を使用する場合は、キー管理システムから取得した解除キー番号を入力します。

NASバックアップ機能については以下をお読みください。

[👉NASバックアップ機能](#)

【フェイルオーバー機能拡張オプション-解除キー番号】

フェイルオーバー機能を使用する場合は、キー管理システムから取得した解除キー番号を入力します。

フェイルオーバー機能については以下をお読みください。

[👉フェイルオーバー機能](#)

■販売店・連絡先情報

販売店（設置工事店）名や電話番号などの情報をソフトキーボードから2つまで登録できます。各欄とも、32文字まで入力できます。

ライセンス登録が完了したら、[再起動] ボタンをクリックします。本機が再起動し登録した内容が、本機に反映されます。

【戻る】 ボタン

ライセンスを有効にしない場合や、「販売店・連絡先情報」のみを変更した場合にクリックすると、[システム管理] タブに戻ります。

セキュア拡張キットのライセンスを登録する【ライセンス登録（セキュリティ）】

データ暗号機能を使用するには、セキュア拡張キットのライセンスを登録する必要があります。

詳細は、セキュア拡張キットの取扱説明書をお読みください。

特殊な保守・サービス用機能を実行する【その他の機能】

カメラ側の日時を本機に合わせたり、本機を再起動したりします。

メンテナンス > システム管理 > その他の機能

システム情報 HDD情報 システム管理

カメラの日時を本機に合わせる
※設定終了後に処理が実行されます。

本機の設定情報に合わせてカメラを再設定する
※設定終了後に処理が実行されます。

SDメモリーバックアップのデータを取得する
本機を再起動する

基板交換モードで本機を起動する
HDD運用モードを選択して、[実行予約]ボタンをクリックします。
HDD運用モード
※実行後は電源を切ってからHDDを取り付けてください。
※実行後は1度だけ基板交換モードで起動します。

最高温度記録情報をクリアする

ネットワーク送受信速度を測定する
※設定終了後に処理が実行されます。

端子出力のテスト

対象	<input type="text" value="カメラ異常出力端子"/>	<input type="button" value="実行"/>
テスト出力時間	<input type="text" value="2 秒"/>	

【カメラの日時を本機に合わせる】

登録しているすべてのカメラの日時を本機の日時に合わせます。[実行予約] ボタンをクリックして表示された確認画面から実行した後、設定を終了すると処理が実行されます。

【本機の設定情報に合わせてカメラを再設定する】

本機で設定されている情報に基づき、登録しているすべてのカメラを再設定します。[実行予約] ボタンをクリックして表示された確認画面から実行した後、設定を終了すると処理が実行されます。



【重要】

- カメラの設定を個別にカスタマイズしている場合は、設定が変わってしまいますのでご注意ください。

【SDメモリーバックアップのデータを取得する】

SDメモリーバックアップを設定しているカメラのSDメモリーカードに録画されている画像（SDメモリーデータ）の取得を開始します。

【本機を再起動する】

本機を再起動します。

【基板交換モードで本機を起動する】

基板を交換する場合に使用します。



【メモ】

- 基板交換モードは保守時に使用します。通常は使用しないでください。
- 基板交換はお買い上げの販売店（設置工事店）にご相談ください。

【最高温度記録情報をクリアする】

本体内部温度の最高温度記録情報をクリアします。

【ネットワーク送受信速度を測定する】

本機が送受信するネットワークのトラフィック量を測定する場合に使用します。[実行予約] ボタンをクリックして表示された確認画面から実行した後、設定を終了してから測定動作に入ります。

測定が終了すると測定結果が表示されます。



【メモ】

- 測定は設定を終了してから約8秒後から10秒間行われます。
- 測定動作中は、運用画面の状態表示部に「測定中」が表示されます。
- 測定結果はすべてのネットワークポートの合計値です。
- 測定結果は参考値です。ネットワークの環境によって変化することがあります。

【端子出力のテスト】

本機後面のアラーム/コントロール端子から信号を出力します。

対象：信号を出力する端子を選択します。

テスト出力時間：信号を出力する時間を2秒、5秒、10秒から選択します。

〔実行〕 ボタンをクリックして表示された確認画面から実行すると、選択した出力端子から信号が出力されます

HDDを管理する [HDD管理]

設定メニュー [詳細設定] のHDD管理ページでは、HDDの容量の確認や、HDDの初期化（フォーマット）など、HDDに関する操作を行います。



[重要]

- HDD管理ページを表示すると、HDD管理に関する操作以外のすべての動作（録画や再生など）は停止します。
- HDD管理ページを表示すると、本機にログインしている他のユーザーは強制的にログアウトします。

HDD管理ページの表示のしかた

STEP1

設定メニュー [詳細設定] の [HDD管理] ボタンを選択します。

→管理者名とパスワードの入力画面が表示されます。すでに管理者でログインしていた場合にも表示されます。

STEP2

「管理者名」と「パスワード」を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

The image shows a software authentication window titled "認証" (Authentication). At the top left is the title and a close button (X). Below the title are two input fields: "管理者名" (Administrator Name) containing a hyphen "-" and "パスワード" (Password) which is currently empty. These fields are enclosed in a pink rectangular box. Below the input fields is a numeric keypad with three columns of buttons. The first column contains letters A through Z. The second column contains lowercase letters a through z. The third column contains various symbols including !, #, \$, %, ', (,), *, +, -, ., /, :, ;, <, =, >, ?, @, [¥], ^, _ and { | } ~. Below the keypad are buttons for digits 1-5, 6-0, and navigation arrows (left and right) along with a "消去" (Delete) button. At the bottom of the window, there are two buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel). The "OK" button is highlighted with a pink rectangular box. Below the keypad, there is a warning message: "HDD管理メニューを表示すると録画とコピーは停止します。" (When the HDD management menu is displayed, recording and copying will stop).

→HDD管理ページが表示されます。

HDD管理ページから通常の運用画面に戻るには [運用] ボタンをクリックします。



HDDの情報を確認する [全般]

本機や増設ユニットのHDD容量、稼働時間、録画画像の日時範囲などを表示します。



The screenshot shows the 'HDD管理 > 全般' (HDD Management > General) page. It features a table titled 'HDD情報 - シングルモード -' (HDD Information - Single Mode -) with columns for '容量' (Capacity), '稼働時間' (Operating Time), 'ステータス' (Status), and '録画画像の日時範囲' (Recording Image Date/Time Range). Below the table are several action buttons: 'HDDのフォーマット' (Format HDD), 'HDDの取り外し' (Remove HDD), 'HDDの組み込み' (Install HDD), 'HDD運用モードの設定' (Set HDD Operating Mode), '録画期間グループ設定' (Set Recording Period Group), and '録画順番の変更' (Change Recording Order).

		容量	稼働時間	ステータス	録画画像の日時範囲
本体 (MAIN)	HDD1	2000 GB	5 時間	正常 1	
	HDD2	2000 GB	5 時間	正常 2	
	HDD3	2000 GB	5 時間	正常 3	
	HDD4	2000 GB	5 時間	正常 4	

実行 > 録画順番の変更 実行 >

HDDのフォーマット 実行 >

HDDの取り外し 実行 >

HDDの組み込み 実行 >

HDD運用モードの設定 実行 >

録画期間グループ設定 実行 >

「HDD情報」に表示される項目については、以下をお読みください。

[👉 ディスク情報を確認する \[HDD情報\]](#)

HDDを初期化する [HDDのフォーマット]

HDDを初期化します。本機のHDDを交換したとき、HDDの初期化を行う必要があります。



[重要]

- HDDを初期化すると、初期化したHDDに記録されていた録画画像はすべて消去されます。

STEP1

[HDDのフォーマット] で [実行>] ボタンをクリックします。

→HDDフォーマット画面が表示されます。



STEP2

フォーマット欄でフォーマットするHDDにチェックを入れ、[開始] ボタンをクリックします。表示された確認画面で [OK] をクリックすると、フォーマットが開始されます。ミラーリングモード、RAID5/RAID6モードでは、対になっているHDDごとにチェックを入れます。

結果欄に「OK」が表示されたら、[戻る] ボタンをクリックしてください。

HDDの取り外しと組み込みについて

HDDの交換を行う場合、交換前に取り外し処理を行う必要があります。

交換したHDDのステータスが「再生専用」の場合、HDDのフォーマット以外に、組み込み処理を行うことで、録画可能なHDDにすることができます。HDDの取り外しおよび取り付けとその処理は、必ずお買い上げの販売店（設置工事店）に依頼してください。

HDDを取り外す [HDDの取り外し]

STEP1

「HDDの取り外し」で [実行>] ボタンをクリックします。

→HDD取り外し画面が表示されます。

HDD管理 > 全般 > HDDの取り外し

全般

HDD情報 - シングルモード -

		容量	稼働時間	ステータス	<input type="checkbox"/>	取り外し	結果
本体 (MAIN)	HDD1	2000 GB	5 時間	正常 1		<input type="checkbox"/>	
	HDD2	2000 GB	5 時間	正常 2		<input type="checkbox"/>	
	HDD3	2000 GB	5 時間	正常 3		<input type="checkbox"/>	
	HDD4	2000 GB	5 時間	正常 4		<input type="checkbox"/>	

HDDの取り外し
取り外すHDDにチェックを入れ、[開始] ボタンをクリックします。
結果欄に「OK」が表示されれば取り外しが可能です。

開始

戻る

STEP2

取り外し欄で取り外すHDDにチェックを入れ、[開始] ボタンをクリックすると、HDDビューワー用パスワードの確認画面が表示されます。入力値と設定値が一致すると、HDDを取り外します。

結果欄に「OK」が表示されれば、取り外しが可能です。[戻る] ボタンをクリックしてください。



[メモ]

- HDDビューワー用パスワードが設定されていると、HDDにパスワードを設定します。

HDDを組み込む [HDDの組み込み]

STEP1

「HDDの組み込み」で [実行>] ボタンをクリックします。

→HDDの組み込み画面が表示されます。

HDD管理 > 全般 > HDDの組み込み

全般

HDD情報 - シングルモード -

		容量	稼働時間	ステータス	<input type="checkbox"/>	組み込み	結果
本体 (MAIN)	HDD1	2000 GB	5 時間	正常 1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	HDD2	2000 GB	5 時間	正常 2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	HDD3	2000 GB	5 時間	正常 3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	HDD4	2000 GB	5 時間	正常 4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

HDDの組み込み
組み込み処理を行うHDDにチェックを入れ、[開始] ボタンをクリックします。
結果欄に「OK」が表示されれば、処理が終了です。
※選択したHDDのデータは消去されます。

開始

戻る

STEP2

組み込み欄で組み込むHDDにチェックを入れ、[開始] ボタンをクリックします。
結果欄に「OK」が表示されれば、組み込み処理が完了し、録画可能なHDDになります。[戻る] ボタンをクリックしてください。



[重要]

- 組み込み処理を行うと、HDDのデータは消去されます。



[メモ]

- 【NX310】 ミラーリングモード時は、同時に2台のHDDを組み込むことはできません。ミラーリングモード時の組み込み処理については、以下もお読みください。

[👉 HDD運用モードの設定について](#)

HDD運用モードの設定について

HDD運用モードについて

シングルモード：それぞれのHDDに対し、順番にカメラ画像・音声を録画する運用モード。

ミラーリングモード：HDD1とHDD2、HDD3とHDD4のように、2台のHDDに同じカメラ画像・音声を二重に録画する運用モード。

一方のHDDを交換した後、交換したHDDにもう片方のHDDからデータをコピーすることが可能。本機あるいは増設ユニットに2台以上のHDDが必要です。

【NX410/NX510】

RAID5モード：1台のHDDが故障しても残りのHDDを使って録画映像を復元できる運用モード。本機あるいは増設ユニットに3台以上のHDDが必要です。

RAID6モード：2台のHDDが故障しても残りのHDDを使って録画映像を復元できる運用モード。本機あるいは増設ユニットに4台以上のHDDが必要です。

HDD運用モードを設定する [HDD運用モードの設定]

HDD運用モードを変更します。また、HDDやユニットを選択して、本機に設定されているHDD運用モードで再設定します。

「HDD運用モードの設定」で [実行>] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。

The screenshot shows the 'HDD Management' web interface. At the top, the breadcrumb is 'HDD管理 > 全般 > HDD運用モードの設定'. Below this is a '全般' (General) tab. The main content area is titled 'HDD情報 - シングルモード -'. It contains a table with columns: '容量' (Capacity), '稼働時間' (Operating Time), 'ステータス' (Status), '録画期間グループ' (Recording Period Group), 'モード再設定' (Mode Reset), and '結果' (Result). The table lists HDD1 through HDD9, with HDD1 having a capacity of 4001 GB and an operating time of 15 hours. Below the table are '前ページ' (Previous Page) and '次ページ' (Next Page) buttons, with '1/6' indicating the current page. Underneath the table is the 'HDD運用モードの設定' (HDD Operation Mode Setting) section. It has two sub-sections: 'HDD運用モードを変更する' (Change HDD Operation Mode) and '現在と同じHDD運用モードで再設定する' (Reset to Current HDD Operation Mode). The first sub-section includes a dropdown menu for 'HDD運用モード' (HDD Operation Mode) set to 'シングルモード' (Single Mode) and a '開始' (Start) button. The second sub-section includes a '再設定' (Reset) button. Both sub-sections include explanatory text and asterisked notes. At the bottom right of the interface is a '戻る' (Back) button.

※これはNX410の画面です。

【HDD運用モードを変更する】

HDD運用モードで変更したい運用モードを選択し、[開始] ボタンをクリックします。



【重要】

- HDD運用モードを変更（ミラーリングモードからシングルモードへの変更を除く）すると、HDDのデータはすべて消去されます。
- HDD運用モードを変更すると、本機は自動的に再起動します。
- RAID5モードおよびRAID6モードで運用中は、HDD1個単位の組み込み、取り外しはできません。
- RAID5モードおよびRAID6モードで運用中は、シングルモードやミラーリングモードで映像記録されたHDDの組み込み、および再生専用HDDとしての再生ができません。
- ミラーリングモード中はシングルモードに比べて、HDD容量が半分になります。
- HDD運用モードをミラーリングモードからシングルモードに変更すると、HDDのステータスは「再生専用」になります。



【メモ】

- 【NX310】 ミラーリングモード時に一方のHDDを交換すると、HDD情報画面のステータス情報に「追加」と表示されます。交換したHDDは「HDDの組み込み」を実施するとミラーリングモードで運用を開始します。このとき、新しく組み込んだHDDのデータはすべて消去され、交換していないもう片方のHDDのデータがコピーされます。

【現在と同じHDD運用モードで再設定する】【NX410/NX510】

HDD運用モードを再設定するユニットやHDDを選択し、[再設定] ボタンをクリックします。



【重要】

- 選択したHDDやユニットは現在本機に設定されているHDD運用モードと同じモードで再設定された後、フォーマットされます。

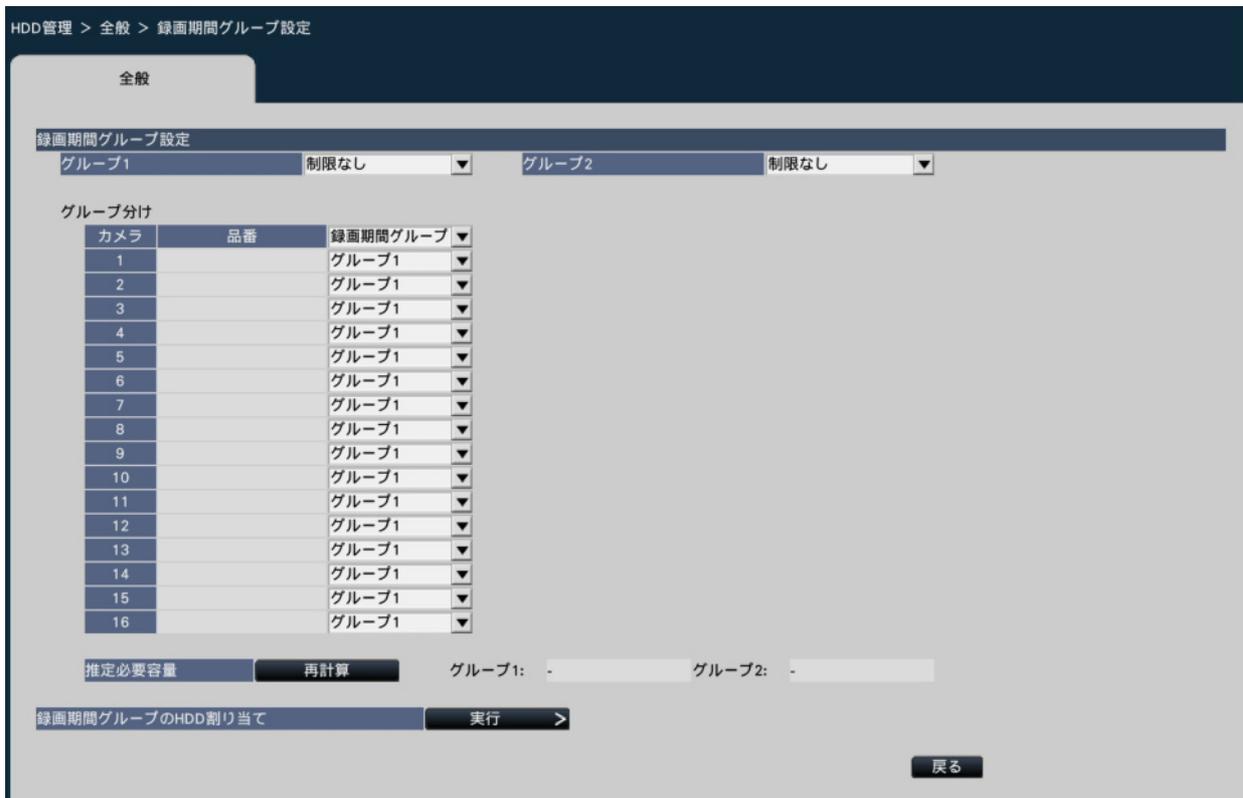
録画期間グループを設定する【録画期間グループ設定】

カメラごとに2グループに分けて録画する期間を設定できます。また、各グループで録画に使用するHDDを設定できます。

STEP1

「録画期間グループ設定」で [実行>] ボタンをクリックします。

→録画期間グループ設定画面が表示されます。



STEP2

グループごとの録画期間を設定します。

【グループ1】

グループ1の録画期間を設定します。

制限なし / 1日 / ... / 10日 / 14日 / 30日 / 31日 / 45日 / 60日 / 62日 / 90日 / 92日 / 120日 / 123日 / 150日 / 153日 / 180日 / 184日 / 365日 / 366日 / 730日 / 731日

初期設定：制限なし

【グループ2】

グループ2の録画期間を設定します。

制限なし / 1日 / ... / 10日 / 14日 / 30日 / 31日 / 45日 / 60日 / 62日 / 90日 / 92日 / 120日 / 123日 / 150日 / 153日 / 180日 / 184日 / 365日 / 366日 / 730日 / 731日

初期設定：制限なし



[メモ]

- 「制限なし」に設定した場合、設定したHDDに録画できるだけの期間を録画します。
- 日数を設定した場合、再生時に設定した日数の期間のみを再生します。

STEP3

カメラごとに録画期間グループを設定します。

[録画期間グループ]

グループ1、グループ2

初期設定：グループ1



[メモ]

- 録画期間グループで「グループ2」を設定している場合、HDD管理の各画面とメンテナンスのHDD情報の各画面には、録画期間グループを表示します。

STEP4

[再計算] ボタンをクリックして、グループごとに必要な推定容量を計算して表示します。



[メモ]

- 「制限なし」のときは、推定容量が「-」で表示されます。

STEP5

「録画期間グループのHDD割り当て」の [実行>] ボタンをクリックします。
→ 録画期間グループのHDD割り当て画面が表示されます。



STEP6

画面上部に表示されているHDD容量が必要容量を上回るように、HDDごとに録画期間グループを設定します。



[メモ]

- ミラーリングモードでは、HDD1とHDD2、HDD3とHDD4のように2台のHDD毎に、RAID5/RAID6モードではユニット毎に録画期間グループの設定が可能です。

STEP7

[OK] ボタンをクリックして画面を閉じ、録画期間グループ設定画面の [戻る] ボタンをクリックして設定を終了します。



[重要]

- 録画期間グループを変更すると、グループごとの録画期間の設定によっては、録画画像が再生できなくなる場合があります。
- HDD運用モードを変更すると、録画期間グループの設定は初期設定に戻ります。

録画順番を変更する [録画順番の変更]

録画するHDD (RAID5/RAID6モードではユニット) の順番を変更できます。

STEP1

[録画順番の変更] で [実行>] ボタンをクリックします。

→録画順番の変更画面が表示されます。



STEP2

録画順番を変更し、[開始] ボタンをクリックします。録画順番の変更が完了すると、変更中を示す画面が閉じられます。

STEP3

[戻る] ボタンをクリックして変更を終了します。



[メモ]

- リストタイトルの「録画順番」のプルダウンメニューで「自動ソート」を選択すると、リストの上から順に録画順番を割り振ります。
- HDDスタンバイ制御モードがOnの場合は、録画順番を変更することができません。
[システムに関する設定や操作を行う \[システム管理\]](#)
- ミラーリングモード時は、対になるHDDが両方とも正常な状態でないと、録画順番を変更することができません。

セキュリティの設定を行う [セキュリティ]

設定メニュー [詳細設定] のセキュリティページでは、セキュリティの設定を行います。

セキュリティページは [通信] タブ、[データ暗号] タブ、[高度な設定] タブで構成されています。



[重要]

- データ暗号機能を使用するためには、セキュア拡張キット（別売り）が必要です。セキュア拡張キットのライセンス登録については、弊社ウェブサイトに掲載している「セキュア拡張キット」の取扱説明書をお読みください。

通信経路のセキュリティの設定を行う [通信]

カメラ	品番	アドレス	接続方法	
			接続方法	障害情報
1			HTTP	
2			HTTP	
3			HTTP	
4			HTTP	
5			HTTP	
6			HTTP	
7			HTTP	
8			HTTP	
9			HTTP	
10			HTTP	
11			HTTP	
12			HTTP	
13			HTTP	
14			HTTP	
15			HTTP	
16			HTTP	



[重要]

- カメラとの接続方式が「インターネットモード」に設定されている場合は、カメラ台数が32台を超えると通信が不安定になることがあります。32台以内でご使用ください。

■本機とPC間のセキュリティ

本機とPC間をHTTPSで接続します。HTTPSを使用することで、本機へのアクセスを暗号化することができ、通信の安全性を高めることができます。

【接続方法】

本機への接続方法を設定します。

HTTP & HTTPS : HTTPとHTTPS接続が可能になります。

HTTPS : HTTPS接続のみ可能になります。

初期設定 : HTTPS

【TLS 1.2】

HTTPS接続時にTLS 1.2を使用するかどうかを選択します。

チェックあり : 使用します。

チェックなし : 使用しません。

初期設定 : チェックあり

【HTTPSポート番号】

HTTPSで使用するポート番号を設定します。

1 ~ 65535

初期設定 : 443



【メモ】

- 以下の番号とHTTPポート番号、サイトアラーム受信ポート番号、ポートフォワーディングのポート番号を設定することはできません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、79、80、105、110、123、161、162、546、547、995、10001、10002、10003、10004、10005、10006、10007、50000 ~ 50255

■本機とカメラ間のセキュリティ

本機とカメラ間をHTTPSで接続します。HTTPSを使用することで、カメラとの通信を暗号化することができ、安全性を高めることができます。

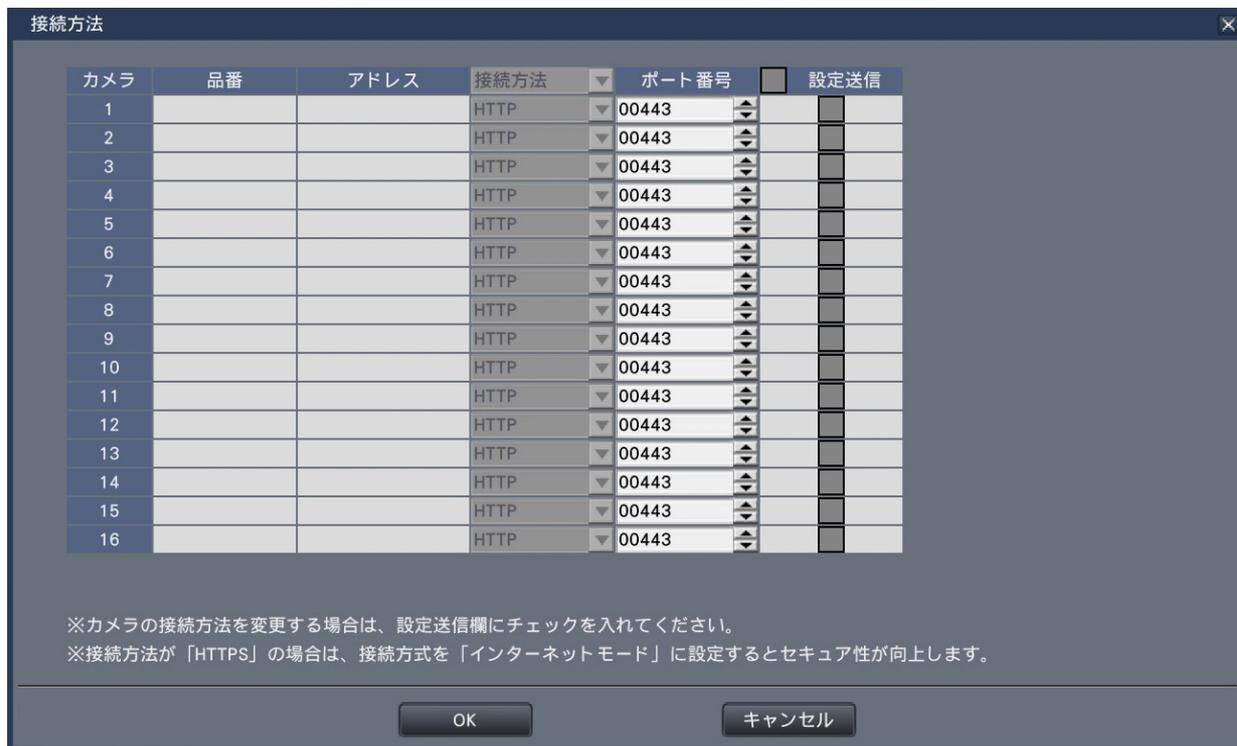


【メモ】

- サーバー証明書の有効期限が切れている場合は、障害情報欄に「-(有効期限切れ)」と表示されます。
- カメラとの接続方式を「インターネットモード」に設定すると、画像データの通信も暗号化されるため、さらに安全性を高めることができます。
- 品番が「RTSP」または「RTSP(FE)」のカメラは、使用するカメラによって、HTTPSで接続できない場合があります。

【接続方法】

本機とカメラ間の接続方法を設定します。[設定>] ボタンをクリックすると、接続方法の変更画面が表示され、設定を変更できます。設定変更後、[OK] ボタンをクリックすると、設定が保存され [通信] タブに戻ります。



カメラ	品番	アドレス	接続方法	ポート番号	設定送信
1			HTTP	00443	<input type="checkbox"/>
2			HTTP	00443	<input type="checkbox"/>
3			HTTP	00443	<input type="checkbox"/>
4			HTTP	00443	<input type="checkbox"/>
5			HTTP	00443	<input type="checkbox"/>
6			HTTP	00443	<input type="checkbox"/>
7			HTTP	00443	<input type="checkbox"/>
8			HTTP	00443	<input type="checkbox"/>
9			HTTP	00443	<input type="checkbox"/>
10			HTTP	00443	<input type="checkbox"/>
11			HTTP	00443	<input type="checkbox"/>
12			HTTP	00443	<input type="checkbox"/>
13			HTTP	00443	<input type="checkbox"/>
14			HTTP	00443	<input type="checkbox"/>
15			HTTP	00443	<input type="checkbox"/>
16			HTTP	00443	<input type="checkbox"/>

※カメラの接続方法を変更する場合は、設定送信欄にチェックを入れてください。
 ※接続方法が「HTTPS」の場合は、接続方式を「インターネットモード」に設定するとセキュリティが向上します。

OK キャンセル

【接続方法】

本機とカメラの接続方法を設定します。

HTTP : HTTPで接続します。

HTTPS : HTTPSで接続します。

初期設定 : HTTP

【ポート番号】

本機がカメラとSSL通信で使用するHTTPSポート番号を設定します。

1 ~ 65535

初期設定 : 443

【設定送信】

設定を送信するカメラを選択します。設定した接続方法を送信したいカメラにチェックを入れます。

データ暗号の設定を行う [データ暗号]

カメラで画像を暗号化するかどうかを設定します。

カメラ	品番	アドレス	データ暗号	
			データ暗号	障害情報
1			Off	
2			Off	
3			Off	
4			Off	
5			Off	
6			Off	
7			Off	
8			Off	
9			Off	
10			Off	
11			Off	
12			Off	
13			Off	
14			Off	
15			Off	
16			Off	

設定済みライセンス数 0/32



[重要]

- データ暗号設定しているカメラをメインモニターやサブモニターに4画面以上で表示すると、そのカメラのライブ画像は間引かれて表示されます。H.264/H.265の場合は1フレームのみ表示、JPEGの場合は1 ipsに間引かれて表示されます。
- 再生の速度が遅くなることがあります。音声付再生の場合は、音声途切れることがあります。
- セキュア拡張のライセンスが登録されていると、ウェブブラウザで再生することができません。
- データ暗号を設定しているカメラのライブ画像は、ウェブブラウザで表示することができません。

[データ暗号設定]

データ暗号を設定します。[設定>] ボタンをクリックすると、データ暗号の変更画面が表示され、設定を変更できます。設定変更後、[OK] ボタンをクリックすると、設定が保存され変更画面が閉じられます。

データ暗号設定

データ暗号用パスワード

パスワード(4~16文字)

パスワード確認

※パスワードを忘れると録画データを再生できなくなりますので、大切に管理してください。

カメラ	品番	アドレス	圧縮方式	データ暗号	設定送信
1				Off	<input type="checkbox"/>
2				Off	<input type="checkbox"/>
3				Off	<input type="checkbox"/>
4				Off	<input type="checkbox"/>
5				Off	<input type="checkbox"/>
6				Off	<input type="checkbox"/>
7				Off	<input type="checkbox"/>
8				Off	<input type="checkbox"/>
9				Off	<input type="checkbox"/>
10				Off	<input type="checkbox"/>
11				Off	<input type="checkbox"/>
12				Off	<input type="checkbox"/>
13				Off	<input type="checkbox"/>
14				Off	<input type="checkbox"/>
15				Off	<input type="checkbox"/>
16				Off	<input type="checkbox"/>

設定済みライセンス数 0/32

※カメラのデータ暗号設定を変更する場合は、設定送信欄にチェックを入れてください。

OK キャンセル

■データ暗号用パスワード

[パスワード (4 ~ 16文字)]

カメラへ設定するデータ暗号用のパスワードをソフトキーボードから入力します。
パスワードは半角英数字と記号で4文字以上16文字以内で設定してください。



[メモ]

- データ暗号を全く使用しない場合、パスワードを設定する必要はありません。

[パスワード確認]

確認のため、「パスワード (4 ~ 16文字)」で入力したパスワードを再度入力します。

[圧縮方式]

データ暗号される画像の圧縮方式が表示されます。



[メモ]

- データ暗号を使用する場合は、画像の圧縮方式をH.265(1)またはH.264(1)、MJPEGを設定してください。H.265(3)、H.265(4)、H.264(3)、H.264(4)を設定した場合、カメラと通信できません。また、カメラによっては、MJPEGのデータ暗号に対応していません。

[データ暗号]

カメラ画像のデータ暗号を行います。

On : データ暗号します。

Off : データ暗号しません。

初期設定 : Off

[設定送信]

設定を送信するカメラを選択します。設定したデータ暗号を送信したいカメラにチェックを入れます。

[設定済みライセンス数]

下記のように設定可能な総ライセンス数と設定済みのライセンス数を表示します。

aaa / bbb

aaa : 設定済みのライセンス数

bbb : ライセンス登録 (セキュリティ) 画面にて登録済みの総ライセンス数



[重要]

- データ暗号をOnに設定したカメラからのデータは暗号化されます。
- ライブ映像表示および再生時は、現在本機に設定されているデータ暗号用パスワードを用いて自動的にデータ復号を行います。
- 運用途中にデータ暗号用パスワードを変更した場合、変更前に録画された画像は再生されません (復号エラー)。メインモニターでは、画像の代わりに黒画 (鍵マーク付)*が表示されます。ビューワーソフトでは、画像の代わりに黒画が表示されます。

*鍵マークのない黒画の場合もあります。

再生を継続するには以下の操作を行ってください。

メインモニターでの再生

- ①黒画 (鍵マーク付) にてマウスの左ボタンを長押しして、画像を復号するためのパスワードを入力する画面を表示します。

②表示したい画像を録画したときに設定していたデータ暗号用パスワードを入力します。

- ・パスワードは、ライブ画像・再生画像にて入力することができます。
- ・以前に複数回データ暗号用パスワードを変更されている場合は、都度、上記操作でパスワードを入力してください。

ビューワーソフトでの再生

- ①復号エラーが発生すると、パスワードを入力する画面が表示されます。
- ②表示したい画像を録画したときに設定していたデータ暗号用パスワードを入力します。
誤ったパスワードを入力した場合は、最初から再生をやり直してください。

- 再生を継続するために入力するデータ暗号用パスワードは、現在の録画のために設定しているデータ暗号用パスワードを上書きしません。
- サムネイル画面やタイムライン、カメラ入れ換えの設定画面、動作検知サーチ画面、カメラ登録画面で表示される画像ではパスワードを入力できません。
- データ暗号をOnに設定したカメラは、メインモニターのカメラ入れ換え画面では、カメラ画像が表示されず、状態欄に「デコードエラー」と表示されます。また、ウェブブラウザの設定メニューでカメラのサムネイル画像はDecode errorと表示されます。
- 本機のデータ暗号設定とカメラのJPEGのデータ暗号設定が一致していないと、設定画面のサムネイル画像が壊れて表示される場合があります。

高度な設定を行う [高度な設定]

本機に搭載されているサーバーを稼働するかどうかを設定します。



[NTPサーバー]

NTPサーバーを稼働するかを設定します。

On : NTPサーバーを稼働します。

Off : NTPサーバーを停止します。

初期設定 : On

[HTTP/HTTPSサーバー]

HTTP/HTTPSサーバーを稼働するかを設定します。

On : HTTP/HTTPSサーバーを稼働します。

Off : HTTP/HTTPSサーバーを停止します。

初期設定 : On



[重要]

- 設定をOffにすると、ウェブブラウザやその他の周辺ソフトウェアから接続できなくなります。

拡張機能の設定を行う [拡張機能]

設定メニュー [詳細設定] の拡張機能ページでは、NASバックアップやフェイルオーバー

の設定を行います。

それぞれの機能については、以下のページをお読みください。

[👉 追補](#)

その他

設定項目一覧（設定メニュー）

簡単設定（らくらくスタート）

設定項目(詳細設定画面も含む)		設定範囲	初期設定
日時・時刻合わせ		2022/1/1 0:00 ~ 2046/12/31 23:59	20nn/mm/1 0:00 (nn, mm : 本体シリアル番号から算出する)
カメラ登録	ユーザー名	(テキスト入力)	(空欄)
	パスワード	(テキスト入力)	(空欄)
	パスワード確認	(テキスト入力)	(空欄)
録画設定（全カメラ同一設定）	フレームレート	1 ips、3 ips、5 ips、10 ips、 15 ips、30 ips	10 ips
	画質	NQ、FQ、SF、XF	FQ
	スマートコーディング (GOP制御)	Off、On (Advanced)	Off
	録音	Off、On(AAC-LC)	Off
	推定録画日数（参考値）	(計算結果を表示)	(計算結果を表示)

基本設定

(備考：●はらくらくスタートで設定できる項目、◎はウェブブラウザから設定できる項目、★はウェブブラウザのみで設定できる項目)

日時・Language > 日付・時刻合わせ

設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考
日付・時刻	2022/1/1 0:00 ~ 2046/12/31 23:59	20nn/mm/1 0:00 (nn、mmは本体シリアル番号から算出する)	●◎

日時・Language > 日時表示設定

設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
表示形式	日付	yyyy/mm/dd、Mmm/dd/yyyy、dd/Mmm/yyyy、mm/dd/yyyy、dd/mm/yyyy	yyyy/mm/dd	◎
	時刻	24時間、12時間	24時間	◎
タイムゾーン	タイムゾーン選択	GMT-12:00、GMT-11:00、GMT-10:00、GMT-9:00、GMT-8:00、GMT-7:00、GMT-6:00、GMT-5:00、GMT-4:30、GMT-4:00、GMT-3:30、GMT-3:00、GMT-2:00、GMT-1:00、GMT、GMT+1:00、GMT+2:00、GMT+3:00、GMT+3:30、GMT+4:00、GMT+4:30、GMT+5:00、GMT+5:30、GMT+5:45、GMT+6:00、GMT+6:30、GMT+7:00、GMT+8:00、GMT+9:00、GMT+9:30、GMT+10:00、GMT+11:00、GMT+12:00、GMT+13:00	GMT+9:00	◎
	サマータイム	Out、Auto	Out	◎
	開始・終了日時	曜日で指定、日付で指定	曜日で指定	◎
	開始/終了日時（曜日で指定） In/Out	1月第1週月曜日00:00～12月最終日曜日23:59	--	◎
	開始/終了日時（日付で指定） In/Out	1/1 00:00～12/31 23:59	--	◎

日時・Language > Language

設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考
Language	日本語、English、Français、Español、Deutsch、Italiano、Português、ไทย、Tiếng Việt、簡体中文、繁體中文 (ウェブブラウザユーザー：Japanese、English、Français、Español、Deutsch、Italiano、Português、Thai、Vietnamese、Simplified Chinese、Traditional Chinese)	日本語 (ウェブブラウザユーザー：Japanese)	◎

カメラ > カメラ登録

設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
品番		（表示のみ）	（表示のみ）	◎
アドレス		（表示のみ）	（表示のみ）	◎
圧縮方式		（表示のみ）	（表示のみ）	◎
障害情報		（表示のみ）	（表示のみ）	◎
登録情報の変更	品番／オプション	対応するカメラの品番／オプション	（空欄）	◎
	アドレス	（アドレス）	（空欄）	◎
	圧縮方式	H.265(1)、H.265(3)、H.265(4)、H.264(1)、H.264(3)、H.264(4)、MJPEG	（空欄）	◎
	認証方式	Digest、Digest or Basic	Digest	◎
	ユーザー名	（テキスト入力）	（空欄）	◎
	パスワード	（テキスト入力）	（空欄）	◎
	ポート番号	（ポート番号）	80	◎
AIプライバシーガード録画用カメラ	録画カメラ	空欄、カメラ1、…、カメラn	（空欄）	◎

カメラ > カメラ設定

設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
日時表示	設定項目（表示）	チェック 有／無		
	表示	Off、On		
	設定項目（位置）	チェック 有／無		
	位置	左上、左下、右上、右下		
	送信するカメラの選択	チェック 有／無		
画像内文字表示	設定項目（表示）	チェック 有／無		
	表示	Off、On		
	設定項目（画像内文字）	チェック 有／無		
	画像内文字	（テキスト入力）		
	送信するカメラの選択	チェック 有／無		
ランプ表示	ランプ表示	点灯、点灯（アクセス時）、消灯		
	送信するカメラの選択	チェック 有／無		
配信モード	設定項目（配信モード）	フレームレート指定、アドバンスド可変ビットレート、可変ビットレート		
	ストリーム1	チェック 有／無		
	ストリーム2	チェック 有／無		
	設定項目（優先設定）	チェック 有／無		
	優先設定	画質優先、フレームレート優先		

カメラ > カメラ設定 (続き)

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考
設定項目 (最大ビットレート (バースト時))	チェック 有/無		
最大ビットレート (バースト時)	高、中、低		
設定項目 (制御期間 (可変ビットレート時))	チェック 有/無		
制御期間 (可変ビットレート時)	1時間、6時間、24時間、1週間		
設定項目 (スマートコーディング (GOP制御))	チェック 有/無		
スマートコーディング (GOP制御)	Off、On (Advanced)		
送信するカメラの選択	チェック 有/無		
リフレッシュ間隔	リフレッシュ間隔	0.2秒、0.5秒、1秒、2秒、3秒	
	送信するカメラの選択	チェック 有/無	
設置方法 (上下反転)	設置方法 (上下反転)	卓上設置 (On)、天井設置 (Off)、壁設置	
	送信するカメラの選択	チェック 有/無	
画像回転	画像回転	0° (Off)、90°、180° (上下反転)、270°	
	送信するカメラの選択	チェック 有/無	
パン・チルトフリップ	パン・チルトフリップ	Off、On	
	送信するカメラの選択	チェック 有/無	
セルフリターン	セルフリターン	Off、ホームポジション、自動追従/追尾、オートパン、プリセットシーケンス、パトロール	
	セルフリターン時間	10秒、20秒、30秒、1分、2分、3分、5分、10分、20分、30分、60分	
	送信するカメラの選択	チェック 有/無	
スーパーダイナミック (ワイドダイナミックレンジ)	スーパーダイナミック (ワイドダイナミックレンジ)	Off、On、On (High)	
	送信するカメラの選択	チェック 有/無	
暗部補正	暗部補正	Off、On、リセット、0、16、32、48、64、80、96、128、144、160、176、192、208、224、240、255	

カメラ > カメラ設定 (続き)

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考
	送信するカメラの選択	チェック 有/無	
逆光補正 (BLC)	逆光補正 (BLC)	Off、On	
	送信するカメラの選択	チェック 有/無	
光量制御モード	光量制御モード	屋外撮影、フリッカレス (50 Hz)、フリッカレス (60 Hz)、ELC	
	送信するカメラの選択	チェック 有/無	
オートスローシャッター (最長露光時間)	オートスローシャッター (最長露光時間)	Off (1/30 s)、最大 2/30 s、最大 4/30 s、最大 6/30 s、最大 10/30 s、最大 16/30 s	
	送信するカメラの選択	チェック 有/無	
白黒切換/簡易白黒切換	白黒切換/簡易白黒切換	Off、On、On (IR Light On)、Auto1 (Normal) / Auto、Auto2 (IR Light)、Auto3 (SCC)	
	送信するカメラの選択	チェック 有/無	
インテリジェントオート	インテリジェントオート	Off、On	
	送信するカメラの選択	チェック 有/無	
動作検知アラーム	動作検知アラーム	Off、On	
	検出感度	1 (低い)、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15 (高い)	
	送信するカメラの選択	チェック 有/無	
動作検知アラーム (カメラ別詳細設定)	エリア	(エリア1 ~ エリア4の矩形)	
	状態	有効、無効	
	検出感度	1 (低い)、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15 (高い)	
スケジュール 1~4	動作モード	Off、アラーム入力許可 (端子1, 2, 3)、アラーム入力許可 (端子1)、アラーム入力許可 (端子2)、アラーム入力許可 (端子3)、動作検知許可、プリセットポジション : 1、...、プリセットポジション : 8	
	曜日(月~日)	チェック 有/無	
	時間	00:00 ~ 23:59	
	24h	チェック 有/無	
	送信するカメラの選択	チェック 有/無	

カメラ > 高度な設定

設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
接続方式		RTP、RTSP、インターネットモード	RTSP	◎
本機の各機能でカメラのストリーム2を使用しない		チェック 有/無	無	◎
本機の各機能でカメラの設定を自動的に変更しない		チェック 有/無	無	◎
ONVIF設定	H.264 Video Streaming	Media、Media2	Media	★
	Event Handling	Basic Notification、Pull Point Subscription	(Basic Notification)	★
	Network Information	(表示のみ)	(表示のみ)	★
	Move to the origin	(なし)	(なし)	★

録画・イベント > 録画設定

設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
スケジュール 1 録画する曜日	月、火、...、日	チェック 有/無	有	
スケジュール 1 録画する時間帯	タイムテーブル1 時間帯	--:--、00:00 ~ 24:00	時間帯1 : 00:00 ~ 24:00 時間帯2 ~ 時間帯6 : --:-- ~ --:--	
	スケジュール録画	チェック 有/無	有	
	イベント録画	チェック 有/無	有	
	メール	チェック 有/無	無	
	アラーム通知	チェック 有/無	無	
録画設定（全カメラ同一設定）	フレームレート	1 ips、3 ips、5 ips、10 ips、15 ips、30 ips	10 ips	●
	画質	NQ、FQ、SF、XF	FQ	●
	推定録画日数（参考値）	(計算結果を表示)	(計算結果を表示)	
スケジュール 1 詳細設定	録画する曜日（月、火、...、日）	タイムテーブル1、タイムテーブル2、Off	タイムテーブル1	◎
	イベント録画 時間	イベント録画 時間 2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、2分、3分、5分、10分、15分、Manual、Ext.	30秒	◎

録画・イベント > 録画設定 (続き)

設定項目 (詳細設定画面も含む)		設定範囲	初期設定	備考
録画する時間帯	プレ録画時間	0秒、5秒、10秒、15秒	0秒	◎
	タイムテーブル1-時間帯	--:--、00:00 ~ 24:00	時間帯1 : 00:00 ~ 24:00 時間帯2 ~ 時 間帯6 : --:-- ~ --:--	◎
	タイムテーブル1-スケジュール録画	チェック 有/無	有	◎
	タイムテーブル1-イベント録画	チェック 有/無	有	◎
	タイムテーブル1-メール	チェック 有/無	無	◎
	タイムテーブル1-アラーム通知	チェック 有/無	無	◎
	タイムテーブル2-時間帯	--:--、00:00 ~ 24:00	時間帯1 ~ 時 間帯6 : --:-- ~ --:--	◎
	タイムテーブル2-スケジュール録画	チェック 有/無	有	◎
	タイムテーブル2-イベント録画	チェック 有/無	有	◎
	タイムテーブル2-メール	チェック 有/無	無	◎
	タイムテーブル2-アラーム通知	チェック 有/無	無	◎
	スケジュール一覧を表示する	(表示のみ)	(表示のみ)	
	スケジュール	録画する曜日 (月、火、...、日)	タイムテーブル1、タイムテーブル2、	タイムテーブ

録画・イベント > 録画設定 (続き)

設定項目 (詳細設定画面も含む)		設定範囲	初期設定	備考	
2～スケジュール ル16 詳細設定		Off	ル1		
	イベント録画	イベント録画 時間	2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1 分、2分、3分、5分、10分、15分、 Manual、Ext	30秒	◎
		プレ録画時間	0秒、5秒、10秒、15秒	0秒	◎
	録画する時間帯	タイムテーブ ル1-時間帯	--:--、00:00～24:00	時間帯1～時 間帯6：--:--～ --:--	◎
		タイムテーブ ル1-スケジュー ル録画	チェック 有/無	有	◎
		タイムテーブ ル1-イベント 録画	チェック 有/無	有	◎
		タイムテーブ ル1-メール	チェック 有/無	無	◎
		タイムテーブ ル1-アラーム 通知	チェック 有/無	無	◎
		タイムテーブ ル2-時間帯	--:--、00:00～24:00	時間帯1～時 間帯6：--:--～ --:--	◎
		タイムテーブ ル2-スケジュー ル録画	チェック 有/無	有	◎
		タイムテーブ ル2-イベント 録画	チェック 有/無	有	◎
		タイムテーブ ル2-メール	チェック 有/無	無	◎
		タイムテーブ ル2-アラーム 通知	チェック 有/無	無	◎

録画・イベント > 録画設定 (続き)

設定項目 (詳細設定画面も含む)		設定範囲	初期設定	備考
	スケジュール 一覧を表示する	(表示のみ)	(表示のみ)	
録画詳細設定 (カメラ別)	品番	(登録情報を表示)	(登録情報を表示)	◎
	圧縮方式	(登録情報を表示)	(登録情報を表示)	◎
	解像度	[アスペクト比 4:3] VGA (640×480) / SVGA (800×600) / SXVGA (1280×960) / UXGA (1600×1200) / QXGA (2048× 1536) / 5M (2560×1920) / 7M (3072×2304) [アスペクト比 16:9] HVGAW (640×360) / HD (1280 ×720) / FHD (1920×1080) / WQHD (2560×1440) / 4M (2688×1520) / 5M (3072×1728) / 6M (3328×1872) / 4KUHD (3840×2160) [アスペクト比 1:1] 1.4M (1200×1200) *1 / 1.6M (1280×1280) / 2M (1440×1440) *1 / 4M (2048×2048) *1 / 5M (2192×2192) / 8M (2816×2816) *1 / 9M (2992×2992) [アスペクト比 9:16 (縦長)] 0.2M (360×640) / 1M (720×1280) / 2M (1080×1920) / 4M (1440× 2560) / 4M (1520×2688) / 5M (1728×3072) / 6M (1872×3328) / 8M (2160×3840)	HVGAW (640 ×360)	◎
レート	1 ips、3 ips、5 ips、10 ips、12.5 ips、 15 ips、25 ips、30 ips、50 ips、60 ips	10 ips	◎	

録画・イベント > 録画設定 (続き)

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考
画質	NQ、FQ、SF、XF	FQ	◎
録音	Off、On(G.711)*2、On(AAC-LC)	Off	◎●
スケジュール	スケジュール1、スケジュール2、...、スケジュール16	スケジュール1	◎
イベント録画	1 ips、3 ips、5 ips、10 ips、12.5 ips、15 ips、25 ips、30 ips、基本と同じ	基本と同じ	◎
緊急録画	1 ips、3 ips、5 ips、10 ips、12.5 ips、15 ips、25 ips、30 ips、基本と同じ	基本と同じ	◎
推定記録日数 (参考値)	(計算結果を表示)	(計算結果を表示)	◎

*1 他社カメラを選択時のみ選択可能。

*2 他社 ONVIF カメラ選択時のみ選択可能。

録画・イベント > イベント設定

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考	
アラーム動作	出力時間	0秒、2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、Ext.、Rec.	2秒	◎
	ブザー鳴動時間	0秒、2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、Ext.、Rec.	2秒	◎
	自動復帰時間	2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、3分、5分、Ext.	Ext.	◎
	メッセージ表示	Off、On	On	◎
	メインモニター連動動作	Off、On、On (アラーム確認/復帰)	Off	◎
	イベント種別選択	チェック 有/無	端子アラーム：有、カメラサイトアラーム：有、コマンドアラーム：有	◎
	画面表示	操作画面表示、全画面表示	操作画面表示	◎
表示カメラ	録画カメラ、AIプライバシーガード録画カメラ	録画カメラ	◎	
端子アラーム 詳細設定	動作モード	Off、録画のみ、録画+アラーム動作	録画+アラーム動作	◎
	アラーム履歴	保存する、保存しない	保存する	◎

録画・イベント > イベント設定 (続き)

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考
端子別設定 (録画カメラ)	Off、カメラ1、...、カメラn、全カメラ	【NX310】 端子1～端子9 : 端子番号と同じカメラ番号、端子10～端子13 : Off 【NX410/NX510】 端子1～端子32 : 端子番号と同じカメラ番号	◎
端子別設定 (プリセット)	001～256、---	---	◎
端子別設定 (端子出力)	【NX310】 Off、On 【NX410/NX510】 Off、出力1、出力2、出力3、出力4	【NX310】 On 【NX410/NX510】 出力1	◎
端子別設定 (端子入力)	N.O.、N.C.	N.O.	◎
端子別設定 (名称)	(テキスト入力)	【NX310】 端子1 : TRM1、...、端子13 : TRM13 【NX410/NX510】 端子1 : TRM1、...、端子32 : TRM32	◎
カメラサイト アラーム詳細 設定	動作モード	Off、録画のみ、録画+アラーム動作	録画+アラーム動作 ◎
	アラーム履歴	保存する、保存しない	保存する ◎
	カメラ別設定 (録画カメラ)	Off、カメラ1、...、カメラn	カメラ番号 ◎
	カメラ別設定 (プリセット)	001～256、---	--- ◎
	カメラ別設定 (端子出力)	【NX310】 Off、On 【NX410/NX510】 Off、出力1、出力2、出力3、出力4	【NX310】 On 【NX410/NX510】 出力1 ◎
コマンドアラーム詳細設定	動作モード	Off、録画のみ、録画+アラーム動作	録画+アラーム動作 ◎

録画・イベント > イベント設定 (続き)

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考
アラーム履歴	保存する、保存しない	保存する	◎
コマンド番号別設定 (録画カメラ)	Off、カメラ1、...、カメラn	コマンド番号と同じカメラ番号 (カメラのライセンス数より大きいコマンド番号はOff)	◎
コマンド番号別設定 (プリセット)	001 ~ 256、---	---	◎
コマンド番号別設定 (端子出力)	【NX310】 Off、On 【NX410/NX510】 Off、出力1、出力2、出力3、出力4	【NX310】 On 【NX410/NX510】 出力1	◎
コマンド別設定 (名称)	(テキスト入力)	CMD No.1 : CMD1、...、CMD No.128 : CMD128	◎

録画・イベント > 高度な設定

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考
録画動作	Off、On	On	◎
アラームマスク期間	2秒、3秒、5秒、10秒	2秒	◎
サイトアラーム受信ポート番号	(ポート番号)	1818	◎
機能拡張ソフトウェアアラーム 名称	(テキスト入力)	No.1 : 侵入検知、 No.2 : 滞留検知、 No.3 : 方向検知、 No.4 : ラインクロス、 No.5 : 混雑検知 エリア1、 No.6 : 混雑検知 エリア2、 No.7 : 混雑検知 エリア3、 No.8 : 混雑検知 エリア4、	◎

録画・イベント > 高度な設定 (続き)

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考	
		No.9 : ユーザー定義1、...、 No.16 : ユーザー定義8		
	メッセージID	000 ~ 255、 ---	No.1 : 50、 No.2 : 51、 No.3 : 52、 No.4 : 56、 No.5 : 98、 No.6 : 99、 No.7 : 100、 No.8 : 101、 No.9-16 : ---	◎
緊急録画設定	録画時間	30秒、1分、3分、5分、10分、 15分、30分、Manual、Ext.	30秒	◎
	緊急録音	Off、On (AAC-LC)	Off	◎
外部録画設定		Off、スケジュール1、...、スケジュール16	Off	◎
SDメモリーバックアップ		Off、On	Off	◎
スマートコーディング (GOP制御)		Off、On (Advanced)	Off	◎●
スペシャルデー		日付 : 1/1 ~ 12/31、 -- 曜日 : 月、火、水、木、金、 土、日	--	◎
その他の設定	プレ録画のフレームレートを イベント録画のフレームレートにする	チェック 有/無	無	◎
	基本設定、イベント録画、緊急録画のフレームレートが同じ設定のカメラに対してビットレート設定を送信しない	チェック 有/無	無	◎
	ONVIF eventの "MotionAlarm" 中はイベント録画を延長する	チェック 有/無	無	◎

詳細設定

モニター > メインモニター

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考	
カメラタイトル	表示	Off、On	On ◎	
	位置	左上、左下、右上、右下	右上 ◎	
	カメラタイトル	(テキスト入力)	CAM1、...、CAM128 ◎	
ライブシーケンス (全画面)	動作モード	1画ライブシーケンス、4画ライブシーケンス、9画ライブシーケンス、16画ライブシーケンス	1面ライブシーケンス ◎	
	アスペクト比を維持する	チェック 有/無	無 ◎	
	切換間隔	3秒、5秒、10秒	5秒 ◎	
	カメラ選択	チェック 有/無	有 ◎	
検知枠情報表示	枠表示	Off、On	Off ◎	
		確定前後、確定後のみ	確定前後 ◎	
	軌跡表示	Off、On	Off ◎	
その他の設定	全画面表示の操作 パネル表示する画面 分割ボタンの選択	1画	チェック 有/無 ◎	
		4画	チェック 有/無 ◎	
		6画	チェック 有/無 ◎	
		9画	チェック 有/無 ◎	
		12画	チェック 有/無 ◎	
		16画	チェック 有/無 ◎	
		24画	チェック 有/無 ◎	
		32画	チェック 有/無 ◎	
		64画	チェック 有/無 ◎	
		【NX410/ NX510】		
		3画 (非等分割)	チェック 有/無 ◎	
		9画 (非等分割)	チェック 有/無 ◎	
		16画 (非等分割)	チェック 有/無 ◎	
		3画 (比率混在)	チェック 有/無 ◎	
		4画 (比率混在)	チェック 有/無 ◎	

モニター > メインモニター (続き)

	2画 (縦長)	チェック 有/無	無	◎
	3画 (縦長)	チェック 有/無	無	◎
	4画 (縦長)	チェック 有/無	無	◎
	5画 (縦長)	チェック 有/無	無	◎
	6画 (縦長)	チェック 有/無	無	◎
	7画 (縦長)	チェック 有/無	無	◎
	全画面表示時の状態表示パネルと操作パネルを自動的に隠す	チェック 有/無	無	◎
	操作画面表示でアスペクト比が16:9の画像を拡大して表示する	チェック 有/無	無	◎
	HDMI出力を以下の信号形式に固定する	チェック 有/無	無	◎
		4K、1080p	1080p	◎
	時短再生を有効にする	チェック 有/無	無	◎
	全画面表示でアスペクト比を維持する (ライブシーケンス時除く)	チェック 有/無	無	◎
	アラーム履歴から再生する場合は、1画面表示に切り換える	チェック 有/無	有	◎

モニター > サブモニター

設定項目 (詳細設定画面も含む)		設定範囲	初期設定	備考
カメラタイトル	表示	Off、On	On	◎
表示設定	動作モード	1画ライブシーケンス、4画ライブシーケンス、9画ライブシーケンス、16画ライブシーケンス、アラーム端子連動、24分割画面、32分割画面	1画ライブシーケンス	◎
	アスペクト比を維持する	チェック 有/無	無	◎
	切換間隔	3秒、5秒、10秒	5秒	◎
	表示するカメラの選択	チェック 有/無	無	◎
	その他の設定	シークレットビュー	Off、On	Off
HDMI出力を以下の信号形式に固定する		チェック 有/無 4K、1080p	無 1080p	◎ ◎

モニター > ウェブブラウザ

設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
カメラツリーのグループ表示	グループ表示	Off、On	Off	★
	グループタイトル	（テキスト入力）	G1 : Group1、...、 G8 : Group8	★
	グループ分け	G1、 G2、 G3、 G4、 G5、 G6、 G7、 G8	カメラ1 ~カメラ16 : G1 カメラ17 ~カメラ32 : G2 カメラ33 ~カメラ48 : G3 カメラ49 ~カメラ64 : G4 カメラ65 ~カメラ80 : G5 カメラ81 ~カメラ96 : G6 カメラ97 ~カメラ112 : G7 カメラ113 ~カメラ128 : G8	★

モニター > 高度な設定

設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
音声出力カメラ選択		表示カメラ、カメラ1、...、カメラn	表示カメラ	◎
その他の設定	サブモニター（HDMI）の電源オフを検出する	チェック 有/無	有	◎
	モニターに1画面表示する時のライブ画像をストリーム2で表示する	チェック 有/無	無	◎
	全画面表示で画面下部に黒帯が表示される分割画面の画像表示部を縦方向に拡大する	チェック 有/無	無	◎

ネットワーク > 基本

設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
ネットワーク設定 [カメラ	接続モード	固定IP、自動設定（DHCP）	固定IP	◎
	IPアドレス	（IPアドレス）	192.168.0.250	◎

ネットワーク > 基本 (続き)

設定項目 (詳細設定画面も含む)		設定範囲	初期設定	備考	
/PCポート]	サブネットマスク	(IPアドレス)	255.255.255.0	◎	
ネットワーク	接続モード	固定IP、自動設定 (DHCP)	固定IP	◎	
設定 [PCポート]	IPアドレス	(IPアドレス)	0.0.0.0	◎	
	サブネットマスク	(IPアドレス)	0.0.0.0	◎	
ネットワーク	デフォルトゲートウェイ	(IPアドレス)	192.168.0.1	◎	
DNS設定	DNS	Off、Manual、Auto	Off	◎	
	プライマリサーバーアドレス	(IPアドレス)	0.0.0.0	◎	
	セカンダリサーバーアドレス	(IPアドレス)	0.0.0.0	◎	
	ドメイン名	(テキスト入力)	localdomain	◎	
DDNS設定	DDNS	Off、ダイナミックDNS Update	Off	◎	
	ホスト名	(テキスト入力)	NWDR	◎	
	アクセス間隔	10分、20分、30分、40分、50分、1時間、6時間、24時間	1時間	◎	
その他の設定	ネットワーク	IPアドレス	(IPアドレス)	192.168.2.250	◎
	設定 [メンテナンスポート]	サブネットマスク	(IPアドレス)	255.255.255.0	◎
		【NX410/ NX510】			
		HTTPポート番号	(ポート番号)	80	◎
		IP簡単設定有効期間	20分間、無制限	20分間	◎
	ポートフォワード	ポートフォワード	Off、On	On	◎
		ポート設定	(ポート番号)	60001 (カメラ1) ~ 60128 (カメラ128)	◎
	スタティック	スタティック	Off、On	Off	◎
		ルート	ルート		
			アドレス	(IPアドレス)	0.0.0.0
		サブネットマスク	(IPアドレス)	0.0.0.0	◎
	ゲートウェイ	(IPアドレス)	0.0.0.0	◎	

ネットワーク > メール

設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考	
メール設定	SMTPサーバーアドレス	（テキスト入力）	（空欄）	◎
	SMTPポート番号	（ポート番号）	25	◎
	POPサーバーアドレス	（テキスト入力）	（空欄）	◎
	認証方法	なし、POP before SMTP、SMTP	なし	◎
	ユーザー名	（テキスト入力）	（空欄）	◎
	パスワード	（テキスト入力）	（空欄）	◎
	送信元メールアドレス	（テキスト入力）	NWDR	◎
	セキュリティ	Off、SMTP over SSL、STARTTLS	Off	◎
	送信先メールアドレス （通知先）	（テキスト入力）	（空欄）	◎
	送信先メールアドレス （障害）	チェック 有/無	有	◎
	送信先メールアドレス （アラーム）	チェック 有/無	有	◎

ネットワーク > 独自アラーム

設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考	
独自アラーム設定	ポート番号（本機→PC）	（ポート番号）	1818	◎
	リトライ回数	0、...、8	2	◎
	送信先アドレス（通知先）	（テキスト入力）	（空欄）	◎

ネットワーク > HTTPアラーム

設定項目（詳細設定画面も含む）	設定範囲	初期設定	備考	
HTTPアラーム設定	通知先	（テキスト入力）	http://	◎
	ユーザー名	（テキスト入力）	（空欄）	◎
	パスワード	（テキスト入力）	（空欄）	◎
	通知データ	（テキスト入力）	/	◎
	アラーム	チェック 有/無	有	◎
	緊急録画入力	チェック 有/無	有	◎
	カメラ/機器異常	チェック 有/無	有	◎
	HDD/録画異常	チェック 有/無	有	◎
ネットワーク異常	チェック 有/無	有	◎	

ネットワーク > NTP/SNMP

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考	
NTP設定	レコーダー時刻自動調整 (NTP)	Off、On	Off	◎
	プライマリーサーバーアドレス	(テキスト入力)	(空欄)	◎
	セカンダリーサーバーアドレス	(テキスト入力)	(空欄)	◎
SNMP設定	SNMPバージョン	Off、SNMPv1/v2、SNMPv3、SNMPv1/v2/v3	Off	◎
	SNMPv1/v2 - コミュニティ名	(テキスト入力)	(空欄)	◎
	SNMPv1/v2 - サブネット外からのアクセスを禁止する	チェック 有/無	有	◎
	SNMPv3 - ユーザー名	(テキスト入力)	(空欄)	◎
	SNMPv3 - 認証方式	SHA1	SHA1、固定	◎
	SNMPv3 - 暗号化方式	DES、AES	DES	◎
	SNMPv3 - パスワード	(テキスト入力)	(空欄)	◎
	機器名	(テキスト入力)	(空欄)	◎
	機器の物理的位置	(テキスト入力)	(空欄)	◎
	連絡先	(テキスト入力)	(空欄)	◎

ユーザー管理 > 基本

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考	
本体操作	オートログイン	Off、On	On	◎
	オートログインユーザー	(登録済ユーザー名から選択)	(管理者)	◎
	簡易ログイン	Off、On	Off	◎
	オートログアウト	Off、1分後、3分後、5分後、30分後	Off	◎
ネットワーク操作	ユーザー認証	Off、On	On	◎
	ホスト認証	Off、On	Off	◎
ユーザーレベル設定	ライブ操作 (表示カメラ切換)	チェック 有/無	マネージャー：(有、固定) オペレーター：(有、固定) ビューワー：(有、固定) ログアウト時：有	◎

ユーザー管理 > 基本 (続き)

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考
カメラ制御	チェック 有/無	マネージャー：(有、固定) オペレーター：有 ビューワー：無 ログアウト時：(無、固定)	◎
サーチ・再生	チェック 有/無	マネージャー：(有、固定) オペレーター：有 ビューワー：有 ログアウト時：(無、固定)	◎
コピー	チェック 有/無	マネージャー：(有、固定) オペレーター：無 ビューワー：無 ログアウト時：(無、固定)	◎
アラーム復帰	チェック 有/無	マネージャー：(有、固定) オペレーター：有 ビューワー：無 ログアウト時：(無、固定)	◎
エラー復帰	チェック 有/無	マネージャー：(有、固定) オペレーター：有 ビューワー：無 ログアウト時：(無、固定)	◎
設定	チェック 有/無	マネージャー：(有、固定) オペレーター：無 ビューワー：無 ログアウト時：(無、固定)	◎
カメラ画像表示	チェック 有/無	マネージャー：(有、固定) オペレーター：有 ビューワー：有 ログアウト時：有	◎

ユーザー管理 > ユーザー登録

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考
新規ユーザー情報の登録	ユーザー名	(テキスト入力)	◎
	パスワード	(テキスト入力)	◎

ユーザー管理 > ユーザー登録 (続き)

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考
レベル	マネージャー、オペレーター、ビューワー	オペレーター	◎
スタートモニター *	<p>【NX310】</p> <p>カメラ1、...、カメラ32、4分割画面(1)、...、4分割画面(8)、9分割画面(1)、...、9分割画面(4)、16分割画面(1)、16分割画面(2)、シーケンス(全画面)、1画面(全画面)、4分割画面(全画面)、6分割画面(全画面)、9分割画面(全画面)、16分割画面(全画面)、24分割画面(全画面)、32分割画面(全画面)</p> <p>【NX410】</p> <p>カメラ1、...、カメラ64、4分割画面(1)、...、4分割画面(16)、9分割画面(1)、...、9分割画面(7)、16分割画面(1)、...、16分割画面(4)、シーケンス(全画面)、1画面(全画面)、4分割画面(全画面)、6分割画面(全画面)、9分割画面(全画面)、16分割画面(全画面)、24分割画面(全画面)、32分割画面(全画面)、64分割画面(全画面)</p> <p>【NX510】</p> <p>カメラ1、...、カメラ128、4分割画面(1)、...、4分割画面(32)、9分割画面(1)、...、9分割画面(14)、16分割画面(1)、...、16分割画面(8)、シーケンス(全画面)、1画面(全画面)、4分割画面(全画面)、6分割画面(全画面)、9分割画面(全画面)、16分割画面(全画面)、24分割画面(全画面)、32分割画面(全画面)、64分割画面(全画面)</p>	4分割画面(1)	◎
カメラパーティショニング	共通設定、個別設定	共通設定	◎

ユーザー管理 > ユーザー登録 (続き)

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考
カメラパーティショニング (個別設定)	表示/操作、表示、Off	表示/操作	◎

* スタートモニターの設定範囲はカメラのライセンス数によって異なります。

ユーザー管理 > 管理者設定

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考
管理者情報の変更	管理者名	(テキスト入力)	(空欄) ◎
	パスワード	(テキスト入力)	(空欄) ◎
	パスワード (再入力)	(テキスト入力)	(空欄) ◎
	レベル	管理者	管理者 ◎
	スタートモニター	以下のユーザー管理 > ユーザー登録の「スタートモニター」参照 詳細設定	4分割画面(1) ◎

ユーザー管理 > ホスト登録

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考
新規ホスト情報の登録	ホストIPアドレス	(IPアドレス)	(空欄) ◎
	レベル	マネージャー、オペレーター、ビューワー	マネージャー ◎
	スタートモニター	カメラ1、...、カメラn	カメラ1 ◎

メンテナンス > システム情報

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考
ソフトウェアバージョン	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
ハードウェアバージョン	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
シリアル番号	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
ネットワークポート [カメラ/PCポート]	MACアドレス	(表示のみ)	◎
	IPアドレス	(表示のみ)	◎
	サブネットマスク	(表示のみ)	◎
	デフォルトゲートウェイ	(表示のみ)	◎
	通信速度	(表示のみ)	◎
ネットワークポート [PCポート]	MACアドレス	(表示のみ)	◎
	IPアドレス	(表示のみ)	◎
	サブネットマスク	(表示のみ)	◎
	通信速度	(表示のみ)	◎

メンテナンス > システム情報 (続き)

ネットワークポート [メンテナンスポート] 【NX410/NX510】	MACアドレス	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	IPアドレス	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	通信速度	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
DNS	プライマリーサーバーアドレス	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	セカンダリーサーバーアドレス	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	ドメイン名	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
本体内部現在温度		(表示のみ)	(表示のみ)	◎
最高温度記録		(表示のみ)	(表示のみ)	◎
増設ユニット (EXT) 情報【NX410/NX510】	ソフトウェア	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	内部温度	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	復旧進捗情報	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
カメラのSDカード情報	ソフトウェア	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	SDカード品番	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	稼働時間	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	上書き回数	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	バックアップ進捗情報	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
オンラインユーザー情報	ログインユーザー数	(表示のみ)	(表示のみ)	◎

メンテナンス > HDD情報

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考
容量	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
稼働時間	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
ステータス	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
録画画像の日時範囲	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
推定上書き周期	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
カメラの録画期間グループ確認	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
HDD残容量	残容量	(表示のみ)	◎
	HDD残容量通知	Off、1%、2%、3%、4%、5%、6%、7%、8%、9%、10%	Off ◎
HDDメンテナンス	HDDビューワー用パスワード設定	Off、On	Off ◎
	パスワード	(テキスト入力)	(空欄) ◎

メンテナンス > HDD情報 (続き)

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考
パスワード確認	(テキスト入力)	(空欄)	◎
HDDビューワの保存 (USBメディアへ)	(なし)	(なし)	
HDDビューワダウンロード	(なし)	(なし)	★
HDDのフォーマット	(HDD番号)	(HDD番号)	◎
HDDの取り外し	(HDD番号)	(HDD番号)	◎

メンテナンス > システム管理

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考
システム設定	障害出力時間	0秒、2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、Ext.	2秒 ◎
	障害ブザー鳴動時間	0秒、2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、Ext.	2秒 ◎
	停電処理開始時間 【NX410/NX510】	10秒、20秒、30秒、1分、2分、3分、4分、5分	10秒 ◎
	HDDスタンバイ制御モード	Off、On	Off ◎
	HDD稼働時間警告	Off、10000時間、20000時間、30000時間、40000時間、50000時間	20000時間 ◎
	データ自動消去	Off、1日、...、10日、14日、30日、45日、60日、90日、120日、150日、180日、184日、365日、366日、730日、731日	Off ◎
	カメラ時刻自動同期	Off、On	On ◎
	汎用入出力端子設定 (汎用1～汎用4) 【NX310】	未設定、アラーム入力	未設定 ◎
	ウェブブラウザ表示モード	ライト、ダーク	ライト ◎
	ウェブブラウザ再生解像度	VGA(640x480)、HD(1280x720)、FHD(1920x1080)	VGA(640x480) ◎
ログ情報	アクセスログ (発生日時、内容)	(表示のみ)	(表示のみ) ◎
	操作ログ (発生日時、内容)	(表示のみ)	(表示のみ) ◎
	ネットワークログ (発生日時、内容)	(表示のみ)	(表示のみ) ◎
キー管理システム	機器ID番号	(表示のみ)	(機器固有番号) ◎

メンテナンス > システム管理 (続き)

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考
入力情報	起動ID番号	(表示のみ)	起動情報案内カードに記載
	暗号ID番号	(表示のみ)	起動情報案内カードに記載
ライセンス登録 (本機、カメラ拡張、など)	本機	(テキスト入力)	(空欄) ◎
	カメラ拡張	(テキスト入力)	(空欄) ◎
	NASバックアップ機能拡張オプション	(テキスト入力)	(空欄) ◎
	フェイルオーバー機能拡張オプション	(テキスト入力)	(空欄) ◎
	販売店・連絡先情報	(テキスト入力)	(空欄) ◎
ライセンス登録 (セキュリティ)	セキュア拡張	(テキスト入力)	(空欄) ◎
保守・サービス用機能	設定データの保存 (USBメディアへ)	(なし)	(なし)
	設定データの読み込み (USBメディアから)	(なし)	(なし)
	設定値の復元	(なし)	(なし) ◎
	ソフトウェアの更新	(なし)	(なし) ◎
	設定の初期化	(なし)	(なし) ◎
	カメラの日時を本機に合わせる	(なし)	(なし) ◎
	本機の設定情報に合わせてカメラを再設定する	(なし)	(なし) ◎
	SDメモリーバックアップのデータを取得する	(なし)	(なし) ◎
	本機を再起動する	(なし)	(なし) ◎
	基板交換モードで本機を起動する	【NX310】 シングルモード、ミラーリングモード 【NX410/NX510】 シングルモード、ミラーリングモード、RAID5モード、RAID6モード	シングルモード
最高温度記録情報をクリアする	(なし)	(なし)	◎

メンテナンス > システム管理 (続き)

設定項目 (詳細設定画面も含む)		設定範囲	初期設定	備考
	ネットワーク送受信速度を測定する	(なし)	(なし)	◎
	端子出力のテスト (対象)	【NX310】 カメラ異常出力端子、ネットワーク異常出力端子、HDD異常/録画異常出力端子、機器異常出力端子、アラーム出力端子 【NX410/NX510】 カメラ異常出力端子、ネットワーク異常出力端子、HDD異常出力端子、録画異常出力端子、機器異常出力端子、停電処理完了出力端子、アラーム出力端子1、...、アラーム出力端子4	カメラ異常出力端子	◎
	端子出力のテスト (テスト出力時間)	2秒、5秒、10秒	2秒	◎
	データ出力ログ	(表示のみ)	(表示のみ)	★
	OSSについて	(表示のみ)	(表示のみ)	★

HDD管理 > 全般

設定項目 (詳細設定画面も含む)		設定範囲	初期設定	備考
HDD情報	容量	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	稼働時間	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	ステータス	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	録画画像の日時範囲	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	録画期間グループ	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
HDDのフォーマット	HDD情報 (容量)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	HDD情報 (稼働時間)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	HDD情報 (ステータス)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	HDD情報 (録画期間グループ)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	HDD情報 (フォーマット)	チェック 有/無	無	◎
	HDD情報 (結果)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
HDDの取り外し	HDD情報 (容量)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	HDD情報 (稼働時間)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	HDD情報 (ステータス)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎

HDD管理 > 全般 (続き)

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考	
	HDD情報 (録画期間グループ)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	HDD情報 (取り外し)	チェック 有/無	無	◎
	HDD情報 (結果)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
HDDの組み込み	HDD情報 (容量)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	HDD情報 (稼働時間)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	HDD情報 (ステータス)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	HDD情報 (録画期間グループ)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	HDD情報 (組み込み)	チェック 有/無	有	◎
	HDD情報 (結果)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
HDD運用モードの設定	HDD情報 (容量)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	HDD情報 (稼働時間)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	HDD情報 (ステータス)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	HDD情報 (録画期間グループ)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	HDD情報 (モード再設定)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	HDD情報 (結果)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	HDD運用モード	【NX310】 シングルモード、ミラーリングモード 【NX410/NX510】 シングルモード、ミラーリングモード、RAID5モード、RAID6モード	(運用中のHDD運用モード)	◎

HDD管理 > 全般 (続き)

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考	
録画期間グループ設定	グループ1 制限なし、1日、...、10日、14日、30日、31日、45日、60日、62日、90日、92日、120日、123日、150日、153日、180日、184日、365日、366日、730日、731日	制限なし	◎	
	グループ2 制限なし、1日、...、10日、14日、30日、31日、45日、60日、62日、90日、92日、120日、123日、150日、153日、180日、184日、365日、366日、730日、731日	制限なし	◎	
録画期間グループ	グループ1、グループ2	グループ1	◎	
録画期間グループのHDD割り当て	現在容量/推定必要容量	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	容量	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	録画期間グループ	グループ1、グループ2	グループ1	◎
録画順番の変更	HDD情報 (容量)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	HDD情報 (稼働時間)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
	HDD情報 (ステータス)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎

HDD管理 > 全般 (続き)

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考
HDD情報 (録画順番)	【NX310】 1 ~ 4 【NX410/ NX510】 1 ~ 54	(表示のみ)	◎
HDD情報 (録画期間グループ)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎
HDD情報 (録画画像の日時範囲)	(表示のみ)	(表示のみ)	◎

セキュリティ > 通信

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考
本機とPC間のセキュリティ	接続方法	HTTP & HTTPS、HTTPS	HTTPS ◎
	TLS 1.2	チェック 有/無	有 ◎
	TLS 1.3	チェック 有/無	有、固定 ◎
	HTTPSポート番号	(ポート番号)	443 ◎
	ルート証明書取得	(なし)	(なし) ★
本機とカメラ間のセキュリティ	接続方法	HTTP、HTTPS	HTTP ◎
	ポート番号	(ポート番号)	443 ◎

セキュリティ > データ暗号

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考
データ暗号用パスワード	パスワード(4~16文字)	(テキスト入力)	(空欄) ◎
	パスワード確認	(テキスト入力)	(空欄) ◎
データ暗号 *	Off、On	Off	◎

* セキュア拡張キット (別売り) のライセンス登録時。

セキュリティ > IEEE 802.1X

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考
IEEE 802.1X	Off、On	Off	★
EAP方式	EAP-PEAP、EAP-TLS	EAP-PEAP	★
ユーザー名	(テキスト入力)	空欄	★
パスワード	(テキスト入力)	空欄	★
パスワード確認	(テキスト入力)	空欄	★
サーバー証明書	ルート証明書のインストール	(なし)	★
	ルート証明書情報	(表示のみ)	(表示のみ) ★

セキュリティ > IEEE 802.1X (続き)

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考
クライアント証明書 秘密鍵または秘密鍵を含むクライアント証明書のインストール	(なし)	(なし)	★
パスワード	(テキスト入力)	空欄	★
クライアント証明書のインストール	(なし)	(なし)	★
秘密鍵インストール状態	(表示のみ)	(表示のみ)	★
クライアント証明書情報	(表示のみ)	(表示のみ)	★

セキュリティ > 高度な設定

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考
NTPサーバー	Off、On	On	◎
HTTP/HTTPSサーバー	Off、On	On	

拡張機能 > NASバックアップ

設定項目 (詳細設定画面も含む)	設定範囲	初期設定	備考	
NASバックアップ	Off、On	Off	◎	
保存先 (NASサーバー) と接続するための設定	保存先の選択	チェック 有/無	◎	
	IPアドレス	(IPアドレス)	◎	
	ディレクトリ名	(テキスト入力)	◎	
	接続テスト - 結果	(表示のみ)	◎	
	接続テスト - 残容量	(表示のみ)	◎	
NASバックアップのスケジュール設定	カメラ	チェック 有/無	◎	
	ファイル形式	独自形式 (n3r/n3a)、MP4	◎	
	1日分のバックアップにかかる時間 (目安)	(表示のみ)	◎	
	バックアップするスケジュール (合計時間)	(表示のみ)	◎	
	タイムテーブル1	--:--、00:00 - 24:00	00:00 ~ 24:00	◎
	タイムテーブル2	--:--、00:00 - 24:00	--:-- ~ --:--	◎
	バックアップ対象日	1日前、2日前、3日前	3日前	◎
バックアップ状況	現在のバックアップ状況	(表示のみ)	◎	
	バックアップ障害履歴	(表示のみ)	◎	

拡張機能 > フェイルオーバー

設定項目（詳細設定画面も含む）		設定範囲	初期設定	備考
フェイルオーバーの動作設定		Off（監視しない）、On（監視する）	Off（監視しない）	◎
監視するレコーダー の設定	アドレス	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
	状態	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
	ソフトウェア	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
	カメラ拡張	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
	セキュア拡張	（表示のみ）	（表示のみ）	◎
登録情報の変更	アドレス	（IPアドレス）	（空欄）	◎
	管理者名	（テキスト入力）	（空欄）	◎
	パスワード	（テキスト入力）	（空欄）	◎

エラー履歴・ネットワークログについて

エラー履歴について

ここでは、メインモニターの状態表示パネルの表示と、障害発生の履歴（エラー履歴）の表示およびその内容について説明します。

エラー履歴の表示は、障害履歴（メインモニター）とエラーログ（ウェブブラウザ）で共通です。

- 「x」は増設ユニットの番号を表します。
- 「y」はHDDの番号を表します。
- 「f」はFANの番号を表します。
- 「cc」「ccc」はカメラ番号を表します。
- 「n」はNASバックアップ機能の保存先番号を表します。
- 「m」はフェイルオーバー機能の監視対象レコーダー番号を表します。

エラーの内容	状態表示パネル表示	障害履歴/エラーログ	前面LCD表示	後面端子出力
湿度異常警告	温度異常：MAIN 温度異常：EXTx	温度異常：MAIN 温度異常：EXTx	MAIN ERR ナイフ`オント`ケ イコク EXTx ERR ナイフ`オント`ケ イコク	機器異常

FAN警告	ファン異常：MAIN f ファン異常：EXTx f	ファン異常：MAIN f ファン異常：EXTx f	MAIN - f ERR ファン ケイコク EXTx - f ERR ファン ケイコク	機器異常
カメラ障害検出	通信エラー：カメラcc	通信エラー：カメラcc	NW ERR カメラ c c c エラー	カメラ異常
カメラ障害復旧	-	通信復旧：カメラcc	-	-
カメラ障害検出（音声）	音声通信エラー：カメラcc	音声通信エラー：カメラcc	NW ERR カメラ c c c エラー	カメラ異常
カメラ障害復旧（音声）	-	音声通信復旧：カメラcc	-	-
ビデオロス （エンコーダーの カメラ接続断の通知）	ビデオロス：カメラcc	ビデオロス：カメラcc	NW ERR カメラ c c c エラー	カメラ異常
ビデオロス復旧 （エンコーダーの カメラ接続断の通知）	-	ビデオ復旧：カメラcc	-	-
NWカメラ障害検出 （映像）	映像通信エラー：カメラcc	映像通信エラー：カメラcc	NW ERR カメラ c c c エラー	カメラ異常
NWカメラ障害復旧 （映像）	-	映像通信復旧：カメラcc	-	-
NWカメラ障害検出 （ライブ）	通信エラー（ライブ）：カメラcc	通信エラー（ライブ）：カメラcc	NW ERR カメラ c c c エラー	カメラ異常
NWカメラ障害復旧 （ライブ）	-	通信復旧（ライブ）：カメラcc	-	-
録画異常検出	録画異常	録画異常（RCA） 録画異常（AGT）：カメラcc 録画異常（WCK）：カメラcc	ERR ロクカ`イシ`ヨウ c c c ※カメラ番号が不明な 場合はcccを表示しない	HDD異常/ 録画異常 【NX310】 録画異常 【NX410/ NX510】

SMART警告	SMART警告 : MAIN-y SMART警告 : EXTx-y	SMART警告 : MAIN-y SMART警告 : EXTx-y	MAIN-y ERR SMART ケイコク EXTx-y ERR SMART ケイコク	HDD異常/ 録画異常 【NX310】 HDD異常 【NX410/ NX510】
HDD応答遅延警告	応答遅延 : MAIN-y 応答遅延 : EXTx-y	応答遅延 : MAIN-y 応答遅延 : EXTx-y	MAIN-y ERR アウトウチエン EXTx-y ERR アウトウチエン	HDD異常/ 録画異常 【NX310】 HDD異常 【NX410/ NX510】
HDDアワーメーター 警告	HDD稼動時間警告 : MAIN-y HDD稼動時間警告 : EXTx-y	HDD稼動時間警告 : MAIN-y HDD稼動時間警告 : EXTx-y	MAIN-y ERR HDDカト`ウシ`カ ンケイコク EXTx-y ERR HDDカト`ウシ`カ ンケイコク	HDD異常/ 録画異常 【NX310】 HDD異常 【NX410/ NX510】
HDD自動リンク外 し (HDD単位)	HDD故障 : MAIN-y	HDD故障 : MAIN-y	MAIN-y ERR HDDコショウ EXTx-y ERR HDDコショウ	HDD異常/ 録画異常 【NX310】 HDD異常 【NX410/ NX510】
HDD自動リンク外 し (ユニット単位) 【NX410/NX510】	HDD故障 : MAIN HDD故障 : EXTx	HDD故障 : MAIN HDD故障 : EXTx	MAIN ERR HDDコショウ EXTx ERR HDDコショウ	HDD異常

HDD取出エラー (正常認識HDDを 正常操作なしで取 り外し)	HDD取り外し警告： MAIN-y HDD取り外し警告： EXTx-y	HDD取り外し警告： MAIN-y HDD取り外し警告： EXTx-y	MAIN-y ERR HDD トリダシ エラー EXTx-y ERR HDD トリダシ エラー	HDD異常/ 録画異常 【NX310】 HDD異常 【NX410/ NX510】
HDD残容量通知	-	HDD残容量：1%～ HDD残容量：10%	-	-
HDDスキップ ※1	-	HDD書き込み先変更： MAIN-y HDD書き込み先変更： MAIN-y,y HDD書き込み先変更： MAIN HDD書き込み先変更： EXTx-y HDD書き込み先変更： EXTx-y,y HDD書き込み先変更： EXTx	-	-
HDDライトエラー	-	書き込みエラー： MAIN-y	-	-
HDDリードエラー	-	読み込みエラー： MAIN-y	-	-
パラメーター初期 化エラー 【NX410/NX510】	-	不正ユニット検出： MAIN 不正ユニット検出： EXTx	MAIN ERR シヨキカ エラー EXTx ERR シヨキカ エラー	-

HDDフォーマット失敗	フォーマット失敗 : MAIN-y フォーマット失敗 : EXTx-y	フォーマット失敗 : MAIN-y フォーマット失敗 : EXTx-y	MAIN-y ERR フォーマット シツハ °イ EXTx-y ERR フォーマット シツハ °イ	HDD異常/ 録画異常 【NX310】 HDD異常 【NX410/ NX510】
ミラーリングフォーマット失敗 【NX410/NX510】	フォーマット失敗 : MAIN-y,y フォーマット失敗 : EXTx-y,y	フォーマット失敗 : MAIN-y,y フォーマット失敗 : EXTx-y,y	MAIN-y, y E RR フォーマット シツハ °イ EXTx-y, y E RR フォーマット シツハ °イ	HDD異常
RAID5フォーマット失敗【NX410/ NX510】	フォーマット失敗 : MAIN フォーマット失敗 : EXTx	RAID5フォーマット失敗 : MAIN-y RAID5フォーマット失敗 : EXTx-y	MAIN ERR フォーマット シツハ °イ EXTx ERR フォーマット シツハ °イ	HDD異常
RAID6フォーマット失敗【NX410/ NX510】	フォーマット失敗 : MAIN フォーマット失敗 : EXTx	RAID6フォーマット失敗 : MAIN-y RAID6フォーマット失敗 : EXTx-y	MAIN ERR フォーマット シツハ °イ EXTx ERR フォーマット シツハ °イ	HDD異常

ミラーリング1ダウン 【NX410/NX510】	ミラー 1ダウン : MAIN-y ミラー 1ダウン : EXTx-y	ミラー 1ダウン : MAIN-y ミラー 1ダウン : EXTx-y	MAIN-y, y ERR RAID1 1ダウン EXTx-y, y ERR RAID1 1ダウン	HDD異常
RAID5 1ダウン 【NX410/NX510】	RAID5 1ダウン : MAIN-y RAID5 1ダウン : EXTx-y	RAID5 1ダウン : MAIN-y RAID5 1ダウン : EXTx-y	MAIN ERR RAID5 1ダウン EXTx ERR RAID5 1ダウン	HDD異常
RAID5 2ダウン 【NX410/NX510】	RAID5 2ダウン : MAIN-y RAID5 2ダウン : EXTx-y	RAID5 2ダウン : MAIN-y RAID5 2ダウン : EXTx-y	MAIN ERR RAID5 2ダウン EXTx ERR RAID5 2ダウン	HDD異常
RAID6 1ダウン ※2 【NX410/NX510】	RAID6 1ダウン : MAIN-y RAID6 1ダウン : EXTx-y	RAID6 1ダウン : MAIN-y RAID6 1ダウン : EXTx-y	MAIN ERR RAID6 1ダウン EXTx ERR RAID6 1ダウン	HDD異常
RAID6 2ダウン 【NX410/NX510】	RAID6 2ダウン : MAIN-y RAID6 2ダウン : EXTx-y	RAID6 2ダウン : MAIN-y RAID6 2ダウン : EXTx-y	MAIN ERR RAID6 2ダウン EXTx ERR RAID6 2ダウン	HDD異常
RAID6 3ダウン 【NX410/NX510】	RAID6 3ダウン : MAIN-y RAID6 3ダウン : EXTx-y	RAID6 3ダウン : MAIN-y RAID6 3ダウン : EXTx-y	MAIN ERR RAID6 3ダウン EXTx ERR RAID6 3ダウン	HDD異常

ミラーリング復旧開始	-	ミラー復旧開始 : MAIN-y,y ミラー復旧開始 : EXTx-y,y	MAIN-y, y RAID1 フックユ ウカイシ EXTx-y, y RAID1 フックユ ウカイシ	-
RAID5復旧開始 【NX410/NX510】	-	RAID5復旧開始 : MAIN RAID5復旧開始 : EXTx	MAIN RAID5 フックユ ウカイシ EXTx RAID5 フックユ ウカイシ	-
RAID6復旧開始 【NX410/NX510】	-	RAID6復旧開始 : MAIN RAID6復旧開始 : EXTx	MAIN RAID6 フックユ ウカイシ EXTx RAID6 フックユ ウカイシ	-
ミラーリング復旧完了	-	ミラー復旧完了 : MAIN-y,y ミラー復旧完了 : EXTx-y,y	MAIN-y, y RAID1 フックユウ カンリョウ EXTx-y, y RAID1 フックユウ カンリョウ	-
RAID5復旧完了 【NX410/NX510】	-	RAID5復旧完了 : MAIN RAID5復旧完了 : EXTx	MAIN RAID5 フックユウ カンリョウ EXTx RAID5 フックユウ カンリョウ	-

RAID6復旧完了 【NX410/NX510】	—	RAID6復旧完了 : MAIN RAID6復旧完了 : EXTx	MA I N R A I D 6 フックユウ カンリョウ E X T x R A I D 6 フックユウ カンリョウ	—
ミラーリング復旧 失敗【NX410/ NX510】	ミラー復旧失敗 : MAIN-y,y ミラー復旧失敗 : EXTx-y,y	ミラー復旧失敗 : MAIN-y,y ミラー復旧失敗 : EXTx-y,y	MA I N - y , y E R R R A I D 1 フックユウ シツパ° イ E X T x - y , y E R R R A I D 1 フックユウ シツパ° イ	HDD異常
RAID5復旧失敗 【NX410/NX510】	RAID5復旧失敗 : MAIN RAID5復旧失敗 : EXTx	RAID5復旧失敗 : MAIN RAID5復旧失敗 : EXTx	MA I N E R R R A I D 5 フックユウ シツパ° イ E X T x E R R R A I D 5 フックユウ シツパ° イ	HDD異常
RAID6復旧失敗 【NX410/NX510】	RAID6復旧失敗 : MAIN RAID6復旧失敗 : EXTx	RAID6復旧失敗 : MAIN RAID6復旧失敗 : EXTx	MA I N E R R R A I D 6 フックユウ シツパ° イ E X T x E R R R A I D 6 フックユウ シツパ° イ	HDD異常
再起動 (CPU関連)	—	システム再起動 (CPU)		—
再起動 (DEC関連)	—	システム再起動 (DEC)		—
再起動 (増設ユニッ ト未接続検出)	—	システム再起動 (EXT)	—	—
コピーメディアアラ イトエラー	コピー失敗	書き込みエラー : USB	E R R コピ° — シツパ° イ	—

コピーメディアリードエラー	-	読み込みエラー：USB	-	-
コピーメディアフル	-	残容量無し：USB	-	-
コピーメディアのデータ件数超過	-	データ件数超過：USB	-	-
ネットワークリンク外れエラー	NWリンクエラー	NWリンクエラー：カメラ/PCポート NWリンクエラー：PCポート	NW ERR NW リンク エラー	ネットワーク異常
通信速度警告 (Auto設定時にHalfになったとき)	NW通信速度警告	NW通信速度警告：カメラ/PCポート NW通信速度警告：PCポート	NW ERR NWツウシンソクト ^o ケイコク	ネットワーク異常
NTPサーバーとの時差が1000秒以上のため時刻を合わせなかったとき	NTP日時調整失敗	NTP日時調整失敗	NW ERR NTP チョウセイシツパイ	-
DNSから独自通知先解決できず	-	独自アラーム アドレス解決エラー	-	ネットワーク異常
独自通知先応答なし	-	独自アラーム 応答なし	-	ネットワーク異常
独自通知先その他のエラー	-	独自アラーム その他のエラー	-	ネットワーク異常
DNSからHTTPアラーム通知先解決できず	-	HTTPアラーム アドレス解決エラー	-	ネットワーク異常
HTTPアラーム通知先応答なし	-	HTTPアラーム 応答なし	-	ネットワーク異常
HTTPアラーム認証エラー	-	HTTPアラーム 認証エラー	-	ネットワーク異常
HTTPアラーム証明書検証エラー	-	HTTPアラーム 証明書エラー	-	ネットワーク異常
HTTPアラーム証明書検証警告	-	HTTPアラーム 証明書警告	-	ネットワーク異常
HTTPアラーム通知先その他のエラー	-	HTTPアラーム その他のエラー	-	ネットワーク異常

サブモニター未検出	サブモニター未検出	サブモニター未検出	E R R サブ`モニターミケン シュツ	-
停電検出	停電検出	停電検出	E R R テイデ`ン ケンシュツ	機器異常
停電復旧	停電復旧	停電復旧	-	-
カメラSD カードエ ラー	バックアップエラー： カメラcc	[SD] カード使用不 可：カメラcc	カメラc c c SDカート`エラー	カメラ異常
カメラSD 書き込み 開始要求失敗	バックアップエラー： カメラcc	[SD] 開始エラー： カメラcc	カメラc c c SDカート`エラー	カメラ異常
カメラSD 書き込み 終了要求失敗	バックアップエラー： カメラcc	[SD] 終了エラー： カメラcc	カメラc c c SDカート`エラー	カメラ異常
カメラSD 画像取得 失敗	バックアップエラー： カメラcc	[SD] 画像取得エラー： カメラcc	カメラc c c SDカート`エラー	カメラ異常
カメラSD 累積録画 時間警告	SDカード長期使用 警告：カメラcc	[SD] 長期使用警告： カメラcc	カメラc c c SD シ` ユミヨウ ケイコク	カメラ異常
カメラSD 上書回数 警告	SDカード上書回数 警告：カメラcc	[SD] 上書回数警告： カメラcc	カメラc c c SD シ` ユミヨウ ケイコク	カメラ異常
カメラSD アクセス エラー	SDカードアクセス 警告：カメラcc	[SD] アクセス警告： カメラcc	-	カメラ異常
カメラSD 録画異常	SDカード録画異常： カメラcc	[SD] 録画異常：カ メラcc	カメラc c c SDカート`エラー	カメラ異常
カメラSD メモリー カード認識できず	SDカード認識不可： カメラcc	[SD] カード認識不 可：カメラcc	カメラc c c SDカート`エラー	カメラ異常
カメラSD メモリー カード残量警告	SD残容量通知：カ メラcc	[SD] 残容量通知： カメラcc	-	カメラ異常
カメラSD メモリー カードフル	SDカード残容量無 し：カメラcc	[SD] 残容量無し： カメラcc	カメラc c c SDカート`エラー	カメラ異常
カメラのハードウエ アエラー	ハードウェアエラー： カメラcc	ハードウェアエラー： カメラcc	カメラc c c ハート` ウェアエラー	カメラ異常
ワイパーゴム交換 目安通知	ワイパーゴム交換 時期：カメラcc	ワイパーゴム交換時期： カメラcc	カメラc c c ワイパ`ーゴ` ム	カメラ異常
カメラの画角ずれ 検知	画角ずれ検知：カ メラcc	画角ずれ検知：カメラ cc	カメラc c c カ` カクス` レケンチ	カメラ異常

カメラの画角ずれ復旧	-	画角ずれ復旧：カメラcc	-	-
カメラの機能拡張ソフトウェア試用期間満了	試用期間満了：カメラcc	拡張ソフト試用期間満了：カメラcc	カメラccc シヨウキカンマンリョウ	カメラ異常
NASバックアップエラー	NASバックアップエラー：保存先n	NASバックアップエラー：保存先n	ERR NASバックアップ	-
NASバックアップフル	NASバックアップフル：保存先n	NASバックアップフル：保存先n	ERR NASバックアップフル	-
NASバックアップ中断	NASバックアップ中断：保存先n	NASバックアップ中断：保存先n	ERR NASバックアップ	-
フェイルオーバー（運用停止）	フェイルオーバー	フェイルオーバー：運用停止	ERR フェイルオーバー：マスター	機器異常
フェイルオーバー（代替運用）	-	フェイルオーバー：レコーダーm	-	-
ロールバック起動（予備のソフトウェアで起動）	ロールバック起動	ロールバック起動	ERR ロールバック	機器異常

※1 HDDスキップとは、HDDへの書込みエラーなどが発生したときに、録画順番が次のHDD（RAID5/RAID6モードではユニット）に録画を継続する機能です。スキップすることにより上書き録画が早まるため、録画画像の保存日時範囲が短くなります。なお、HDD（ユニット）が1台の場合はそのHDD（ユニット）の先頭から録画を継続します。この時も同様に、録画画像の保存日時範囲が短くなります。

※2 RAID6で2ダウン状態からRAID復旧することによりRAID6 1ダウン状態になった場合は、状態表示パネル表示や障害履歴／エラーログにHDDの番号は表示されません。

ネットワークログについて

ここでは設定画面の [メンテナンス] - [システム管理] - [ネットワークログ] に表示される本機のネットワークに関する履歴表示とその内容について説明します。

表示内容はウェブブラウザと共通です。

内容	ネットワークログ	後面端子出力
電子メール送信	<SMTP>MAIL_SEND	-
SMTP 認証エラー	<SMTP>SMTP_ATTEST_ERR	ネットワーク異常

POP3 認証エラー	<SMTP>POP3_ATTEST_ERR	ネットワーク異常
DNSからPOP3サーバーアドレス解決できず	<SMTP>POP3_ADD_ERR	ネットワーク異常
POP3サーバー見つからず	<SMTP>POP3_SVR_ERR	ネットワーク異常
DNSからSMTPサーバーアドレス解決できず	<SMTP>SMTP_ADD_ERR	ネットワーク異常
SMTPサーバー見つからず	<SMTP>SMTP_SVR_ERR	ネットワーク異常
MAIL FROM コマンドエラー	<SMTP>MAIL_FROM_ERR	ネットワーク異常
RCPT TO コマンドエラー	<SMTP>RCPT_TO_ERR	ネットワーク異常
SMTP その他のエラー	<SMTP>OTHER_ERR	ネットワーク異常
NTPサーバーの時刻への同期成功	<NTP>GET_TIME_OK	—
DNSからNTPサーバーアドレス解決できず	<NTP>SVR_ADD_ERR	ネットワーク異常
NTP取得時刻異常（時計が同期していない）	<NTP>TIME_INVALID	ネットワーク異常
時刻設定失敗	<NTP>SET_TIME_ERR	ネットワーク異常
NTPサーバー見つからず	<NTP>SVR_ERR	ネットワーク異常
NTP その他のエラー	<NTP>OTHER_ERR	ネットワーク異常
SNMP ユーザー名/パスワードエラー	<SNMP>USER_PASS_ERR	ネットワーク異常
SNMP その他のエラー	<SNMP>OTHER_ERR	ネットワーク異常
HTTP ユーザー名/パスワードエラー	<HTTP>USER_PASS_ERR	ネットワーク異常
HTTP ダウンロード失敗	<HTTP>DOWNLOAD_ERR	ネットワーク異常
HTTP 要求無効	<HTTP>REQUEST_ERR	ネットワーク異常
HTTP その他のエラー	<HTTP>OTHER_ERR	ネットワーク異常
DHCP IPアドレス取得	<DHCP>IP_ADD_OK	—
DHCP IPアドレスアップデート失敗	<DHCP>IP_ADD_UPDATE_ERR	ネットワーク異常
DHCP IPアドレスほかの機器と重複	<DHCP>DUPLICATE_IP_ADD	ネットワーク異常
DHCP その他のエラー	<DHCP>OTHER_ERR	ネットワーク異常

[本体操作]

操作の前に

運用画面について

ここでは、本機のマウス接続ポートに接続したマウス（付属品）から本機の実行操作を行う場合について説明します。PCのウェブブラウザから行う場合は、「ネットワーク操作」以降をお読みください。

👉 [ネットワーク設定を行う](#)

メインモニター（ライブ画像、再生画像、設定メニューを表示するモニターです）

操作画面表示

起動後は本画面が表示されます。本機の実行操作はこの画面で行います。



① 画像表示部

カメラ画像を表示します。

👉 [カメラのライブ画像を見る](#)

②状態表示パネル

本機の状態を表示します。アラームやエラーの発生状態や対処操作も行います。

👉[運用画面について](#)

③操作パネル、日時操作パネル、カメラコントロールパネル

画像の切り換え、録画再生、カメラ操作などを行います。

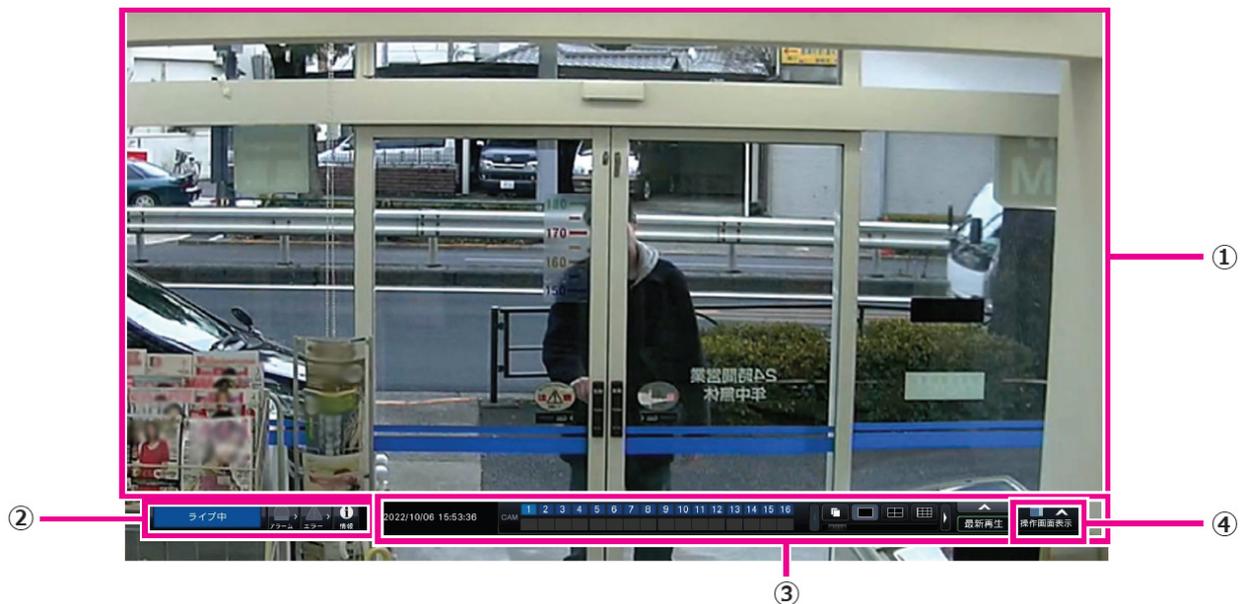
現在の日付と時刻を表示します。

④【全画面表示】ボタン

メインモニターの表示を全画面表示に切り換えます。

全画面表示

画像表示部が大きく、ライブ画像表示に特化した画面です。操作は限定されます。



①画像表示部

カメラ画像を表示します。

👉[カメラのライブ画像を見る](#)

②状態表示パネル

本機の状態を表示します。アラームやエラーの発生状態や対処操作も行います。

👉[運用画面について](#)

アラームボタン、エラーボタンのクリック時には、操作パネルに重ねて表示される場合があります。

③操作パネル

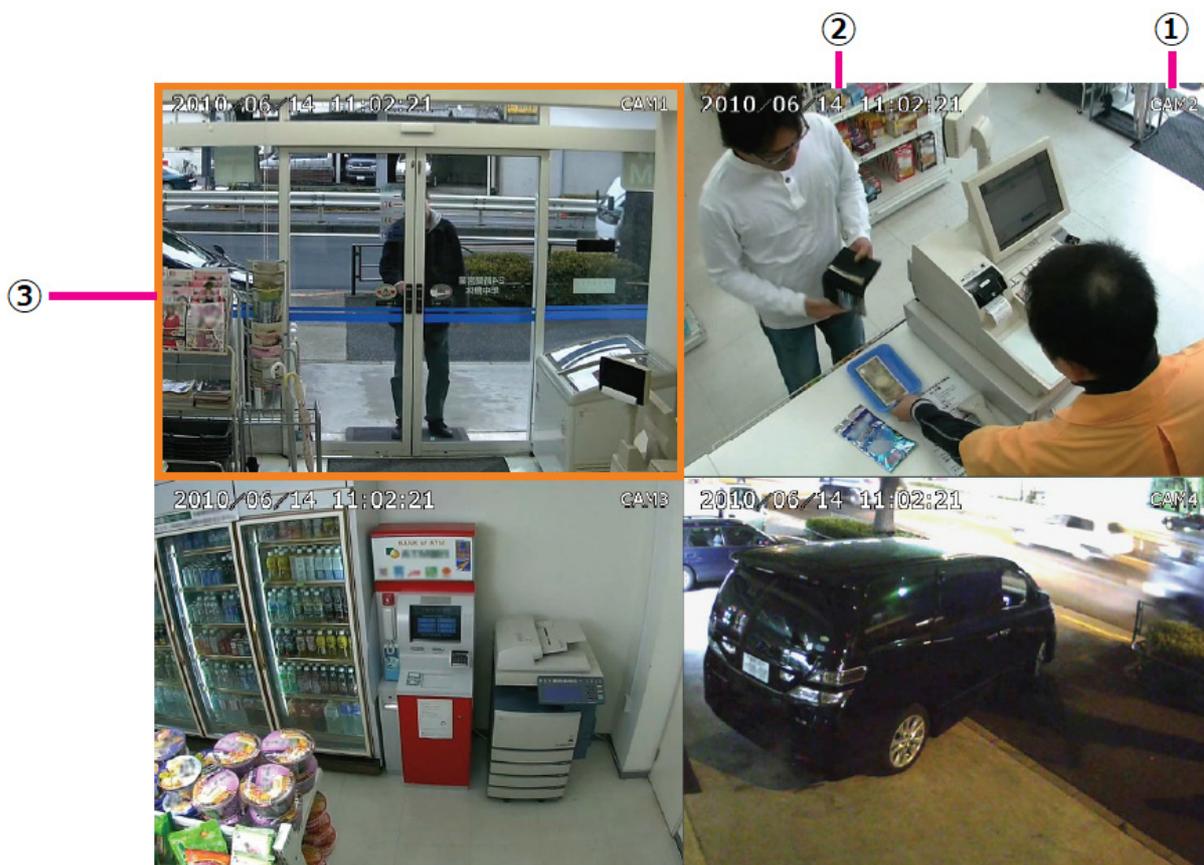
画像の切り換えや画面分割の切り換え、録画再生などを行います。
現在の日付と時刻を表示します。

④ [操作画面表示] ボタン

メインモニターの表示を操作画面表示に切り換えます。

画像表示部について

ライブ画像や再生画像を表示します。



操作画面表示と全画面表示では、多画面表示の画面数が異なります。



[メモ]

- 全画面表示の画面分割ボタンは表示／非表示を設定することができます。
詳細は、以下をお読みください。
☞ [モニターの設定を行う \[モニター\]](#)
- 【NX410/NX510】サブモニターの [カメラ選択] の設定でどれか一つでもカメラを選択していない場合のみ、64画面を表示できます。

ログインユーザーごとに、画面表示部へ最初に表示する画面（スタートモニター）を設定できます。

スタートモニターの設定については、以下をお読みください。

☞ [ユーザー情報を登録／変更／削除する \[ユーザー登録\]](#)



[メモ]

●スタートモニターで「カメラ1」～「カメラ128」以外が設定されている場合、PCのウェブブラウザのスタートモニターは、自動的にカメラ1の1画面表示となります。

①カメラタイトル

設定したカメラタイトルを表示します。表示位置は左上・左下・右上・右下から選ぶことができます（初期設定：右上）。詳細は以下をお読みください。

☞ [モニターの設定を行う \[モニター\]](#)

全画面でズーム表示中はカメラタイトル付近にズーム倍率も表示されます。

②日時表示

日時はカメラ側の設定により表示されます。

③カメラ選択枠

操作対象のカメラを表します。1画面表示／4画面表示 のときは、マウス操作で選択したカメラを操作できます。操作画面表示時のみ表示されます。

状態表示パネルについて

通常時

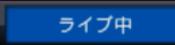
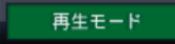
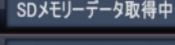
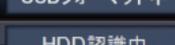
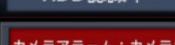


アラーム・エラー発生時（各種ボタン表示時）



①状態表示部

本機の状態を以下の内容で表示します。複数の状態が重なったときは、優先順位によって表示します。優先順位が同じ状態では、後から発生した状態を表示します。

状態	内容	表示例	優先順位
ライブ中	ライブ画像を表示しています。		6 (低)
再生中	録画画像を再生しています。		6
ミラーリング／RAID復旧中	ミラーリング／RAID復旧中です。		5
SDメモリーデータ取得中	カメラからSDメモリーデータを取得しています。		4
コピー中	データのコピーをしています。進行度合いを%で表示します。		3
USBフォーマット中	USBメディアをフォーマットしています。		3
HDD認識中	HDDを識別しています。		3
アラーム発生中	アラームが発生しています。アラーム内容を表示します。		2
緊急録画中	緊急録画を行っています。		2
エラー発生中	エラーが発生しています。エラー内容を表示します。		1
サムネイル表示中	サムネイルサーチ画面を表示しています。		0 (高)

②アラームボタン

アラームの発生状況を示します。アラーム発生時は赤くなります。ボタンをクリックして、アラーム履歴表示ボタン、アラーム復帰ボタンなどの表示／非表示を切り換えます。

③エラーボタン

エラーの発生状況を表示します。エラー発生時は黄色になります。ボタンをクリックして、エラー履歴表示ボタン、エラー復帰ボタンの表示／非表示を切り換えます。

④アラーム履歴表示ボタン

操作画面表示の操作パネルにアラーム履歴を表示します。アラーム履歴は1000件まで記録できます。1000件を超えると、古い履歴から上書きされます。

⑤アラーム復帰ボタン

アラーム動作を解除します。また、緊急録画設定の「録画時間」設定が「Ext.」に設定されている場合は、緊急録画を停止します。アラーム発生時および緊急録画時のみクリックすることができます。

⑥エラー履歴表示ボタン

操作画面表示の操作パネルにエラー（障害）履歴を表示します。エラー履歴は1000件まで記録できます。1000件を超えると、古い履歴から上書きされます。

⑦エラー復帰ボタン

エラー（障害）動作を解除します。エラー発生時のみクリックすることができます。

⑧情報表示ボタン

本機のシステム情報やHDD情報を表示します。

サブモニター（ライブ画像のみを表示するモニターです）



[重要]

- サブモニターからは、本機の設定や操作はできません。

サブモニターには、あらかじめ設定したカメラのライブ画像を1画面や多画面で表示したり、あらかじめ設定した切換間隔でカメラ画像を順次切り換えて表示（シーケンス表示）したりすることができます。また、端子アラームの信号入力でカメラ画像を切り換えることができます。

[サブモニターの設定を行う \[サブモニター\]](#)



[メモ]

- カメラ画像内の日時や文字表示、およびカメラタイトルはサブモニターにも表示されますが、使用するモニターによっては画像の端まで表示されず、それらの表示が一部が欠けたり、全く表示されなかったりする場合があります。
- 画像を表示するためには、設定メニューであらかじめ表示するカメラを選択しておく必要があります。初期設定のままではカメラ画像は表示されません。
- 切り換わるタイミングによって、カメラ画像が表示される前に黒画が表示されることがあります。
- シークレットビュー機能が設定されている場合、メインモニターで1画面表示しているカメラ画像または多画面表示時に選択しているカメラ画像は表示されません。
- 1画ライブシーケンス動作時は、シークレットビューの画像はスキップ（非表示）されます。
- 9画/16画ライブシーケンス動作時は、カメラ画像が切り換わるタイミングに黒画が表示されます。4Kモニター接続時は、4画ライブシーケンス動作時も同様に黒画が表示されます。
- カメラ異常が発生しているカメラの画像は表示されません。
- 初期設定では、画像のアスペクト比に関わらず、画面に合わせて画像を表

示します。

- 再エンコード配信の有無によって、表示しているカメラ画像のフレームレートが変化したり、一瞬黒画が表示されたりします。

基本的な操作のしかた



本機の操作は、本機に接続したマウスを使ってメインモニター上に表示されるマウスカーソルを移動させ、画面上のボタンやタブを左クリックして行います。(以降、本書では左クリックをクリックと表記します。)

[▲] / [▼] ボタンのある設定欄では、カーソルの位置の値をマウスホイールで変更できます。例えば、時刻の設定では、時、分、秒の単位で変更します。

マウスカーソルの形状は、表示画面やマウス操作によって以下のようになります。

 : 通常時

 : カメラ番号パネルのドラッグ時 (全画面表示)



[メモ]

- 10秒間、何も操作しないとマウスカーソルが非表示になります。マウスを動かすと再び表示されます。
- マウス接続ポートはコネクタを差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

ログアウトする

[ログアウト] ボタンをクリックします。表示された確認画面で [OK] ボタンをクリックすると、ログアウトします。



[メモ]

- 「オートログイン」の設定が「On」の場合、ログアウトしたあとは「オートログインユーザー」に設定しているユーザーで自動的にログインします。

☞ [ユーザー管理に関する設定を行う](#) [[ユーザー管理](#)]

起動時のログイン操作について

「オートログイン」の設定が「Off」の場合、システムチェック終了後、本機はログアウトした状態で起動します。

☞ [ユーザー管理に関する設定を行う](#) [[ユーザー管理](#)]

メインモニターに操作画面が表示されたら、以下の手順でユーザー名とパスワードを入力します。

STEP1

操作画面上の「ログイン」ボタンをクリックします。

→ログイン画面が表示されます。

STEP2

ソフトキーボードからユーザー名とパスワードを入力します。



- ユーザー登録のしかたは、以下をお読みください。
☞ [ユーザー情報を登録/変更/削除する \[ユーザー登録\]](#)



[メモ]

- 「簡易ログイン」の設定が「On」の場合はユーザー名をプルダウンリストから選択します。入力したパスワードは「*」で表示されます。
- ログアウト時、または、管理者/マネージャー権限以外のユーザーがログイン中は、許可されている操作以外の操作をしようとした場合、ログイン画面が表示されます。

STEP3

[OK] ボタンをクリックします。

→入力したユーザー名、パスワードが正しいと、ログイン画面が消え、ログインボタンがログアウトボタンに変わります。入力したユーザー名、パスワードが間違っていると、エラー画面が表示されます。エラー画面を閉じて再度ログインしてください。



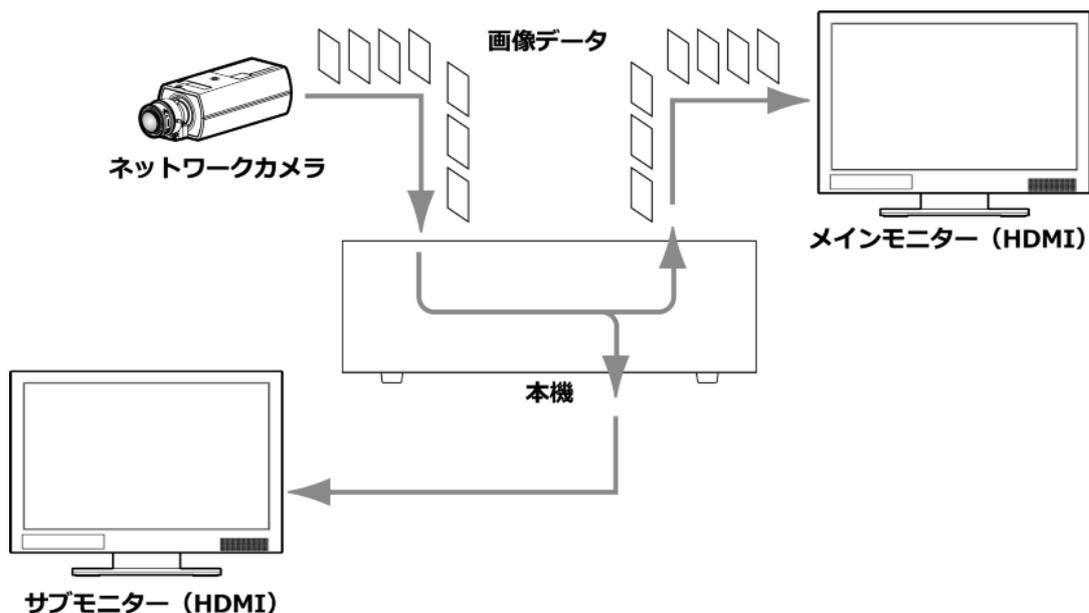
[メモ]

- お買い上げ時は管理者が登録されていません。初回起動時にはメインモニターに「管理者登録」画面が表示されますので、画面に従って管理者名、パスワード、およびパスワード確認を入力し、[登録] ボタンをクリックしてください。
- ログアウトするときは、操作画面上の [ログアウト] ボタンをクリックします。
- コピー動作中にログアウトすると、コピーを中止します（ウェブブラウザの場合は、画面を閉じてから中止まで90秒程度かかります）。なお、オートログアウトはコピー終了後から設定した時間経過後に実行されます。
- ログアウト状態のときの画像表示について、オートログインOffで起動した直後は、4分割画面を表示します。ログイン中からログアウト操作をしたときは、ログアウト直前の画面を継続表示します。（どのカメラ画像表示を許可するかはユーザーレベルの設定に従います。）
- 「オートログイン」が「On」の場合、本操作は不要です。

見る

カメラのライブ画像を見る

本機を起動すると、設定された内容に従ってカメラのライブ画像がモニターに表示されます。カメラ画像は本機を經由してライブ表示します。



ライブ画像はメインモニターに1画面または多画面で表示することができます。また、サブモニターは設定によって、自動的にカメラを切り換えて1画面または多画面で表示することができます。

👉 [サブモニターの設定を行う \[サブモニター\]](#)

録画設定で「録音」を「On」に設定しているカメラの画像を表示しているときはそのカメラの音声はメインモニターで出力されます。多画面で表示しているときは選択しているカメラの音声が出力されます。

👉 [録画やイベントに関する設定を行う \[録画・イベント\]](#)



[メモ]

- ご使用のカメラやネットワーク環境によっては、カメラのライブ音声が遅延することがありますが、再生画像の音声には影響ありません。
- ライブ画像と音声を同期させるため音声データの更新処理を一定周期で行っています。
- 4K対応モニターを使用する場合は、使用時の制約事項もお読みください。

👉 [使用時の制約事項](#)

操作パネルについて

ライブ画像の操作は、操作画面表示時と全画面表示時で操作方法や表示が異なります。

操作画面表示 操作パネル



① 画面分割ボタン

画像表示部の画面分割数を切り換えます。

② デジタルズームボタン

1画面または4画面で表示しているとき、画像を拡大／縮小表示することができます。

[デジタルズームを使用する](#)

③ ミュートボタン

クリックするたびに、カメラの音声をミュート⇔ミュート解除と切り換えます。

④ 魚眼画像補正表示ボタン

魚眼表示ボタン：魚眼画像の表示に戻します。

1画PTZ表示ボタン：魚眼画像を1画PTZに補正して表示します。

4画PTZ表示ボタン：魚眼画像を4画PTZに補正して表示します。

3Dデワープボタン：魚眼画像を3Dデワープで表示します。

操作画面表示の映像表示部にカメラ画像が1画面で表示されている間のみ魚眼画像補正表示ボタンが表示されます。

⑤ カメラ番号タブ

表示するカメラ番号パネルを切り換えます。

⑥ カメラ番号パネル

カメラ番号：

(文字色)

白色：カメラ登録済み

グレー：カメラ未登録

(背景色)

水色：画像表示部に画像表示中

青色：カメラ登録済み、画像非表示

グレー：録画不可またはカメラ未登録

カメラタイトル：あらかじめ設定されたカメラタイトルの先頭から8文字を表示します。

(文字色)

カメラ番号と同じ

(背景色)

赤色：イベント録画中

黒色：上記以外

録画ランプ：録画中は赤く点灯します。接続エラーの場合は、が表示されます。



[メモ]

- 【NX310】カメラ番号タブ「1-32」では、カメラ番号は表示せず、カメラタイトルと録画ランプのみの表示に変わります。

カメラタイトル：あらかじめ設定されたカメラタイトルの先頭から5文字を表示します。

(文字色)

白色：カメラ登録済み

グレー：カメラ未登録

(背景色)

水色：画像表示部に画像表示中

青色：カメラ登録済み、画像非表示

グレー：録画不可またはカメラ未登録

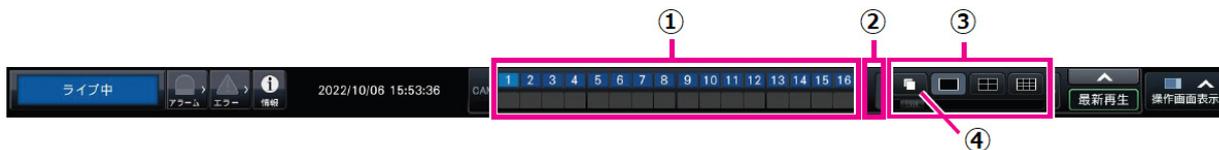
赤色：イベント録画中

- 【NX510】カメラ番号タブ「1-64」「65-128」では、カメラタイトルは表示せず、カメラ番号と録画ランプのみの表示に変わります。

カメラ番号の文字色と背景色の意味は、上記【NX310】のカメラタイトルと同じです。

- 【NX410】カメラ拡張ライセンスが登録されていないときは上記【NX310】と、登録されているときは上記【NX510】と同じ表示になります。

全画面表示 操作パネル



① カメラ番号パネル

カメラ番号 [CAM] :

(文字色)

白色 : カメラ登録済み (録画中)

黒 : カメラ登録済み (非録画中)

グレー : カメラ未登録

(背景色)

水色 : 画像表示部に画像表示中

青色 : カメラ登録済み、画像非表示

グレー : 録画不可またはカメラ未登録

赤色 : イベント録画中

カメラ番号部分を画像表示部の表示したい位置にドラッグ&ドロップすると、選択したカメラ番号のカメラ画像がその位置に表示されます。

② カメラ番号切り換えボタン【NX410/NX510】

表示するカメラ番号を切り換えます。

③ 画面分割ボタン

画像表示部の画面分割数を切り換えます。



[メモ]

- 操作パネルに表示する画面分割ボタンを追加・削除することができます。
この設定については以下をお読みください。

👉 [モニターの設定を行う【モニター】](#)

- 画面分割ボタンを5つ以上表示する場合は、左右のボタンやスライダーで表示する画面分割ボタンの表示を切り換えることができます。
- 【NX410/NX510】サブモニターを使用する場合は、64画面表示を行うことができません（以下の設定の「カメラ選択」にチェックがひとつでも入っていると、サブモニターを使用するものと見なします）。

👉 [サブモニターの設定を行う【サブモニター】](#)

④ シーケンスボタン

シーケンスボタンをクリックするとシーケンスを開始します。シーケンスボタンを除くいずれかの画面分割ボタンをクリックするとシーケンスは終了します。

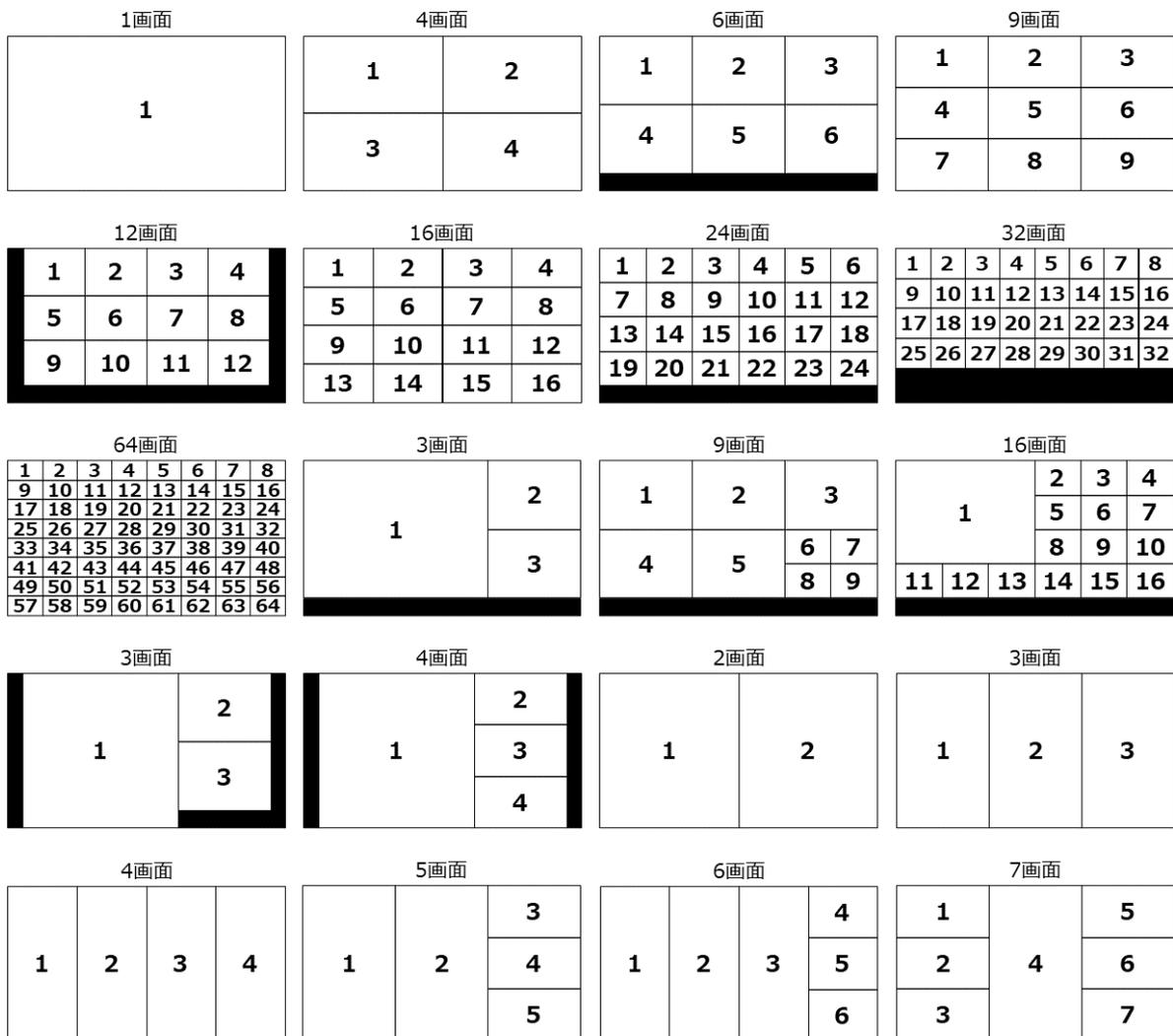


[メモ]

- シーケンス中は、カメラ番号パネルをライブ画像上にドラッグ&ドロップしてもカメラ画像を切り換えることができません。
- シーケンス中は音声が出力されません。([モニター] - [高度な設定]の「音声出力カメラ選で出力する音声を固定している場合は音声が出力されません」)
- 再生中はシーケンスを開始することができません。
- 「ユーザー管理>ユーザー登録」および「ユーザー管理>管理者設定」の「スタートモニター」で「シーケンス (全画面)」を設定すると、ログイン後にシーケンスが開始されます。
- 9画/16画ライブシーケンス (4K出力時は4/9/16画ライブシーケンス) は、カメラ画像が切り換わるタイミングに黒画が表示されます。
- 以下の場合、圧縮方式がJPEG (全方位カメラの4ストリームモードやONVIF適合カメラとの接続、RTSP URLアドレス接続はH.264/H.265も)、解像度が0.4M (640×640) より高い解像度に設定されているカメラは、9画ライブシーケンスと16画ライブシーケンスでカメラ画像を表示することができません。
 - ・サブモニターを使用する
 - ・ブラウザで再生する
 - ・スマートフォンアプリケーションのモバイル再生を行う

全画面表示のカメラ表示位置を変更する

初期設定では以下のように、カメラが割り当てられています。



※64画面はNX410/NX510で選択可能です。

カメラ番号パネルを画像表示部の表示したい位置にドラッグ&ドロップすると、カメラ表示位置を入れ換えることができます。画像上で右クリックして表示されるメニューでもカメラ表示位置を入れ換えることができます。



[メモ]

- すでに割り当てられているカメラを他の表示位置に割り当てると、もともと割り当てられていた位置のカメラは非表示になります。
- 割り当てたカメラ位置は電源を切ったり、再起動したりしても記憶されています（設定の初期化を行うと、カメラ位置の情報も初期化されます）。
- 画面左上のカメラの音声が出力されます。

- 操作画面表示でミュートが選択されていると、音声は出力されません。
- 初期設定では、元画像のアスペクト比が4:3または16:9の場合、画像のアスペクト比に関わらず、画面に合わせて画像を表示します。アスペクト比を維持して表示する設定については、以下をお読みください。

☞ [メインモニターの設定を行う【メインモニター】](#)

登録カメラの圧縮方式がJPEGの場合、解像度の設定や運用形態によっては、多画面でライブ表示できないことがあります。

メインモニター

【サブモニター表示無し、再エンコード配信無し】

画面分割	解像度			
	HVGAW(640×360)~SXVGA(1280×960)	1.4M(1200×1200)~FHD(1920×1080)	QXGA(2048×1536)~4KUHD(3840×2160)	9M(2992×2992)
1画~4画表示、 1画シーケンス、 4画シーケンス(4K モニター接続)	○	○	○	○
5画~7画表示、 4画シーケンス (1080pモニター接続)	○	○	○	×
9画~16画表示、9 画シーケンス、16 画シーケンス	○	○	×	×
24画~64画表示	○	×	×	×

【サブモニター表示有り】

画面分割	解像度	
	HVGAW(640×360)~SXVGA(1280×960)	1.4M(1200×1200)~9M(2992×2992)
1画~4画表示、1画シーケンス、 4画シーケンス(4Kモニター接続)	○	○
5画~32画表示、 4画シーケンス(1080pモニター接続)、 9画シーケンス、16画シーケンス	○	×

【再エンコード配信有り】

画面分割	解像度	
	HVGAW(640×360)~SXVGA (1280×960)	1.4M(1200×1200)~9M(2992× 2992)
1画~4画表示、1画シーケンス、 4画シーケンス(4Kモニター接続)	○	○
5画~64画表示、 4画シーケンス(1080pモニター接続)、 9画シーケンス、16画シーケンス	○	×

サブモニター

画面分割	解像度		
	HVGAW(640×360)~0. 4M(640×640)	SVGA(800×600)~FHD (1920×1080)	QXGA(2048×1536)~ 9M(2992×2992)
1画表示、4画表示、1画 シーケンス、 4画シーケンス(4Kモニター 接続)	○	○	○
4画シーケンス(1080pモ ニター接続)	○	○	×
9画表示、16画表示、24 画表示、32画表示、 9画シーケンス、16画シー ケンス	○	×	×

登録カメラの圧縮方式がH.264/H.265の場合、全方位カメラの4ストリームモードやONVIF
適合カメラとの接続、RTSP URLアドレス接続など、ストリーム2 (H.264(2)やH.265(2))
を使用しない運用では、多画面でライブ表示できないことがあります。

メインモニター

【サブモニター表示無し、再エンコード配信無し】

画面分割	解像度			
	HVGAW(640×36 0)~0.4M(640× 640)	SVGA(800×600)~ FHD(1920×1080)	QXGA(2048×153 6)~4KUHD(3840 ×2160)	9M(2992×2992)

【サブモニター表示無し、再エンコード配信無し】(続き)

1画～2画表示、1画シーケンス	○	○	○	○
3画～4画表示、4画シーケンス(4Kモニター接続)	○	○ *1	○	○
5画～7画表示、4画シーケンス(1080pモニター接続)	○	○ *1	○ *2	×
9画～16画表示、9画シーケンス、16画シーケンス	○	○ *1	×	×
24画表示	○	×	×	×
32画表示	○ *2	×	×	×
64画表示	○ *3	×	×	×

【サブモニター表示有り】

画面分割	解像度			
	HVGAW(640×360)～0.4M(640×640)	SVGA(800×600)～FHD(1920×1080)	QXGA(2048×1536)～4KUHD(3840×2160)	9M(2992×2992)
1画表示	○	○	○	○
2画表示、1画シーケンス	○	○ *1	○	○
3画～4画表示、4画シーケンス(4Kモニター接続)	○	○ *1	○ *2	○ *2
5画～16画表示、4画シーケンス(1080pモニター接続)、9画シーケンス、16画シーケンス	○	×	×	×
24画～32画表示	○ *2	×	×	×

【再エンコード配信有り】

画面分割	解像度
------	-----

【再エンコード配信有り】(続き)

	HVGA(640×360)~0.4M(640×640)	SVGA(800×600)~FHD(1920×1080)	QXGA(2048×1536)~4KUHD(3840×2160)	9M(2992×2992)
1画表示	○	○	○	○
2画表示、1画シーケンス	○	○ *1	○	○
3画~4画表示、4画シーケンス(4Kモニター接続)	○	○ *1	○ *2	○ *2
5画~24画表示、4画シーケンス(1080pモニター接続)、9画シーケンス、16画シーケンス	○	×	×	×
32画表示	○ *2	×	×	×
64画表示	○ *3	×	×	×

*1 録画のフレームレート設定が30 ipsを超えていると、カメラに設定されているリフレッシュ間隔に従った表示になります。

*2 録画のフレームレート設定が15 ipsを超えていると、カメラに設定されているリフレッシュ間隔に従った表示になります。

*3 録画のフレームレート設定が10 ipsを超えていると、カメラに設定されているリフレッシュ間隔に従った表示になります。

サブモニター

画面分割	解像度		
	HVGA(640×360)~0.4M(640×640)	SVGA(800×600)~FHD(1920×1080)	QXGA(2048×1536)~9M(2992×2992)
1画表示	○	○	○
1画シーケンス	○	○ *1	○
4画表示、4画シーケンス(4Kモニター接続)	○	○ *1	○ *2
4画シーケンス(1080pモニター接続)	○	○	×

9画表示、16画表示、 9画シーケンス、16画シー ケンス	○	×	×
24画表示、32画表示	○ *2	×	×

*1 録画のフレームレート設定が30 ipsを超えていると、カメラに設定されているリフレッシュ間隔に従った表示になります。

*2 録画のフレームレート設定が15 ipsを超えていると、カメラに設定されているリフレッシュ間隔に従った表示になります。

操作画面表示と全画面表示を切り換える

カメラ画像を画面全体に表示します。

操作画面表示の全画面表示ボタン



全画面表示の操作画面表示ボタン



STEP1

操作画面で [全画面表示] ボタンをクリックします。

☞ **メインモニター (ライブ画像、再生画像、設定メニューを表示するモニターです)**

→カメラ画像が画面全体に表示されます。初期設定では1画面が表示されます。

STEP2

全画面表示から操作画面表示に戻すには、[操作画面表示] ボタンをクリックします。

→操作画面表示に戻ります。画像表示部はログインユーザーのスタートモニター設定に従います。スタートモニター設定が全画面の場合は、4分割画面になります。



[メモ]

- 再度、[全画面表示] ボタンをクリックすると、前回表示していた画面分割で表示します。

1画面で表示する

カメラ画像を1画面で表示します。

操作画面で表示中

STEP1

多画面で表示中は、画面分割の1画面ボタンをクリックします。

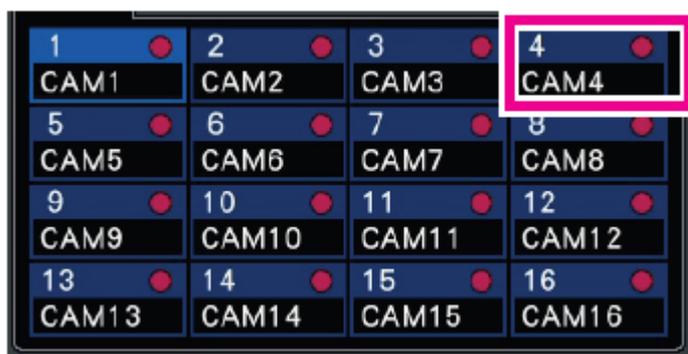
→画像表示部が1画面で表示されます。

STEP2

表示したいカメラ画像のカメラ番号パネルをクリックします。

→選択したカメラ番号の背景色が水色に変わり、ライブ画像が表示されます。

操作画面表示のカメラ番号パネル



表示したいカメラがカメラ番号パネルに表示されていない場合は、カメラ番号タブで選択してからSTEP2を実施してください。



[メモ]

- 画像表示部で選択中のカメラのカメラ番号パネルをダブルクリックして、1画面表示することもできます。
- 多画面表示の画像表示部でカメラ選択枠をダブルクリックして1画面表示することもできます。
- 表示中のカメラの音声が出力されます。([モニター] – [高度な設定]の「音声出力カメラ選択」で出力する音声を固定することもできます)
- 初期設定ではアスペクト比が16:9の画像は画像の上下に黒帯が表示されます。画像を縦方向に伸張して表示する設定については以下をお読みください。

👉 [メインモニターの設定を行う \[メインモニター\]](#)

全画面で表示中

STEP1

多画面で表示中は、画面分割の1画面ボタンをクリックします。

→画像表示部が1画面で表示されます。

STEP2

表示したいカメラ画像のカメラ番号パネルをドラッグして、ライブ画像上にドロップします。
→選択したカメラ番号の背景色が水色に変わり、ライブ画像が表示されます。

全画面表示のカメラ番号パネル



表示したいカメラがカメラ番号パネルに表示されていない場合は、カメラ番号切り換えボタンで切り換えてからSTEP2を実施してください。



[メモ]

- 画像表示部で右クリックして表示されるメニューでカメラを選択することもできます。
- 表示中のカメラの音声が出力されます。([モニター] – [高度な設定] の「音声出力カメラ選択」で出力する音声を固定することもできます)

多画面で表示する

カメラ画像を多画面分割して表示します。

操作画面で表示中

STEP1

画面分割ボタンのいずれかをクリックします。

→ライブ画像が多画面で表示されます。

操作画面表示の画面分割ボタン



- 4画面ボタン
選択中のカメラを含む4画面で表示します。ボタンをクリックするたびに、カメラ1～4→カメラ5～8→カメラ9～12→カメラ13～16のように、4画面ずつ切り換えて表示します。
- 9画面ボタン
選択中のカメラを含む9画面で表示します。ボタンをクリックするたびに、カメラ1～9→カメラ10～18→カメラ19～27のように9画面ずつ切り換えて表示します。

- 16画面ボタン
選択中のカメラを含む16画面で表示します。ボタンをクリックするたびに、カメラ1～16→カメラ17～32→カメラ33～48のように16画面ずつ切り換えて表示します。



[メモ]

- 多画面表示から1画面表示に切り換えた場合、画像表示部をダブルクリックすると、直前の多画面表示に戻すことができます。
- 4画面／9画面／16画面表示の状態でカメラ番号パネルをクリックして、表示する4画面／9画面／16画面を切り換えることもできます。(1～4表示中にカメラ5のパネルをクリックすると5～8が表示されます)
- 選択中のカメラの音声が出力されます。([モニター] – [高度な設定]の「音声出力カメラ選択」で出力する音声を固定することもできます)
- 初期設定ではアスペクト比が16:9の画像は画像の上下に黒帯が表示されます。画像を縦方向に伸張して表示する設定については以下をお読みください。
[メインモニターの設定を行う \[メインモニター\]](#)

全画面で表示中

STEP1

画面分割ボタンのいずれかをクリックします。
→ライブ画像が多画面で表示されます。

全画面表示の画面分割ボタン



[メモ]

- 多画面で表示するカメラは変更することができます。「1画面で表示する」の「全画面で表示中」に記載しているSTEP2をお読みください。
- シーケンスボタンをクリックすると、カメラの画像を自動的に切り換えて表示（ライブシーケンス表示）することができます。ライブシーケンス表示に関する設定は、[モニター] – [メインモニター]の「ライブシーケンス(全画面)」で行います。
- 画面左上のカメラの音声が出力されます。([モニター] – [高度な設定]の「音声出力カメラ選択」で出力する音声を固定することもできます)

デジタルズームを使用する

操作画面で1画面または4画面、全画面で1画面表示しているとき、デジタルズームを使って画像をズームします。

また、ズームした画像の表示領域を移動することができます。

操作画面で表示中



[メモ]

- 9画面／16画面表示時はデジタルズームを使用できません。
- 4画面表示中に使用するときには、対象とするカメラ画像を選択してから操作を行ってください。カメラの選択は、カメラ番号パネル、またはカメラ画像をクリックします。カメラが選択されると、カメラ画像の周囲に選択枠が表示されます。

STEP1

画像表示部が1画面または4画面で表示されていることを確認します。

(4画面表示時は、操作対象のカメラを選択します)

STEP2

デジタルズームボタン  をクリックします。

→画面中央を中心として×1, ×1.25, ×1.50, ×1.75,×2, ×2.5, ×3, ×3.5, ×4, ×5, ×6, ×7, ×8ズームで表示されます。

デジタルズームボタン



[メモ]

- ズーム表示中に画像をクリックすると、クリックした位置を画面の中央に移動できます。
- カメラコントロールパネル上の「カメラをマウスで操作する」にチェックが入っていない場合のみ、デジタルズームをマウスのホイール操作で行えます。その場合、マウスカーソル位置を中心としてズーム表示されます。
[👉カメラを操作する](#)

STEP3

デジタルズームボタン  をクリックすると、STEP2と逆方向の倍率でズームアウトします。



[メモ]

- 他カメラの選択、画面分割切り換えなどの操作を行うと、デジタルズームは自動的に解除されます。

全画面で表示中

STEP1

画像表示部が1画面で表示されていることを確認します。

STEP2

マウスのホイール操作を行います。

→マウスカーソル位置を中心として、1倍から2倍までは0.25倍ずつ、2倍から4倍までは0.5倍ずつ、4倍から8倍までは1倍ずつ、ズーム表示が切り換わります。

ズーム表示中に画像をクリックすると、クリックした位置を画面の中央に移動できます。



[メモ]

- ズーム表示中はカメラタイトル付近にズーム倍率が表示されます。カメラタイトルが表示されていない場合は、ズーム倍率も表示されません。カメラタイトルをメインモニターに表示するかどうかはモニターページの [メインモニター] タブで設定できます。

☞[モニターの設定を行う \[モニター\]](#)

- 他カメラの選択、画面分割切り換えなどの操作を行うと、デジタルズームは自動的に解除されます。

魚眼画像を補正する

操作画面の画像表示部に魚眼画像を1画面で表示中は、魚眼画像を補正して表示することができます。

魚眼画像の補正表示には以下の種類があります。

1画PTZ表示 / 4画PTZ表示

魚眼画像の一部を切り出し、1画または4画で補正表示します。

3Dデワープ

魚眼画像の補正に3D技術を応用し、1画で補正表示します。



[メモ]

- 全画面表示および多画面表示時は魚眼画像の補正表示は使用できません。
魚眼画像補正表示ボタンも表示されません。

STEP1

操作画面で、画像表示部が魚眼画像の1画面表示になっていることを確認します。

STEP2

1画PTZ表示 / 4画PTZ表示 / 3Dデワープボタンをクリックします。

→ 1画PTZ / 4画PTZ / 3Dデワープ で補正表示されます。それぞれ以下の画角の画像を表示します。

魚眼画像補正表示ボタン

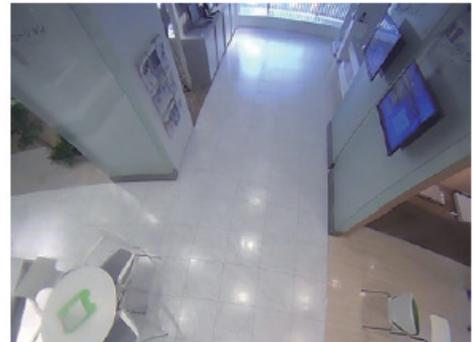


■ 1画PTZ表示

魚眼

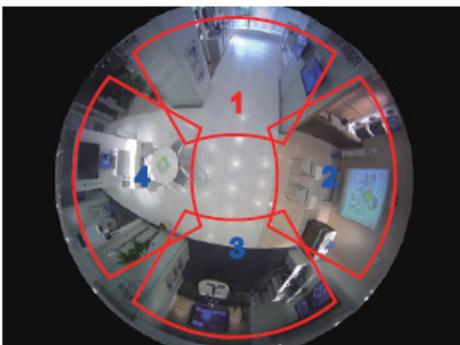


1画補正後

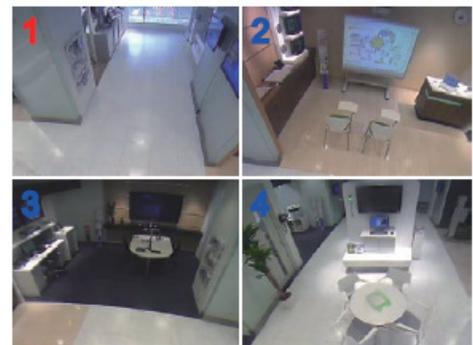


■ 4画PTZ表示

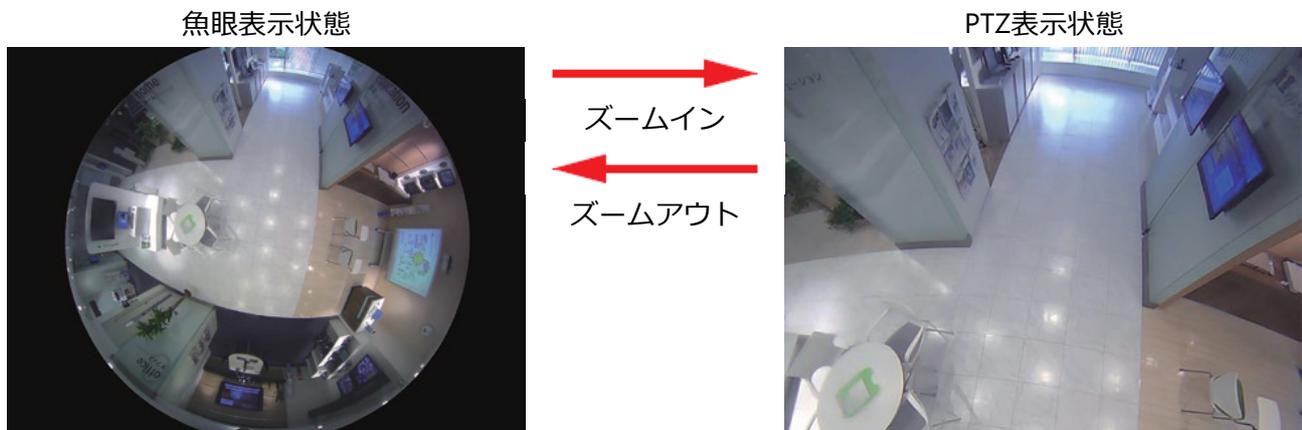
魚眼



4画補正後



■3Dデワーブ表示



それぞれの補正表示における操作方法は以下の通りです。

1画PTZ表示 / 4画PTZ表示

・表示位置の移動

補正表示中に画像上をクリックすると、その位置が表示の中心になるように表示位置が移動します。4画PTZ表示は、表示位置を移動させたい画像をクリックして選択してから、画像上をクリックします。

・ズーム

デジタルズームと同様に、マウスのホイール操作でズームを行います。

 [デジタルズームを使用する](#)



[メモ]

- クリックする位置によっては、表示する画像の中心とならない場合があります。
- 魚眼画像上でマウスの右ボタンをダブルクリックすると、カーソル位置を中心とした1画PTZで補正表示することもできます。
- 4画PTZで補正表示中に選択している画像上をダブルクリックして1画PTZの補正表示に切り換えることもできます（逆も可能です）。
- 高解像度、高フレームレートの画像は、元のフレームレートで補正表示できない場合があります。

3Dデワーブ表示

3Dデワーブ表示には、魚眼表示状態とPTZ表示状態があり、ズームイン/ズームアウト操作で状態を変えることができます。

・ズームイン

魚眼画像のズームインしたい位置にマウスカーソルをあわせ、マウスホイールを奥に

回転させます。

→マウスカーソル位置が表示画像の中心になるようにズームインします。ズームインするとPTZ表示状態になり、パン/チルト/ズーム操作が可能になります。

・ズームアウト

PTZ表示状態でマウスホイールを手前に回転させます。

→ズームアウトし続けると魚眼表示状態になります。

・パン/チルト

画像上の任意の位置にマウスカーソルをあわせ、ドラッグします。

→マウスをドラッグした方向に画像が移動します。

・ズーム

マウスホイールを奥に回転させると画像が拡大し、手前に回転させると画像が縮小します。



[メモ]

- カメラの撮像モードが「天井」または「卓上」に設定されていると、魚眼表示状態で、魚眼画像を回転させることができます。
- 魚眼表示状態で画像上をダブルクリックしてPTZ表示状態にズームインすることができます（逆も可能です）。
- 高解像度、高フレームレートの画像は、元のフレームレートで補正表示できない場合があります。

STEP3

魚眼表示ボタンをクリックすると、補正機能を解除します。



[メモ]

- 1画PTZ表示と4画PTZ表示の補正表示位置は、本機の電源を切っても記憶されます。本機の電源を入れた後に魚眼画像を1画で表示すると、電源を切る直前に表示していた補正表示位置で表示されます。
- 3Dデワープ表示は補正表示位置を記憶しません。
- 4画PTZで補正表示から補正機能を解除すると、分割線が画像上に一瞬残って表示されます。

カメラを操作する

回転機能付きカメラのライブ画像を1画面または4画面で表示しているとき、本機からカメラ操作を行うことができます。



[メモ]

- 接続されたカメラの機種によっては、カメラが操作できないか、一部動作しない機能があります。
- 操作は操作画面で行います。全画面表示をしている場合は、画面右下の [操作画面表示] ボタンをクリックして、操作画面を表示し、1画面または4画面表示にしてください。
- 固定カメラの場合は、カメラコントロールパネルのボタンなどが操作不可になります。

カメラコントロールパネル

画像表示部で選択状態（選択枠表示）のカメラを操作します。1画面表示時は、表示されているカメラが対象となります。4画面表示時は、操作パネルでカメラ番号パネルをクリックするか、または画像表示部でカメラ画像をクリックして選択してください。



コントロールボタン (①)

クリックした方向に、カメラの向きが移動（パン／チルト）します。ボタンを押し続けると動作を継続します。

ズームボタン

ズームを調整します。

ホームポジション [移動] ボタン

カメラの向きをホームポジションに移動します。

カメラをマウスで操作する

チェックを入れると、選択しているカメラの画像上マウスによるパン/チルト（クリック）、ズーム（マウスホイール）操作ができます。



[メモ]

●チェックを入れているときは、デジタルズームのマウスのホイール操作はできません。固定カメラでカメラコントロールパネルが操作できない場合は、チェックのあり/なしにかかわらずマウスのホイール操作でデジタルズームを行えます。

☞[デジタルズームを使用する](#)

[詳細] ボタン

詳細カメラコントロールパネルを表示し、さらに以下のカメラ操作を行うことができます。



●フォーカスボタン

カメラの焦点を調整します。

●明るさボタン

レンズの絞りを調整します。

●自動モード

カメラに設定された自動モード機能を動作させます。

●プリセット

カメラの向きをプリセットポジションに登録します。また、登録したプリセットポジショ

ンにカメラの向きを移動します。

詳細コントロールパネルの右上にあるボタンでページを2/2に切り換えると、さらに以下のカメラ操作を行うことができます。



●AUXボタン

カメラのAUX端子に接続された機器をオープン状態/クローズ状態にします。

対象機器がカメラの場合は、AUX1,2,3のどれを選択してもカメラのAUX1を操作します。

対象機器がエンコーダー（GXE500/GXE100）の場合は、エンコーダーにつながるアナログカメラまたはレシーバー（WV-RC150）のAUX1またはAUX2を操作します。AUX3はGXE500のAUX出力端子（1系統のみ）を操作します。

●ワイパーボタン

WV-SUD638のウォッシャー/ワイパーを操作します。

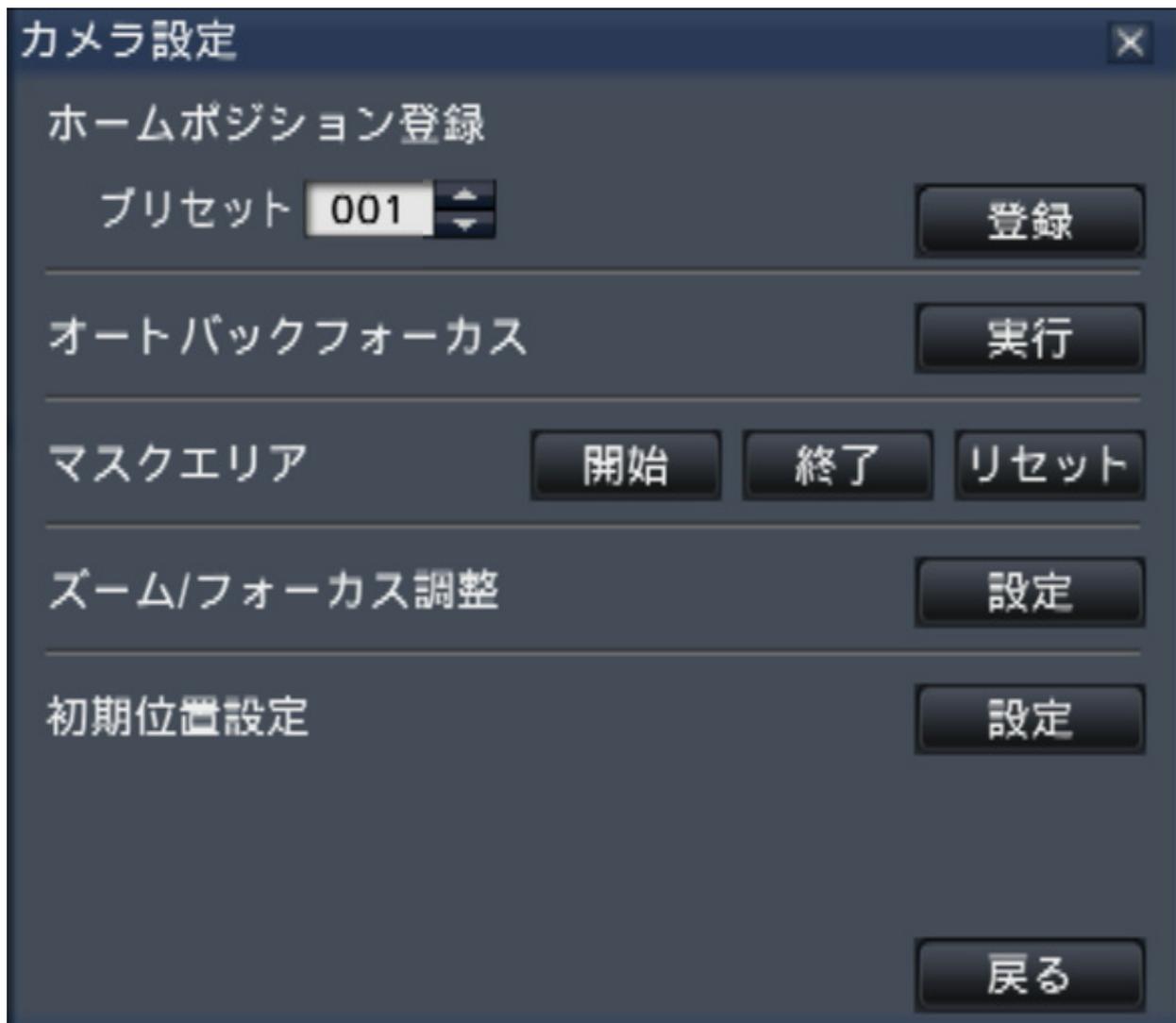
●雨滴除去アシストボタン

雨滴除去アシストを操作します。

● [設定] ボタン

カメラ設定画面を表示し、ホームポジションの登録、オートバックフォーカスなどを実行します。

👉 [カメラを操作する](#)



● [戻る] ボタン

詳細カメラコントロールパネルを閉じて、カメラコントロールパネルに戻ります。



[メモ]

全画面表示時および9画／16画表示時はカメラを操作することができません。

カメラ操作は以下のとおりです。各機能の詳細は、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。



[メモ]

●4画面表示の場合は、操作するカメラを選択します。

機能	機能説明	操作
パン/チルト	カメラ画像の水平/垂直位置を調整します。	カメラコントロールパネルのコントロールボタンをクリックします。また、「カメラをマウスで操作する」にチェックを入れると、カメラ画像内で画角の中心としたい位置をクリックしたとき、クリックした位置が中心となるようにカメラの向きが移動します。
ズーム	カメラレンズのズームを操作し、カメラ画像を拡大/縮小表示します。	カメラコントロールパネルの [-] ボタンまたは [+] ボタンをクリックします。[x1] ボタンをクリックすると、ズームの倍率は1倍に戻ります。また、「カメラをマウスで操作する」にチェックを入れると、カメラ画面内でマウスホイールを操作してズームを調整できます。 メモ マウスのドラッグ操作で表示したい範囲を選択すると、選択したエリアを中心とする位置にカメラの向きが移動し、ズーム倍率が自動的に調整されます。
ホームポジション移動	あらかじめ登録されたホームポジションにカメラの向きを移動します。	カメラコントロールパネルのホームポジションの [移動] ボタンをクリックします。 メモ ホームポジションは事前に登録しておいてください。
フォーカス	カメラ画像の焦点を調整します。	詳細カメラコントロールパネルのフォーカスの [近] ボタンまたは [遠] ボタンをクリックします。[オート] ボタンをクリックすると、焦点を自動調整します。
明るさ	レンズの絞りを調整します。	詳細カメラコントロールパネルの明るさの [暗 (-)] ボタンまたは [明 (+)] ボタンをクリックします。[標準] ボタンをクリックすると、明るさの設定を標準に戻します。

機能	機能説明	操作
自動モード	カメラに設定された自動モード機能を動作させます。	<p>詳細カメラコントロールパネルの自動モードの [▼] ボタンをクリックして、以下のカメラの自動モードを選択します。</p> <p>[開始] ボタンをクリックすると、カメラの自動モードが開始します。[終了] ボタンをクリックすると、自動モードが終了します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自動追従/追尾：カメラが画面上の動く物体を自動で追いかけます。 ●オートパン：カメラであらかじめ設定したパンのスタート位置とエンドの位置の範囲を自動的に旋回します。 ●プリセットシーケンス：カメラであらかじめ登録してあるプリセットポジションをプリセット番号の小さい方から順番に移動します。 ●パトロール：カメラであらかじめ記録した手動操作を実行します。 <p>メモ カメラの自動モードは、あらかじめカメラのメニューで設定してからご使用ください。</p>
プリセット登録	現在のカメラの向きを選択したプリセットポジションに登録します。	<p>詳細カメラコントロールパネルでカメラのパン/チルト操作を行い、カメラを登録したい向きへ移動します。「プリセット」の [▲] / [▼] ボタンをクリックして、登録したいプリセット番号 (1 ~ 256) を選択します。[登録] ボタンをクリックし、確認画面で [OK] ボタンをクリックします。メモ接続されたカメラの機種によっては登録できないプリセット番号があります。</p>
プリセット移動	プリセット登録で設定されたプリセットポジションにカメラの向きを移動します。	<p>詳細カメラコントロールパネルで「プリセット」の [▲] / [▼] ボタンをクリックして、プリセット番号 (0 ~ 256) を選択し、[移動] ボタンをクリックします。</p> <p>メモ プリセット番号 0 を選択すると、ホームポジションに移動します。</p>
AUX操作	カメラの AUX 端子に接続された機器をオープン状態/クローズ状態にします。	<p>詳細カメラコントロールパネルの画面右上のページ切り換えボタンをクリックし、パネルを 2/2 に切り換えます。</p> <p>プルダウンから AUX の端子番号を選択してから [Open] / [Close] ボタンをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [Open] ボタンをクリックすると、カメラのAUX端子がオープン状態になります。 ● [Close] ボタンをクリックすると、カメラのAUX端子がクローズ状態になります。 <p>メモ AUX の端子番号選択は WJ-GXE500 のみ有効です。WJ-GXE500 以外のカメラに対しては、オープン/クローズ操作のみ可能です。</p>

機能	機能説明	操作
ワイパー操作	ウォッシャー／ワイパーを操作します。	<p>詳細カメラコントロールパネルの画面右上のページ切り換えボタンをクリックし、パネルを 2/2 に切り換えます。</p> <p>プルダウンからワイパーの操作を選択し、[開始] または [終了] ボタンをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高速：連続でふき取り動作を行います。(4秒に1回) ● 低速：連続でふき取り動作を行います。(8秒に1回) ● 一時制御：高速 (4秒に1回) のふき取り動作を5回行います。 ● ウォッシャー：規定のウォッシャー／ワイパー動作を行います。 <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ウォッシャー動作中は以下の操作ができません。 <ul style="list-style-type: none"> ・「ワイパー」の [開始] 操作と [終了] 操作 ・パン・チルト・ズーム・フォーカスの制御 ・「自動モード」の [開始] 操作 ・「プリセット」の [移動] 操作 ● カメラ側にウォッシャー動作設定が必要です。詳しくは、WV-SUD638の取扱説明書をお読みください。
雨滴除去アシスト	雨滴除去アシスト機能を動作させます。	<p>詳細カメラコントロールパネルの画面右上のページ切り換えボタンをクリックし、パネルを 2/2 に切り換えます。</p> <p>雨滴除去アシストの [開始] ボタンをクリックします。</p>
ホームポジション登録	あらかじめ登録されたプリセットポジションから、ホームポジションを設定します。	<p>詳細カメラコントロールパネルで、プリセット登録を行い、[設定] ボタンをクリックします。</p> <p>表示されたカメラ設定画面で「プリセット」の [▲] / [▼] ボタンをクリックして、ホームポジションとして登録するプリセット番号 (1 ~ 256) を選択します。</p> <p>[登録] ボタンをクリックし、確認画面で [OK] ボタンをクリックします。</p> <p>[戻る] ボタンをクリックすると、詳細カメラコントロールパネルに戻ります。</p>
オートバックフォーカス実行	カメラのオートバックフォーカスが働き、画面の中心領域の被写体に自動でバックフォーカスを調整します。	<p>詳細カメラコントロールパネルの [設定] ボタンをクリックします。</p> <p>表示されたカメラ設定画面の [オートバックフォーカス] で、[実行] ボタンをクリックします。[戻る] ボタンをクリックすると、詳細カメラコントロールパネルに戻ります。</p>

機能	機能説明	操作
マスクエリア設定	カメラのマスクエリアを設定します。	詳細カメラコントロールパネルの [設定] ボタンをクリックします。表示されたカメラ設定画面の [マスクエリア] で、[開始] ボタンをクリックすると、映像表示部に格子状の境界線が表示され、マスクエリア設定されているマスは白色半透明になります。映像表示部のマスをクリックし、そのマスのマスク設定の On / Off を切り換えます。[終了] ボタンをクリックするとマスクエリア設定が終了し、格子状の境界線が消去されます。[戻る] ボタンをクリックすると、詳細カメラコントロールパネルに戻ります。 メモ [リセット] ボタンをクリックすると、すべてのマスク設定をクリアします。
ズーム / フォーカス調整	カメラのズームやフォーカスを調整します。	詳細カメラコントロールパネルの [設定] ボタンをクリックします。表示されたカメラ設定画面の [ズーム / フォーカス調整] で、[設定] ボタンをクリックします。表示されたズーム / フォーカス調整画面で [-] [x1] [+] ボタンをクリックしてズームを調整します。また [近] [リセット] [遠] ボタンをクリックしてフォーカスを調整します。 [戻る] ボタンをクリックすると、カメラ設定画面に戻ります。
初期位置設定	全方位カメラの傾き、上下の角度調整、画像切り出し位置の左右調整を行います。	詳細カメラコントロールパネルの [設定] ボタンをクリックします。表示されたカメラ設定画面の [初期位置設定] で、[設定] ボタンをクリックします。表示された初期位置設定画面で各種ボタンや画像上を直接クリックして位置を調整します。[設定保存] ボタンをクリックすると、調整した画像位置をカメラに保存されます。[戻る] ボタンをクリックすると、カメラ設定画面に戻ります。

イベント機能

イベント機能について

本機は以下のイベントが発生すると、設定に従いイベント動作を行います。

- 端子アラーム：ドアセンサーなどの外部機器から本機後面のアラーム入力端子へ信号が入力される
- カメラサイトアラーム：カメラで検出したアラーム（カメラ端子アラームなど）
- コマンドアラーム：ネットワークを経由してPCなどから入力したアラーム

イベント発生時の動作

イベントが発生し本機がイベントを認識すると、設定されている動作モードに従ってイベント動作を行います。

動作モードについて

本機では、イベント発生時の動作は以下の動作モードのいずれかになります。動作モードは設定メニューで設定します。

👉 [録画やイベントに関する設定を行う](#) [録画・イベント]

録画+アラーム動作：すべてのイベント動作を設定に従って行います。(下表のA)

録画のみ：録画とアラーム履歴の記録、カメラのプリセット移動のみを行います。(下表のB)

Off：アラーム履歴の記録のみを行います。(下表のC)

設定している動作モードによって、イベント発生時の動作は異なります。詳しくはシステムの管理者へご確認ください。

イベント動作			A	B	C
録画	イベント録画を開始する ※4	設定メニューの録画時間設定に従って録画を開始します。	●	●	×
	プレ録画を確定する	イベントが発生した時間よりも前のカメラ画像を、発生したイベントと関連づけてHDDに保存します。	●	●	×
アラーム動作	カメラの向きをプリセットポジションに移動する	あらかじめ登録したプリセットポジションへカメラの向きを移動させます。	●	●	×
	アラームランプを点滅する	本機前面のアラームランプを点滅させます。	○	×	×
	ブザーを鳴らす	設定メニューで設定した時間でブザーを鳴らします。	●	×	×
	アラーム信号を出力する	本機後面のアラーム/コントロール端子から信号を送出します。	●	×	×
	メインモニター上にイベント情報を表示する※3	イベント種別と端子/カメラ番号を状態表示パネルに表示します。同時にアラームボタンを赤くします。	○	×	×
	ウェブブラウザ上にアラームアイコンを表示する	ウェブブラウザのイベント・エラー表示部にアラームアイコンを表示します。	○	○	×
	ウェブブラウザ上にアラームメッセージを表示する※3	イベント発生を通知する画面をウェブブラウザ上に表示します。※アラームメッセージは、後から表示されたものが優先です。画面は、[×] ボタンをクリックして閉じます。	●	×	×
	アラーム履歴を記録する ※2, ※3	イベントが発生した日時とイベント情報を履歴に記録します。	●	●	●

イベント動作					
イベント発生をメールで通知する	イベントの発生と日時を知らせる電子メール（アラームメール）を、登録したメールアドレス（最大4件）に送信します。	●	×	×	
独自のプロトコル設定に従ってPCにアラームを通知する	イベント発生時、「独自アラーム」の設定に従って、発生したイベントをPCに通知します。 ☞ アラームの独自通知設定を行う【独自アラーム】	●	×	×	
HTTPアラーム設定に従ってPCにアラームを通知する	イベント発生時、「HTTPアラーム」の設定に従って、発生したイベントをPCに通知します。 ☞ HTTPアラーム通知設定を行う【HTTPアラーム】	●	×	×	
アラーム発生時に1画で表示する	アラーム番号に割り当てられている録画カメラを1画面で表示する	●	×	×	

- ※1 ○：設定にかかわらず動作する、●：設定に従い動作する、×：動作しない
- ※2 カメラの「アラームエリア情報付加」設定を「On」にしたときは、i-VMD種別情報がアラーム履歴に表示されます。詳細は、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。
- ※3 機能拡張ソフトウェアアラームは名称が表示されます。設定していないメッセージIDで通知されたアラームは、「未定義のアラーム」と表示されます。
☞ [録画やイベントに関する設定を行う【録画・イベント】](#)
- ※4 設定していないメッセージIDで通知された機能拡張ソフトウェアアラームは、カメラサイトアラームとして録画されます。
☞ [録画やイベントに関する設定を行う【録画・イベント】](#)

ブザーを停止する

アラーム発生、エラー発生により、ブザーが鳴動した場合、本機前面パネルからブザーのみ停止することができます。

STEP1

ブザーストップボタンを押します。

→ブザーが鳴り止みます。



[メモ]

- アラーム動作の解除操作、エラー動作の解除操作でも、ブザーを止めることができます。ブザーストップボタンでは、他のアラーム動作は解除されません。

☞ [アラーム動作を解除する](#)

アラーム動作を解除する

イベントが入力されると、本機は設定に従ってアラーム動作を開始します。メインモニターの状態表示パネルには、発生したアラームの情報が表示されます。

☞ **メインモニター**（ライブ画像、再生画像、設定メニューを表示するモニターです）

アラーム動作を解除するには状態表示パネルのアラームボタンをクリックし、表示されたアラーム復帰ボタンをクリックします。

設定メニュー [基本設定] の [録画・イベント] - [イベント設定] タブの「自動復帰時間」が「Ext.」以外に設定されているときは、アラーム復帰ボタンをクリックしてアラーム動作を解除しない場合でも、以下の動作は自動的に行われます。

- 前面パネルのアラームランプが点滅から点灯に変わる
- メインモニターのアラーム状態表示が消える
- ブザー鳴動が終了する、アラーム出力を停止する

STEP1

メインモニターに表示されるアラームボタンをクリックして、表示されたアラーム復帰ボタンをクリックします。



→アラーム動作が解除され、アラームランプが消灯します。



[メモ]

- アラーム動作を解除すると、イベント録画が停止し、アラーム動作前の状態に戻ります。

エラー動作を解除する

本機にエラー（障害）が発生すると、本機はエラー動作（エラーが発生していることを知らせる一連の動作）を行います。メインモニターの状態表示パネルには、発生したエラー情報が表示されます。

☞ **メインモニター**（ライブ画像、再生画像、設定メニューを表示するモニターです）

エラー動作を解除するには、状態表示パネルのエラーボタンをクリックして、表示されたエラー復帰ボタンをクリックします。



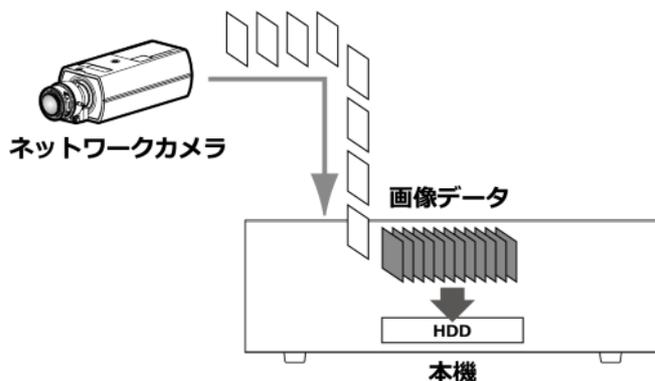
[メモ]

- エラーが発生したら、エラー履歴表示パネルに表示された対処方法に従い、対策を行ってください。本機前面のエラーランプは、エラーの原因が解消されると消灯します。
 - ☞[履歴から選択して再生する（履歴サーチ）](#)
- エラーの原因が自動的に解消された場合は、以下の動作が自動的に行われます。
 - ・前面パネルのエラーランプが点滅から点灯に変わる
 - ・メインモニターのエラー状態表示が消える
 - ・ブザー鳴動が終了する、エラー出力を停止する
- エラー復帰ボタンをクリックすると、エラーボタンおよびエラーランプが消灯します。

録画

録画する

カメラ画像を本機に録画します。



録画する（スケジュール録画）

あらかじめ設定したスケジュールによって、録画の開始と停止を自動的に行います。スケジュール録画の設定は、以下をお読みください。

☞[録画やイベントに関する設定を行う【録画・イベント】](#)



[メモ]

- スケジュール録画中に、アラーム発生によるイベント録画を開始した場合、イベント録画が優先されます。録画モードの優先度については、以下の「録画モードと優先度」をお読みください。
- スケジュール録画を停止する場合は、設定メニューの録画停止の操作を行います。詳しくは以下をお読みください。
☞[録画やイベントに関する設定を行う \[録画・イベント\]](#)
- ネットワークに異常があり、通信できていないカメラの画像は録画されません。ネットワーク通信が復旧すると、録画を開始します。カメラと通信できない状態が、約40秒以内で復旧した場合は、エラー履歴に記録が残らない場合があります。
- スケジュール録画は毎正時、自動的にレコード分割されます。その際、約1秒間録画が途切れることがあります。

録画モードと優先度

本機には4種類の録画モードがあります。録画モードとその優先度は次のとおりです。

複数の録画モードで同時に録画が始まった場合、優先度の高い録画モードで録画されます。

録画モード	優先度
緊急録画	1
イベント録画	2
スケジュール録画	3
プレ録画	4

録音

録音は録画と同時に行います。カメラごとに録音をするかどうか設定できます。詳しくは、以下をお読みください。

☞[録画やイベントに関する設定を行う \[録画・イベント\]](#)



[メモ]

- 録音は録画と同時に行います。音声のみを録音することはできません。

緊急録画

緊急事態が発生したときに、本機後面の「アラーム/コントロール端子」の「緊急録画入力」端子に接続されたスイッチなどを使用して、録画を手動で行います。例えば、店舗の

受付窓口にスイッチを設置し、不審者が現れたときにスイッチを押して緊急録画を行う運用ができます。



[重要]

- 緊急録画は接続しているすべてのカメラの録画を行います。

STEP1

「緊急録画入力」端子に接続されたスイッチを押します。

→ 緊急録画が開始されます。

STEP2

設定した緊急録画の録画時間が過ぎると、自動的に録画を終了します。

緊急録画の録画時間は、設定メニュー [録画・イベント] - [高度な設定] タブの「緊急録画」の「録画時間」で設定します。

 [録画やイベントに関する設定を行う \[録画・イベント\]](#)



[メモ]

- 緊急録画は最も優先度の高い録画モードです。他の録画モードで録画が行われている場合でも、緊急録画が行われます。
- 「緊急録画」の「録画時間」設定が「Ext.」の場合、録画を停止するには [アラーム復帰] ボタンを押してください。

 [録画やイベントに関する設定を行う \[録画・イベント\]](#)

再生

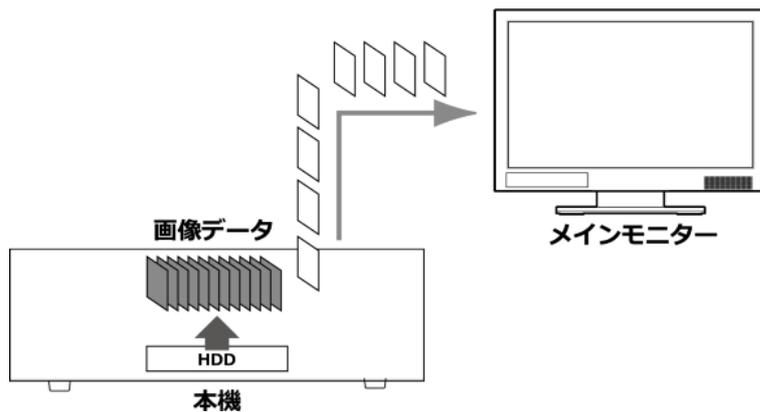
再生する

本機のHDDに録画したカメラ画像をメインモニターに表示します。

再生操作は録画中も行えます。カメラ画像の再生は、操作画面表示または全画面表示から行います。

具体的な再生方法については、以下をお読みください。

 [頭出し再生する](#)



[メモ]

- 操作画面表示では、1画面と4画面で再生できます。
- 全画面表示では、1画面～4画面で再生できます。
- 操作画面の1画面表示中は、表示している画像の音声、多画面で表示中は、選択中のカメラの音声が出力されます。
- 全画面で表示しているときは、画面左上のカメラの音声が出力されます。
- 早送り／早戻し再生中は、音声は出力されません。
- 再生中にカメラ番号（1～n）をクリックすると、カメラを変更できます。
- 再生中も画面分割ボタン、デジタルズーム、ミュートボタンなどの操作は有効です。詳しくは、以下をお読みください。
 - ☞ [カメラのライブ画像を見る](#)
- 解像度やフレームレート設定の違いにより、多画面表示の各再生画像のデータサイズの差が大きいと、同期して再生できないことがあります。その場合は、再生を一時停止し、再度再生してください。
 - ☞ [再生操作パネルについて](#)
- 操作画面表示の再生は、初期設定ではアスペクト比が16:9の画像は画像の上下に黒帯が表示されます。画像を縦方向に伸張して表示する設定については以下をお読みください。
 - ☞ [メインモニターの設定を行う \[メインモニター\]](#)
- 全画面表示の再生では、アスペクト比が16:9の画像を画面に合わせて表示します。
- 4K対応モニターを使用する場合は、使用時の制約事項もお読みください。
 - ☞ [使用時の制約事項](#)

以下の値を超えたフレームレートで録画された画像を各多画面で表示すると、録画時のリフレッシュ間隔に従って再生します。

【サブモニター表示無し、再エンコード配信無し】

多画面表示	解像度
	HD(1280×720) FHD(1920×1080)
1画、2画表示	(該当無し)
3画、4画表示	30 ips

【サブモニター表示または再エンコード配信有り】

多画面表示	HD(1280×720) FHD(1920×1080)	QXGA(2048×1536)～ 4KUHD(3840×2160)
1画表示	(該当無し)	(該当無し)
2画表示	30 ips	(該当無し)
3画、4画表示	30 ips	15 ips

【サブモニター表示と再エンコード配信有り】

多画面表示	HD(1280×720) FHD(1920×1080)	QXGA(2048×1536)	WQHD(2560×1440)～ 9M(2992×2992)
1画表示	(該当無し)	(該当無し)	(該当無し)
2画表示	30 ips	15 ips	15 ips
3画、4画表示	30 ips	15 ips	5 ips

再生操作パネルについて

再生中は、再生操作パネルに操作用のボタンが表示されます。ここで再生操作を行うほか、再生状態が表示されます。

通常状態（ライブ画表示中）



再生画像表示中



再生一時停止中



全画面再生状態（再生画像表示中）



全画面再生状態（再生一時停止中）



全画面再生状態（最小化モード、再生画像表示中）

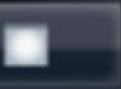


全画面再生状態（最小化モード、再生一時停止中）

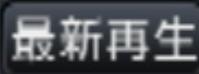


最小化モードにするには、全画面再生状態で、再生操作パネルの最小化ボタン  をクリックします。

再生操作は、以下のとおりです。

機能	表示例	操作
再生ボタン		録画画像を再生します。 一時停止中にクリックすると、一時停止を解除します。 早送り中、早戻し中にクリックすると、通常の再生速度に戻ります。
停止ボタン		再生中、一時停止中にクリックすると、再生を停止し、ライブ画像が表示されます。
一時停止ボタン		再生中にクリックすると、再生を一時停止します。 再生一時停止中にクリックすると、一時停止を解除します。

機能	表示例	操作
スナップショットボタン		再生一時停止中画像をUSBメディアに保存します。※ 1画面表示で再生一時停止中のみクリックできます。 クリックすると保存が行われます。保存が完了してからUSBメディアを取り出してください。 スナップショットの画像サイズは録画時の解像度ではなく、再生時の解像度になります。
コマ送り/逆コマ送りボタン		一時停止中にコマ送りボタンをクリックすると、1つコマを進めて、一時停止します。 一時停止中に逆コマ送りボタンをクリックすると、1つコマを戻して、一時停止します。 [メモ] ●再生画像がH.264/H.265画像の場合、録画されている画像すべては表示されません。カメラに設定されているリフレッシュ周期の画像で逆コマ送りされます。
早送り/早戻しボタン		再生中に早送りボタンをクリックするたびに、再生速度がx2 (約2倍)、x4 (約4倍)、x8 (約8倍)、x16 (約16倍)、x32 (約32倍)、x48 (約48倍) と切り換わります。 再生中に早戻しボタンをクリックするたびに、逆再生速度が等倍逆再生 (約1倍)、x2 (約2倍)、x4 (約4倍)、x8 (約8倍)、x16 (約16倍)、x32 (約32倍)、x48 (約48倍) と切り換わります。 再生状態表示には、再生倍率が表示されます。 [メモ] ●再生画像がH.264/H.265画像の場合、録画されている画像すべては表示されません。1画面表示のx2の早送り以外は、カメラに設定されているリフレッシュ周期の画像で早送り/早戻しされます。
スキップ/逆スキップボタン		スキップボタンをクリックすると、次の時刻の録画画像を再生します。 逆スキップボタンをクリックすると、1つ前の時刻の録画画像を再生します。 スキップ先が存在しない場合は再生を続けます。

機能	表示例	操作
最新再生ボタン		録画された画像のうち、最新の録画日時の画像の約30秒前から再生を開始します。
再生状態表示		再生状態、一時停止状態などを表示します。早送り／早戻し中は、再生倍率を表示します。
全画面表示ボタン／操作画面表示ボタン		再生中にクリックすると、再生を停止し、全画面／操作画面でライブ画像を表示します。
再生操作パネル表示切り換えボタン（全画面再生中）		再生操作パネル表示中は再生操作パネルを非表示にします。もう一度クリックすると、元の表示に戻します。 ライブ画像表示中にクリックすると再生を開始して、再生操作パネルを表示します。

スナップショットについて

スナップショットボタンをクリックしてUSBメディアに保存したスナップショット画像は本機では表示できません。

PCで見る場合、データ形式と保存先は以下のとおりです。

記録画像ファイル形式：JPEG（DCF準拠、Exif 2.21準拠）／DPOF対応

保存先：USBストレージ DCIM¥100_DATA¥P1000001.jpg、P1000002.jpg、…

※フォルダーは、100_DATA～999_DATAまで作成されます。フォルダー内にP1000999.jpgが保存されていると新しい番号のフォルダーが作成されます。

頭出し再生する

見たい録画画像の日時を指定したり、最新日時の録画画像を指定したりして再生します。

日時を指定して再生する

日時操作パネルで、見たい録画画像の日時を指定して再生します。

日時操作パネル（通常表示）



STEP1

「再生時刻」の [▲] / [▼] ボタンをクリックして、再生したい時刻に設定します。

STEP2

カレンダーで、再生したい日付がある月を選択します。[<<年] / [年>>] ボタンで年を、[<月] / [月>] ボタンで月を切り換えることができます。



[メモ]

- 今日の日付は、青色で表示されています。
- HDDに録画画像がある日付は、白色で表示されます。

STEP3

カレンダーで、再生したい日付をクリックします。

→選択された日付の背景が緑色になり、指定した日付と再生時刻で再生が開始します。

また、日時操作パネルが再生中表示に切り換わり、日時操作パネルの下部に再生操作パネルが表示されます。

[👉タイムラインから指定して再生する](#)

[👉再生操作パネルについて](#)



[メモ]

- カレンダー上で日付を変更しない場合は、再生ボタン  をクリックします。

STEP4

再生を停止してライブ画像に戻るには、[現在時刻] ボタン、または再生操作パネルの停止ボタンをクリックします。

→再生が停止し、ライブ画像を表示します。



[メモ]

- 以下の操作でも、再生を停止しライブ画像を表示できます。
 - ・日時操作パネル（再生中表示）の [×] ボタンをクリックしたとき
 - ・再生メディアを変更したとき
- 指定した日時に録画画像が無いときは、次のような動作になります。
 - ・指定日時以降に録画画像がある場合、指定日時以降のもっとも古い画像から再生します。
 - ・指定日時以降に録画画像がない場合、指定日時以前のもっとも新しい画像から再生します。

最新の録画画像を再生する

録画された画像のうち、最新の録画日時の画像の約30秒前から再生を開始します。

日時操作パネル（通常表示）



操作パネル（全画面表示）



STEP1

[最新再生] ボタンをクリックします。

→最新の録画画像の再生が開始します。日時操作パネルが再生中表示に切り換わります。
また、日時操作パネルの下部に、再生操作パネルが表示されます。

👉 [タイムラインから指定して再生する](#)

👉 [再生操作パネルについて](#)

STEP2

再生を停止してライブ画像に戻るには、[現在時刻] ボタン、または再生操作パネルの停止ボタンをクリックします。

→再生が停止し、ライブ画像を表示します。



[メモ]

- 以下の操作でも、再生を停止しライブ画像を表示できます。
 - ・日時操作パネル（再生中表示）の [×] ボタンをクリックしたとき
 - ・再生メディアを変更したとき
- 4画面表示時に [最新再生] ボタンをクリックすると、タイミングによっ

ては再生画像が表示されないことがあります。その場合は、再度 [最新再生] ボタンをクリックしてください。

- 全画面表示でライブシーケンス表示中は再生を開始することができません。ライブシーケンス表示以外の画面に切り換えてから [最新再生] ボタンをクリックしてください。

タイムラインから指定して再生する

再生を開始すると、日時操作パネルが再生中表示に切り換わります。

ここでは、タイムライン表示を目安に、再生スライダーを操作して再生時刻を指定し再生する方法について説明します。

日時操作パネル（再生中表示）



再生中表示では、録画の有無と種別をタイムライン (③) で表示します。タイムラインに表示する録画の種類やタイムラインのスケールを変更して、再生する録画画像を指定することができます。タイムライン上にマウスカursorを合わせると、カursorがあたっているカメラのサムネイルが表示されます。

【録画種別】

チェックを入れた録画種別をタイムラインに表示します。再生中に変更すると、再生を一

時停止し、再度検索を実行します。

スケジュール：スケジュール録画をピンク色で表示

イベント：イベント録画を赤色で表示

【情報表示】

チェックを入れると、タイムラインに動作検知（画像内に動きのあった個所）で録画された時間帯を青色で表示します（再生は一時停止します）。

録画のない時間帯は、黒色で表示されます。



【メモ】

- 動作検知の情報表示を行うには、動作検知情報付加機能に対応したカメラが必要です。本機能については、カメラの取扱説明書をお読みください。

【時短再生する】

この項目は、時短再生を有効にする設定がされていると表示されます。チェックを入れると、再生時の録画画像に動きがない間は自動で最大4倍速で再生します。通常の再生をしたい場合は、チェックを外します。再生を開始するたびにチェックが入った状態になります。

👉 [メインモニターの設定を行う](#) [【メインモニター】](#)



【メモ】

- 時短再生を行うには、動作検知情報付加機能に対応したカメラが必要です。本機能については、カメラの取扱説明書をお読みください。
（動作検知情報付加設定がOffになっていたり、動作検知情報付加設定に対応していない弊社およびパナソニック製カメラで録画した場合は、動きの有り無しに関わらず、高速再生になります。）
- 時短再生は1画面～4画面の等倍再生時のみ機能します。
- 時短再生の高速再生中は  が表示されます。このとき、音声は出力されません。
- 現在時刻に近い日時を再生中は、高速再生になりません。
- 録画画像の解像度やフレームレートが高いと高速再生にならない場合があります。また、多画面再生時は各録画画像の解像度やフレームレートの設定値によって、それぞれの画像の進み方が一律にならない場合があります。

【詳細設定】 ボタン

詳細設定パネルが表示され、タイムラインに表示するイベントの種別などを変更できます。再生は一時停止します。

【スケール切換】 ボタン (①)

タイムラインを一覧表示する時間を2h (2時間) / 8h (8時間) / 24h (24時間) から選択します。

【表示範囲切換】 ボタン (②)

スケール切換ボタンの設定に従い、タイムラインの表示範囲を切り換えます。

【再生スライダー】 (⑥)

再生中の時刻を表しています。タイムライン上で再生したい時刻にドラッグ&ドロップすると、その時刻から再生を開始します。



【メモ】

- 再生スライダーは、ドロップした位置にすぐに移動しないことがあります。

【ジャンプ間隔】 (⑤) / 【ジャンプ】 ボタン (④)

一定の間隔で再生時刻をジャンプして再生します。[<] / [>] ボタンをクリックすると、【ジャンプ間隔】で設定した時間に従い、再生時刻をジャンプして再生します。

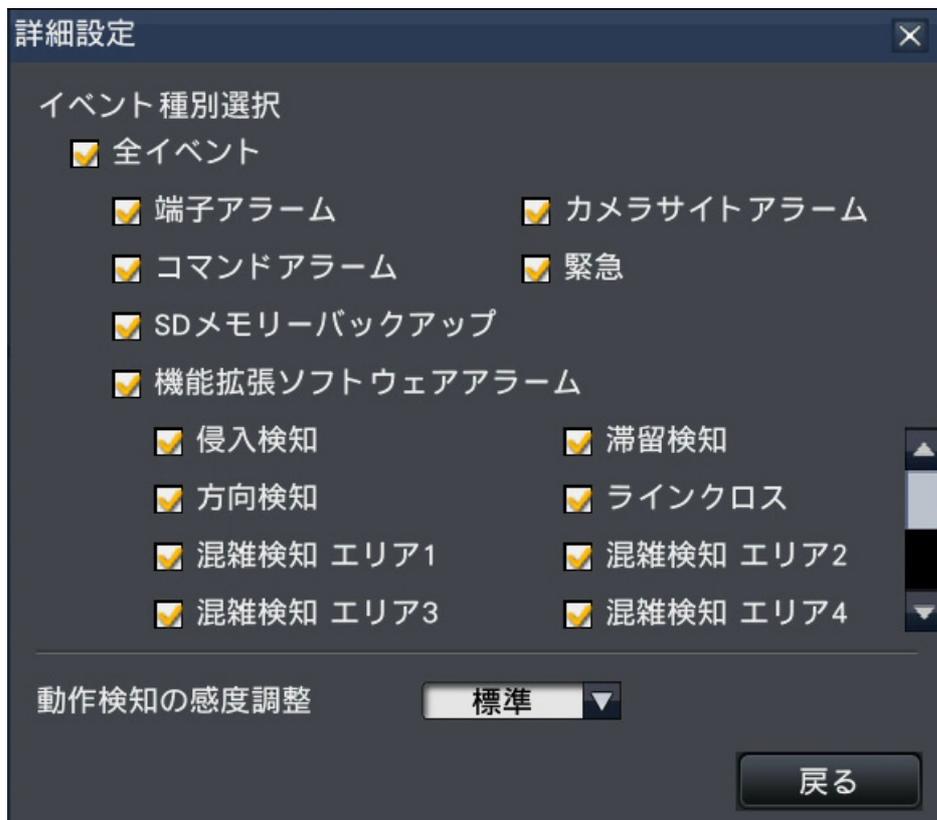
設定範囲 : 10秒 / 15秒 / 30秒 / 60秒 / 180秒 / 300秒

【再生画像の音声を出力する】

この項目は、音声を出力するカメラを固定する設定の場合に表示されます。チェックを入れる则表示している画像の音声を出力します。

👉 [モニターに関するその他の設定を行う](#) [高度な設定]

タイムラインに表示するイベントなどを変更する [詳細設定]



【イベント種別選択】

タイムラインに表示するイベント種別を設定します。チェックを入れるとタイムラインにイベント録画として表示されます。

各アラームについては以下をお読みください。

[👉 イベント機能について](#)



【メモ】

●ユーザー定義1～ユーザー定義8は、機能拡張ソフトウェアアラームのメッセージIDを設定すると表示されます。

[👉 録画やイベントに関する設定を行う \[録画・イベント\]](#)

【動作検知の感度調整】

タイムラインに表示する動作検知の感度を設定します。感度は以下の順に高くなります。

低い→標準→高い→すべて

【戻る】 ボタン / 【×】 ボタン

クリックすると、日時操作パネル（再生中表示）に戻ります。

検索して再生する

見たい録画画像を検索して再生します。検索には次の3とおりがあります。

- アラーム履歴・エラー履歴から選択して再生する（履歴サーチ）
- サムネイル画面を表示して再生する（サムネイルサーチ）
- 録画画像内に動きのあった日時を検索して再生する（動作検知サーチ）

履歴から選択して再生する（履歴サーチ）

アラーム履歴、エラー履歴を表示し、その中から再生したい日時を選択して再生します。



[メモ]

- 選択した履歴の録画データが、すでに上書きなどにより消去されている場合は、正しいデータを再生できません。
- カメラの動作検知アラームで録画した画像は、アラーム履歴から選択して再生してください。

STEP1

状態表示パネルの [アラーム] ボタンまたは [エラー] ボタンをクリックします。

→それぞれの [履歴表示] ボタンが表示されます。



STEP2

[履歴表示] ボタンをクリックします。

→アラーム履歴パネルまたはエラー履歴パネルが表示されます。[前ページ] / [次ページ] ボタンでリストの表示ページを切り換えることができます。

No.	発生日時	内容
1	2022/10/12 18:03:07	カメラアラーム(動作検知):カメラ1
2	2022/10/12 18:03:01	カメラアラーム(動作検知):カメラ1
3	2022/10/12 18:02:55	カメラアラーム(動作検知):カメラ1
4	2022/10/12 18:02:50	カメラアラーム(動作検知):カメラ1
5	2022/10/12 18:02:44	カメラアラーム(動作検知):カメラ1
6	2022/10/12 18:02:37	カメラアラーム(動作検知):カメラ1
7	2022/10/12 18:02:29	カメラアラーム(動作検知):カメラ1
8	2022/10/12 18:02:16	カメラアラーム(動作検知):カメラ1
9	2022/10/12 18:02:08	カメラアラーム(動作検知):カメラ1
10	2022/10/12 18:01:57	カメラアラーム(動作検知):カメラ1
11	2022/10/12 18:01:52	カメラアラーム(動作検知):カメラ1
12	2022/10/12 18:01:47	カメラアラーム(動作検知):カメラ1
13	2022/10/12 18:01:27	カメラアラーム(動作検知):カメラ1

▲ 前ページ 件数:24 次ページ ▼



[メモ]

- アラーム履歴は1000件まで記録できます。1000件を超えると古い履歴から上書きされます。

No.	発生日時	内容
1	2016/11/18 19:56:14	通信復旧：カメラ3
2	2016/11/18 19:56:14	通信復旧：カメラ4
3	2016/11/18 19:56:14	通信復旧：カメラ2
4	2016/11/18 19:56:13	通信復旧：カメラ3
5	2016/11/18 19:56:13	通信復旧：カメラ4
6	2016/11/18 19:56:13	通信復旧：カメラ2
7	2016/11/18 19:56:13	通信復旧：カメラ4
8	2016/11/18 19:56:13	通信復旧：カメラ2
9	2016/11/18 19:56:13	通信復旧：カメラ3
10	2016/11/18 19:56:13	通信復旧：カメラ1

▲ 前ページ 件数:1000 次ページ ▼

対処方法
 エラー発生から復旧までは、録画されていないことがあります。
 データを確認してください。



[メモ]

- エラー履歴は1000件まで記録できます。1000件を超えると古い履歴から上書きされます。

STEP3

再生したい日時の行をクリックして選択し、再生操作パネルの再生ボタンをクリックします。

☞[再生操作パネルについて](#)

→選択した日時の約5秒前から再生を開始します。



[メモ]

- 再生したい日時の行をダブルクリックして、再生を開始することもできます。
- アラーム履歴のプレ録画時間を5秒より長く設定している場合に、プレ録画の先頭から再生するには、再生ボタンをクリックしてから、逆スキップボタンをクリックしてください。

- 発生日時の約5秒までの間に録画画像がない場合は、発生日時から再生します。

STEP4

再生を停止してライブ画像に戻るには、再生操作パネルの停止ボタンをクリックします。

☞[再生操作パネルについて](#)

→再生が停止し、ライブ画像が表示されます。



[メモ]

- 以下の操作でも、再生を停止しライブ画像を表示できます。
 - ・日時操作パネル（再生中表示）の [×] ボタンをクリックしたとき
 - ・日時操作パネル（再生中表示）の [現在時刻] ボタンをクリックしたとき
 - ・再生メディアを変更したとき

サムネイル画面を表示して再生する（サムネイルサーチ）

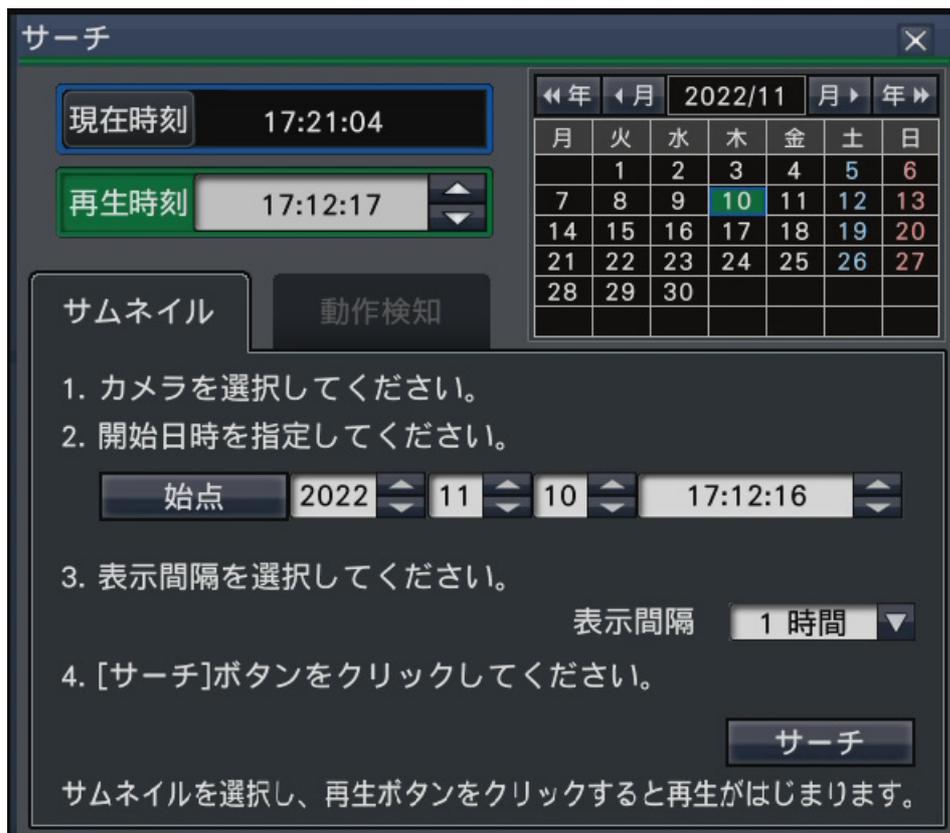
録画した画像のサムネイル画面から検索して再生します。

サムネイル表示画面から再生したい画像を選択して再生します。

STEP1

再生操作パネルの [サーチ] ボタンをクリックします。

→サムネイルサーチパネルが表示されます。



STEP2

カメラ番号パネルで検索したいカメラを選択します。

STEP3

開始日時(始点)を指定します。

始点は年月日時刻の [▲] / [▼] ボタンをクリックして設定します。

STEP4

サムネイル画像の表示間隔を指定します。表示間隔に従って録画画像からサムネイルを検索して表示します。

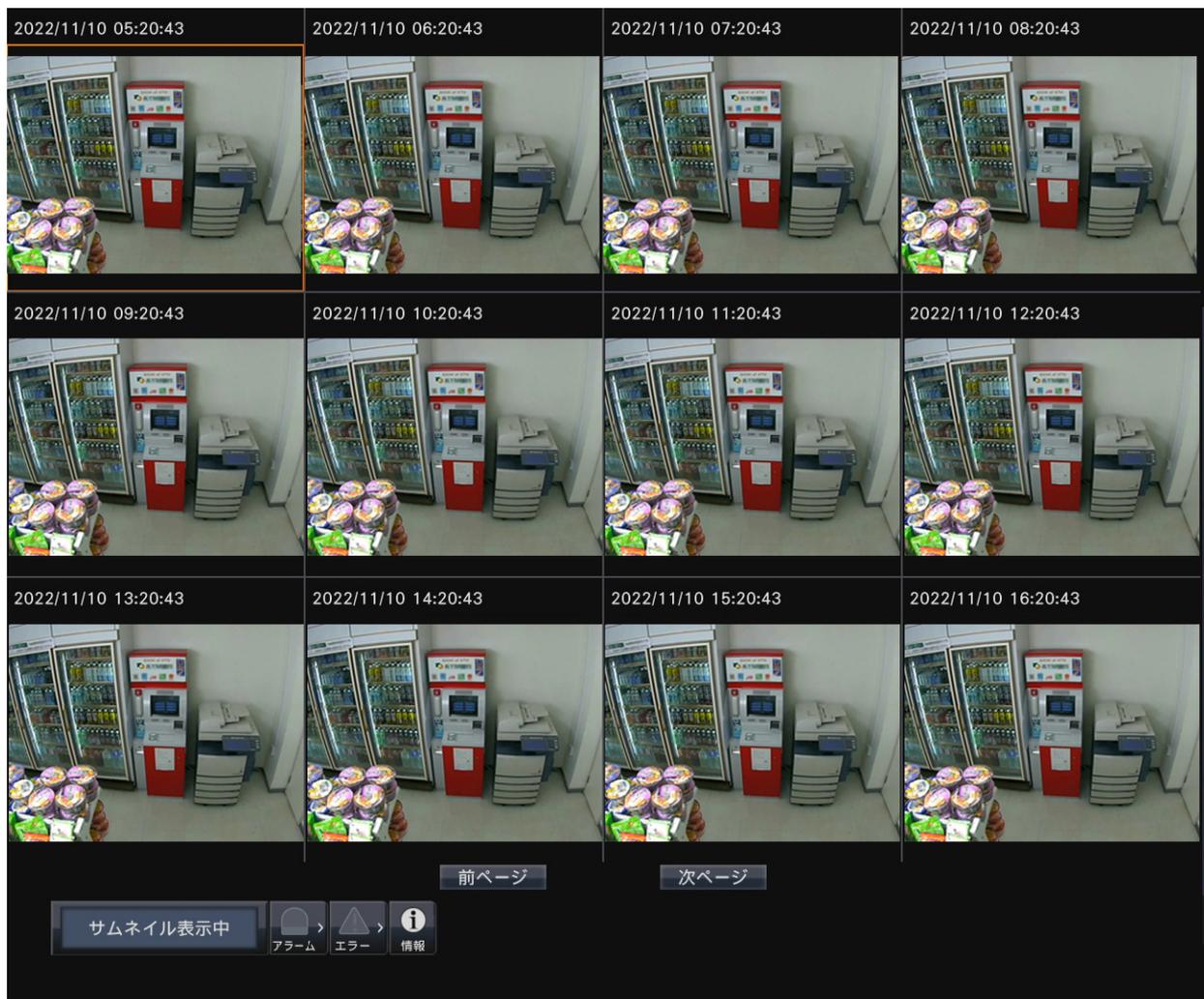
表示間隔：1分、5分、10分、15分、30分、1時間、2時間

STEP5

[サーチ] ボタンをクリックします。

→ 指定した開始日時から表示間隔ごとにサムネイルを検索して、画像表示部に表示します。

サムネイルは最大12枚表示されます。[前ページ] / [次ページ] ボタンでサムネイル画像を切り換えることができます。



[メモ]



- サムネイル画像がすべて表示されるまで時間がかかる場合があります。
- サムネイル画像が表示されるまでの日時表示は開始日時と表示間隔から算出した仮の日時です。サムネイル画像が表示されると、サムネイル画像の実際の日時に更新されます。
- 指定した日時に録画画像が見つからない場合は、指定日時以降のサムネイル画像を表示します。

STEP6

再生したいサムネイル画像をクリックして選択し、再生操作パネルの再生ボタンをクリックします。

→選択したサムネイル画像の日時から再生を開始します。



[メモ]

- 再生したいサムネイル画像をダブルクリックして再生を開始することもできます。

STEP7

再生を停止してライブ画像に戻るには、再生操作パネルの停止ボタンをクリックします。
→再生が停止し、ライブ画像を表示します。



[メモ]

- 以下の操作でも、再生を停止しライブ画像を表示できます。
 - ・日時操作パネル（再生中表示）の [×] ボタンをクリックしたとき
 - ・日時操作パネル（再生中表示）の [現在時刻] ボタンをクリックしたとき
 - ・再生メディアを変更したとき

録画画像に動きのある日時を検索して再生する（動作検知サーチ）

動作検知サーチに対応したカメラで録画した画像の中から、動作検知された日時を検索して再生します。検索結果のリストから再生したい日時を選択して再生します。



[重要]

- 動作検知サーチを行うには、動作検知情報付加機能に対応したカメラが必要です。本機能については、カメラの取扱説明書をお読みください。

STEP1

再生操作パネルの [サーチ] ボタンをクリックし、[動作検知] タブをクリックします。
→動作検知サーチパネルが表示されます。



STEP2

カメラ番号パネルで検索したいカメラを選択します。

STEP3

検索する範囲を日時で指定します。

始点、終点について、それぞれ年月日時刻の [▲] / [▼] ボタンをクリックして設定します。



[メモ]

- カレンダーおよび再生時刻で年月日時刻を選択後、[始点] / [終点] ボタンをクリックして、検索範囲の始点と終点を設定することもできます。

STEP4

[サーチ] ボタンをクリックします。

→ 指定した検索範囲で動作検知サーチを行い、結果を以下のようにリスト表示します。

[前ページ] / [次ページ] ボタンでリストの表示ページを切り換えることができます。



【リスト伸縮】ボタン (1)

リストを表示／非表示にします。



【メモ】

- リストには100件まで表示されます。サーチ結果が100件を超えている場合は、件数に「> 100」と表示されます。
- 動作検知サーチは、初期設定ではカメラ画像全体が検索対象となっています。検索対象エリアを指定する場合は、「条件変更」ボタンをクリックし、条件変更パネルで設定します。
[☞ 検索して再生する](#)
- 検索結果表示までに時間がかかる場合があります。

STEP5

再生したい日時の行をクリックして選択し、再生操作パネルの再生ボタンをクリックします。

[☞ 再生操作パネルについて](#)

→選択した日時から再生を開始します。



[メモ]

- 再生したい日時の行をダブルクリックして、再生を開始することもできます。

STEP6

再生を停止してライブ画像に戻るには、再生操作パネルの停止ボタンをクリックします。

→再生が停止し、ライブ画像を表示します。



[メモ]

- 以下の操作でも、再生を停止しライブ画像を表示できます。
 - ・日時操作パネル（再生中表示）の [現在時刻] ボタンをクリックしたとき
 - ・再生メディアを変更したとき

動作検知のエリアなどを設定する [条件変更]

検索範囲の指定や、画像中の動作検知対象エリアの設定、マスク期間を設定します。

STEP1

再生操作パネルの [サーチ] ボタンをクリックし、[動作検知] タブをクリックします。

👉 [録画画像に動きのある日時を検索して再生する \(動作検知サーチ\)](#)

STEP2

カメラ番号パネルで検索したいカメラを選択します。

STEP3

[条件変更] ボタンをクリックします。

→条件変更パネルが表示されます。

条件変更

検索範囲の指定

始点 2022 11 10 18:36:41

終点 2022 11 10 18:36:41

始点と終点を同時刻に設定すると、全期間を検索します。

検出エリアの設定

画像上で、四角形の左上と右下にあたる位置をクリックし、エリアを指定してください。

マスク期間の設定

マスク期間 10 秒

設定した期間中に検出した複数の動作をひとつの動作と見なします。

サーチ

戻る

【検索範囲の指定】

検索する範囲を日時で指定します。始点、終点について、それぞれ年月日時刻の [▲] / [▼] ボタンをクリックして設定します。

【検出エリアの設定】

画像表示上でエリアとなる四角形の左上と右下にあたる位置をクリックします。
→設定したエリアがグレー表示になり、動作検知サーチの対象となります。



[メモ]

- 検出エリアは、画像表示部を16×16分割した状態に合わせて設定されるため、左上と右下で指定した位置とずれることがあります。
- 設定したエリアを削除することはできません。エリアを変更する場合は、検出エリアの設定をやり直してください。

【マスク期間の設定】

動作検知サーチに時間がかかる場合や検索結果が多すぎる場合、マスク期間を設定して検知頻度を低くすることができます。マスク期間を設定すると、動作検知してから設定した期間、同じエリア内での動作検知を行いません。

詳細設定パネルの「マスク期間の設定」の [▼] ボタンをクリックして設定します。

マスク期間：1秒／5秒／10秒／30秒／1分／5分／10分

初期設定：10秒

STEP4

[サーチ] ボタンをクリックすると、指定した条件で動作検知サーチを行うことができます。

便利な機能

コピーする

本機に録画された画像を外部記憶装置（外付けHDD、USBメモリー）やNASにコピーします。本書では外部記憶装置をメディアと呼ぶこともあります。

NASを用いたコピー（NASバックアップ機能）については、以下をお読みください。

☞ NASバックアップ機能

また、コピーした画像には「個人情報」となる内容が含まれています。情報を漏えいさせないためにもメディアの管理に十分ご注意ください。

コピーは本機が以下の状態のときには実施できません。

- ネットワーク経由で他のユーザーがコピー画面を開いているとき
- ネットワーク経由で他のユーザーがメディア（外部記憶装置）を選択しているとき
- 再生メディアとしてメディア（外部記憶装置）を選択しているとき

コピーした画像の再生は、本機または専用のビューワーソフトで行います。ビューワーソフトはコピーを行うと、各メディア（外部記憶装置）に自動的にコピーされます。ビューワーソフトの操作方法については、以下をお読みください。

☞ ビューワーソフトの使いかた

本機での再生方法は以下をお読みください。

☞ コピーデータを本体で再生する

本機では、外部記録装置にコピーした独自形式（n3r：映像、n3a：音声）ファイルまたはMP4形式ファイルを再生することができます。



[メモ]

- 外部記憶装置に画像をコピーする場合、あらかじめ外部記憶装置をフォーマットしてください。
- コピーにかかる時間は録画データの大きさにより変動します。同じカメラ数、期間を設定した場合でも、高解像度や高画質、高フレームレートにするほど、コピーにかかる時間は長くなります。
- 日時設定や時刻合わせなどにより、同時刻の画像が記録された場合、コピーが正常に行われな場合があります。
- 以下の場合、作業中のコピーが中止されます。
 - ・ コピー中に設定が変更されたとき
 - ・ コピーをはじめたユーザーがログアウトしたとき（ウェブブラウザの

場合は閉じてからコピー中止までは90秒程度かかります)

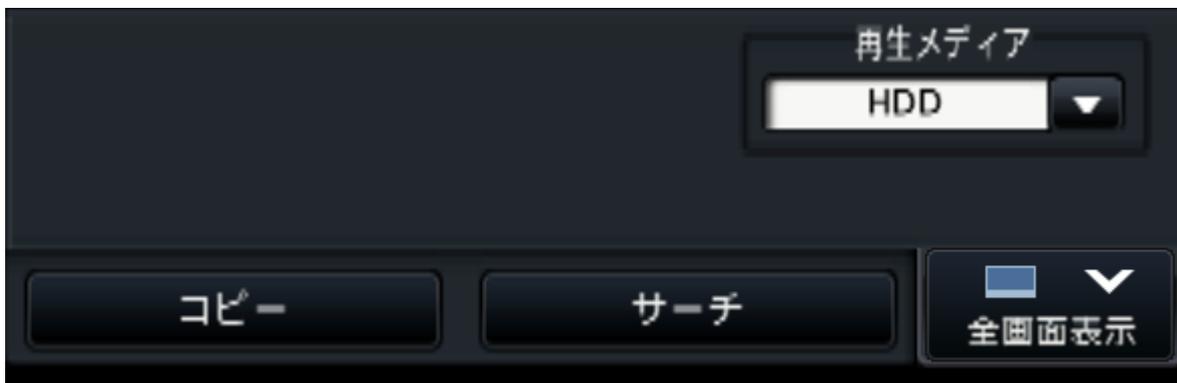
- ・コピー元のデータが消失したとき（データの上書きやHDD故障）
- NASへコピーしたデータは、本体で再生することはできません。また、本体やウェブブラウザでNASへコピーした画像のリストを表示することはできません。

STEP1

本機のコピーポート [コピー] に外部記憶装置を接続します。

STEP2

メインモニターの操作画面表示で操作パネルの [コピー] ボタンをクリックします。



→コピーパネルが表示されます（再生中の場合は一時停止します）。



[メモ]

- ウェブブラウザで他のユーザーがコピーパネルを表示しているときは、コピーパネルを表示することができません。すでにコピーが実行されている場合は、コピー中画面が表示されます。
- 本機にNASの設定を行っている場合は、コピーパネルのコピー先がプルダウン表示になり、USBまたはNASが選択できます。

STEP3

画面の指示に従って、コピーする条件を設定します。

[次へ] / [戻る] ボタンを押すことでページが切り換わります。[×] ボタンをクリックすると画面が閉じます。

コピー

現在時刻 18:29:39

再生時刻 18:06:06

詳細設定

年 月 2022/10 月 年

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

3. コピーする範囲を設定してください。

始点 2022 10 12 18:06:06

終点 2022 10 12 18:11:06

4. ファイル形式を選択してください。

独自形式(n3r/n3a) MP4形式

5. [コピー実行]ボタンをクリックしてください。

コピー実行

戻る

残容量：1.74GB データ容量：0.06GB

項目	内容
カメラ選択	コピーしたい録画データのカメラ番号にチェックを入れます。[すべて]にチェックを入れるとすべてのカメラを対象とします。
コピー範囲設定	録画データのコピー範囲を日時に設定します。始点、終点をそれぞれ年月日時刻で設定します。カレンダーおよび再生時刻で年月日時刻を選択後、[始点] / [終点] ボタンをクリックして、コピー範囲を設定することもできます。
ファイル形式選択	コピーする録画データのファイル形式（独自形式（n3r/n3a）、MP4形式）をチェックを入れます。

残容量：コピー先メディアの残容量が表示されます。

データ容量：コピー対象とした全録画データの目安のサイズ（ビューワーソフト含む）が表示されます。

※ データ容量計算中は、*.** GBと表示されます。

※ 計算中に残容量よりサイズが大きくなると、容量の前に「>」印が表示され、計算が終了します。

※ 残容量よりサイズが小さいにも関わらず、「>」印が表示される場合は、対象とした録画データが10000件以上あることを示しています。



[メモ]

- H.264またはH.265で録画された画像は、MP4形式でコピーすることができます。また、AAC-LCで録音されている場合は、音声付きのMP4形式でコピーされます。
- MP4形式のコピーやダウンロードは同時に2ユーザーまで実施可能です。
☞ [再生画像をダウンロードする](#)
- コピーする録画データに改ざん検出用のコードを付与する場合、[詳細設定] ボタンをクリックして、表示された詳細設定画面で [改ざん検出コードの付与] を「On」に設定しておきます。
- コピーするデータにパスワードを付与する場合、[詳細設定] ボタンをクリックして、表示された詳細設定画面で [パスワードの付与] を「On」に設定しておきます。
- [詳細設定] ボタンをクリックして、表示された詳細設定画面で [戻る] ボタンをクリックするとコピーパネルに戻ります。

STEP4

[コピー実行] ボタンをクリックします。

→ [パスワードの付与] が「On」に設定されている場合、パスワード入力画面が表示されます。それ以外はSTEP6に進みます。

STEP5

ソフトキーボードでパスワードを入力して [次へ] ボタンをクリックします。
→コピー開始確認画面が表示されます。

- パスワードは5文字以上8文字以内で設定します。
- 確認のため、パスワード確認欄にも同じパスワードを入力してください。
- 入力したパスワードを保存するには、「パスワードを一時的に記憶する」にチェックを入れます。次のデータをコピーする際、すでにパスワードが入力された状態でパスワード入力画面が開きます。パスワードは本機の電源を切るまで記憶されます。

STEP6

コピー開始確認画面で、[OK] ボタンをクリックします。
→コピー中の画面に切り換わり、コピーの進捗状況が表示されます。



[重要]

- コピー中は外部記憶装置を抜かないでください。メディア内のデータが壊れることがあります。
- コピー先の残容量が足りない場合でもメディアの容量がいっぱいになるまでコピーを実行します。コピーできないデータが残らないよう、残容量が十分にあるメディアにコピーしてください。
- コピーはビューワーソフト→画像→音声の順に行われます。コピーの設定時間やメディアの空き容量によっては、画像や音声のコピーされないことがあります。
- コピー中に、[コピー] ボタンをクリックすると、コピー中画面が表示され、[コピー中止] ボタンをクリックするとコピー中止確認画面が表示されます。コピー中止確認画面表示中もコピーは継続しています。
- コピー中は本機の電源を切らないでください。コピー中に電源を切ると、そのメディアが使用できなくなることがあります。
- 外部記憶装置には最大100万件のデータをコピーすることができます。残容量がある場合でもこれらの件数を超過してコピーすることはできません。
- 外部記憶装置へ一度にコピーする録画データの個数が多くなればなるほど、ファイルシステムの特性上、極端にコピー時間が長くなります。大量のファイルをコピーする場合は、1回のコピー件数を10000件未満にし、コピーが終了するたびに、外部記憶装置をいったん抜いて再度挿入することをお勧めします。
- コピーの進行度合いは、データ容量に表示されたサイズを元に算出します。10000件以上コピーする場合は、正しい値が表示されません。



[メモ]

- 外部記憶装置の容量、記録内容により使用できるまでの時間が変わります。外部記憶装置が認識されない場合は、一度抜いて10秒以上待ってから、再度操作し直してください。

STEP7

コピーが終了すると、コピー終了画面が表示されます。

「閉じる」をクリックして外部記録装置を取り外してください。

USBメディアをフォーマットする

本機で認識できるUSBメディアは、本機でフォーマットすることができます。



[重要]

- フォーマットすると、記録されていたデータや設定データはすべて消去されてしまいます。消去した画像は復元できません。
- 本機が認識できるファイルシステムはexFATまたはFAT(FAT16)、FAT32です。
- NTFSなど本機で認識できないファイルシステムのUSBメディアをフォーマットすることはできません。
- 本機は、USBメディアの容量に応じてFAT(FAT16)、FAT32、exFATでフォーマットします。

STEP1

メインモニターの操作パネルの [コピー] ボタンをクリックします。

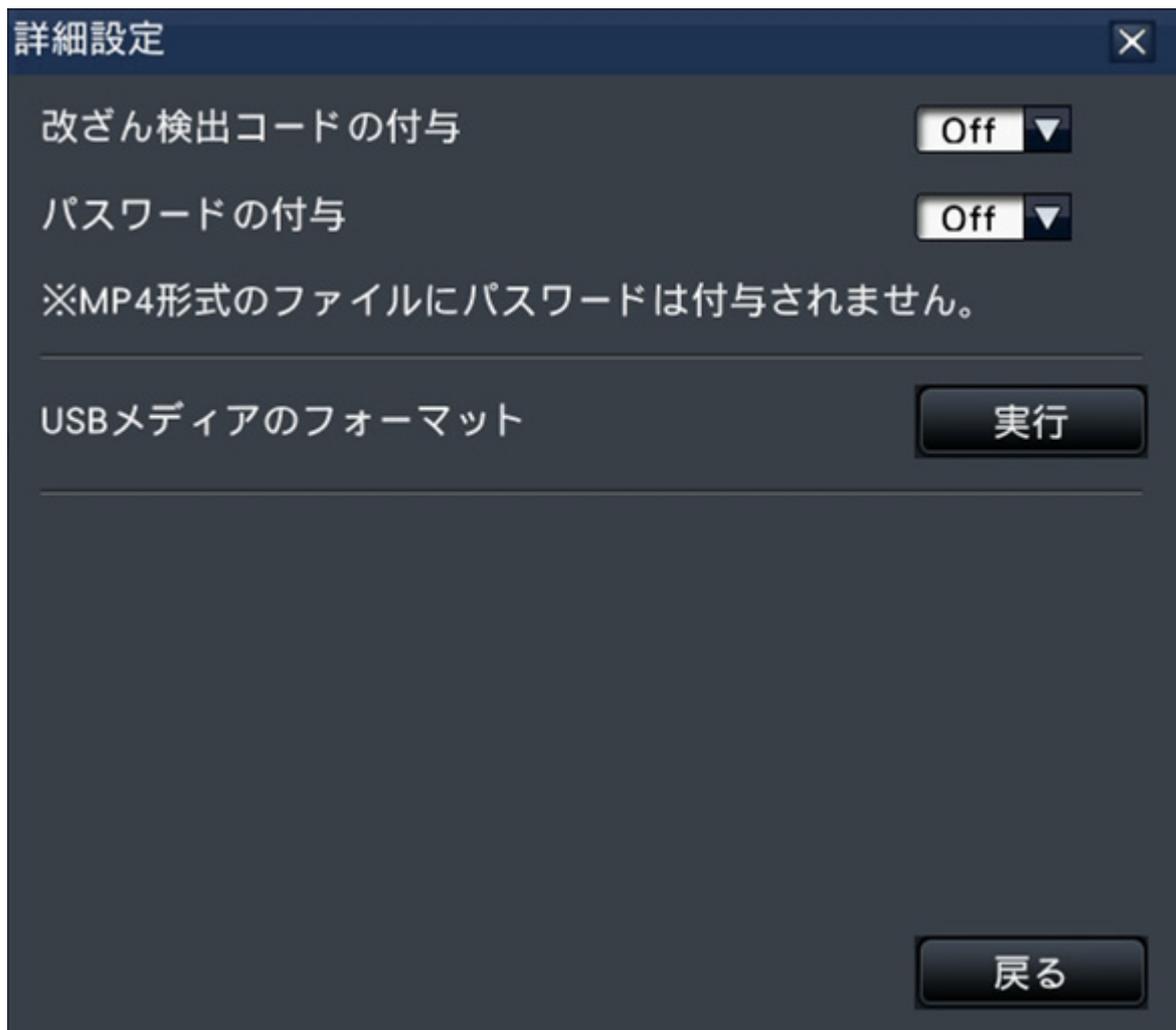
☞ **コピーする**

→コピーパネルが表示されます。

STEP2

コピーパネルで [詳細設定] ボタンをクリックします。

→詳細設定画面が表示されます。



STEP3

「USBメディアのフォーマット」の [実行] ボタンをクリックします。
→確認画面が表示されます。

STEP4

[OK] ボタンをクリックします。
→USBメディアのフォーマットが開始され、実行中画面が表示されます。
終了すると、完了画面が表示されます。



[重要]

- フォーマット中は本機の電源を切らないでください。

コピーデータを本体で再生する

外部記憶装置にコピーした録画画像（コピーデータ）をリストに表示し、その中から選択して再生します。コピーデータは条件を絞り込んで検索することができます。



[重要]

- 外部記録装置にコピーしたn3r（映像）／n3a（音声）ファイルまたはMP4ファイルを再生することができます。
- NASへコピーしたデータは、本機能によるリストの表示や再生を行うことはできません。

STEP1

本機のコピーポート [コピー] に録画データがコピーされた外部記憶装置を接続します。

STEP2

再生操作パネルの再生メディアで [USB] を選択します。

→メディア再生パネルが表示されます。リストには10000件まで表示されます。10000件を超えている場合は、件数に [> 10000] と表示されます。

メディア再生 ×

現在時刻 18:33:11

再生時刻 18:06:06

◀年 ◀月 2022/10 月▶ ▶年▶

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

日時	カメラ	形式	日時	カメラ	形式
2022/10/12 18:06:47	1	n3r			
2022/10/12 18:06:44	1	n3r			
2022/10/12 18:06:06	1	n3r			

▲ 前ページ
件数:3
次ページ ▼
条件変更

リストを選択し、再生ボタンをクリックすると再生がはじまります。



[メモ]

- コピーデータが多いとリスト表示に時間がかかります。
- 独自形式（n3r/n3a）とMP4形式のファイルを同時にリストに表示することはできません。
- 独自形式（n3r/n3a）とMP4形式の両方がコピーされた外部記憶装置を接続して [USB] を選択した場合は、独自形式（n3r/n3a）を優先して表示します。

STEP3

コピーデータリストの表示件数を絞り込む場合、[条件変更] ボタンをクリックします。条件変更パネルが表示されます。

絞り込みをしない場合は、STEP5に進んでください。

カメラで絞り込む場合

「メインモニターに表示中のカメラ番号で絞り込む」を選択します。対象が画像表示されているカメラになります。

日時指定で絞り込む場合

絞り込み範囲を日時で指定します。始点、終点について、それぞれ年月日時刻の [▲] /

[▼] ボタンをクリックして、絞り込む範囲を設定します。

ファイル形式の指定

絞り込みを行う形式を選択します。



[メモ]

- STEP2において、カレンダーおよび再生時刻で年月日時刻を選択後、[始点] / [終点] ボタンをクリックして、絞り込み範囲の始点と終点を設定することもできます。

STEP4

[サーチ] ボタンをクリックします。

→設定した絞り込み条件で検索した結果がリスト表示されます。[前ページ] / [次ページ] ボタンでリストの表示ページを切り換えることができます。



[メモ]

- コピーデータが多いとリスト表示に時間がかかります。

STEP5

再生したい日時の行をクリックして選択し、再生操作パネルの再生ボタンをクリックします。
→選択した日時から再生を開始します。多画面表示にしていた場合は、1画面表示に切り換わります。



[メモ]

- 再生したい日時の行をダブルクリックして、再生を開始することもできます。
- 選択したコピーデータにパスワードが付与されている場合は、パスワード入力画面が表示されます。付与したパスワードをソフトキーボードから入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。パスワードが一致しないと、そのコピーデータの再生はできません。
- 外部記憶装置の容量、記録内容により使用できるまでの時間が変わります。外部記憶装置が認識されない場合は、一度抜いて10秒以上待ってから、再度操作し直してください。
- 複数のデータを連続して再生すると、音声はずれて出力される場合があります。その場合は、再生を一時停止して、もう一度再生し直してください。

STEP6

再生を停止してライブ画像に戻るには、再生操作パネルの停止ボタンをクリックします。

→再生が停止し、ライブ画像が表示されます。



【メモ】

●以下の操作でも、再生を停止しライブ画像を表示できます。

- ・メディア再生パネルの [×] ボタンをクリックしたとき
- ・日時操作パネル（再生中表示）の [現在時刻] ボタンをクリックしたとき
- ・再生メディアを変更したとき

操作項目一覧

下記の「大項目」は主に操作、「中項目」、「小項目」、「詳細」は主にメインモニターやブラウザの各操作メニューを表しています。

○は操作可能、△は一部制限あり、×は操作不可を表しています

大項目：ライブモニタリング

中項目	小項目	詳細	補足	本体	ブラウザ
メインモニター	操作画面表示	画面表示部		○	○
		状態表示パネル		○	○
		操作パネル		○	○
		[全画面表示] ボタン		○	○
	全画面表示	画像表示部		○	○
		状態表示パネル		○	×
		操作パネル		○	×
		[操作画面表示] ボタン		○	×
サブモニター	—	—	※サブモニターの設定は出来ませんが、実際のサブモニターの映像はブラウザでは表示出来ません。	○	×
操作パネルについて	画面分割ボタン	—		○	×
	デジタルズームボタン	—		○	×
	ミュートボタン	—		○	○
	魚眼補正（1PTZ / 4PTZ）ボタン	—		○	×

大項目：ライブモニタリング(続き)

中項目	小項目	詳細	補足	本体	ブラウザー
	全画面表示でカメラ表示位置の変更	－		○	×
	全画面表示でデジタルズーム	－	※本体は1画表示のときのみホイール操作で可能。	○	×

大項目：カメラ操作

中項目	小項目	詳細	補足	本体	ブラウザー
カメラ操作	カメラ操作	－	※本体は1画/4画面表示で操作可能。	○	○
	パンチルト	PTボタン		○	○
		PTパッド		×	○
		クリックセンタリング		○	○
	ズーム	ズームボタン		○	○
		マウスホイールズーム		○	○
		ドラッグズーム		○	○
	フォーカス	－		○	○
	明るさ	－		○	○
	自動モード	－		○	○
	プリセット	プリセット登録		○	○
		プリセット移動		○	○
		ホームポジション移動		○	○
	カメラをマウスで操作する	－	※HDMIモニターの画像上でのマウス操作の可／不可の切替のため、ブラウザーからは設定出来ません。	○	×
カメラ設定	ホームポジション登録	－		○	×
	オートバックフォーカス実行	－		○	×
	マスクエリア設定	－		○	×

大項目：カメラ操作 (続き)

中項目	小項目	詳細	補足	本体	ブラウザー
	ズーム/フォーカス調整	－		○	×
	初期位置設定	－	※全方位カメラの傾き、上下の角度調整、画像切り出し位置の左右調整を行います。	○	×

大項目：アラーム動作

中項目	小項目	詳細	補足	本体	ブラウザー
イベント発生時の動作	－	－		○	○
ブザーのみ停止する	－	－		○	×
アラーム動作を解除する	－	－		○	○
エラー動作を解除する	－	－		○	○
アラーム履歴を表示する	－	－		○	○
エラー履歴を表示する	－	－		○	○

大項目：録画

中項目	小項目	詳細	補足	本体	ブラウザー
録画する (スケジュール録画)	－	－		○	○

大項目：検索・再生

中項目	小項目	詳細	補足	本体	ブラウザー
再生する	再生操作パネル	再生		○	○
		停止		○	○
		一時停止		○	○
		コマ送り/逆コマ送り		○	○
		早送り/早戻し		○	○
		スキップ/逆スキップ		○	○
		最新再生		○	○
		ジャンプ再生		○	×
		スナップショット		○	×

大項目：検索・再生(続き)

中項目	小項目	詳細	補足	本体	ブラウザー
		再生状態表示		○	○
	全画面表示	—		○	○
	メディア選択	—		○	○
	メディア再生	—		○	×
検索して再生する	日時を指定して再生する	—		○	○
	最新の録画画像を再生する	—		○	○
	タイムラインで指定して再生する	—	※ブラウザーでは、タイムラインの表示がありません、録画イベントのリストから再生して下さい。	○	×
	録画・イベントリストで指定して再生する	—		×	○
	アラーム/エラー履歴から選択して再生する(履歴サーチ)	—		○	○
	録画画像に動きのある日時を検索して再生する(動作検知サーチ)	—		○	×
	サムネイルを指定して再生する	—		○	×

大項目：コピー・ダウンロード

中項目	小項目	詳細	補足	本体	ブラウザー
コピー	—	—	※ビューワーソフトは録画画像と一緒にコピーされます。	○	○
USBメディアをフォーマットする	—	—		○	×
データダウンロード(PCへ)	—	—		×	○
ビューワーダウンロード(PCへ)	—	—		×	○

[ネットワーク設定]

ネットワーク設定を行う

本機の操作は、マウスを接続して操作する以外に、PCのウェブブラウザから行うことができます（一部の機能や設定を除きます）。本ページ以降では、ウェブブラウザからの操作方法とPCの事前準備などを説明します。

ウェブブラウザから本機を操作する場合、まず、本機やPCのネットワーク設定を行う必要があります。

PCのネットワーク環境が以下の場合、設定は不要です。接続完了後、ウェブブラウザから本機の設定および操作を行うことができます。

IPアドレス:192.168.0.2～192.168.0.249、192.168.0.251～192.168.0.254

サブネットマスク:255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ:192.168.0.1

上記以外に設定されている場合、本機またはPCのネットワークの設定を行ってください。

本機のネットワーク設定を行う

本機のネットワーク設定は、設定メニュー [詳細設定] の [ネットワーク] の [基本] タブで行います。

操作方法など詳細については、以下をお読みください。

[👉 ネットワークの基本設定を行う \[基本\]](#)

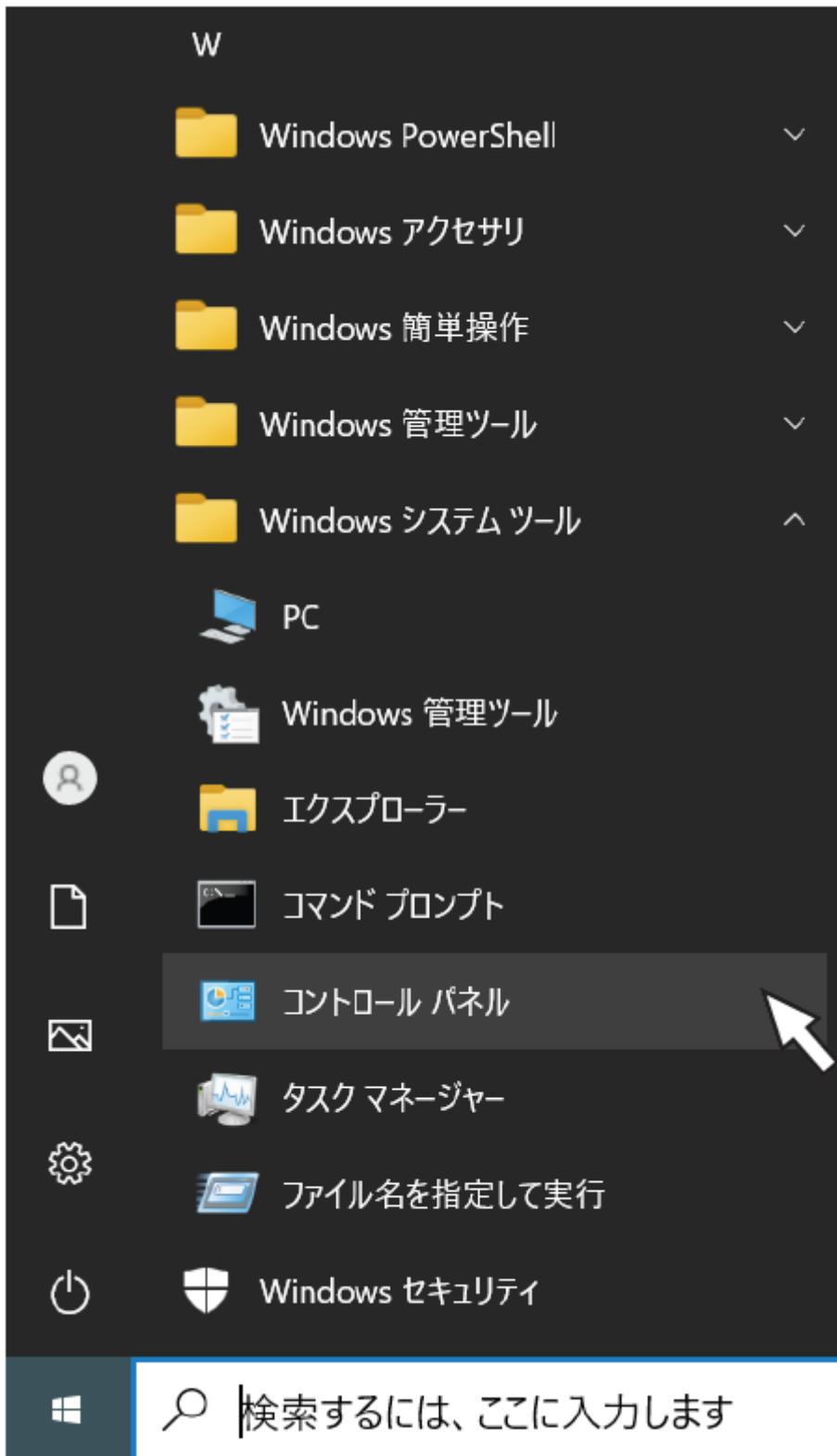
PCのネットワーク設定を行う

PCのTCP/IPの設定を本機の設定に合わせて変更します。本機を初期設定値（IPアドレス：192.168.0.250）で使用する場合は、PCのIPアドレスを「192.168.0.xxx（xxxは2～254。ただし、250（本機）やカメラのIPアドレスを除く）」に設定します。

本書では、Windows 10の標準設定を例に設定方法を説明します。その他のOSをご使用の場合は、該当するOSの取扱説明書をお読みください。

STEP1

スタート画面からコントロールパネルを選択します。



→コントロールパネルが表示されます。



[重要]

- 「コンピュータの管理者」権限のあるユーザーでログインし起動してください。

STEP2

「ネットワークとインターネット」の「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。



→ネットワークと共有センター画面が表示されます。

STEP3

「イーサネット」をクリックします。



→イーサネットの状態画面が表示されます。

STEP4

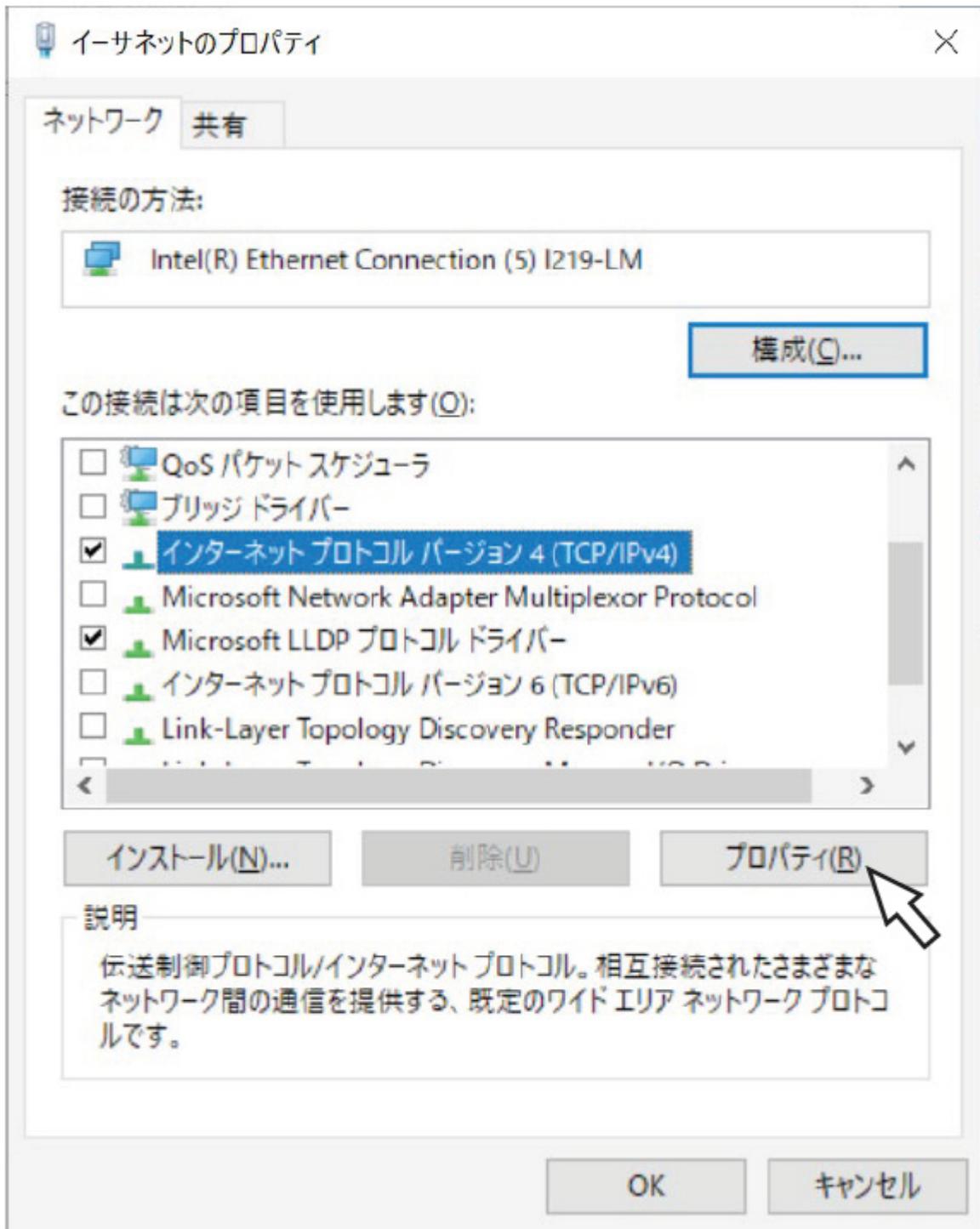
[プロパティ (P)] をクリックします。



→イーサネットのプロパティ画面が表示されます。

STEP5

「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」をクリックし、[プロパティ (R)] をクリックします。



→インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ画面が表示されます。

STEP6

[次のIPアドレスを使う(S):] をクリックし、「IPアドレス(I):」と「サブネットマスク(U):」

を以下のように設定します。

- ・ IPアドレス : 192.168.0.9
- ・ サブネットマスク : 255.255.255.0

インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ

全般

ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。

IP アドレスを自動的に取得する(O)

次の IP アドレスを使う(S):

IP アドレス(I): 192 . 168 . 0 . 9

サブネット マスク(U): 255 . 255 . 255 . 0

デフォルト ゲートウェイ(D): . . .

DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)

次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):

優先 DNS サーバー(P): . . .

代替 DNS サーバー(A): . . .

終了時に設定を検証する(L)

詳細設定(V)...

OK キャンセル

ネットワークの構成によっては「デフォルトゲートウェイ(D):」の設定が必要です。設定については、システムの管理者にご確認ください。

STEP7

[OK] ボタンをクリックし、画面を閉じます。

本機のネットワークセキュリティについて

本機に装備されているセキュリティ機能

①ユーザー認証によるアクセスの制限

ユーザー認証の設定を「On」にすることで、本機にアクセスできるユーザーを制限することができます。

👉 [ユーザー管理に関する設定を行う](#) [\[ユーザー管理\]](#)

②HTTPポートの変更によるアクセスの制限

HTTPのポート番号を変更することで、ポートスキャンなどの不正アクセスを防止することができます。

👉 [ネットワークの基本設定を行う](#) [\[基本\]](#)



[重要]

- 画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）、アラームメール情報などがネットワーク上で漏えいする可能性があります。ユーザー認証で、アクセス制限するなどの対策を実施してください。
- 管理者で本機にアクセスしたあとは、セキュリティ強化のため、必ずすべてのウェブブラウザを閉じてください。
- 他のレコーダーや機器のユーザー名（管理者名）やパスワードを使い回さないでください。

セキュリティ強化のために

本機とカメラ間の通信を暗号化し、ネットワークセキュリティを強化します。また、セキュア拡張のライセンスを追加登録することで、録画データを暗号化し、さらにセキュア性を向上することができます。

セキュア拡張の追加はお買い上げの販売店（設置工事店）にご相談ください。

また、下記の対策によりネットワークセキュリティを強化することも可能です。

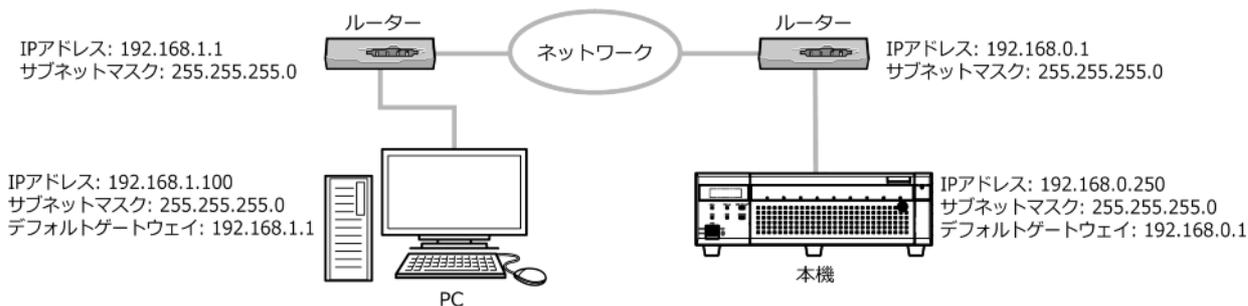
ルーターを使用してサブネットに分け、本機とルーターでIPアドレスによる認証を2重に行うことでネットワークセキュリティを強化します。本機をセキュリティの確保されていないネットワークに接続する場合、本機とホストPCの間にVPN（Virtual Private Network）機器を挿入するなどして、セキュリティを確保してから接続してください。



[重要]

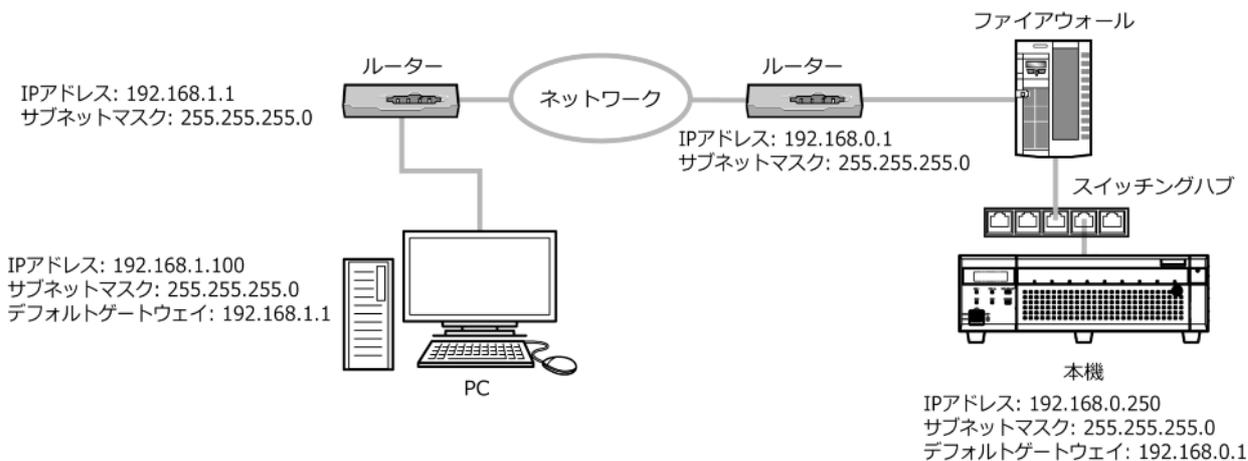
- ネットワークのセキュリティの設定は、本機が接続される社内LAN（Local Area Network）やサービスプロバイダーなどの設定により異なります。各ネットワークのセキュリティについての詳細は、各ネットワークの管理者にお問い合わせください。

[接続例]



さらにファイアウォールなどを使用し、パケットフィルタリングやプロトコルフィルタリングを行うことで、ネットワークセキュリティを強化します。

[接続例]



[ブラウザ操作]

操作の前に

操作画面を表示する

PCを起動して、インストールされているウェブブラウザから本機を操作します。

STEP1

ウェブブラウザを起動します。

STEP2

本機に設定されたIPアドレス、または本機のURLを [アドレス] ボックスに入力し、Enterキーを押します。

→認証画面が表示されます。設定メニュー [詳細設定] の [ユーザー管理] - [基本] タブの「ユーザー認証」が「Off」に設定されている場合、認証画面は表示されません。



[重要]

- 設定してあるIPアドレスについてはネットワークの管理者にご確認ください。
- 初期設定では接続方法がHTTPSに設定されているため、IPアドレスやURLを入力する場合は、先頭に https:// を付与してください。
- IPアドレスを入力するときは、先頭に「0」を付けないでください。

例：○ 192.168.0.50

× 192.168.0.050



[メモ]

- 接続カメラ数を上回る台数のPCでH.265の動画を見る場合は、PCごとにライセンスが必要です。ライセンスについては、お買い上げの販売店（設置工事店）にお問い合わせください。また、以下の弊社サポートウェブサイト内の「ライセンスについて（プラグインソフトウェア）」も参照してください。

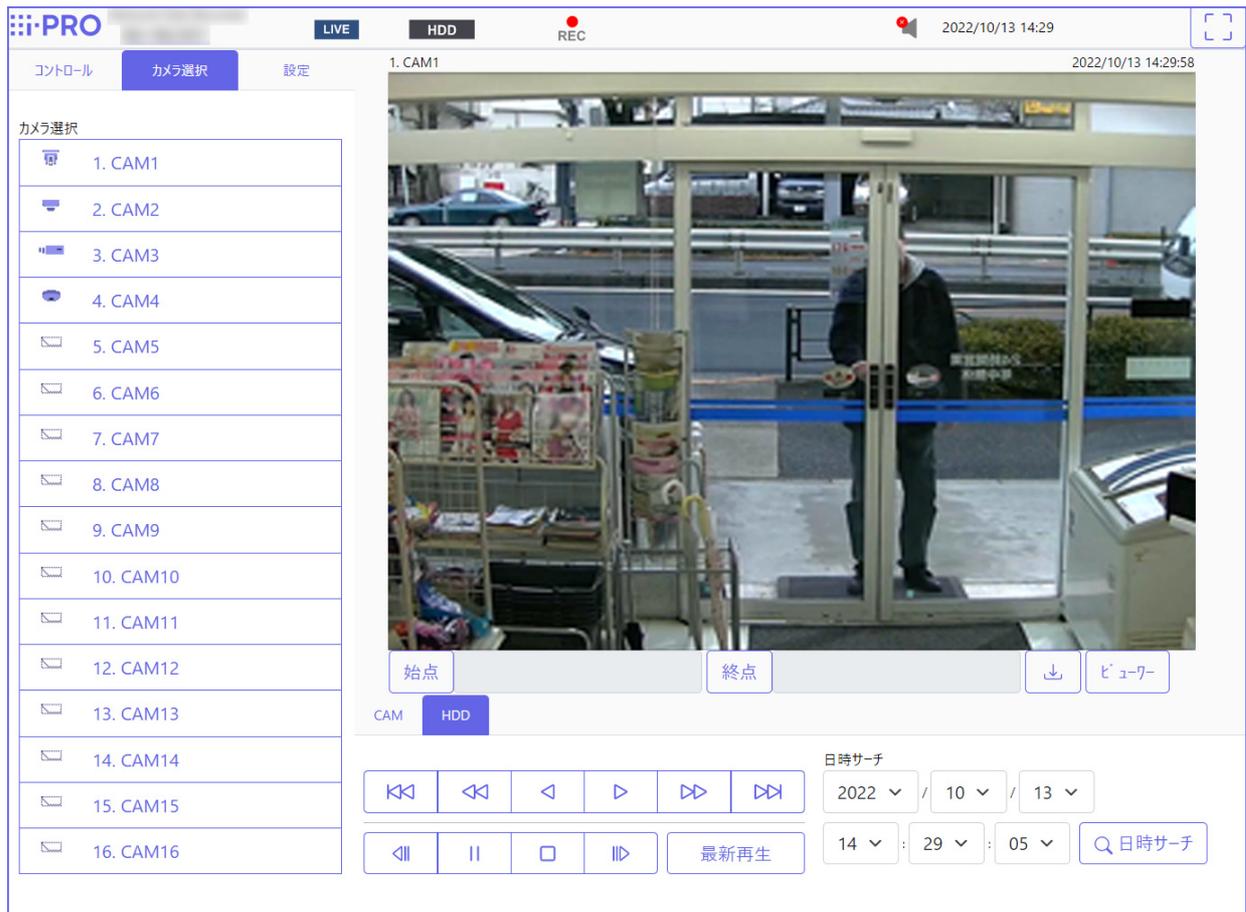
https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/learning-and-support

- HTTPS 接続時、「この接続ではプライバシーが保護されません」などのメッセージが表示される場合がありますが、HTTPS 通信は可能です。

STEP3

本機に登録されているユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] ボタンをクリックします。

→トップページが表示されます。



[重要]

- 設定してあるユーザー名、パスワードについてはシステムの管理者にご確認ください。
- ユーザー登録のしかたは以下をお読みください。
☞ [ユーザー情報を登録/変更/削除する \[ユーザー登録\]](#)

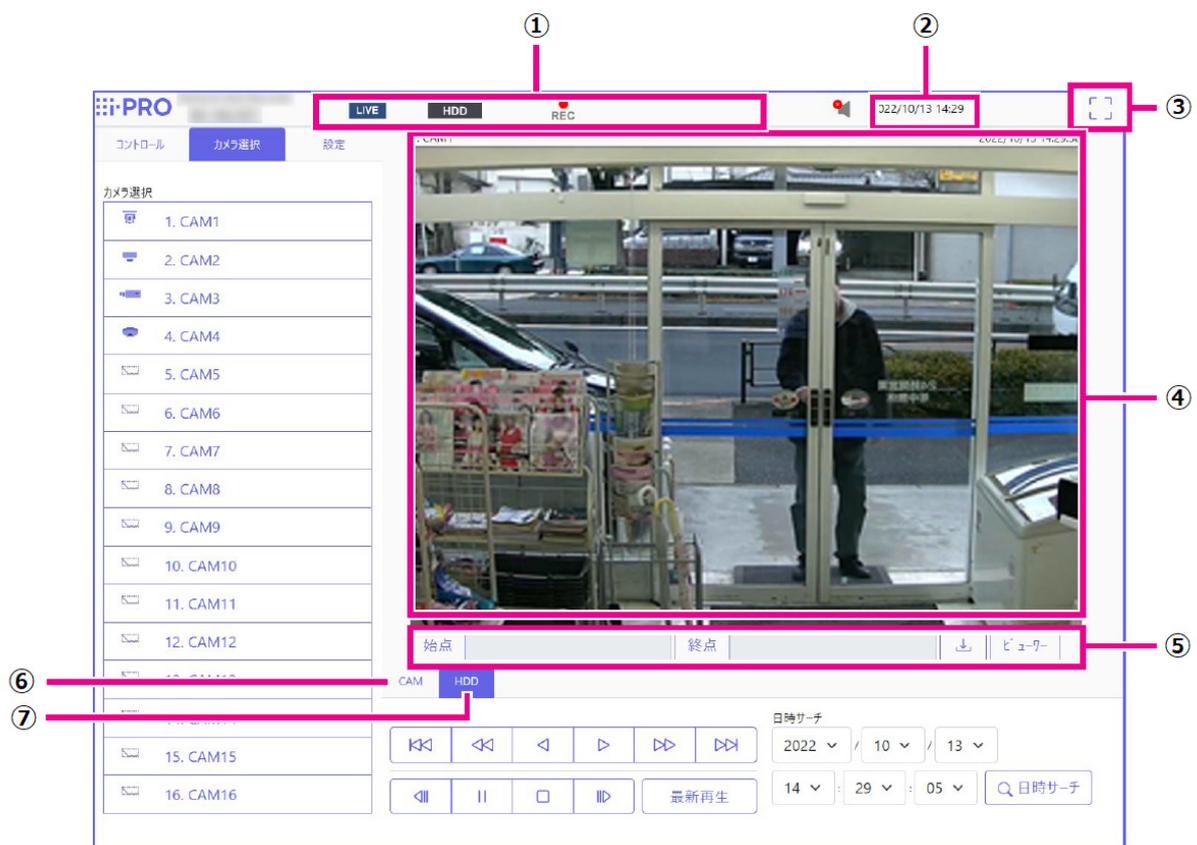


[メモ]

- ウェブブラウザがポップアップをブロックする設定になっていると、アラームやエラーなどのメッセージが表示されなかったり、各種サーチ画面やコピー画面が表示されません。

操作画面について

トップページ



[コントロール] タブ

録画画像の検索やコピーなどの操作、検索結果およびログ情報を表示します。

[カメラ選択] タブ

表示するカメラ画像の切り換えができます。

[設定] タブ

本機の設定ができます。

各種設定項目や設定内容の詳細については以下をお読みください。

[👉 本体設定について](#)

また、基本的な操作方法については、以下をお読みください。

[👉 設定する](#)

① ステータス表示部

録画画像の再生状況や録画状態など、本機の状態を表示します。

② 現在日時表示部

現在の日時を表示します。

③ [全画面表示] ボタン

カメラのライブ画像、再生画像を画面全体に表示します。

[👉 カメラのライブ画像を見る](#)

④ 画像表示部

ライブ画像や再生画像を表示します。画像の左上にはカメラタイトル、右上には日時（ライブ画像はカメラの現在日時、再生画像は録画日時）を表示します。

⑤ ダウンロード操作部

再生画像やビューワーソフトをダウンロードします。

⑥ [カメラ] タブ

ズームやフォーカス、自動モードなどのカメラ操作ができます。

⑦ [HDD] タブ

録画画像の再生操作ができます。

コントロールパネル

[コントロール] タブをクリックすると、以下の操作パネルが表示されます。



【サーチ】ボックス

録画画像を検索再生する場合に使用します。検索結果はリスト表示部に表示されます。

- 【録画イベント】ボタン
【ディスク/メディア】で「HDD」を選択すると表示されます。録画イベントサーチ画面を表示します。
- 【コピーデータ】ボタン
【ディスク/メディア】で「USB」を選択すると表示されます。コピーデータサーチ画面を表示します。

ディスク/メディア

再生画像の保存先を選択します。

HDD / USB

【履歴表示】ボックス

表示するログを選択します。

各ボタンをクリックすると、該当する履歴情報をリスト表示部に表示します。

表示する内容：アラーム履歴、エラー履歴

【閉じる】ボタン

表示された履歴情報を閉じます。

【コピー】ボタン

【ディスク/メディア】で「HDD」を選択すると操作できます。

コピー画面を表示します。録画画像を外部記憶装置にコピーする場合に使用します。

リスト表示部

件数：リストアップされたデータのトータル件数を表示します。

No.：発生順に番号を表示します。

発生日時：イベントや障害が発生した日時を表示します。

内容：発生イベントや障害内容を表示します。記録できる件数は、それぞれ以下のとおりです。上限を超えると、古い履歴、ログから上書きされます。

アラーム履歴：1000件

エラー履歴：1000件

リストの日時をクリックすると、その日時から（履歴／ログ情報の場合は約5秒前から）再生を開始できます。

検索結果およびコピーデータのリスト表示については、以下をお読みください。

⇒ [検索して再生する（録画イベントサーチ）](#)

⇒ [コピーした画像リストを確認する](#)



[メモ]

- アラーム履歴のプレ録画時間を5秒より長く設定している場合に、プレ録画の先頭から再生するには、再生ボタンをクリックしてから、逆スキップボタンをクリックしてください。
- 選択した履歴の録画データが、すでに上書きなどにより消去されている場合は、正しいデータを再生できません。

カメラ選択パネル

[カメラ選択] タブをクリックすると、以下の操作パネルが表示されます。画像表示部の切り換えやカメラ画像を選択します。



カメラ選択ボックス (①)

カメラタイトルをクリックすると、選択したカメラの画像を画像表示部に1画面で表示します。

[モニター] – [ウェブブラウザ] の [グループ表示] 設定を「On」にすると、カメラをグループ表示することができます。

👉 [ウェブブラウザの設定を行う \[ウェブブラウザ\]](#)

設定パネル

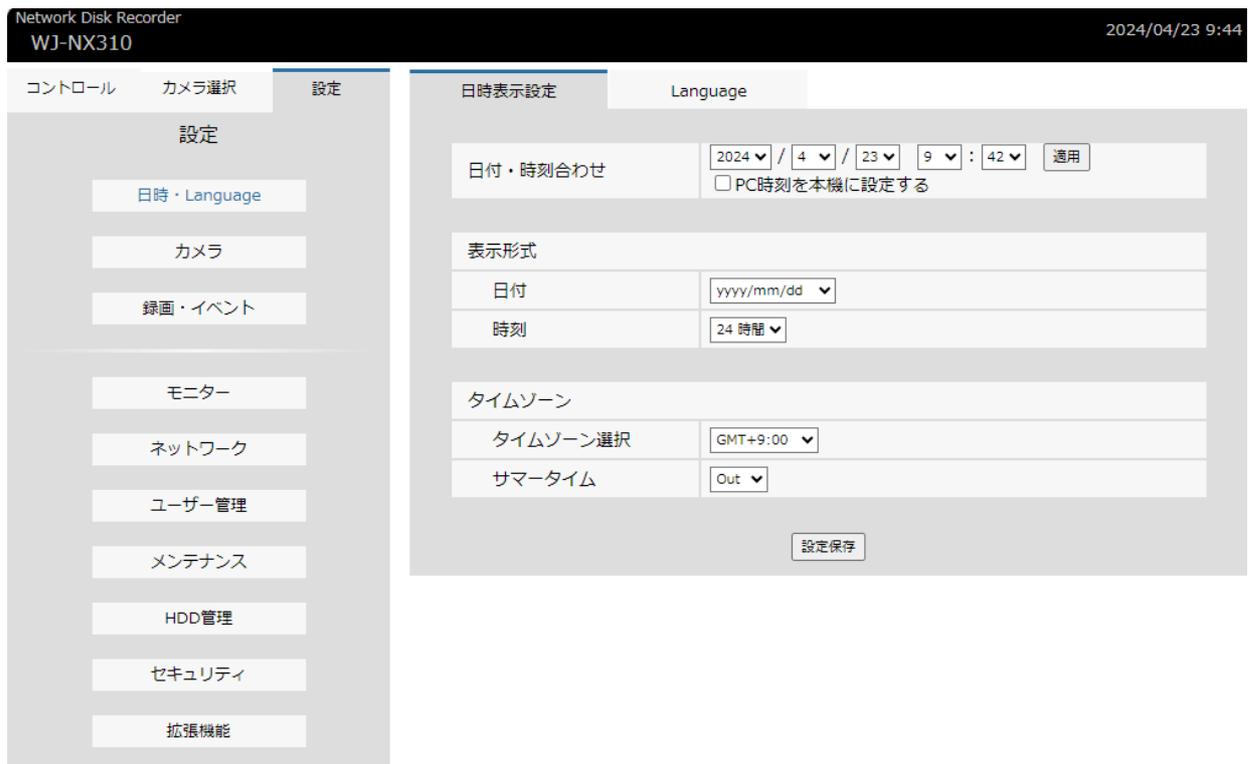
[設定] タブをクリックすると、以下の設定パネルが表示されます。本機の日时表示などの設定を変更することができます。

各種設定項目や設定内容の詳細については以下をお読みください。

👉 [基本設定](#)

また基本的な操作方法については以下をお読みください。

👉 [設定する](#)



【日時・Language】ボタン

日時・Language（言語）ページを表示します。日時の設定やサマータイム設定などを行います。

【カメラ】ボタン

カメラページを表示します。カメラの登録を行います。

【録画・イベント】ボタン

録画イベントページを表示します。録画のスケジュールやアラームに関する設定を行います。

【モニター】ボタン

メインモニターやサブモニターに関する設定を行います。

【ネットワーク】ボタン

ネットワーク接続に関する設定を行います。

【ユーザー管理】ボタン

ユーザーの登録、変更、削除や管理者設定を変更します。

【メンテナンス】ボタン

本機のシステム情報を表示します。設定の初期化やソフトウェアの更新を行います。

【HDD管理】 ボタン

HDDをフォーマットしたり、HDDの運用モードを変更したりします。

【セキュリティ】 ボタン

セキュリティ機能を設定します。

【拡張機能】 ボタン

NASバックアップやフェイルオーバーなど、拡張機能を設定します。

ステータス表示部



①ライブ／再生状態表示部

ライブ画像、再生画像の状態を表示します。表示される情報は以下のとおりです。

LIVE : ライブ画像を表示中です。

▶ : 録画画像を再生中です。

◀ : 逆再生中です。

▶▶ : 高速再生中です。

◀◀ : 高速逆再生中です。

|| : 一時停止中です。

DL : 録画画像・音声をダウンロード中です。

END : 録画画像・音声のダウンロードが終了しました。

再生速度を表示します。

Step1 : 1倍速

Step2 : 約2倍速

Step3 : 約4倍速

Step4 : 約8倍速

Step5 : 約16倍速

Step6 : 約32倍速

Step7 : 約48倍速

選択中のメディアを表示します。

HDD : 再生メディアとしてHDDを選択中です。

USB : USBメディアを選択中です。

各機能の動作状況を表示します。

FORMAT : HDDまたはUSBメディアをフォーマット中です。

SD▶HDD : SDメモリーデータを取得中です。

RECOVER : RAID復旧中です。

FILTERING : 録画イベントを絞り込み検索中です。

②録画ランプ

録画状態を表示します。

 : 録画中です。

 : 録画していません。

③その他状態表示部

以下の状態を表示します。

BUSY : 優先度の高いユーザーがカメラを操作しているため、カメラを操作できません。

COPY : コピー動作中です。

DELETE : 画像データを消去中です。(自動消去処理中のみ)

アラームボタン

イベント発生時に表示されます。クリックすると、アラーム動作を解除できます。

エラーボタン

エラー発生時に表示されます。クリックすると、エラー動作を解除できます。



[メモ]

- 緊急録画中にアラームリセットボタンをクリックしても、緊急録画は停止されません。ただし、緊急録画の録画時間設定が「Ext.」に設定されている場合は、録画を停止します。

ミュートボタン

 : ミュート中です。

 : ミュート解除中です。

ライブ画像表示開始時は音声の出力を停止（ミュート）しています。クリックすると、ミュートを解除できます。もう一度クリックするとミュートします。

ダウンロード操作部

始点	2023/09/22 18:23:46	終点	2023/09/22 18:28:46	↓	ビューワ
----	---------------------	----	---------------------	---	------

始点／終点設定

ダウンロードする画像と音声の範囲を、始点／終点の日時で設定します。1画面で再生中のみ設定できます。

[再生画像をダウンロードする](#)

【ダウンロード】ボタン

指定した日時の画像・音声をダウンロードできます。

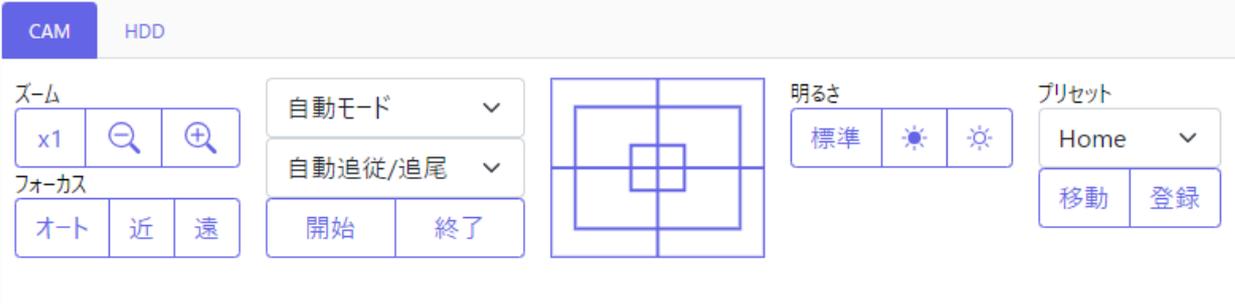
【ビューワ】ボタン

ダウンロードした画像と音声を再生するビューワソフトをダウンロードできます。

【カメラ】タブ

回転機能付きカメラのライブ画像を表示しているとき、カメラの操作ができます。接続されたカメラの機種によっては、カメラが操作できないか、一部動作しない場合があります。操作については「カメラを操作する」を参照してください。

[カメラを操作する](#)



【HDD】タブ

本機のHDDに録画したカメラ画像を再生します。操作については「再生する」を参照してください。

[再生する](#)



見る

カメラのライブ画像を見る

カメラのライブ画像を1画面でウェブブラウザに表示します。また、画像表示部を画面全体に拡げて表示することができます。



[重要]

- 録画解像度がJPEGに設定されているカメラは表示されません。
- 録音設定がOn(G.711)に設定されている場合、音声は出力されません。
- カメラの解像度や画質（ビットレート）の設定によって、映像表示に遅延が生じる場合があります。
- ブラウザで映像を長時間表示し続けると、ブラウザの動作が遅くなったり、映像が表示されなくなったりすることがあります。その場合は、一度ブラウザを終了し、もう一度起動してください。
- スケジュール録画、イベント録画、緊急録画間、および、プレ録画とイベント録画間でフレームレートの設定を変更している場合、ライブ映像表示中にフレームレートの切り換わりが発生すると、ライブ映像が滑らかに表示されないことがあります。

ライブ画像を表示する

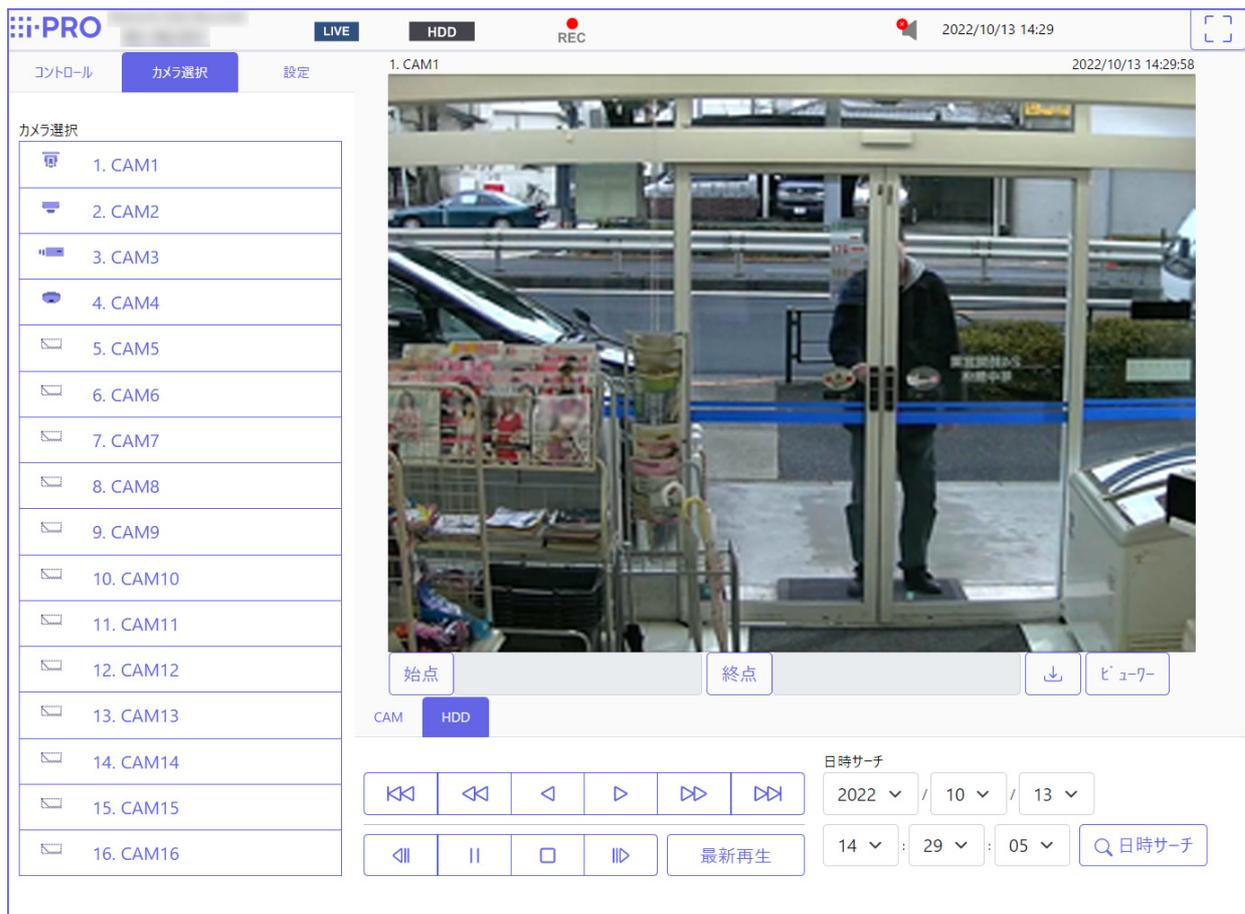
1画面でカメラのライブ画像を表示します。

STEP1

[カメラ選択] タブをクリックします。

→ [カメラ選択] ボックスにカメラのリストが表示されます。

[👉 操作画面について](#)



STEP2

カメラタイトルを選択します。

→選択したカメラのライブ画像が1画面で表示されます。



[メモ]

- ライブ画像を表示しているときに、[HDD] タブの [最新再生] ボタンをクリックすると、表示しているカメラの最新の録画日時の約30秒前の画像から再生を開始します。記録の設定によっては、30秒以上前から再生される場合があります。

全画面表示にする

ライブ画像を画面全体に拡げて表示します。[全画面表示] ボタンをクリックします（操作パネルは非表示となります）。

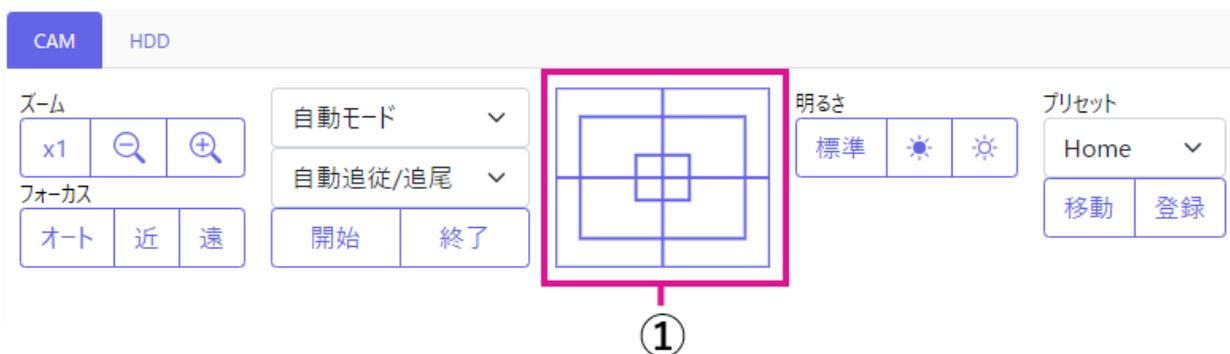
👉操作画面について

全画面表示から通常表示に戻すには、Escキーを押下するか、画面上部に表示される「×」アイコンをクリックします。

カメラを操作する

回転機能付きカメラのライブ画像を表示しているとき、カメラ操作ができます。接続されたカメラの機種によってはカメラの操作ができないか、一部動作しない機能があります。

カメラ操作は、トップページで [カメラ] タブを表示して行います。



カメラ操作は以下のとおりです。

機能	機能説明	操作
パン/チルト	カメラ画像の水平/垂直位置を調整します。	コントロールパッド (①) クリックしてカメラの向きを調整します。パッドの中心から外側をクリックするほど、パン/チルトの移動量が多くなります。
ズーム	カメラ画像を拡大/縮小表示します。	[-] ボタンまたは [+] ボタンをクリックします。[x1] ボタンをクリックすると、ズームの倍率は1倍に戻ります。
フォーカス	カメラ画像の焦点を調整します。	[近] ボタンまたは [遠] ボタンをクリックします。[オート] ボタンをクリックすると、焦点を自動調整します。
明るさ	レンズの絞りを調整します。	* ボタンまたは * ボタンをクリックします。[標準] ボタンをクリックすると、明るさの設定を標準に戻します。
プリセット登録	現在のカメラの向きを選択したプリセットポジションに登録します。	カメラのパン/チルト操作を行い、カメラを登録したい向きへ移動します。プリセットボックスの [▼] ボタンをクリックして、登録したいプリセット番号 (1 ~ 256) を選択し、[登録] ボタンをクリックします。 [メモ] ● 接続されたカメラの機種によっては登録できないプリセット番号があります。 ● 「Home」には登録できません。

<p>プリセット移動</p>	<p>プリセット登録で設定されたプリセットポジションにカメラの向きを移動します。</p>	<p>プリセットボックスの [▼] ボタンをクリックして、プリセット番号 (Home、1 ~ 256) を選択し、[移動] ボタンをクリックします。</p>
<p>自動モード</p>	<p>カメラに設定された自動モード機能を動作させます。</p>	<p>操作モードで「自動モード」を選択し、[▼] ボタンをクリックして、以下のカメラの自動モードを選択します。[開始] ボタンをクリックすると、カメラの自動モードが開始します。[終了] ボタンをクリックすると、自動モードが終了します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自動追従/追尾：カメラが画面上の動く物体を自動で追いかけます。 ●オートパン：カメラであらかじめ設定したパンのスタート位置とエンドの位置の範囲を自動的に旋回します。 ●プリセットシーケンス：カメラであらかじめ登録してあるプリセットポジションをプリセット番号の小さい方から順番に移動します。 ●パトロール：カメラであらかじめ記録した手動操作を実行します。 <p>[メモ] カメラの自動モードは、あらかじめカメラのメニューで設定してからご使用ください。</p>
<p>AUX操作</p>	<p>カメラの AUX 端子に接続された機器をオープン状態/クローズ状態にします。</p>	<p>操作モードで「AUX」を選択し、[▼] ボタンをクリックして AUX の端子番号を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [Open] ボタンをクリックすると、カメラのAUX端子がオープン状態になります。 ● [Close] ボタンをクリックすると、カメラのAUX端子がクローズ状態になります。 <p>[メモ] AUX の端子番号選択は WJ-GXE500 のみ有効です。WJ-GXE500 以外のカメラに対しては、オープン/クローズ操作のみ可能です。</p>

ワイパー操作	WV-SUD638 のウォッシャー／ワイパーを操作します。	<p>操作モードで「ワイパー」を選択し、[▼] ボタンをクリックして、以下のカメラのワイパー機能を選択し、[開始] または [終了] ボタンをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高速：連続でふき取り動作を行います。(4秒に1回) ●低速：連続でふき取り動作を行います。(8秒に1回) ●一時制御：高速 (4秒に1回) のふき取り動作を5回行います。 ●ウォッシャー：規定のウォッシャー／ワイパー動作を行います。 <p>[メモ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ウォッシャー動作中は以下の操作ができません。 <ul style="list-style-type: none"> ・「ワイパー」の [開始] 操作と [終了] 操作 ・パン・チルト・ズーム・フォーカスの制御 ・「自動モード」の [開始] 操作 ・「プリセット」の [移動] 操作 ●カメラ側にウォッシャー動作設定が必要です。詳しくは、WV-SUD638の取扱説明書をお読みください。
雨滴除去アシスト	雨滴除去アシスト機能を動作させます。	操作モードで「雨滴除去アシスト」を選択し、[開始] ボタンをクリックします。

イベント機能

イベント機能について

本機は以下のイベントが発生すると、設定に従いイベント動作を行います。

- 端子アラーム：ドアセンサーなどの外部機器から本機後面のアラーム入力端子へ信号が入力される
- カメラサイトアラーム：カメラで検出したアラーム（カメラ端子アラームなど）
- コマンドアラーム：ネットワークを経由してPCなどから入力したアラーム

イベント発生時の動作

イベントが発生し本機がイベントを認識すると、設定されている動作モードに従ってイベント動作を行います。

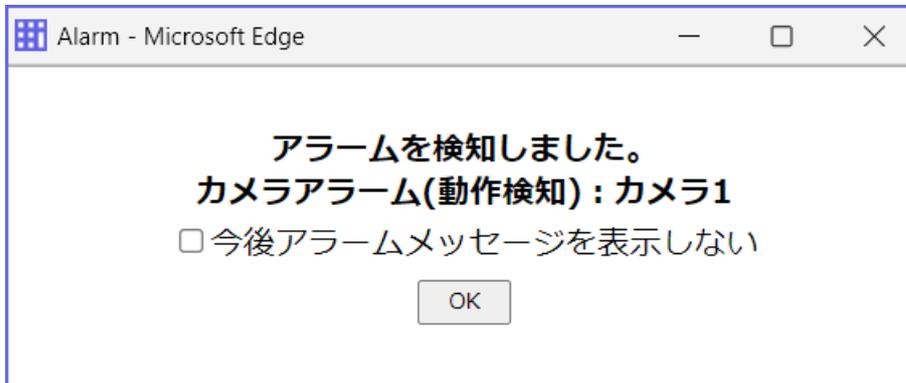
イベント動作、動作モードについては、以下をお読みください。

[👉 イベント発生時の動作](#)

ここでは、PCから設定・確認できるイベント発生時の動作について説明します。

アラームメッセージを表示する

イベント発生を通知する画面を表示します。



[OK] ボタンをクリックするか、[x] ボタンをクリックすると画面を閉じます。複数のイベントが同時に発生した場合は、後から発生したイベントの内容を表示します。「今後アラームメッセージを表示しない」にチェックを入れると、ウェブブラウザを起動しなおすまで、イベントが発生しても、アラームメッセージは表示されません。

アラームボタンを表示する

ステータス表示部にアラームボタンを表示します。アラームボタンをクリックすると、アラーム動作を解除できます。

[👉 イベント機能について](#)

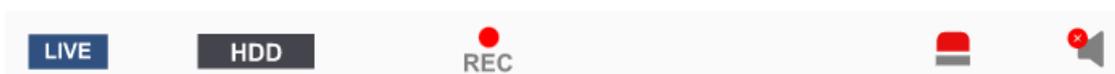
エラーボタンを表示する

ステータス表示部にエラーボタンを表示します。エラーボタンをクリックすると、エラー動作を解除できます。

[👉 イベント機能について](#)

アラーム動作を解除する

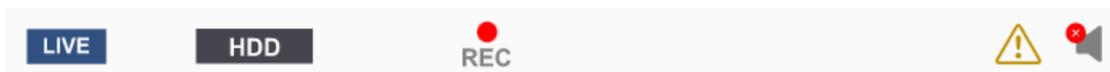
アラーム動作を手動で解除するには、ステータス表示部に表示されたアラームボタンをクリックします。



→アラーム動作が解除されます。イベント録画が停止し、アラーム動作前の状態に戻ります。

エラー動作を解除する

エラー（障害）が発生すると、本機はエラー動作（エラーが発生していることを知らせる一連の動作）を行います。ウェブブラウザ上にエラー画面が表示され、発生したエラーの情報が表示されます。エラー動作を手動で解除するには、エラー画面を閉じ、ステータス表示部に表示されたエラーボタンをクリックします。



→エラー動作が解除されます。



[メモ]

- エラーが発生したら、エラー履歴表示パネルに表示された対処方法に従い、対策を行ってください。本機前面のエラーランプは、エラーの原因が解消されると消灯します。
👉履歴から選択して再生する（履歴サーチ）
- エラーの原因が自動的に解消されても、エラーボタンの表示は継続されま
す。エラーボタンをクリックすると、エラーボタンは消えます。

再生

再生する

本機のHDDに録画したカメラ画像を表示します。再生には、日時を指定して再生する方法と、条件検索をして再生する方法があります。再生操作は録画中も行えます。



[重要]

- HTTP接続時は、音声は再生できません。また、録音設定がOn(G.711)に設定されている場合は、HTTPS接続時も音声は再生できません。
- 同時に再生できるブラウザの最大接続数は2台です。スマートフォンアプリケーション i-PRO Mobile APPのモバイル再生数も接続数に含まれます。2台のブラウザで再生中は、同一レベルのユーザーが3台目のブラウザで再生することはできません。また、サブモニター使用時は最大接続数が1台になります。
- 録画画像の圧縮方式、解像度、フレームレートなどによって、再生速度が

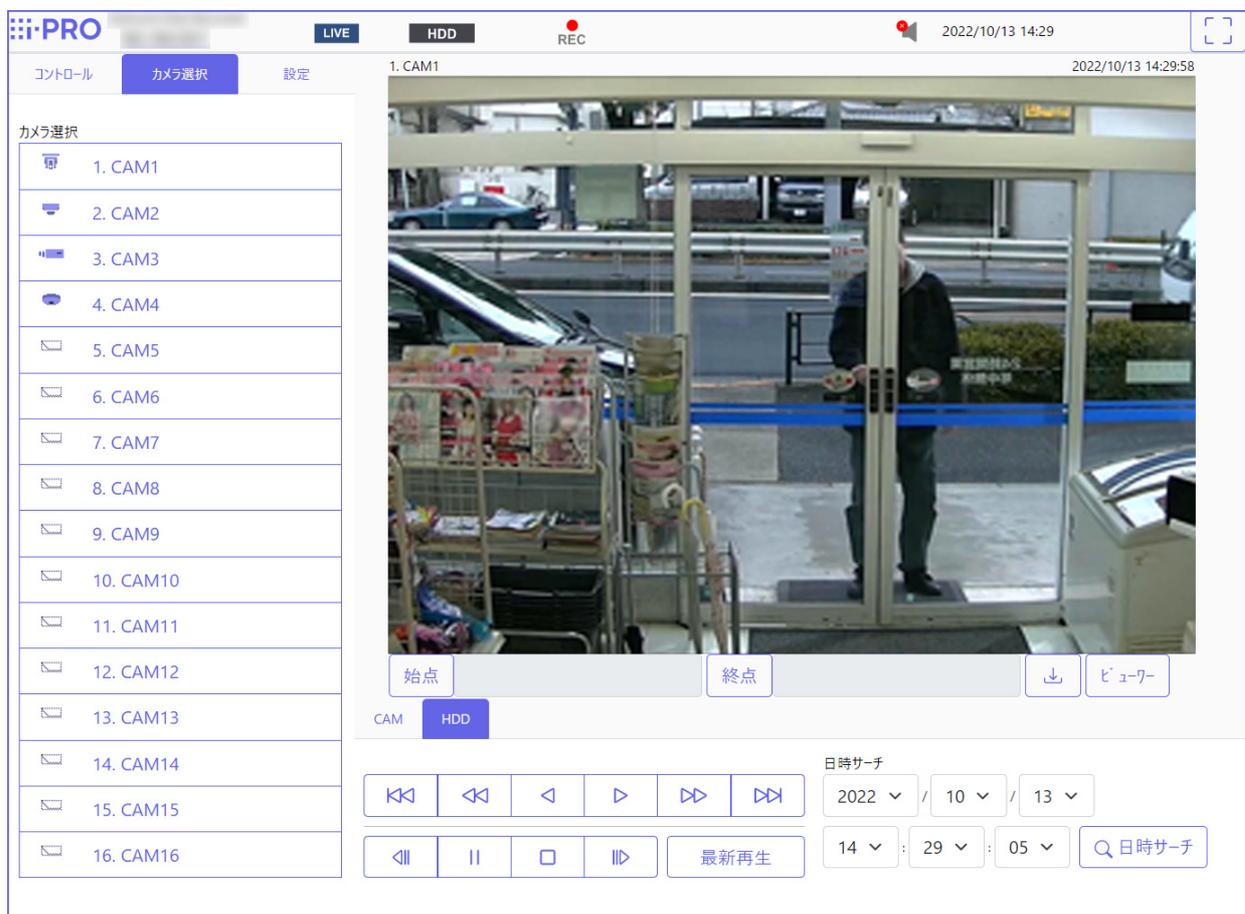
遅くなる場合があります。

- 録画画像のフレームレートが 15 ips 以上の場合は間引いて再生します。
- 再生中にブラウザを終了すると、次回のブラウザ接続で再生できるようになるまで約 90 秒かかります。再生を停止してからブラウザを終了すれば問題ありません。

STEP1

操作画面のトップページで [HDD] タブをクリックします。

→ [HDD] タブが表示されます。



STEP2

[再生] ボタンをクリックします。

→録画画像が再生されます。ステータス表示部に「再生中 [Step 1]」が表示されます。前回再生を終了した日時から再生を開始します。

STEP3

[HDD] タブの [停止] ボタンをクリックします。

→ステータス表示部の「再生中 [Step 1]」が消え、再生を停止します。画像表示部にカ

メモのライブ画像が表示されます。



[メモ]

- ログイン後、初めて再生するときは、最新の録画日時の約30秒前の画像から再生します。録画中は現在日時の30秒前の画像から再生します。記録の設定によっては、30秒以上前から再生される場合があります。
- 本機の負荷が大きい場合（接続カメラ台数が多い、ライブ/再生画面数が多いなど）、再生速度が遅くなるか、またはしばらく停止することがあります。
- 再生中に [カメラ選択] タブをクリックして、カメラタイトルをクリックすると、カメラを変更できます。
- 現在日時の近傍を再生し続けると、再生映像が一時停止もしくは画像が表示されない場合があります。

再生操作について

再生中に行える操作は、以下のとおりです。

機能	表示例	操作
再生/逆再生ボタン	▶ / ◀	<ul style="list-style-type: none"> ●録画画像を再生します。 ●録画画像を逆再生します。 ※低いレートで録画中に [再生] ボタン、[逆再生] ボタンをクリックしても再生、逆再生されない場合があります。
停止ボタン	□	<ul style="list-style-type: none"> ●再生中にクリックすると、再生を停止し、ライブ画像が表示されます。
一時停止ボタン		<ul style="list-style-type: none"> ●再生中にクリックすると、再生を一時停止します。 ●一時停止中にクリックすると、再生を再開します。
高速再生/高速逆再生ボタン	▶▶ / ◀◀	<ul style="list-style-type: none"> ●再生中に [高速再生] ボタンをクリックするたびに、再生速度がStep2 (約2倍)、Step3 (約4倍)、Step4 (約8倍)、Step5 (約16倍)、Step6 (約32倍)、Step7 (約48倍) と切り換わります ●再生中に [高速逆再生] ボタンをクリックするたびに、逆再生速度がStep2 (約2倍)、Step3 (約4倍)、Step4 (約8倍)、Step5 (約16倍)、Step6 (約32倍)、Step7 (約48倍) と切り換わります ●再生状態表示には、再生速度のステップが表示されます。 ※再生画像がH.264/H.265画像の場合、録画されているすべての画像は表示されません。カメラに設定されているリフレッシュ周期の画像で高速再生/高速逆再生されます。

スキップ/逆スキップボタン	⏮ / ⏭	<ul style="list-style-type: none"> ● [スキップ] ボタンをクリックすると、録画時刻の新しい画像にスキップして再生します ● [逆スキップ] ボタンをクリックすると、録画時刻の古い画像にスキップして再生します <p>※スキップ先が存在しない場合は再生を続けます。このとき再生時刻が1分程度戻る場合があります。</p>
コマ送り/逆コマ送りボタン	▶ / ◀	<ul style="list-style-type: none"> ●再生中や一時停止中に [コマ送り] ボタンをクリックすると、順方向に1コマ再生し、一時停止します。 ●再生中や一時停止中に [逆コマ送り] ボタンをクリックすると、逆方向に1コマ再生し、一時停止します。 <p>※再生画像がH.264/H.265画像の場合、録画されているすべての画像は表示されません。カメラに設定されているリフレッシュ周期の画像で逆コマ送りされます。</p>
最新再生ボタン	最新再生	<ul style="list-style-type: none"> ●再生している画像の最新の録画日時の約30秒前の画像から再生を開始します。録画中は現在日時の約30秒前の画像から再生します。記録の設定によっては、30秒以上前から再生される場合があります。 <p>※低いフレームレートで録画中に [最新再生] ボタンをクリックすると最新の録画画像で一時停止、もしくは画像が表示されない場合があります。現在日時の近傍を再生し続けると、再生映像が一時停止もしくは画像が表示されない場合があります。</p>

日時を指定して再生する

見たい録画画像の日時を指定して再生します。再生操作は録画中も行えます。

STEP1

操作画面のトップページで [カメラ選択] タブをクリックし、カメラ選択ボックスから再生したいカメラを選択します。

🔗 [操作画面について](#)

STEP2

HDDタブをクリックします。

🔗 [操作画面について](#)

STEP3

日時サーチボックスで [▼] ボタンをクリックし、再生したい画像の日時を選択します。

日時サーチ

2022 ▾ / 10 ▾ / 13 ▾

14 ▾ : 29 ▾ : 05 ▾

STEP4

[日時サーチ] ボタンをクリックします。

→ステータス表示部に「再生中 [Step 1]」が表示され、設定した日時の画像を再生します。

[🔊再生する](#)



[メモ]

- 再生画面がH.264/H.265画像の場合、指定した時刻の数秒前、もしくは数秒後から再生することがあります。
- 指定した日時の画像がない場合は、入力日時に最も近い画像を再生します。

検索して再生する（録画イベントサーチ）

録画イベントリストから再生したい録画イベントを検索して再生します。



[重要]

- 録画イベントサーチは、[ディスク/メディア] で「HDD」を選択している場合のみ実行できます。
- また、録画イベントは、条件で絞り込んで検索することもできます。



[メモ]

- カメラの動作検知アラームで録画した画像は、録画イベントのカメラサイトアラームを選択して検索してください。

STEP1

操作画面のトップページで [コントロール] タブをクリックし、検索ボックスで [録画イベント] ボタンをクリックします。

[🔊操作画面について](#)

→録画イベントサーチ画面が表示されます。

録画イベントサーチ

日時範囲	
始点	2022 ▾ / 1 ▾ / 1 ▾ 0 ▾ : 18 ▾ : 54 ▾
終点	2022 ▾ / 1 ▾ / 1 ▾ 0 ▾ : 18 ▾ : 54 ▾
録画イベント	<input checked="" type="checkbox"/> 全イベント <input checked="" type="checkbox"/> スケジュール <input checked="" type="checkbox"/> 端子アラーム <input checked="" type="checkbox"/> コマンドアラーム <input checked="" type="checkbox"/> カメラサイトアラーム <input checked="" type="checkbox"/> 緊急 <input checked="" type="checkbox"/> SDメモリーバックアップ <input checked="" type="checkbox"/> 機能拡張ソフトウェアアラーム <input checked="" type="checkbox"/> 侵入検知 <input checked="" type="checkbox"/> 滞留検知 <input checked="" type="checkbox"/> 方向検知 <input checked="" type="checkbox"/> ラインクロス <input checked="" type="checkbox"/> 混雑検知 エリア1 <input checked="" type="checkbox"/> 混雑検知 エリア2 <input checked="" type="checkbox"/> 混雑検知 エリア3 <input checked="" type="checkbox"/> 混雑検知 エリア4 <input checked="" type="checkbox"/> ユーザー定義1 <input checked="" type="checkbox"/> ユーザー定義2 <input checked="" type="checkbox"/> ユーザー定義3 <input checked="" type="checkbox"/> ユーザー定義4 <input checked="" type="checkbox"/> ユーザー定義5 <input checked="" type="checkbox"/> ユーザー定義6 <input checked="" type="checkbox"/> ユーザー定義7 <input checked="" type="checkbox"/> ユーザー定義8
カメラ	<input checked="" type="checkbox"/> 全カメラ <input checked="" type="checkbox"/> カメラ1 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ2 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ3 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ4 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ5 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ6 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ7 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ8 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ9 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ10 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ11 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ12 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ13 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ14 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ15 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ16

STEP2

絞り込み条件を設定します。

【日時範囲】

検索開始日時と検索終了日時を選択します。その間に録画されている画像を検索します。

【録画イベント】

選択したイベントの画像のみ検索します。検索したいイベントにチェックを入れます。[全イベント] にチェックを入れると、以下のすべてのイベントにチェックを入れることができます。

スケジュール [SCH] : スケジュール録画イベントによる録画

端子アラーム [TRM] : 端子アラームによる録画

コマンドアラーム [COM] : コマンドアラームによる録画

カメラサイトアラーム [CAM] : カメラサイトアラームによる録画

緊急 [EMR] : 緊急録画イベントによる録画

SDメモリーバックアップ [SD] : SDメモリーバックアップ機能による録画

機能拡張ソフトウェアアラーム [SW1 ~ SW16] : 機能拡張ソフトウェアアラームによる録画



[メモ]

- 機能拡張ソフトウェアアラームを検索した場合、リスト表示部のイベント種別は、各イベントに対して以下のように表示されます。

侵入検知 : SW1、滞留検知 : SW2、方向検知 : SW3、ラインクロス : SW4、混雑検知 エリア1 ~混雑検知 エリア4 : SW5~ SW8、ユーザー定義1 ~ユーザー定義8 : SW9 ~ SW16 (上記、各機能拡張ソフトウェアアラームの名称は初期設定値の場合です。)

- 機能拡張ソフトウェアアラームのユーザー定義1~ユーザー定義8は、機能拡張ソフトウェアアラームのメッセージIDを設定すると表示されます。

👉 [録画やイベントに関する設定を行う \[録画・イベント\]](#)

[カメラ]

選択したカメラごとに検索します。検索したいカメラにチェックを入れます。[全カメラ]にチェックを入れると、すべてのカメラにチェックを入れることができます。

STEP3

[OK] ボタンをクリックします。

→ステータス表示部に [FILTERING] が表示され、絞り込まれた結果がリスト表示部に表示されます。

コントロール カメラ選択 設定

サーチ ディスク/メディア

録画イベント HDD ▾

履歴表示

アラーム エラー コピー

録画イベント 25 件

条件解除 更新 < >

日時	カメラ	Evt	HDD	音声
2022/10/13 14:49:40	1	SCH	MAIN-1	🔊
2022/10/13 14:49:03	1	CAM	MAIN-1	🔊
2022/10/13 14:48:41	1	SCH	MAIN-1	🔊

件数

検索されたデータのトータル件数を表示します。10001件以上の場合は「> 10000件」と表示します。

【条件解除】 ボタン

絞り込みを解除し、すべての録画イベントを表示します。

【更新】 ボタン

表示内容を最新の状態に更新します。

【前ページ (<)] ボタン

リストの前のページを表示します。

【次ページ (>)] ボタン

リストの次のページを表示します。

日時

録画開始日時を表示します。

カメラ

録画したカメラを表示します。

Evt

イベント種別を表示します。

👉 [検索して再生する（録画イベントサーチ）](#)

HDD

データが録画されているHDDの番号を表示します。

音声

画像に録音されている場合は、アイコンを表示します。



[メモ]

- 再生中は [条件解除] ボタンが無効になっています。再生を停止してから、操作してください。
- カメラの台数が多い場合、録画開始時刻がカメラごとにそろわないことがあります。

STEP4

録画イベントリストで再生したい日時をクリックします。

→選択した録画イベント日時の画像を再生します。

👉 [再生する](#)

便利な機能

コピーする

本機に録画された画像を外部記憶装置（外付けHDD、USBメモリー）やNASにコピーします。コピー機能について、詳しくは以下をお読みください。

👉 [コピーする](#)

コピーした画像の再生方法については、以下をお読みください。

👉 [コピー・ダウンロードした画像をPCで再生する](#)

NASを用いたコピー（NASバックアップ機能）については、以下をお読みください。

👉 [NASバックアップ機能](#)

STEP1

操作画面のトップページで [コントロール] タブをクリックします。

👉 [操作画面について](#)

STEP2

[コピー] ボックスのボタンをクリックします。



→コピー画面が表示されます。

STEP3

コピーする録画画像の条件を設定します。条件として設定したい内容を設定します。

コピー

カメラ	<input type="checkbox"/> 全カメラ					
	<input type="checkbox"/> カメラ1	<input type="checkbox"/> カメラ2	<input type="checkbox"/> カメラ3	<input type="checkbox"/> カメラ4		
	<input type="checkbox"/> カメラ5	<input type="checkbox"/> カメラ6	<input type="checkbox"/> カメラ7	<input type="checkbox"/> カメラ8		
	<input type="checkbox"/> カメラ9	<input type="checkbox"/> カメラ10	<input type="checkbox"/> カメラ11	<input type="checkbox"/> カメラ12		
	<input type="checkbox"/> カメラ13	<input type="checkbox"/> カメラ14	<input type="checkbox"/> カメラ15	<input type="checkbox"/> カメラ16		
始点	2022 ▾ / 10 ▾ / 13 ▾	18 ▾	:	44 ▾	:	50 ▾
終点	2022 ▾ / 10 ▾ / 13 ▾	18 ▾	:	49 ▾	:	50 ▾
ファイル形式	<input checked="" type="radio"/> 独自形式(n3r/n3a) <input type="radio"/> MP4形式					
改ざん検出	Off ▾					
パスワード付与	<input type="checkbox"/> パスワードをかけてコピーする					
	パスワード(5~8文字)	<input type="password"/>				
	パスワード確認	<input type="password"/>				
データサイズ	-.- GB <input type="button" value="測定"/>					
残容量	1.63 GB					

カメラ

コピーするカメラを選択します。選択したいカメラにチェックを入れます。[全カメラ]にチェックを入れると、すべてのカメラにチェックを入れることができます。

日時範囲

コピーしたい画像の始点（録画開始日時）と終点（録画終了日時）を設定します。[▼] ボタンをクリックして、日時を設定します。

ファイル形式

コピーする録画データのファイル形式（独自形式（n3r/ n3a） / MP4形式）を選択します。選択したいファイル形式にチェックを入れます。

改ざん検出

コピーする録画画像に改ざん検出用のコードを付与するかどうかを設定します。改ざん検出用のコードを付与すると、ビューワーソフトで再生する際に、改ざん検出を行えます。

[▼] ボタンをクリックして、On / Offを設定します。

パスワード付与

パスワード付きでコピーする場合にはチェックを入れ、パスワードを入力します（半角英数字5文字以上8文字以内）。ただし、MP4形式のファイルにはパスワードを付与することができません。

再生する際には入力したパスワードが必要になります。

データサイズ

[測定] ボタンをクリックすると、コピー対象のデータサイズを表示します。

残容量

コピー先（外部記憶装置）の残容量を表示します。

STEP4

[OK] ボタンをクリックして表示された確認画面の [OK] ボタンをクリックします。
→データコピー画面が閉じ、ステータス表示部に [COPY] が表示されコピーが始まります。コピーが終了すると、[COPY] 表示が消えます。



[重要]

- 外部記憶装置にコピー中は、外部記憶装置を抜かないでください。外部記憶装置のデータが壊れることがあります。
- コピー開始日時が終了日時よりも後に設定されているとき、[OK] ボタンをクリックしてもコピーは開始されません。
- コピー先の残容量が足りない場合でも、メディアの容量がいっぱいになるまでコピーを実行します。コピーできないデータが残らないよう、残容量が十分にあるメディアにコピーしてください。
- コピーはビューワーソフト→画像→音声の順に行われます。コピーの設定時間やメディアの空き容量によっては、画像や音声のコピーされないことがあります。
- コピー中に [コピー] ボックスのボタンをクリックすると、コピー中止の確認画面が表示されコピーを中止することができます。
- コピー中は本機の電源を切らないでください。コピー中に電源を切ると、そのメディアが使用できなくなることがあります。
- 外部記憶装置（コピーポート接続）には最大100万件のデータをコピーすることができます。残容量がある場合でもこの件数を超えてコピーすることはできません。
- 他のユーザーが本体操作でコピーパネルを開いているときや、コピー先のメディアを他のユーザーが選択しているときは、コピー画面を表示できません。

せん。

- コピー中にウェブブラウザを閉じると、コピーが停止します。コピー中はウェブブラウザを閉じないようにしてください。

コピーした画像リストを確認する

外部記録装置にコピーした録画画像（コピーデータ）をリストで表示して確認します。コピーデータは条件で絞り込んで検索することもできます。絞り込みの条件は、日時範囲とカメラです。

STEP1

本機のコピーポート [コピー] に録画データがコピーされた外部記憶装置を接続します。

STEP2

操作画面のトップページで [コントロール] タブをクリックします。

[👉操作画面について](#)

STEP3

[サーチ] ボックスの「ディスク/メディア」で「USB」を選択し、[コピーデータ] ボタンをクリックします。



→コピーデータサーチ画面が表示されます。

STEP4

絞り込み条件を設定します。

コピーデータサーチ(USB)

カメラ	<input checked="" type="checkbox"/> 全カメラ
	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ1 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ2 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ3 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ4
	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ5 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ6 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ7 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ8
	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ9 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ10 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ11 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ12
	<input checked="" type="checkbox"/> カメラ13 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ14 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ15 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ16
日時範囲	
始点	2022 ▾ / 10 ▾ / 13 ▾ 14 ▾ : 48 ▾ : 41 ▾
終点	2022 ▾ / 10 ▾ / 13 ▾ 14 ▾ : 48 ▾ : 41 ▾
ファイル形式	<input checked="" type="radio"/> 独自形式(n3r/n3a) <input type="radio"/> MP4形式

OK キャンセル

【カメラ】

選択したカメラごとに検索します。検索したいカメラにチェックを入れます。[全カメラ]にチェックを入れると、すべてのカメラにチェックを入れることができます。

【日時範囲】

検索開始日時と検索終了日時を選択します。その間に録画されている画像を検索します。

【ファイル形式】

ファイル形式ごとに検索します。検索したい形式にチェックを入れます。

STEP5

[OK] ボタンをクリックします。

→設定した条件にあてはまるコピーデータがリスト表示部に表示されます。

コピーデータ

12 件

条件解除	更新	<	>
------	----	---	---

日時	カメラ	-	-	形式
2022/10/13 14:48:41	1			n3r
2022/10/13 14:48:24	1			n3r
2022/10/13 14:48:24	2			n3r
2022/10/13 14:48:24	4			n3r
2022/10/13 14:46:08	1			n3r
2022/10/13 14:46:06	1			n3r
2022/10/13 14:46:06	2			n3r
2022/10/13 14:46:06	3			n3r
2022/10/13 14:46:06	4			n3r
2022/10/12 18:06:47	1			n3r
2022/10/12 18:06:44	1			n3r
2022/10/12 18:06:06	1			n3r

件数

検索されたデータのトータル件数を表示します。10001件以上の場合は「> 10000件」と表示します。

【条件解除】 ボタン

絞り込みを解除し、すべての録画イベントを表示します。

【更新】 ボタン

表示内容を最新の状態に更新します。

【前ページ (<)] ボタン

前のページを表示します。

【次ページ (>)] ボタン

次のページを表示します。

日時

録画開始日時を表示します。

カメラ

録画データのカメラ番号を表示します。

形式

ファイル形式を表示します。



[重要]

- コピーデータのリストを表示中は、外部記録装置を抜かないでください。メディア内のデータが壊れることがあります。



[メモ]

- コピーデータが多いとリスト表示に時間がかかります。
- 外部記録装置を入れ換えてリスト確認をする場合、[サーチ] ボックスの「ディスク/メディア」でHDDを選択してから、再度「USB」を選択してください。
- コピーした画像の再生方法は、以下をお読みください。
[👉 コピー・ダウンロードした画像をPCで再生する](#)

再生画像をダウンロードする

再生している画像の開始位置と終了位置を指定して、PCに画像をダウンロードします。ダウンロードするデータのファイル形式で独自形式を選択すると、画像データファイル（ファイル名.n3r）と音声データファイル（ファイル名.n3a）として、MP4形式を選択するとMP4ファイル（ファイル名.mp4）としてダウンロードされます。ダウンロードした画像の再生方法については、以下をお読みください。

[👉 コピー・ダウンロードした画像をPCで再生する](#)



[重要]

- ダウンロードを途中で中断すると、ダウンロードしたファイルをPCで正しく再生できません。

STEP1

操作画面のトップページで [HDD] タブをクリックします。

[👉 操作画面について](#)

STEP2

録画画像を再生します。

ダウンロードを開始したい再生位置でダウンロード操作部の [始点] ボタンをクリックします。または、始点ボックスをクリックして日時を入力します。



→始点ボックスに設定した日時が表示されます。

STEP3

ダウンロードを終了したい再生位置でダウンロード操作部の [終点] ボタンをクリックします。または、終点ボックスをクリックして日時を入力します。

→終点ボックスに設定した日時が表示されます。



[メモ]

- 一度にダウンロードできる時間は最大60分です。

STEP4

[ダウンロード] ボタンをクリックします。

→ダウンロード画面が表示されます。

STEP5

ダウンロードするデータのファイル形式 (独自形式 (n3r/n3a) / MP4形式)、音声のあり/なしと、改ざん検出するためのデータを付けるか付けないかを On / Off で選択します。パスワードを付与する場合は、半角英数字5文字以上8文字以内で入力してください。ただし、MP4形式のファイルにはパスワードを付与することができません。

設定後、[OK] ボタンをクリックします。

ダウンロード

ファイル形式	<input checked="" type="radio"/> 独自形式(n3r/n3a) <input type="radio"/> MP4形式
音声	<input checked="" type="radio"/> 音声あり <input type="radio"/> 音声なし
改ざん検出	Off▼
パスワード付与	<input type="checkbox"/> パスワードをかけてダウンロードする パスワード <input type="text"/> パスワード(再入力) <input type="text"/>

OK キャンセル

→ファイルのダウンロードが始まります。



[メモ]

- H.264またはH.265で録画された画像をMP4形式でダウンロードできます。また、AAC-LCで録音されている場合、音声ありを選択すると音声付きのMP4形式でダウンロードできます。
 - MP4形式のコピーやダウンロードは同時に2ユーザーまで実施可能です。
👉 [コピーする](#)
 - ダウンロードしているファイルのサイズが2GBを越えると、その時点でダウンロードが終了します。
 - MP4形式でダウンロードする場合、指定した日時範囲内に録画されていない箇所があったり、録画の設定が変わっている箇所があると、その箇所までダウンロードして終了します。
 - ダウンロード中は、カメラ切り換えや設定メニュー表示などができません。ダウンロードが終了するまでお待ちください。
 - 指定した始点日時より数秒前*の画像からダウンロードされることがあります。
- * 時間は、カメラ側のリフレッシュ周期設定によります（設定範囲：0.2～5秒）。本機は、カメラ登録時にカメラのリフレッシュ周期設定を1秒に設定します。リフレッシュ周期の設定についてはカメラの取扱説明書をお読みください。

コピー・ダウンロードした画像をPCで再生する

再生画像をコピー・ダウンロードすると、独自形式ファイルまたはMP4形式ファイルがコピー先・保存先にコピーされます。コピーしたデータは専用のビューワーソフトを使って再生、保存、印刷ができます。

MP4形式ファイルは、汎用の再生ソフトウェアで再生できます。

メディアにコピーした画像を再生するには

メディアに画像をコピーすると、ビューワーソフトの実行ファイル（NX_Viewer.exe）もドライブの直下に保存されます。

メディアにコピーした画像を再生する場合、実行ファイルをダブルクリックしてビューワーソフトを起動します。ビューワーソフトの使いかたは以下をお読みください。

☞ [ビューワーソフトの使いかた](#)

ウェブブラウザからダウンロードした画像を再生するには

ビューワーソフト（圧縮ファイル：NX_Viewer.zip）をダウンロードしファイルを展開します。

展開するとNX_Viewerフォルダーが作成されます。このフォルダー内にビューワーソフトの実行ファイル（NX_Viewer.exe）があります。ビューワーソフトの使いかたは以下をお読みください。

☞ [ビューワーソフトの使いかた](#)

ビューワーソフトのダウンロード

操作画面のトップページでダウンロード操作部の [ビューワー] ボタンをクリックします。

☞ [操作画面について](#)

→ファイルがダウンロードされます。

ビューワーソフトの使いかた

ビューワーソフトを起動するには、外部記憶装置にコピーした場合は外部記憶装置内の実行ファイル（NX_Viewer.exe）を、ウェブブラウザからダウンロードした場合は展開したフォルダー内の実行ファイルを、ダブルクリックして起動します。



[重要]

- 接続カメラ数を上回る台数のPCでビューワーソフトを使用する場合は、PCごとにライセンスが必要です。ライセンスについては、お買い上げの販売店（設置工事店）にお問い合わせください。また、以下の弊社サポート

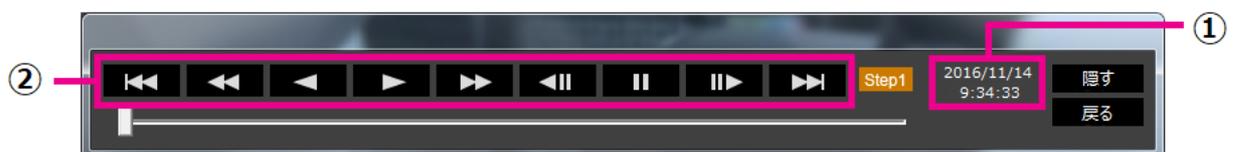
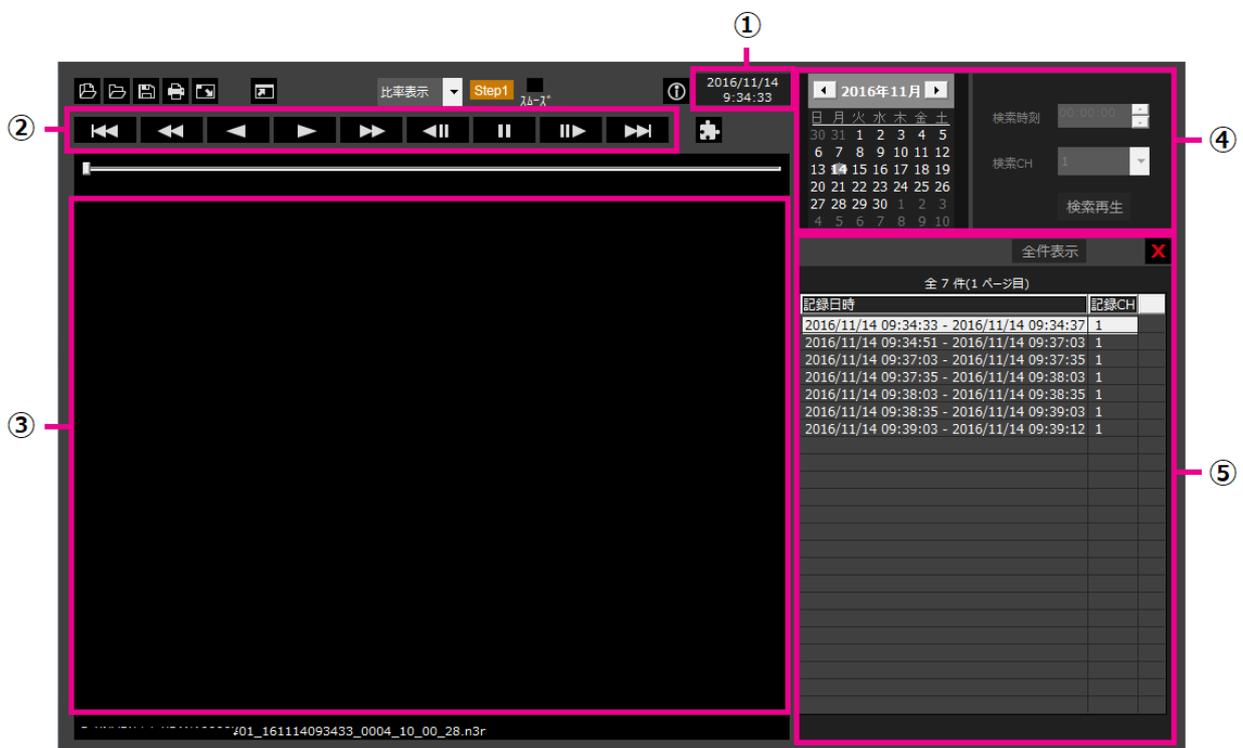
ウェブサイト内の「ライセンスについて (プラグインソフトウェア)」も参照してください。

https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/learning-and-support



[メモ]

- 初回起動時にはライセンス許諾画面が表示されます。ライセンス許諾に同意すると、ビューワソフトが起動します。



全画面表示時の再生操作ウィンドウ

- ①再生日時表示部
- ②再生操作ボタン
- ③画像表示部
- ④サーチボックス

⑤ リスト表示部

再生画像を選択する

STEP1

 ボタンをクリックします。

→ファイルを開く画面が表示されます。



[メモ]

- 外部記憶装置にコピーした実行ファイルを起動すると、自動的にファイルを開く画面が表示されます。

STEP2

画像データ（ファイル名.n3r、ファイル名.mp4）を選択し、[開く(O)] ボタンをクリックします。

→リスト表示部に選択したファイルの情報が表示されます。

記録日時：画像データの開始日時と終了日時を表示します。

記録CH：カメラ番号を表示します。



[メモ]

- キーボードの [Ctrl] キーや [Shift] キーを押しながら複数ファイルを選択し（最大100ファイル）、ドラッグ&ドロップすると一度にリスト表示できます。
- 画像データのファイル名はコピー・ダウンロード時から変更しないでください。ファイル名を変更するとファイル情報が正しく表示されません。
- ファイルを開く画面を表示せずに画像データファイルをビューワーソフトへドラッグ&ドロップしても選択することができます。
- リスト表示部のヘッダー部をクリックすると、開始日時またはカメラ番号の昇順/降順にソートすることができます。
- リスト表示部に再生する画像データを追加するには、リスト上で右クリックし、表示されたメニューから [ファイルの追加] を選択してください。ファイルを開く画面が表示されるので、STEP2の操作を行ってください。画像データがリストに追加されます。
- リストにすでに100件の画像データが表示されている場合は、追加することはできません。画像データの件数はリストの上に表示されています。
-  ボタンをクリックすると、リスト表示されているすべてのデータの表示を消去します。リスト上で右クリックし、表示されたメニューから [フ

イルリストクリア] を選択して消去することもできます。

- 2038年以降の画像データは再生できません。

画像を再生する

再生操作ボタンを使って再生します。同じカメラの画像がリスト表示されていれば、再生時は次の画像が、逆再生時はひとつ前の画像が連続して再生されます。同じカメラの画像がなければ、再生を終了すると画像表示部が黒画になり一時停止状態になります。



[メモ]

- データにパスワードが付与されている場合は、パスワードが要求されます。正しいパスワードの入力が確認できた場合のみ、映像が再生されます。
- 画像と音声の同期がずれる場合があります。

再生操作ボタンで以下の操作ができます。

再生ボタン  : 再生を開始します。

逆再生ボタン  : 逆再生を開始します。

高速再生ボタン  : 高速再生します。

高速逆再生ボタン  : 高速逆再生します。

一時停止ボタン  : 再生を一時停止します。

コマ送りボタン  : 画像を1コマ進めます。一時停止中のみ操作可能です。

逆コマ送りボタン  : 画像を1コマ戻します。一時停止中のみ操作可能です。

次のファイルボタン  : リストに表示されている次のファイルを再生します。

前のファイルボタン  : リストに表示されている前のファイルを再生します。

再生位置はスライダーバーにより変更が可能です。スライダーバーを移動したあとは映像が一時停止状態となりますので、再生ボタンで再生を再開してください。



再生日時を変更する

日時を指定して再生する

カレンダーから日付を選択し、時刻と記録チャンネルを指定して、[検索再生] ボタンをクリックするとその日時の画像を再生します。

絞り込まれた日付はカレンダー上に赤丸で表示されます。

リストから選択して再生する

リスト内の行を選択すると、その日時、記録チャンネルの画像を再生します。

クリックすると先頭の画像で一時停止状態となり、ダブルクリックすると再生を開始します。

画像を見やすくする

画像を拡大して表示する

画像上にカーソルをあわせてマウスホイールを操作するとデジタルズーム表示します。
ズーム表示中に画像をクリックすると、クリックした位置を画面の中央に移動できます。

表示形式を変更する

 比率表示 アスペクト比を維持したまま画面内に収まるように画像を表示します。

 拡張表示 画面内に収まるように画像を伸縮して表示します。

 等倍表示 画面の1画素を1ドットで表示します。

画面内をクリックすると、クリックした位置が中心になるように画像が移動します。

表示サイズを変更する

 ウィンドウ画面を拡大表示します。

 ウィンドウ画面の拡大表示を元に戻ります。

 画像を画面全体に最大化して表示します。

画面全体に最大化した画像は、[戻る] ボタンまたはEscキーで元の画面に戻ります。

高速再生を滑らかにする

 チェックボックスを有効にすると、滑らかに高速再生します。

PCの性能や処理状況によって、ある一定速度以上にならないことがあります。

全方位カメラ(弊社製およびパナソニック製、以下 全方位カメラ)の魚眼画像を再生する

補正が可能な魚眼画像を選択すると、1画PTZ/4画PTZへの補正表示を実行できます。

1画PTZ/4画PTZで補正表示中に画像をクリックすると、クリックした位置を画面の中心に移動できます。

 魚眼画像に戻します。

 1画PTZへ補正します。

 4画PTZへ補正します。

弊社製またはパナソニック製以外の魚眼画像は補正表示ができません。

音量を調整する

音声データがある場合は音声を調整するボタンが表示されます。

 音量を調整します。クリックすると音量を3段階で切り換えることができます。

 音声再生/消音を切り換えます。

他のアプリケーションで音声を制御・調整している場合、ビューワーソフトでは音声の再生が正しく行われなことがある場合があります。音声再生を正しく行うには、ビューワーソフトのみで音声を調整してください。

画像データの改ざんを検出する

改ざん検出用データを付ける設定になっているダウンロードデータの改ざん検出ができません。

す。再生中のファイルが改ざんされているかを以下の手順で確認します。

STEP1

改ざん検出をするデータをリストで選択し、 ボタンをクリックします。
→ファイル拡張画面が表示されます。

STEP2

[改ざんチェック] を選択し、[実行] ボタンをクリックします。
→改ざん検出を開始し、改ざん検出が終了すると結果を表示します。

静止画像を保存する

画像表示部に表示している画像を、PCにJPEGファイルとして保存できます。

 : 一時停止中の画像をJPEGファイルで名前をつけて保存します。

画像データを保存する（コピーする）

選択している画像データ（ファイル名.n3r、ファイル名.mp4）を、PCの任意のフォルダーにコピーできます。

STEP1

リスト上で右クリックし、表示されるメニューから [ファイル拡張機能] を選択します。
→ファイル拡張画面が表示されます。

STEP2

[ファイル出力] を選択し、[実行] ボタンをクリックします。
→ [名前を付けて保存] 画面が表示されます。

STEP3

ファイル名と保存先を確認し、[保存(S)] ボタンをクリックします。
→画像データの保存を開始し、保存が終了すると結果を表示します。

画像を印刷する

画像表示部に表示している画像をプリンターで印刷できます。

 : 一時停止中の画像を日時付きで印刷します。

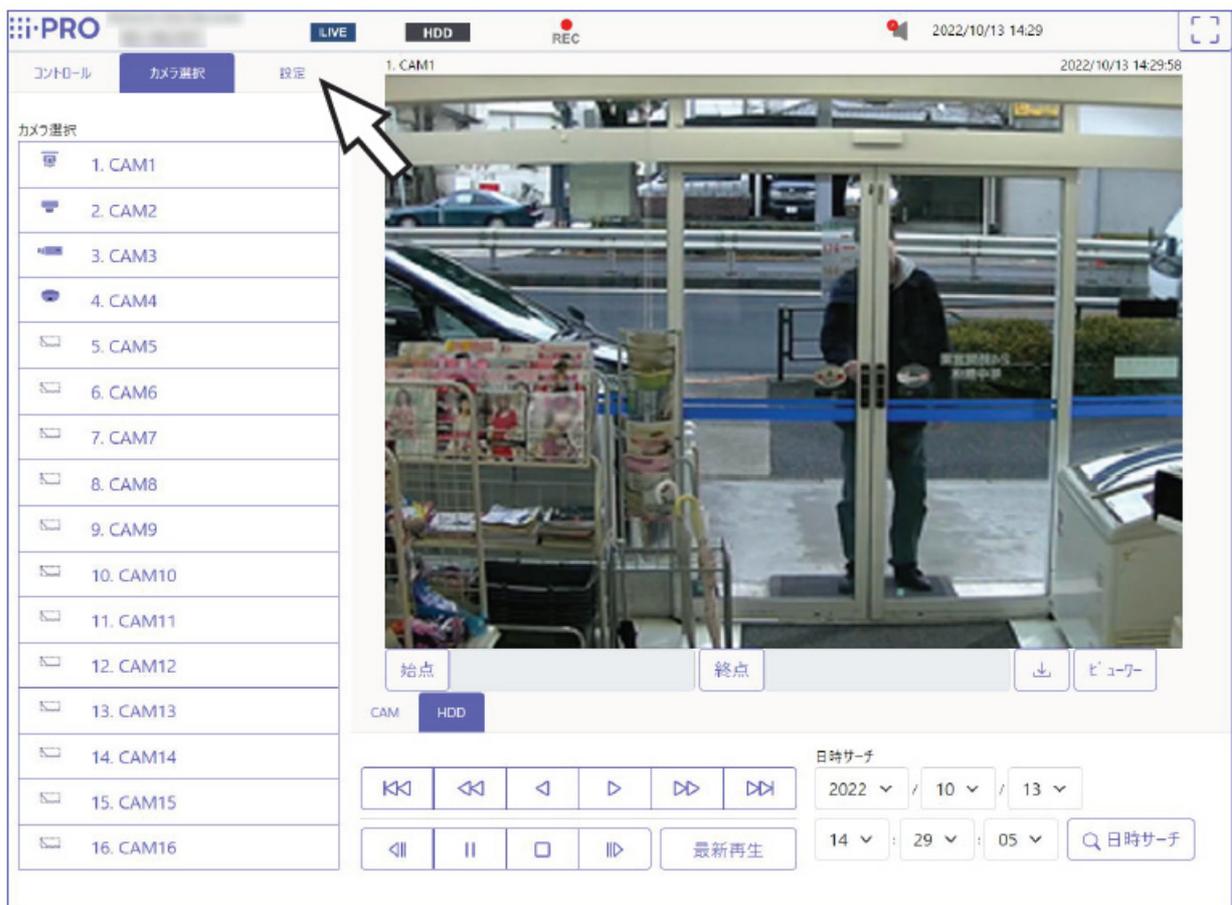
[ブラウザ設定]

設定する

基本的な操作のしかた

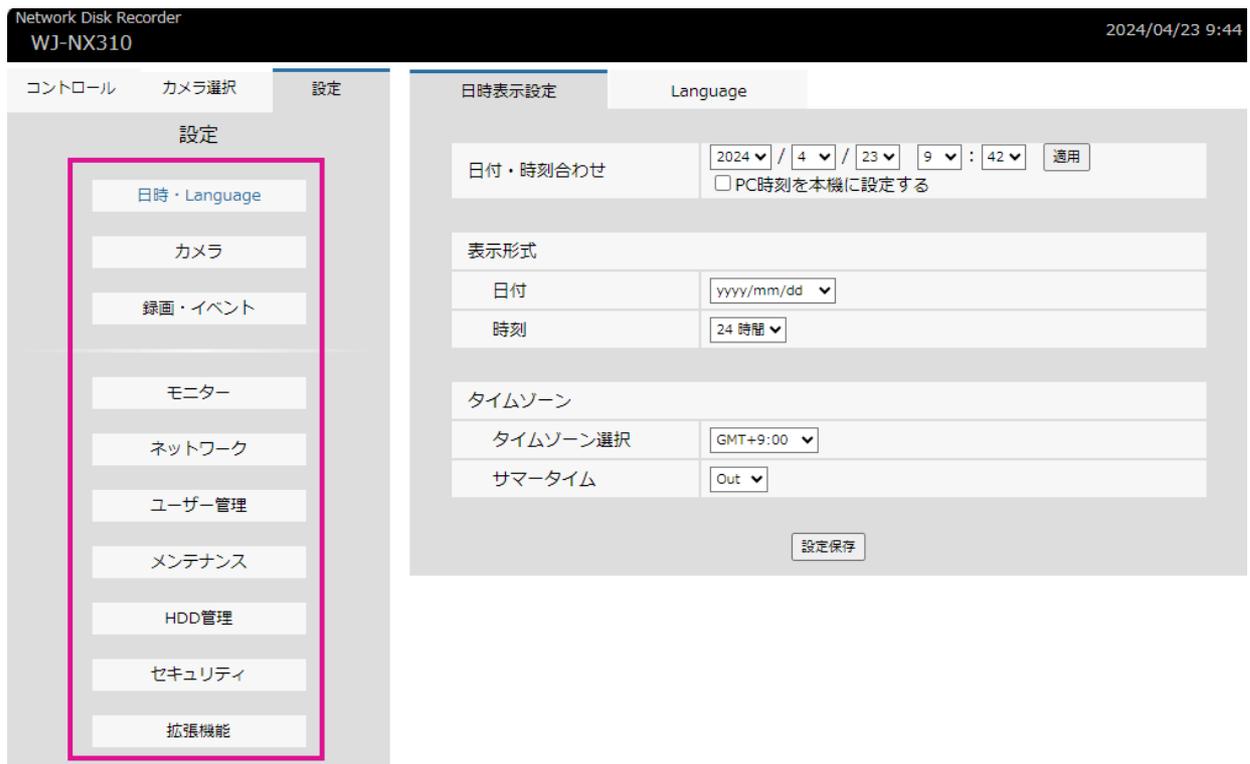
STEP1

[設定] タブをクリックします。



STEP2

設定したいメニューのボタンをクリックします。



STEP3

設定したいサブメニューのタブをクリックします。

STEP4

各項目を設定します。設定したら [設定保存] ボタンをクリックします。

→設定した内容が本機に反映されます。[設定保存] ボタンをクリックしないで他のページに移動すると、変更した内容が破棄されます。



[重要]

- 設定内容を反映すると、本機にログインしている他のユーザーは強制的にログアウトします。
- ユーザー管理に関する設定を変更すると、すべてのユーザーは強制的にログアウトします。
- 設定保存直後、約4秒間は録画は行われません。

各種設定を行う

ウェブブラウザから本機の設定を変更することができます。

ウェブブラウザから設定できる項目および設定内容の詳細については、以下をお読みください。

🔍 設定項目一覧 (設定メニュー)

ウェブブラウザの設定を行う [ウェブブラウザ]

カメラのグループタイトルなど、ウェブブラウザの表示に関する設定を行います。
設定メニューの「モニター」ボタンをクリックし、「ウェブブラウザ」タブをクリックします。

Network Disk Recorder
WJ-NX310 2023/09/15 11:52

コントロール カメラ選択 設定

設定

日時・Language

カメラ

録画・イベント

モニター

ネットワーク

ユーザー管理

メンテナンス

HDD管理

セキュリティ

拡張機能

メインモニター サブモニター ウェブブラウザ 高度な設定

カメラツリーのグループ表示

グループ表示

グループタイトル

グループ	グループタイトル
G1	<input type="text" value="Group1"/>
G2	<input type="text" value="Group2"/>
G3	<input type="text" value="Group3"/>
G4	<input type="text" value="Group4"/>
G5	<input type="text" value="Group5"/>
G6	<input type="text" value="Group6"/>
G7	<input type="text" value="Group7"/>
G8	<input type="text" value="Group8"/>

グループ分け

■カメラツリーのグループ表示

[グループ表示]

グループ表示するかどうかを設定します。

On : グループ表示します。

Off : グループ表示しません。

初期設定 : Off

[グループタイトル]

各グループ (G1 ~ G8) に対して表示するグループタイトルを入力します (16文字まで)。

[グループ分け]

グループ分け		
カメラ	品番	グループ
		<input type="text" value="▼"/>
1	S61301	G1▼
2		G1▼
3		G1▼
4		G1▼
5		G1▼
6		G1▼
7		G1▼
8		G1▼
9		G1▼
10		G1▼
11		G1▼
12		G1▼
13		G1▼
14		G1▼
15		G1▼
16		G1▼

カメラを各グループ（G1～G8）に割り付けます。

ONVIF設定を行う

「カメラ」－「高度な設定」にある「ONVIF設定」の「設定>」ボタンをクリックすると、ONVIF接続に関するメニューを表示します。通常は初期設定から変更する必要はありません。通常は使用しないでください。

データ出力ログを表示する

「メンテナンス」－「システム管理」にある「データ出力ログ」の[表示>] ボタンをクリックすると、データをコピーしたり、ダウンロードしたユーザーの履歴を確認できます。履歴は最大100件まで記録され、100件を超えると、古い履歴から上書きされます。

OSSのライセンスを表示する

「メンテナンス」－「システム管理」にある「本製品で使用しているOSSについては、こちらを参照ください。」をクリックすると、使用しているOSSのライセンスを表示します。

ルート証明書をダウンロードする

「セキュリティ」－「通信」にある「ルート証明書取得」の[実行>] をクリックすると、ルート証明書をダウンロードすることができます。

IEEE802.1Xを設定する

本機能は、認証LANスイッチを使用してセキュアなネットワーク環境を構築する場合に使用します。認証LANスイッチについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



[重要]

- [IEEE 802.1X] をOnに設定した後に、何らかの原因で本機にアクセスできない場合は、認証なしのスイッチまたはポートに接続してください。IEEE 802.1Xが無効になり、本機にアクセスできるようになります。
- IEEE 802.1Xの認証LANスイッチは [カメラ/PCポート] 側に接続してください。

設定メニューの「セキュリティ」ボタンをクリックし、「IEEE 802.1X」タブをクリックします。



[IEEE 802.1X]

IEEE 802.1Xによるポート認証を行うかどうかを設定します。

On : ポート認証を行う

Off : ポート認証を行わない

初期設定 : Off

[EAP方式]

認証方式をEAP-PEAP/EAP-TLSから選択します。

初期設定 : EAP-PEAP

EAP方式によって手順が異なります。以下をお読みください。

👉 [EAP方式に応じたIEEE802.1Xの設定方法](#)

[ユーザー名]

認証LANスイッチにアクセスするユーザー名、または、サーバーに登録したユーザー名を入力します。

サーバーに登録されていない場合は、任意のユーザー名を入力してください。

入力可能文字数：1 ～ 32文字

入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」「:」「;」「¥」

[パスワード] [パスワード確認]

認証LANスイッチにアクセスするパスワードを入力します。

入力可能文字数：4 ～ 32文字

入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」

■サーバー証明書

[ルート証明書のインストール]

ルート証明書をインストールします。

[IEEE 802.1X] がOffのときのみ、インストールができます。

インストールできる証明書の仕様は以下の通りです。

- ・データ形式：PEM形式、DER形式（拡張子は.pem または.der）
- ・PEM形式に含まれる証明書の最大数：1個（中間CA証明書は含まない）

[ルート証明書情報]

インストールされているルート証明書の情報を表示します。

未インストール：証明書がインストールされていない

（証明書のホスト名）：証明書がインストールされている場合に表示

有効期限切れ：証明書の有効期限切れ

ルート証明書の詳細情報は [確認] ボタンで確認できます。

ルート証明書は [削除] ボタンで削除できます。

ルート証明書情報

証明書情報	
ホスト名	
国名	
都道府県名	
市区町村名	
組織名	
部署名	

■クライアント証明書

【秘密鍵または秘密鍵を含むクライアント証明書のインストール】

秘密鍵または秘密鍵を含むクライアント証明書をインストールします。

[IEEE 802.1X] がOffのときのみ、インストールができます。

インストールできる証明書の仕様は以下の通りです。

- ・データ形式：PEM形式、PFX形式（拡張子は.pem または.pfx）
- ・鍵長 [bit]：1024、1536、2048、3072、4096
- ・PEM形式に含まれる証明書の最大数：6個（中間CA証明書を含む）

【パスワード】

秘密鍵が暗号化されている場合、または、PFX方式のクライアント証明書にパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。暗号化されていない場合は空欄にしてください。

入力可能文字数：0 ～ 30文字

【クライアント証明書のインストール】

クライアント証明書をインストールします。

[IEEE 802.1X] がOffのときのみ、インストールができます。

インストールできる証明書の仕様は以下の通りです。

- ・データ形式：PEM形式（拡張子は.pem）
- ・PEM形式に含まれる証明書の最大数：6個（中間CA証明書を含む）

【秘密鍵インストール状態】

秘密鍵のインストール状態を表示します。

未インストール：インストールされていない
インストール済：インストールされている

秘密鍵は [削除] ボタンで削除できます。

【クライアント証明書情報】

インストールされているクライアント証明書の情報を表示します。

未インストール：証明書がインストールされていない
(証明書のホスト名)：証明書がインストールされている場合に表示
有効期限切れ：証明書の有効期限切れ

クライアント証明書の詳細情報は [確認] ボタンで確認できます。
クライアント証明書は [削除] ボタンで削除できます。

クライアント証明書情報

証明書情報	
ホスト名	██████████
国名	██
都道府県名	
市区町村名	
組織名	██████████
部署名	██████



【メモ】

- ルート証明書やクライアント証明書の有効期限が切れていないことを確認してください。有効期限が切れていると、ポート認証機能が使用できないことがあります。
- クライアント証明書が中間CAによって署名されている場合は、クライアント証明書に中間CA証明書を含めてインストールしてください。その場合、先頭にクライアント証明書があり、その次に中間CA証明書の順番である必要があります。
- 10 kBを超えた証明書をインストールした場合、インストール時にエラーは表示されませんが、接続時にエラーが発生することがあります。
- [IEEE 802.1X] がOffのときのみ、各証明書は削除できます。

EAP方式に応じたIEEE802.1Xの設定方法



[メモ]

- [IEEE 802.1X] がOnの場合は、[IEEE 802.1X] をOffに設定してから設定を始めてください。

EAP-PEAP

STEP1

[IEEE 802.1X] でOnを選択します。

STEP2

[EAP方式] でEAP-PEAPを選択します。

STEP3

[ユーザー名] と [パスワード] / [パスワード確認] を入力し、[設定保存] ボタンをクリックします。

EAP-TLS

STEP1

[ルート証明書のインストール] の [ファイルの選択] ボタンをクリックして、ルート証明書を指定し、[実行] ボタンをクリックします。

[ルート証明書情報] に証明書のホスト名 (CommonName) が表示されます。

STEP2

[秘密鍵または秘密鍵を含むクライアント証明書のインストール] の [ファイルの選択] ボタンをクリックして、秘密鍵または秘密鍵を含むクライアント証明書を指定します。秘密鍵が暗号化されている場合、または、PFX方式のクライアント証明書にパスワードが設定されている場合は、[パスワード] を入力します。暗号化されていない場合は空欄にしてください。

STEP3

[実行] ボタンをクリックし、インストールします。

[秘密鍵インストール状態] に、「インストール済」が表示されます。

秘密鍵を含むクライアント証明書をインストールした場合は、[クライアント証明書情報] にも「インストール済」が表示されます。

STEP4

手順2で秘密鍵をインストールした場合は、[クライアント証明書のインストール] の [ファイルの選択] ボタンをクリックして、クライアント証明書を指定し、[実行] ボタンをクリックします。

[クライアント証明書情報] に、ホスト名 (CommonName) が表示されます。

STEP5

[IEEE 802.1X] でOnを選択します。

STEP6

[EAP方式] でEAP-TLSを選択します。

STEP7

[ユーザー名] に、サーバーに登録されたユーザー名を入力し、[設定保存] ボタンをクリックします。

サーバーに登録されていない場合は、任意のユーザー名を入力してください。[パスワード] / [パスワード確認] を入力する必要はありません。

ソフトウェアの更新を行う

本機のソフトウェアを最新のバージョンに更新する場合は、以下の手順で行います。

ソフトウェアをUSBメディアに保存した場合の操作方法については、以下をお読みください。

 [システムに関する設定や操作を行う \[システム管理\]](#)

STEP1

最新のソフトウェアをPCのハードディスクにダウンロードします。

STEP2

[メンテナンス] ボタンをクリックし、[システム管理] タブをクリックします。

Network Disk Recorder
WJ-NX310 2023/10/30 9:22

コントロール カメラ選択 **設定** システム情報 HDD情報 システム管理

設定

日時・Language
カメラ
録画・イベント

モニター
ネットワーク
ユーザー管理
メンテナンス
HDD管理
セキュリティ
拡張機能

システム設定

障害出力時間	2秒 ▼
障害ブザー鳴動時間	2秒 ▼
HDDスタンバイ制御モード	Off ▼
HDD稼働時間警告	20000時間 ▼
データ自動消去	Off ▼
カメラ時刻自動同期	On ▼
汎用入出力端子設定	設定 >
ウェブブラウザ表示モード	ライト ▼

設定保存

ログ情報

アクセスログ	表示 >
操作ログ	表示 >
ネットワークログ	表示 >

保守・サービス用機能

ライセンス登録(本機、カメラ拡張、など)	設定 >
ライセンス登録(セキュリティ)	設定 >

設定値の復元
復元日時を選択して[実行]ボタンをクリックします。
復元日時 2023/10/30 9:20(ON) ▼ 実行 >

ソフトウェアの更新

STEP3

ソフトウェアの更新の [ファイルの選択] ボタンをクリックしてダウンロードしたソフトウェアを指定します。

STEP4

[実行>] ボタンをクリックします。

→表示された確認画面から更新処理を開始します。

**[メモ]**

- 【NX410/NX510】更新するソフトウェアによっては、バージョンアップに最大で約30分かかる場合があります。起動画面が表示されたままになります。
- バージョンアップ中は、機器の電源を切ったり、ネットワークケーブルを抜いたりしないでください。
- ソフトウェアの更新については、お買い上げの販売店（設置工事店）にお問い合わせください。

その他

メール通知について

アラームメールについて

アラームメールには以下のように本機のアドレスが表示されます。

アラームメールの内容：

NWDR (192.168.0.250) でアラームが発生しました。

発生日時：xxxx-xx-xx xx:xx:xx GMT+xx:xx (例：2023-10-18 12:00:00 GMT+9:00)

アラーム要因：アラーム内容とカメラchまたはアラーム番号を表示 (例：カメラアラーム (動作検知) CAM1 1ch)

URL：http://192.168.0.250/

障害メールについて

本機に障害が発生すると、あらかじめ登録したメールアドレスに以下の内容の電子メール (障害メール) を送信し、障害発生を通知します。

NWDR (192.168.0.250) 状態通知

発生日時：xxxx-xx-xx xx:xx:xx GMT+xx:xx (例：2023-10-18 12:00:00 GMT+9:00)

状態：障害の内容を表示 (例：MAIN THERMAL ERROR)

表示	説明
発生日時	障害が発生した日時を表します。
状態	以下の障害の内容を表します。cccはカメラ番号、xはユニット番号、yはHDD番号、zはFAN番号、nは保存先、mはレコーダー番号。
温度異常	: 本体 MAIN THERMAL ERROR 増設 EXTx THERMAL ERROR
ファン異常	: 本体 MAIN FANz ERROR 増設 EXTx FANz ERROR

NWカメラ障害検出	: CAM ccc COMMUNICATION ERROR
NWカメラ障害検出 (音声)	: CAM ccc COMMUNICATION ERROR(AUDIO)
NWカメラ障害復旧	: CAM ccc COMMUNICATION RECOVERED
NWカメラ障害復旧 (音声)	: CAM ccc COMMUNICATION RECOVERED(AUDIO)
ビデオロス障害検出 (エンコーダー)	: CAM ccc VIDEO LOSS
ビデオロス障害復旧 (エンコーダー)	: CAM ccc VIDEO RECOVERED
NWカメラ障害検出 (映像)	: CAM ccc COMMUNICATION ERROR(VIDEO)
NWカメラ障害復旧 (映像)	: CAM ccc COMMUNICATION RECOVERED(VIDEO)
NWカメラ障害検出 (ライブ)	: CAM ccc COMMUNICATION ERROR(LIVE)
NWカメラ障害復旧 (ライブ)	: CAM ccc COMMUNICATION RECOVERED(LIVE)
HDDスマート警告	: 本体 MAIN-y SMART WARNING 増設 EXTx-y SMART WARNING
HDD応答遅延報告	: 本体 MAIN-y SLOW RESPONSE 増設 EXTx-y SLOW RESPONSE
HDDアワーメータ警告	: 本体 MAIN-y HOUR METER WARNING 増設 EXTx-y HOUR METER WARNING
自動リンク外し	: 本体 MAIN-y LOGICALLY REMOVED MAIN LOGICALLY REMOVED 増設 EXTx-y LOGICALLY REMOVED EXTx LOGICALLY REMOVED
HDD取り外しエラー	: 本体 MAIN-y SWAP WARNING 増設 EXTx-y SWAP WARNING
HDD残容量通知	: HDD CAPACITY REMAINS **% **は残容量割合
HDDスキップ	: 本体 MAIN-y HDD SKIP MAIN-y,y HDD SKIP MAIN HDD SKIP 増設 EXTx-y HDD SKIP EXTx-y,y HDD SKIP EXTx HDD SKIP
フォーマット失敗	: 本体 MAIN-y SINGLE FORMAT ERROR MAIN-y,y FORMAT ERROR MAIN RAID5 FORMAT ERROR MAIN RAID6 FORMAT ERROR 増設 EXTx-y SINGLE FORMAT ERROR EXTx-y,y FORMAT ERROR EXTx RAID5 FORMAT ERROR EXTx RAID6 FORMAT ERROR
ミラー 1ダウン【NX410/NX510】	: 本体 MAIN-y RAID1 1 DOWN

	増設	EXTx-y RAID1 1 DOWN
RAID5 1ダウン【NX410/NX510】	: 本体	MAIN-y RAID5 1 DOWN
	増設	EXTx-y RAID5 1 DOWN
RAID5 2ダウン【NX410/NX510】	: 本体	MAIN-y RAID5 2 DOWN
	増設	EXTx-y RAID5 2 DOWN
RAID6 1ダウン【NX410/NX510】	: 本体	MAIN-y RAID6 1 DOWN
	増設	EXTx-y RAID6 1 DOWN
RAID6 2ダウン【NX410/NX510】	: 本体	MAIN-y RAID6 2 DOWN
	増設	EXTx-y RAID6 2 DOWN
RAID6 3ダウン【NX410/NX510】	: 本体	MAIN-y RAID6 3 DOWN
	増設	EXTx-y RAID6 3 DOWN
ミラー復旧開始	: 本体	MAIN-y,y MIRROR RECOVERY START
	増設	EXTx-y,y MIRROR RECOVERY START
RAID5復旧開始【NX410/NX510】	: 本体	MAIN-y RAID5 RECOVERY START
	増設	EXTx-y RAID5 RECOVERY START
RAID6復旧開始【NX410/NX510】	: 本体	MAIN-y RAID6 RECOVERY START
	増設	EXTx-y RAID6 RECOVERY START
ミラー復旧完了	: 本体	MAIN-y,y MIRROR RECOVERY COMPLETE
	増設	EXTx-y,y MIRROR RECOVERY COMPLETE
RAID5復旧完了【NX410/NX510】	: 本体	MAIN RAID5 RECOVERY COMPLETE
	増設	EXTx RAID5 RECOVERY COMPLETE
RAID6復旧完了【NX410/NX510】	: 本体	MAIN RAID6 RECOVERY COMPLETE
	増設	EXTx RAID6 RECOVERY COMPLETE
ミラー復旧失敗【NX410/NX510】	: 本体	MAIN-y,y MIRROR RECOVERY FAILURE
	増設	EXTx-y,y MIRROR RECOVERY FAILURE
RAID5復旧失敗【NX410/NX510】	: 本体	MAIN RAID5 RECOVERY FAILURE
	増設	EXTx RAID5 RECOVERY FAILURE
RAID6復旧失敗【NX410/NX510】	: 本体	MAIN RAID6 RECOVERY FAILURE
	増設	EXTx RAID6 RECOVERY FAILURE
コピーメディアフル	: COPY	MEDIUM FULL
コピーメディアデータ数超過	: OVER	LIMITATION ON COPY MEDIUM
ネットワークリンク外れエラー	: NETWORK	LINK ERROR
停電検出	: POWER	LOSS
停電復旧	: POWER	RECOVERED
カメラSD メモリーカードエラー	: CAM	ccc SD ERR
カメラSD メモリー書き込み開始要求	: CAM	ccc SD START ERR
失敗		
カメラSD メモリー書き込み終了要求	: CAM	ccc SD END ERR
失敗		

カメラSD 画像取得失敗	: CAM ccc GET IMG ERR
カメラSD 累積録画時間警告	: CAM ccc SD LIFE WARNING (LONG-TERM)
カメラSD 上書回数警告	: CAM ccc SD LIFE WARNING (OVER-REWRITTEN)
カメラSD アクセスエラー	: CAM ccc SD ACCESS ERROR
カメラSD 録画異常	: CAM ccc SD RECORDING ERROR
カメラSD メモリーカード認識できず	: CAM ccc SD MEMORY CARD NOT DETECTED
カメラSD メモリーカード残量警告	: CAM ccc SD MEMORY CARD CAPACITY WARNING
カメラSD メモリーカードフル	: CAM ccc SD MEMORY CARD FULL
カメラの故障 (※)	: CAM ccc HARDWARE ERROR
カメラのワイパーゴム交換目安通知 (※)	: CAM ccc REPLACE WIPER RUBBER
※WV-SUD638カメラのみ	
画角ずれ検知	: CAM ccc CHANGED FROM INSTALLATION ANGLE
画角ずれ復旧	: CAM ccc RECOVERED TO INSTALLATION ANGLE
機能拡張ソフトウェア試用期間満了	: CAM ccc EXTENSION SOFTWARE TRIAL PERIOD EXPIRED
NASバックアップエラー	: NAS STORAGE-n ERROR
NASバックアップフル	: NAS STORAGE-n FULL
NASバックアップ中断	: NAS STORAGE-n INTERRUPTED
フェイルオーバー (運用停止)	: FAILOVER:OPERATION SUSPENDED
フェイルオーバー (代替運用)	: FAILOVER:SWITCHED TO RECORDER-m
ロールバック起動	: ROLLBACK

追補

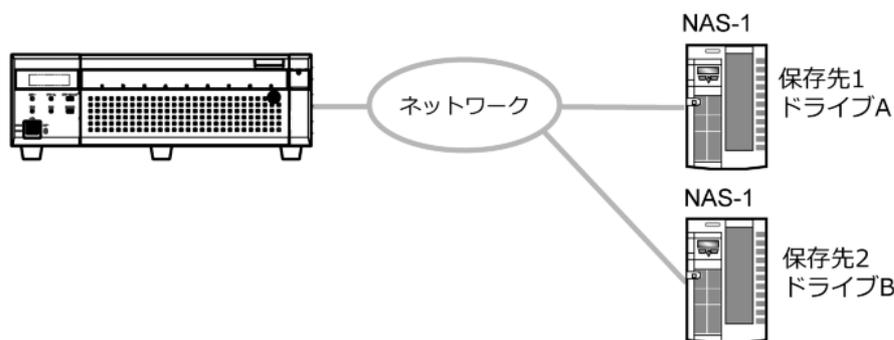
NASバックアップ機能

本項は、本機でNASバックアップ機能を使用するための説明です。

NASバックアップ機能を使用するには、NASについての専門知識と経験が必要です。

NASバックアップ機能について

NASバックアップ機能のライセンスを登録すると、NASドライブへの録画データのバックアップが可能になります。保存先のNASドライブは2つまで設定でき、また、バックアップするカメラやスケジュールを設定することができます。手動でバックアップすることもできます。



[重要]

- 対応しているネットワークファイルシステムは、NFSv3です。
- NASドライブを使用する前に、NASドライブにマウントパスを作成してください。
- 作成方法は、ご使用のNASドライブの取扱説明書をお読みください。
- NASドライブをマウントすると、本機はマウントパスに以下のディレクトリを作成します。
 - NXR/bkup/ : スケジュールバックアップ用ディレクトリ
 - NXR/data/ : 手動バックアップ用ディレクトリ
- NASへバックアップしたデータは、本機で再生できません。また、バックアップしたリストを本機やPCブラウザで表示をすることもできません。バックアップしたデータはビューワーソフトで再生してください。

ライセンス登録について

NASバックアップ機能をご使用いただくために、NASバックアップ機能のライセンスを登録します。ライセンス登録には、キー管理システムから取得した解除キー番号が必要です。解除キー番号の取得方法は、本機に付属する「起動情報案内カード」をお読みください。起動ID番号、暗号ID番号については以下の番号を入力してください。

起動ID番号 : 1571-0000-030B-1234

暗号ID番号 : 24AC-4842

NASバックアップ機能のライセンスの登録のしかたについては、以下のページをお読みください。

[👉 システムに関する設定や操作を行う \[システム管理\]](#)

NASバックアップ機能の設定方法



[重要]

- NASバックアップ機能の設定を変更すると、処理中のバックアップは停止します。バックアップ中に設定が変更されると、次にバックアップ処理を実行する時間帯になるまでスケジュールバックアップは実行されません。HDD管理画面を表示した場合も同様です。

設定メニュー [詳細設定] の [拡張機能] - [NASバックアップ] タブの順にクリックします。

→NASバックアップ画面が表示されます。

[NASバックアップ]

On : NASバックアップ機能を有効にします。

Off : NASバックアップ機能を無効にします。

初期設定 : Off

[保存先の選択]

バックアップに使用する保存先にチェックを入れます。保存先を2つ設定している場合、バックアップ中の保存先の残容量がなくなると、もう一方の保存先にバックアップを行い

ます。

保存先 1 / 保存先 2

[IPアドレス]

保存先のNASのIPアドレスを設定します。

[ディレクトリ名]

保存先のディレクトリ名を設定します。

[接続テスト]

[実行>] ボタンをクリックすると、接続テストを実施し、「結果」と「残容量」を表示します。

■NASバックアップのスケジュール設定

[設定>] ボタンをクリックして、バックアップするカメラやファイル形式、スケジュールを設定します。

[👉スケジュールを設定する](#)

■バックアップ状況

[現在のバックアップ状況]

保存先との接続状況を表示します。

正常（保存先1）、正常（保存先2）：バックアップ可能な状態

異常（残容量無し）：すべての保存先のドライブの残容量が無い状態

異常（通信）：通信ができておらず、保存先のドライブのマウントができていない状態

空白：NASが無効、または、一度も接続していない状態

[再接続] ボタン

[再接続] ボタンをクリックすると、保存先 1 と保存先 2 の接続テストを実施し、接続状況を表示します。

■バックアップ障害履歴

[表示>] ボタンをクリックして、バックアップ障害履歴画面を表示します。

バックアップ対象日のデータのバックアップが完了しなかった場合、翌日の午前0時にバックアップできなかった時刻範囲を表示します。



【バックアップを中断した録画データ日時】

バックアップできなかった時刻範囲を表示します。

【内容】

バックアップできなかった理由を表示します。

バックアップ未（残容量無し）：バックアップ中に保存先の残容量が無くなった。

バックアップ未（中断）：スケジュール期間が満了したり、設定変更等でバックアップが停止したりして、バックアップが完了しなかった。

バックアップ未（失敗）：エラーが発生してバックアップが停止した。

HDD内録画データ無し：上書きされたりHDDが故障したりして、対象日の録画データが無かった。

[戻る] ボタンをクリックすると、バックアップ障害履歴画面を閉じます。

スケジュールを設定する

対象カメラやバックアップを実行する時間帯を設定します。

最後に [OK] ボタンをクリックしてスケジュール設定を終了します。



【カメラ】

バックアップ対象にするカメラにチェックを入れます。

【ファイル形式】

保存するファイルの形式を選択します。

独自形式 (n3r/n3a) / MP4形式

初期設定：独自形式 (n3r/n3a)

【1日分のバックアップにかかる時間 (目安)】

目安時間を表示します。

【更新】 ボタンをクリックすると、その時点の目安時間を再度表示します。



【メモ】

- 目安時間は録画設定の各曜日のうち、最も録画容量が大きくなる曜日の推定録画容量を5 Mbpsでバックアップしたときの時間を表示します。実際にバックアップにかかる時間は前後することがあります。
- 目安時間が99時間以上の場合は99時間と表示します。

【バックアップするスケジュール (合計時間)】

タイムテーブルで設定したバックアップ時間の合計時間を表示します。

【タイムテーブル 1 / 2】

バックアップ処理を実行する時間帯を設定します。

[バックアップ対象日]

バックアップする対象日を選択します。

1日前 / 2日前 / 3日前

初期設定：3日前



[メモ]

- バックアップしたデータはスケジュールバックアップ用ディレクトリ内に保存されます。
- バックアップ処理を実行する時間帯に、本機の電源が落ち、再度起動した場合、電源が落ちる前にバックアップしていたデータを再度最初からバックアップします。電源が落ちる前にバックアップしていたデータは再生できません。

手動でバックアップする

コピーパネルのコピー先にNASを選択することにより、手動でデータをNASにバックアップすることができます。



[重要]

- 手動でバックアップする場合、スケジュール設定によるバックアップとは別に最大600万件のデータをNASにバックアップすることができます。

■本体操作

メインモニターの操作画面表示で操作パネルの [コピー] ボタンをクリックします。

→ コピーパネルが表示されます。



コピーパネルのコピー先で [NAS (保存先1)] または [NAS (保存先2)] を選択し、[コピー実行] ボタンをクリックします。

詳しくは、以下をお読みください。

[👉 コピーする](#)

■ブラウザー操作

操作画面のトップページで [コントロール] タブをクリックし、[コピー] ボックスのボタンをクリックします。

→ コピーパネルが表示されます。

コピー

コピー先	<input checked="" type="radio"/> HDD→USB <input type="radio"/> HDD→NAS(保存先1) <input type="radio"/> HDD→NAS(保存先2)										
カメラ	<input type="checkbox"/> 全カメラ <input type="checkbox"/> カメラ1 <input type="checkbox"/> カメラ2 <input type="checkbox"/> カメラ3 <input type="checkbox"/> カメラ4 <input type="checkbox"/> カメラ5 <input type="checkbox"/> カメラ6 <input type="checkbox"/> カメラ7 <input type="checkbox"/> カメラ8 <input type="checkbox"/> カメラ9 <input type="checkbox"/> カメラ10 <input type="checkbox"/> カメラ11 <input type="checkbox"/> カメラ12 <input type="checkbox"/> カメラ13 <input type="checkbox"/> カメラ14 <input type="checkbox"/> カメラ15 <input type="checkbox"/> カメラ16										
始点	2023	/	9	/	5	:	18	:	38	:	20
終点	2023	/	9	/	5	:	18	:	43	:	20
ファイル形式	<input checked="" type="radio"/> 独自形式(n3r/n3a) <input type="radio"/> MP4形式										
改ざん検出	Off										
パスワード付与	<input type="checkbox"/> パスワードをかけてコピーする パスワード(5~8文字) <input type="text"/> パスワード確認 <input type="text"/>										
データサイズ	--- GB <input type="button" value="測定"/>										
残容量	--- GB										

コピーパネルのコピー先で [HDD→NAS (保存先1)] または [HDD→NAS (保存先2)] を選択し、[OK] ボタンをクリックして表示された確認画面の [OK] ボタンをクリックします。

→ データコピー画面が閉じ、ステータス表示部に [COPY] が表示されコピーが始まります。コピーが終了すると、[COPY] 表示が消えます。

詳しくは以下をお読みください。

[👉 コピーする](#)

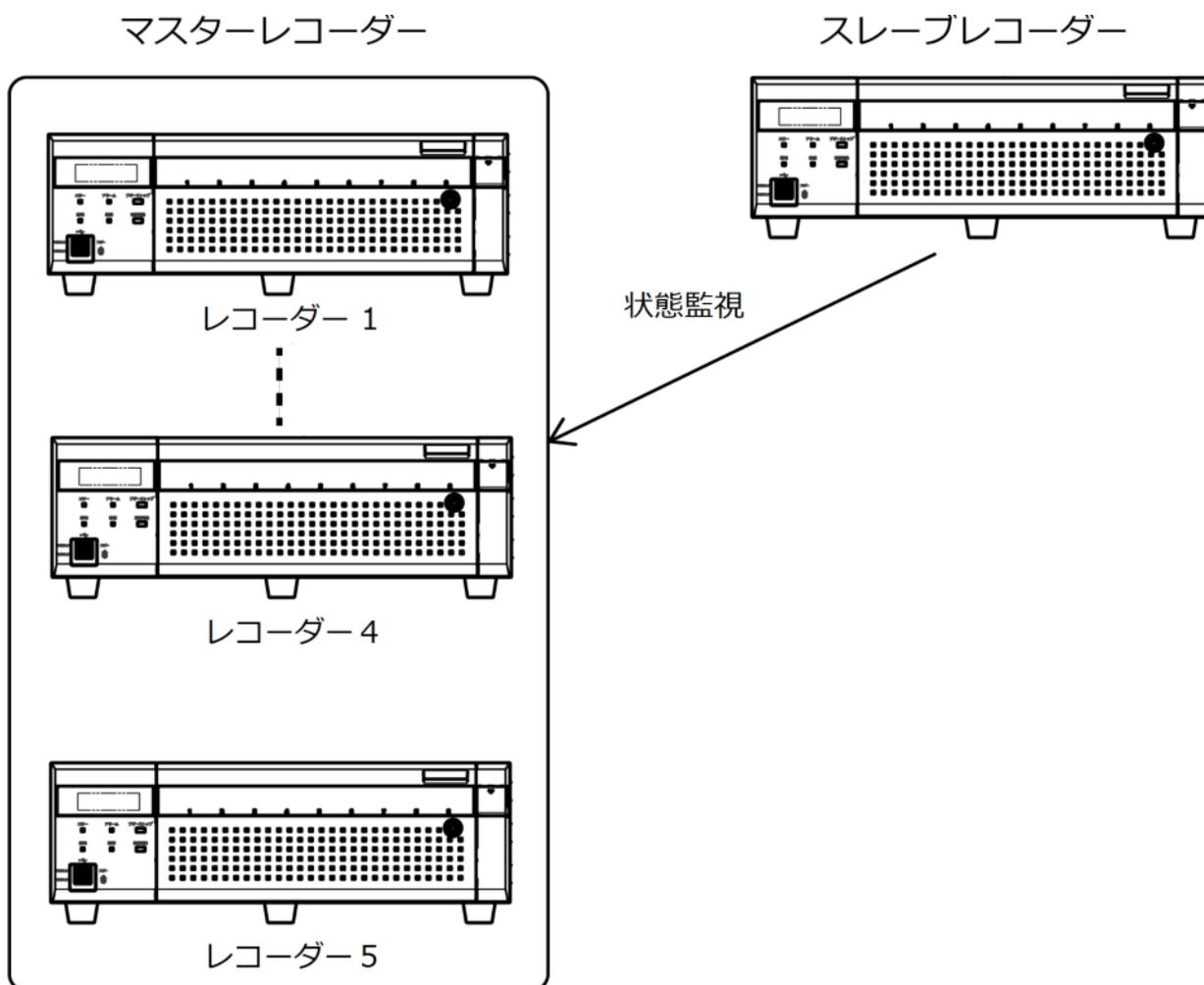
フェイルオーバー機能

本項は、本機でフェイルオーバー機能を使用するための説明です。フェイルオーバー機能は、システムの管理者による運用が必要です。

フェイルオーバー機能について

フェイルオーバー機能のライセンスを登録すると、運用中のレコーダー（マスターレコー

ダー) に異常が発生した場合、待機中のレコーダー（スレーブレコーダー）に切り換えて録画を継続することができます。



フェイルオーバー動作説明

- ・ スレーブレコーダーは、各マスターレコーダーの状態を監視しています。
- ・ マスターレコーダーに異常があればそのマスターレコーダーの動作を止めます。
- ・ スレーブレコーダーは動作を止めたマスターレコーダーと切り替わって、マスターレコーダーとして録画動作します。このとき、スレーブレコーダーは再起動を行います。再起動中は録画されません。

フェイルオーバー動作条件

- ・ スレーブレコーダーがマスターレコーダーと通信できなくなった場合。
- ・ マスターレコーダーで録画可能なHDDやHDDユニットがなくなった場合。
- ・ 設定メニューのフェイルオーバーを手動で実行する機能を実行した場合。



[重要]

- フェイルオーバー機能の設定は、スレーブレコーダーのみに行います。
- スレーブレコーダー 1 台に対して、マスターレコーダーは5台まで設定できます。
- スレーブレコーダーとマスターレコーダーのソフトウェアバージョンは一致している必要があります。
- スレーブレコーダーのカメラ拡張ライセンス、セキュア拡張ライセンスは、マスターレコーダーが保有するライセンス数以上ある必要があります。
- カメラ拡張ライセンスを登録しているスレーブレコーダーが、カメラ拡張ライセンス登録の無いマスターレコーダーに切り換えると、カメラ拡張ライセンスは登録無しの状態になります。
スレーブレコーダーにカメラ拡張ライセンスが必要な場合は、再度登録しなおしてください。
カメラ拡張ライセンスの解除キー番号は適切に保管しておいてください。
- スレーブレコーダーは、フェイルオーバー動作時には録画・再生・カメラ操作・カメラの設定等を行うことができません。既に設定されていたカメラの設定は削除されます。
- HDD管理画面を表示中は運用の切り換えが行われません。
- マスターレコーダーとの通信異常を検知してフェイルオーバーが実行されるまで時間がかかる場合があります。
- マスターレコーダーの設定を変更してから1時間以内にマスターレコーダーに異常が発生した場合、設定変更前の設定でスレーブレコーダーがマスターレコーダーとして動作することがあります。
- スレーブレコーダーに通信異常が一定時間発生してもフェイルオーバーが動作することがあります。
- マスターレコーダーに、ライセンス登録等の再起動をとまなう設定を行う場合は、スレーブレコーダーの「フェイルオーバーの動作設定」をいったんOffにしてください。マスターレコーダーの再起動後、Onに戻してください。
- フェイルオーバー機能で切り換えが発生した後は、システムの管理者による、システムの運用に適した復旧作業が必要です。



[メモ]

- マスターレコーダーがフェイルオーバー動作すると、「録画動作」設定がOffになります。Onにすると通常運用に戻ります。

ライセンス登録について

フェイルオーバー機能をご使用いただくために、フェイルオーバー機能のライセンスを登録します。ライセンス登録には、キー管理システムから取得した解除キー番号が必要です。解除キー番号の取得方法は、本機に付属する「起動情報案内カード」をお読みください。起動ID番号、暗号ID番号については以下の番号を入力してください。

起動ID番号 : 1573-0000-030C-1234

暗号ID番号 : 25A0-FF00

ライセンス登録は、スレーブレコーダーのみに対して行います。フェイルオーバー機能のライセンスの登録のしかたについては、以下のページをお読みください。

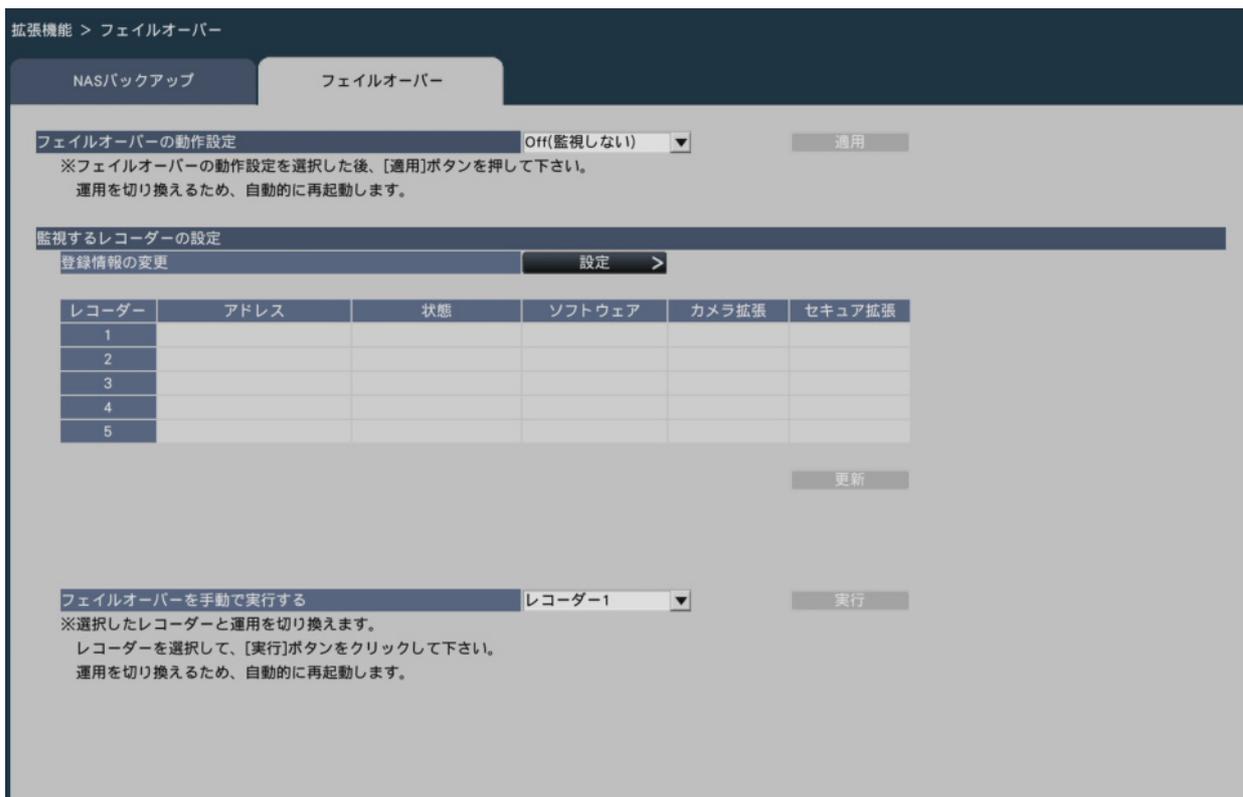
 [システムに関する設定や操作を行う \[システム管理\]](#)

フェイルオーバー機能の設定方法

設定はスレーブレコーダーのみで行います。

設定メニュー [詳細設定] の [拡張機能] - [フェイルオーバー] タブの順にクリックします。

→フェイルオーバー画面が表示されます。



【フェイルオーバーの動作設定】

動作設定を選択します。

On（監視する）：異常発生時にレコーダーの録画を切り換えるため、マスターレコーダーを監視します。

Off（監視しない）：フェイルオーバーの機能を使用しません。

初期設定：Off（監視しない）

【登録情報の変更】

[設定>] ボタンをクリックして、マスターレコーダーを設定します。

[👉 監視対象レコーダーの設定を行う](#)

【更新】 ボタン

マスターレコーダーの状態を取得して状態表示を更新します。

監視中　：異常監視中で、異常時に録画切り換え可能な状態

監視不可　：バージョンやライセンスに不一致があったり、マスターレコーダーの登録情報が誤っていたりして、監視できない状態

監視停止　：フェイルオーバーの動作設定がOffに設定されている状態



[メモ]

- 監視不可の場合、レコーダーのバージョンやライセンス数を確認して同じになるようにしてください。
- [更新] ボタンはフェイルオーバーの動作設定がOnのときのみクリックできます。

[フェイルオーバーを手動で実行する]

レコーダー番号を選択して [実行] ボタンをクリックすると、録画するレコーダーを切り換えます。マスターレコーダーの登録情報を変更した場合は、必ず設定を保存してから [実行] ボタンをクリックしてください。

監視対象レコーダーの設定を行う

監視対象とするマスターレコーダーを設定します。

最後に [OK] ボタンをクリックして登録情報の変更を終了します。



[重要]

- 監視対象のマスターレコーダーは、同一品番のレコーダーです。
- スレーブレコーダーと異なるHDD運用モード（シングル/ミラーリング/RAID5/RAID6）が設定されているレコーダーは、監視対象のマスターレコーダーに設定できません。
- カメラグループ録画は、スレーブレコーダーに設定されているカメラグループ録画設定に従って動作します。マスターレコーダーのカメラグループ録画設定は引き継がれません。

登録情報の変更

登録情報を変更し、[OK]ボタンをクリックしてください。

レコーダー	アドレス	管理者名	パスワード
1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="password"/>
2	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="password"/>
3	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="password"/>
4	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="password"/>
5	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="password"/>

登録情報を削除するには、削除するレコーダーのアドレスを空欄にするか、
削除するレコーダー番号を選択して、[削除]ボタンをクリックしてください。

削除番号選択

【アドレス】

レコーダーのIPアドレスを入力します。

【管理者名】

レコーダーの管理者名を入力します。

【パスワード】

レコーダーのパスワードを入力します。

【削除番号選択】

レコーダー番号を選択して [削除] ボタンをクリックすると、レコーダー情報を削除します。

フェイルオーバーモード時の表示



スレーブレコーダーとして動作中は、録画・再生・カメラ操作・カメラの設定等は行うことができません。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象のときまたは工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店（設置工事店）にご相談ください。

現象	原因・対策	参照ページ
録画できない	●録画動作がONに設定されていますか？ 設定を確認してください。	録画・イベントの高度な設定を行う [高度な設定]
	●スケジュールは正しく設定されていますか？ 設定を確認してください。	スケジュール録画の詳細を設定する
再生できない	●画像が録画されていますか？	HDDの情報を確

	HDD内に録画された画像があるか確認してください。	認する [全般]
	●ログインしているユーザーは再生できるユーザーレベルに設定されていますか？ ログインしているユーザーのユーザーレベル設定を確認してください。	ユーザー管理の 基本設定を行う [基本]
	●ログインしているユーザーはカメラ画像を表示できるユーザーレベルになっていますか？ ログインしているユーザーのユーザーレベル設定を確認してください。	ユーザー管理の 基本設定を行う [基本]
カメラの音声が出 力しない または音声にノイ ズがのる	●カメラの音声圧縮方式は本機に対応していますか？ 本機は「AAC-LC (64 kbps)」、「G.711 (32 kbps、他社ONVIF カメラ使用時)」のみに対応しています。接続しているカメラ の設定を確認してください。	－
	●モニター＞高度な設定の音声出力カメラが「表示カメラ」以 外とになっていませんか？ 設定を確認してください	モニターに関す るその他の設定 を行う [高度な 設定]
カメラを制御でき ない	●設定メニュー [基本設定] の [カメラ] - [カメラ登録] で 表示されているカメラ品番とIPアドレスが正しいか確認して ください。	カメラを登録す る [カメラ登録]
	●設定メニュー [基本設定] の [カメラ] - [カメラ登録] で ユーザー名、パスワードが入力してあることを確認してくだ さい。	[ユーザー名], [パスワード]
外部記憶装置を挿 入しても「メディ アが挿入されてい ません」と表示さ れる	●外部記憶装置挿入後、メディアの認識に時間がかかることが あります。メッセージ画面を閉じて、しばらくしてからもう 一度操作してください。	－
ウェブブラウザ からアクセスでき ない	●後面のネットワークポートに10BASE-T、100BASE-TXまたは 1000BASE-Tケーブルが接続されていますか？ 接続されているか、確認してください。	取扱説明書基本編
	●ウェブブラウザからアクセス時に、後面のネットワークポー トのアクセスLEDが点灯していますか？点灯していない場合	取扱説明書基本編

	<p>は、LANに接続されていないか、接続先のネットワークが正常に動作していません。</p> <p>接続表示ランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合はシステムの管理者にご確認ください。</p>	
	<p>●有効なIPアドレスが設定されていますか？</p> <p>システムの管理者にご確認ください。</p>	<p>ネットワークの基本設定を行う [基本]</p>
	<p>●間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？</p> <p>次のようにPCのコマンドプロンプトからpingコマンドで接続を確認してください。</p> <p>> ping 「本機のIPアドレス」を実行し、本機からReplyが返ってくれば、正常に動作しています。</p> <p>Replyが返ってこない場合は、IPアドレス、サブネットマスクの設定を確認してください。</p>	<p>—</p>
	<p>●設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？</p> <p>システムの管理者にご確認ください。</p>	<p>ネットワークの基本設定を行う [基本]</p>
	<p>●設定したIPアドレスと設置先のネットワーク/サブネットマスクが矛盾していませんか？</p> <p>同一サブネット内に本機とクライアント（PC）が接続されている場合、本機とクライアント（PC）のIPアドレスは共通のサブネットに設定されていますか？また、ウェブブラウザで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？同一サブネット内の本機にアクセスする場合は、本機のアドレスを「プロキシから外す」設定にすることをおすすめします。</p>	<p>ネットワークの基本設定を行う [基本]</p>
ウェブブラウザの画像が更新されない	<p>●ネットワークの混み具合などにより、画像の表示が止まる場合があります。キーボードの [F5] ボタンを押して、画像を再度取得してください。</p>	<p>—</p>
ウェブブラウザの画像更新速度が遅いレスポンスが遅い	<p>●ネットワークが混雑していませんか？</p> <p>ネットワークが混雑しているとき、左記症状が発生します。</p>	<p>—</p>
操作画面を表示したときに表示された認証ウィンドウを終了できない	<p>●正しいユーザー名、パスワードを入力していますか？</p> <p>ユーザー名、パスワードを確認してください。</p>	<p>ユーザー情報を登録/変更/削除する</p>

<p>ビューワーソフトで再生中に音声がとぎれる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●録画レートの高い画像を再生しているとき、音声がとぎれる場合があります。 	<p>—</p>
<p>ダウンロードした画像を再生できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●再生画像のダウンロード中に設定が変更されると、ダウンロードを終了します。このとき、ダウンロードしていた画像は再生できません。 	<p>—</p>
<p>複数のファイルをドラッグ&ドロップしてビューワーソフトを起動すると、エラーメッセージが表示される</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●選択ファイルを減らすか、ビューワーソフトを起動してからファイルを選択してください。 	<p>—</p>
<p>外部記憶装置が認識されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●USB3.0またはUSB2.0に対応した外付けHDDまたはUSBメモリーですか？ ●exFAT、FAT32またはFAT（FAT16）形式でフォーマットされていますか？ 外部記憶装置の容量が32 GB以内ならFAT32、64 GB以上ならexFATでフォーマットされている必要があります。 ●パスワード認証が付いていたり、複数パーティション構成になっていませんか？ ●USB バスパワーで動作するハードディスク装置を使用していますか？ 保護回路が働いて電源供給が停止しますので、必ず外部電源で動作するハードディスク装置を使用してください。 ●USBケーブルを接続したまま本機を起動すると、まれに外部記憶装置を認識しない場合があります。本機が起動してからケーブルを接続してください。 	<p>—</p>
<p>ウェブブラウザの設定メニューからカメラのウェブブラウザを開くと、カメラのH.264またはH.265画像が表示されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●本機のポートフォワーディング機能はHTTP通信のみ有効のため表示されません。画像を表示する場合は、直接カメラのアドレスにウェブブラウザで接続してください。 	<p>ネットワークの基本設定を行う [基本]</p>

<p>ウェブブラウザでライブ画像もしくは再生画像が黒画となることがある。</p>	<p>●PCのメモリが不足している可能性があります。ウェブブラウザ及び不要なソフトウェアを終了した後、再度ウェブブラウザを起動してレコーダーへ接続してください。</p>	<p>—</p>
<p>カメラとの接続方法でHTTPSを選択した後、[セキュリティ] - [通信] 設定画面の接続方法の障害情報に「SSL通信不可」が表示された。</p>	<p>●以下の手順を実施してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [セキュリティ] - [通信] 設定画面の [本機とカメラ間のセキュリティ] - [接続方法] 項目の [設定>] ボタンをクリックします。 ・ 当該カメラの接続方法がHTTPSに、ポート番号が443に設定されていることを確認してください。異なる場合は443に設定してください。 ・ 設定を終了します。 <p>●もし改善しない場合は、さらに以下の手順を実施してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [セキュリティ] - [通信] 設定画面の [本機とカメラ間のセキュリティ] - [接続方法] 項目ボタンをクリックし、当該カメラの接続方法をHTTPに設定してください。 ・ [カメラ] - [カメラ登録] 設定画面の [登録情報の変更] 項目の [設定>] ボタンをクリックします。 ・ 当該カメラのポート番号が80に設定されていることを確認してください。異なる場合は80に設定してください。 ・ 設定を終了後、改めて設定画面を開きます。 ・ [セキュリティ] - [通信] 設定画面の [本機とカメラ間のセキュリティ] - [接続方法] 項目の [設定>] ボタンをクリックし、当該カメラの接続方法をHTTPSに再設定してください。 	<p>—</p>
<p>コピーパネルに表示されるデータ容量が実際にコピーされるデータ容量と異なる。</p>	<p>●コピーパネルに表示するデータ容量は目安のサイズです。音声データが録音されていると誤差が大きくなります。</p>	<p>コピーする</p>
<p>コピーの進捗が70～80%から100%になる。</p>	<p>●MP4形式でコピーする場合、音声データがAAC-LCで録音されていないとコピーされないため、進捗が途中で100%になり、コピーが完了することがあります。</p>	<p>コピーする</p>
<p>MP4形式でコピーしたファイルが汎用ビューワーで再</p>	<p>●汎用ビューワーのコーデックが対応していない可能性があります。その場合は、本機のビューワーソフトウェアをご使用ください。</p>	<p>コピー・ダウンロードした画像をPCで再生する</p>

生できない。音声だけが再生される。		
メインモニターの画面上に「温度異常」が表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ●本機の使用温度範囲は0℃～+45℃です。本機はHDDの内部温度情報を元に「温度異常」を表示します。「温度異常」が表示される場合は、HDD保護のために設置環境を見直し、周囲温度を+25℃程度とするようお勧めします。「温度異常」が頻繁に表示される場合は、販売店（設置工事店）にご相談ください。 ●ファンが故障していないか確認してください。 ●本機の通風孔、放熱ファンをふさいでいないか、また、通風孔にほこりがたまっていないか確認してください。 	取扱説明書設置編
マウスカーソルが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ●ケーブルは正しく接続されていますか？マウスによっては認識されない場合があります。本機付属のマウスをご使用ください。 	－
音声通信エラーと通信エラーが発生し、カメラ画像が表示されず、録画もできない。	<ul style="list-style-type: none"> ●カメラの音声配信モードが正しく設定されていない可能性があります。音声配信モード設定が受話もしくは双方向に設定されているか確認してください。カメラが接続されている状態で、本機の録音設定を一度Offに変更してから、再度On(AAC-LC)に戻すと正しく設定されます。 	録画設定をカメラごとに設定する（録画詳細設定）
カメラのライブ画像がモニターに多画面分割で表示されず黒画になる	<ul style="list-style-type: none"> ●対象のカメラで、AIプライバシーガード設定の「対象ストリーム」が「ストリーム(2)&ストリーム(4)」に設定されていると、カメラのH.264(2)やH.265(2)の解像度が、H.264(1)やH.265(1)と同じになるため、多画面分割の画面数によっては、ライブ画像が表示されなかったり、再生ができなかったりする場合があります。本機でAIプライバシーガード録画を使用しない場合は、対象カメラのAIプライバシーガード設定の「対象ストリーム」を「ストリーム(2)&ストリーム(4)」以外に設定してください。 	登録情報を変更する【登録情報の変更】 AIプライバシーガード録画するカメラを選択する【AIプライバシーガード録画カメラ】 多画面で表示する 再生する
HDMIモニターに映像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ●HDMI出力の信号形式はご使用のモニターのスペックとあっていますか？ 	【HDMI出力を以下の信号形式

	<p>HDMI出力の信号形式を固定する場合は、モニターが対応している信号形式を設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本機とモニターの間 HDMI切替器を使用していませんか？ HDMI切替器の仕様によっては、正しく動作しない場合があります。また、バスパワー駆動対応のHDMI切替器においても、安定した動作をさせるために、外部電源で動作する状態でご使用ください。 ●HDMI規格に準拠しているケーブルを使用していますか？ HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しない場合があります。また、画質の劣化防止や安定した動作のため、HDMIケーブルは5m以下のものをご使用ください。 	<p>に固定する 取扱説明書設置編</p>
<p>ウェブブラウザの設定メニューでカメラのサムネイル画像が壊れて表示される</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●カメラの設定メニューで、JPEGのデータ暗号が「On」に設定されていないか確認してください。 	<p>—</p>
<p>カメラの設定が本機の設定とあっていない。モニターのライブ画像が正しく表示されない。カメラからアラームが通知されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● [カメラ] - [高度な設定] の「本機の各機能でカメラの設定を自動的に変更しない」にチェックが入っていませんか。この設定にチェックが入っていると、カメラの設定を行いません。それによって本機の各機能が正常に動作しない可能性があります。 	<p>高度な設定を行う [高度な設定]</p>
<p>HDMIモニターにカメラの映像が表示されなかったり、ブラウザで再生できなかったりした状態が続いた後、しばらくすると復帰する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●本機の負荷が許容量を超えると、本機の録画動作を継続させるため、モニター表示の機能をリセットします。その間は一時的に操作することができません。約2分でスタートモニター表示に戻ります。 	<p>—</p>
<p>前面LCD表示が数秒間消える 【NX410/NX510】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●LCD表示をリフレッシュする処理が行われるため、1日1回LCDの文字が数秒間消えることがあります。 	<p>—</p>

用語集

MJPEG

カメラから連続的にJPEG画像を送信する動画方式です。カメラによってはJPEGと表現される場合があります。

SDメモリーバックアップ、SDメモリーデータ

SDメモリーバックアップとは、本機に設定されているスケジュールの時間内にカメラとの通信ができなくなった場合、カメラに搭載されているSDメモリーカードに画像を保存するカメラ側の機能です。SDメモリーデータとはその録画画像のことを言います。

イベント

本機が特別な動作（イベント動作）を行うきっかけとなる事象を表します。イベントには、端子アラーム、コマンドアラーム、カメラサイトアラームがあります。

イベント動作

イベント発生時に行う特別な動作を表します。アラーム動作はイベントの発生を画面表示、本機前面の状態表示ランプ、ブザーなどで外部に通知します。イベントの発生を通知する動作は行わず、録画とイベントログへの記録のみを行うこともできます。Off設定時は、イベントログへの記録のみを行います。

イベント録画

イベント発生時に自動的に録画を開始する機能です。イベント録画にはイベント発生前の画像を記録するプレ録画と、イベント発生後の画像を記録するイベント録画があります。

魚眼画像補正

弊社およびパナソニック製全方位カメラの魚眼画像を1画PTZや4画PTZに補正して表示する機能です。

緊急録画

本機に接続した外部スイッチを使用して、緊急事態が発生したときなどに優先的に録画／録音をする機能です。

再エンコード配信

録画画像をウェブブラウザやアプリケーションで再生するときに、それぞれが対応している解像度やフレームレートに再エンコードして配信する機能です。

白黒切換／簡易白黒切換

白黒切換は、赤外フィルターを挿入して、光学的に白黒切換する機能で、簡易白黒切換はカメラの画像処理で白黒切換する機能です。

スケジュール録画

あらかじめ設定した時間帯に自動的に録画を開始・終了する機能です。

スマートコーディング（GOP制御）

画像内に動きの少ない場合に、画像のリフレッシュ間隔を長くして、配信のデータ量を低減させるカメラ側の制御方法です。

多画面表示

本機は、ライブ画像表示・再生画像表示のときに、複数のカメラの画像を同時に表示することができます。4台のカメラ画像を同時に表示することを4画面表示と呼びます。

動作検知サーチ

画像内の動きを自動的に検出する機能です。本機は、録画画像の動作検知を行い動きが検出された日時のみを検索する機能（動作検知サーチ）があります。

独自アラーム

イベントや障害発生時に、当社独自の通信方式であらかじめ登録したアドレスへメッセージを送信します。また、弊社およびパナソニック製のカメラから独自アラーム(カメラサイトアラーム)を受信して、本機をイベント動作させる場合にも使用します。

ビットレート（bit rate）

単位時間あたりに何ビットのデータが処理または送受信されるかを表します。単位としては一般的に「ビット毎秒」(bps : bits per second) が使われます。画像データや音声データがどのくらいの圧縮をしているかを表したり、通信回線が1秒間にどのくらいのデータを送受信できるかを表したりするのに使います。

フレームレート (ips)

録画画像を再生した時の動きの滑らかさを決める単位です。1秒間の記録コマ数を表します。数字が大きいほど滑らかな動きになりますが、録画可能時間は短くなります。

変更履歴

Ver 1.000.000 (2023.11.01)

- ・ 初版

Ver 1.001.000 (2024.02.13)

- ・ ネットワークログにDHCP関連の項目を追加
- ・ 誤記修正

Ver 1.002.000 (2024.05.22)

2024年6月バージョンアップ対応

- ・ IEEE802.1Xの設定追加。👉 [IEEE802.1Xを設定する](#)
- ・ 魚眼画像の補正表示に、3Dデワープ機能を追加。👉 [魚眼画像を補正する](#)